ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010ー2011年度
国際ロータリー第2740地区　ガバナー　高　原　武　彦

地域を育み、大陸をつなぐ

CONTENTS

ＲＩテーマと会長のメッセージ …… 1
2010 — 2011 年度　会長賞 …… 5
ガバナー就任の挨拶 …… 7
新年度ガバナー方針 …… 8
直前ガバナーへの謝辞 …… 10
ガバナー補佐の挨拶 …… 11
文庫通信 …… 16
ガバナー公式訪問 …… 17
地区主要行事予定表 …… 19
地区組織図 …… 21
地区関係予算 …… 23
報告のしおり …… 25
送金のしおり …… 26

vol. 1
2010.7.1

地域を育み、大陸をつなぐ

2010-11年度 テーマと会長賞

ROTARY INTERNATIONAL®
One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA
www.rotary.org

900-JA—(1009)

会長
レイ・クリンギンスミス

2010 ー 2011 年度国際ロータリーのテーマ

BUILDING COMMUNITIES
BRIDGING CONTINENTS

地域を育み、大陸をつなぐ

国際ロータリー会長
レイ・クリンギンスミス

ロータリーとは何か。ロータリー・クラブとは何をする団体なのか。ロータリアンは、会員候補者やロータリーに関心を持っている人々からこういった質問をよく受けますが、簡潔に数分で、しかも効果的に答えるのは難しいものです。

ロータリーの第一標語である「超我の奉仕」は私たちの利他的な性質をとらえてはいますが、先の2つの質問に答えてくれるものではありません。そこで私は、「ロータリアン以外の人々にロータリーの目的を説明すること」と「ロータリアンにロータリーの原則の重要性を再確認してもらうこと」、この2つの目標を満たす簡潔なテーマを探す決心をいたしました。

そして適切な言葉を探す上で、四大奉仕部門を再検討していたところ、クラブ奉仕と職業奉仕はどちらも人生を謳歌し、善き市民となるよう私たちを導いてくれるものであると気づいたのです。また、社会奉仕と職業奉仕を合わせるなら、地元の地域社会をより住みやすく、働きやすい場所にすることができるでしょう。一方、国際奉仕は、国や大陸を異にする海外のクラブと協力し、世界理解、親善、平和を広め、世界をより良い場所にするための機会を、私たちに与えるものです。

ロータリーが、ロータリー・クラブの連合体であると同時に、奉仕の精神から成り立っていることを忘れてはなりません。私た

ちは、「奉仕」「親睦」「多様性」「高潔性」「リーダーシップ」というロータリーの中核となる価値観を分かち合う必要があるのです。ロータリーの真髄を表す多くの語句を検討した結果、ロータリーの現在の使命を表し、私たちの業績を強調するために、私たちが得意とすること、すなわち、次のテーマを最終的に選びました。

地域を育み、大陸をつなぐ

この簡潔な語句が、ロータリアンとしての私たちの存在と私たちの活動を的確に言い表すものであると賛同していただけることを願っております。ロータリーは世界でも比類のない優れた組織です。私たちは、地元地域社会の精神とリソースを育んでいます。また、住みやすく働きやすい世界をつくるために、世界中の人々の善意をつないで協力と支援を得ることにかけては、世界でも私たちの右に出る団体はないでしょう。エド・カドマン元会長の言葉どおり、「ロータリーは、画一化ではなく、結束である」のです。ロータリアンである私たちは、誠に恵まれています。

2010-11年度会長賞を検討するにあたっても、私はこれと同じ哲学を用いました。私は四大奉仕の各部門が等しく重要であるという考えに基づき、クラブが四大部門のすべてにおける成果を確認することができるよう、質問形式による新しい表彰プログラムを設けました。さらに、この表彰とは別に、年次会長賞を何度も受賞し続けているクラブのチャレンジ精神に応えるために、さらに上のレベルの特別賞も加えることにいたしました。

私たちが親睦と奉仕のレベルアップを図り、1910年に初のロータリー大会を開催した国際ロータリーを奉仕の第二世紀に向けて前進させていく中で、この質問形式を用いた新しい用紙がクラブと地区ガバナーの皆さまに役立つものとなることを願っております。

レイ・ クリンギンスミス
2010-11年度国際ロータリー会長

国際ロータリー
2010 ～ 2011 年度　会長
国際ロータリー　会長エレクト経略

レイ・クリンギンスミス、米国ミズーリ州カークスビル
2009-10 年度国際ロータリー会長エレクト
2005-06 年度ロータリー財団副管理委員長
2002-06 年度ロータリー財団管理委員
1985-87 年度国際ロータリー理事
1975-76 年度地区ガバナー

レイ・クリンギンスミス氏は米国ミズーリ州カークスビルの弁護士で、主に、商法、会社法、不動産法、遺産計画法を専門としています。22 年間勤務したカークスビルのトルーマン州立大学（旧ノースイースト・ミズーリ大学）では、総合弁護士および経営学の教授としての職を最後に 1995 年 8 月に退職しました。大学が一般教養と科学を軸とする教育機関へ移行した 5 年間に、管理学部長を務めた経験もあります。大学の職務を退職後は、2001 年から 2004 年までの 4 年間、アデア郡政委員となりました。

1971 年からメーコン・アトランタ州立銀行の理事、1989 年にミズーリ州議会が設立したミズーリ・ファミリー・トラストの初代管理委員を務めました。シャリトン・バレー障害者協会では 1982 年の設立当初から会長に就任し、1988 年にミズーリ州知的障害者のための計画審議会から保護者・介護者賞を授与されました。ボーイスカウト米国連盟グレートリバー支部の理事を務めた経験もあり、成人ボランティアとしてシルバー・ビーバー賞を受賞しています。カークスビルの統一メソジスト教会に所属しており、教会でもリーダー的役割を任されてきました。

1961 年にロータリアンとなって以来、地区ガバナーを経て、1998 年規定審議会（インド、ニューデリーで開催）ならびに 2008 年ロサンゼルス国際大会委員会の委員長として、RI に奉仕してきました。1985-87 年度に RI 理事となり、1986-87 年度には理事会執行委員会の委員長を務めました。2002 年にはロータリー財団管理委員、2005-06 年度には副委員長、また 2005 年から 2008 年まで未来の夢委員を務めました。また、大口寄付者でもあり、財団の功労表彰状と特別功労賞を受賞しています。

配偶者のジュリー夫人は、メーコンとカークスビルの小学校で教鞭をとっていました。また、カークスビル地域の職業センターで子供の発育を支援するプログラムのコンサルタントも務めていました。クリンギンスミス夫妻にはレイさんとカートさんの 2 人の子供と、モルガンさん、グラントさん、シドニーさんの 3 人の孫がいます。

2010～2011年度

会長賞

国際ロータリー会長　**レイ・クリンギンスミス**

四大奉仕部門のすべての部門におけるクラブの活動を確認するために、次の質問用紙をご使用ください。各部門の最高得点はそれぞれ50点です。各部門で少なくとも25点を獲得したクラブが、2010-11年度会長賞の受賞資格を得ます。各部門で少なくとも35点を獲得したクラブは、2010-11年度特別会長賞の受賞資格を得ます。質問用紙は各クラブが記入後、国際ロータリーではなく、地区ガバナーに送付します。ガバナーへの提出期日は2011年3月31日必着となります。この質問用紙にあるすべての質問への答えは、四つのテストに照らし合わせて考えてください。ガバナーは、会長賞と特別会長賞のクラブのリストを確認し、証明の署名を記入した上で、2011年4月15日までにRI世界本部へ提出する必要があります。地区内の半数以上のクラブが会長賞を受賞した場合、地区ガバナーも特別に表彰されます。

クラブ奉仕

■クラブでは、2010年7月1日から2011年1月にかけて、少なくとも1名の会員純増を達成しましたか（RIへのクラブ半期報告書に記載された数字に基づく）。（5点）

■具体的かつ効果的な会員勧誘計画を導入し、実施しましたか（「1人が5人推薦」プログラムなど）。（5点）

■クラブは、効果的な会員維持計画を立て、実施しましたか（例：ベテラン会員が新会員を担当して指導するプログラムなど）。（5点）

■現クラブ会長、クラブ会長エレクト、クラブ会長ノミニー、およびこれらの役員が選んだクラブ会員が積極的に関与する3カ年計画を立て、それを文書として作成しましたか。また、これには各奉仕部門の3カ年目標とこれを支えるためのクラブ会員の目標も含まれていますか。（10点）

■過去12カ月間に新しく設立されたロータリー・クラブのスポンサー・クラブとなりましたか。（5点）

■例会では、豊かな親睦の機会と活気あるプログラムの両方を常に提供していますか。（5点）

■毎週、Eメール、または郵便で会報をクラブ会員に送っていますか。（5点）

■会員、プログラム、プロジェクト、功績を紹介するクラブのウェブサイトを設け、運営していますか。（5点）

■クラブ会長エレクトがPETSまたは国際大会に出席するために、資金面で援助していますか。（5点）

この部門の最高得点は50点です。クラブの合計点は何点ですか。————

職業奉仕

■過去12カ月間に、若者を対象に「四つのテスト」に関する作文コンテストまたは弁論大会を主催しましたか。（5点）

■クラブの会員は、過去12カ月間に、地元の学校の生徒を対象にキャリアに関する情報を積極的に提供してきましたか。（5点）

■現ロータリー年度中に、例会で職業奉仕に関する主題を4回以上取り上げましたか。（10点）

■現ロータリー年度中に例会プログラムで、クラブ会員による職業分類に関する卓話を少なくとも3回実施しましたか。（5点）

■クラブは、過去12カ月間に、高い倫理基準と公共の価値観を認め、その模範を示した人物を称え、表彰しましたか。（5点）

■クラブは、過去12カ月間に、高い倫理基準と公共の価値観を認め、その模範を示した企業や

団体を称え、表彰しましたか。（5点）
■現ロータリー年度中に、新しい職業奉仕プロジェクトを開発し、これを開始しましたか。（5点）
■入会時にすべての新クラブ会員に「四つのテスト」と「ロータリアンの職業宣言」を渡していますか。（5点）
■2010年10月の職業奉仕月間を記念し、特別なプログラムやイベントを実施しましたか。（5点）
この部門の最高得点は50点です。クラブの合計点は何点ですか。————————

社会奉仕

■過去12カ月間に、クラブ会員のほぼ全員が積極的に参加した有意義な社会奉仕プロジェクトを完了しましたか。（5点）
■現在、インターアクト・クラブかローターアクト・クラブを提唱していますか。（5点）
■ 過去12カ月間に、RYLAプログラムを実施、あるいはRYLAプログラム参加者を推薦しましたか。（5点）
■過去12カ月間に、地元地域でロータリーの公共イメージを改善し、クラブ会員のロータリーに対する誇りを高めるような社会奉仕プロジェクトを完了しましたか。（10点）
■過去12カ月間に、募金活動を1回または複数回実施し、成功させましたか。この活動は、クラブ会員が費やした時間に見合うような結果をもたらし、地域社会のためになるプロジェクトを実施するのに十分な資金をもたらしましたか。（5点）
■現ロータリー年度、クラブの貢献をはっきりと公表しない他団体のプロジェクトに資金援助をする代わりに、主にロータリーの奉仕プロジェクトに時間と資金を費やしましたか。5点）
■現ロータリー年度、ロータリー財団未来の夢計画の6つの重点分野のいずれかに当てはまる社会奉仕プロジェクトを実施しましたか。（5点）
■現ロータリー年度、地域社会のニーズ調査を行いましたか。（5点）
■過去12カ月間に、地元地域の若者たちのためになる社会奉仕プロジェクトを実施しましたか。（5点）
この部門の最高得点は50点です。クラブの合計点は何点ですか。————————

国際奉仕

■クラブは現在、ロータリー財団国際親善奨学生かロータリー世界平和フェローの受入（世話）クラブ、あるいは派遣クラブとなっていますか。（5点）
■過去12カ月間に、研究グループ交換チームの受入（世話）クラブ、あるいは派遣クラブとなっていますか。（5点）
■クラブは現在、ロータリー青少年交換学生の受入（世話）クラブ、あるいは派遣クラブとなっていますか。（5点）
■ポリオ撲滅のチャレンジを積極的に支援してきましたか。5点）
■現ロータリー年度、ロータリー財団のマッチング・グラントや3-H補助金に積極的に参加しましたか。試験地区内のクラブの場合、現ロータリー年度にグローバル補助金に積極的に参加しましたか。（5点）
■現ロータリー年度、地区補助金の資金を活用して、国際プロジェクトに積極的に参加しましたか。試験地区のクラブの場合、現ロータリー年度に新地区補助金の資金を活用して、国際プロジェクトに積極的に参加しましたか。（5点）
■過去12カ月間に、財政的支援、現物拠出、ボランティア活動といった形で世界社会奉仕プロジェクトを支援しましたか。（5点）
■現ロータリー年度、全クラブ会員がロータリー財団へ寄付することによって、あるいはクラブのロータリー財団への寄付が一人あたり平均100ドル以上となることによって、「毎年あなたも100ドルを」を推進しましたか。（10点）
■クラブ会員のうち少なくとも1名が、ロータリー親睦活動あるいはロータリアン行動グループのメンバーとなっていますか。（5点）
この部門の最高得点は50点です。クラブの合計点は何点ですか。————————

ロータリー・クラブ名

ガバナー就任にあたって

国際ロータリー第2740地区
2010年～2011年ガバナー　**高　原　武　彦**

人生には思いもしなかったことが起こるし、又、その通りには流れないことが多い。
私は少し我慢してでもあまり流れに逆らわず生きてきた気がします。
年月が経ち、振り返ってみるとそれなりの流れになっていて、私はこれで良かったのだと考えることが出来る人間のようです。
ガバナーの船出にあたりまして、一年間無事に航海出来ますよう会員皆様方のご協力をお願いし、皆様方と一緒に楽しい活気のあるものにして参りたいと思っています。

ガバナーエレクトとしての一年間、色々と初体験が多かった中で心に残った一例を報告して就任挨拶と致します。

有田ロータリークラブでは有田陶器市期間中の４月２９日、５月２日・３日にポリオ撲滅運動街頭募金活動をロータリー広報を兼ねて行いました。
会員とその配偶者が参加してくれましたが、募金活動は初めての人達ばかり。
ポリオ撲滅運動の看板と有田ロータリークラブの幟をバックにして立ち、人の波が近づいて来るのを見掛けては「世界中の子供達をポリオから救いましょう！」「ポリオ撲滅運動募金にご協力をお願い致します！」と大声で叫ぶ。
素通りの人が多い中で小さい子供連れの若い夫婦が二人の兄妹に各々コインを持たせて、子供自身の手で募金箱にコインを入れに来てくれた。皆が感動し涙を流した。「ありがとう！ありがとう！」の連発だった。
一粒のキャンディを募金の御礼に手渡した。子供が両親の元へ駆け寄り「いいことするといいことがあるんだね。」と母親に話しているのを聞いた会員はまた嬉しい涙を流したようだ。
毎回、このような若い親子に数組出会った。若い夫婦が子供達に実践的教育しているのを見せてもらい参加者全員、勉強させられ、心も豊かに爽やかな五月晴れになって家路に着いた。

新年度ガバナー方針

国際ロータリー第2740地区
2010年～2011年 地区ガバナー **高　原　武　彦**

2010～2011年度レイ・クリンギンスミス　ＲＩ会長のテーマは、「地域を育み、大陸をつなぐ」正にロータリーを表現していると思います。

ＲＩ会長強調事項

1）平和と紛争予防　解決
2）疾病予防と治療
3）水と衛生設備
4）母子の健康
5）基本的教育と識字率向上
6）経済と地域社会の発展

地区の方針ですが、
「地域・家族と共に生き生きロータリー」地区のテーマとしました。
先ずは、足元からクラブを活性化させることで生き生きしたロータリーを皆で楽しみましょう。
ロータリーは各々のＲＣ一つ一つの連合体です。その一つずつのクラブが生き生きと楽しい活動をして健全に運営されてこそ、始めて、地域を育むことにもなり、大陸へつなぐことが出来ると思われます。そして私達は奉仕(相手のことを思いやるサービス)、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップと言う価値観を分ち合えることが出来るようクリンギンスミス会長も申されるようにロータリーライフを過ごしたいものです。
四大奉仕のクラブ奉仕、職業奉仕を通して善き市民になるよう努力し、地域の人々や家族ともに話題に出来るような社会奉仕活動を探して、より住み易い地域、よりよい家庭、より幸福な家庭へとつなげていきたい。
国際奉仕は、国や大陸を異にする海外のクラブと協力し、世界理解、親善、世界平和をめざし、世界をより良い場所にすることに努力することであろうと考えています。
クラブの中には海外クラブと共に水の問題や学校教育、識字率の向上支援をされているところもありますが、その様に出来ないクラブでは国際親善奨学生・米山奨学生・青少年交換留学生等を通して、大陸をつなぎ、世界理解・平和につないでいければと思います。

今年度の地区目標

昨年度同様長期計画を実施することと思います。

- ◆ 会員増強　退会防止　　純増2名
  長期計画のもとに3年後～5年後の入会も考えて
- ◆ ロータリー財団年次寄付　　23万ドル　毎年1人100ドル
- ◆ 米山記念奨学会年間寄付目標　　2500万円（1人当たり1万1千円）
- ◆ ポリオ撲滅　　1クラブ　1000ドル
  2009～2012年長期計画

大変な時期ですが、上記のように考えております。
米山奨学会人頭分担金、少しでも増額を各クラブ事情もお聞きして相談したいと思っています。

2010年～2011年国際ロータリー
第2740地区ガバナー

高　原　武　彦　略歴

氏　　名　高　原　武　彦

生年月日　1935 年7月２９日

現 住 所　佐賀県西松浦郡有田町
　　本町丙 784-10

現　　職　医療法人　高原医院理事長

◆ロータリー歴

１９８３年	有田ロータリークラブ入会
１９８８年	有田ロータリークラブ幹事
１９９２年	有田ロータリークラブ会長
１９９６年－２０００年	ロータリー財団学友地区委員
２００４－２００５年	第３グループガバナー補佐
ポールハリス・フェロー　ベネファクター　米山功労者	

◆学歴及び職歴

１９６２年　３月	長崎大学医学部卒業
１９６２年　４月	大村市立病院にて医学実地修練
１９６３年　４月	長崎大学医学部第二解剖学教室
	長崎大学医学部第一外科教室
１９６８年１０月	佐世保市立総合病院外科
１９７５年　８月	高原外科医院開業　佐賀県有田町原宿
１９９０年　９月～現在	医療法人　高原医院理事長
２０００年～２００６年	伊万里・有田地区医師会会長
同	伊万里看護学校校長
同	佐賀県医師会理事

直前ガバナーに対する謝辞

国際ロータリー第2740地区
2010年～2011年ガバナー　高　原　武　彦

高城昭紀直前ガバナーへの謝辞

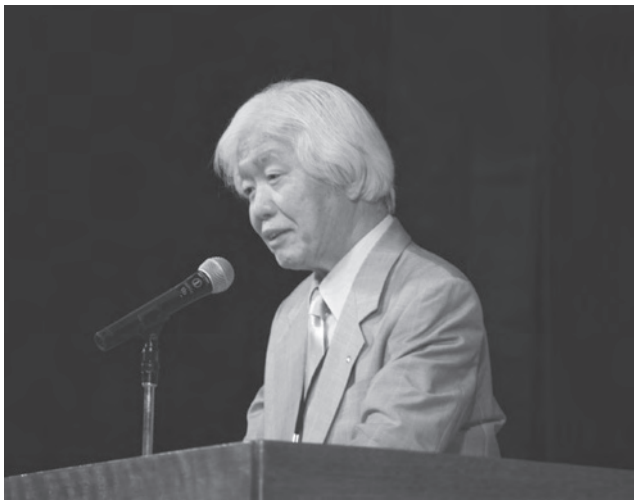
早朝より起床され、病院の仕事・患者さんへの仕事を日勤時間前に済ませることが日常茶飯事とのこと、羨ましい限りです。

思いやりの心が入院患者さん方にも伝わって、安心されていることでしょう。

私共、国際ロータリー第２７４０地区のロータリアンの為に多くの時間と体力を費やされ、ご指導頂きましたことに感謝申し上げます。

大変お疲れ様で御座いました。

又、高木義和地区幹事の貢献を称えます。色々とご高配頂き、有難う御座いました。



ガバナー補佐挨拶

願　い

第1グループ　ガバナー補佐

下　田　龍　二

〈多久RC〉

このたび、第１グループのガバナー補佐として任命されました下田龍二でございます。

私は、多久ロータリークラブにチャーターメンバーとして入会して25年になり、わがクラブでは先日に、25周年記念式典をささやかにやりました。あっと言う間の25年でした。自分自身にとっては、仕事が忙しかったせいもあり、ロータリーでは何をするべきなのかと悩んだ25年間でもありました。それとは別にして大先輩からは本当にかわいがってもらい、現在まできております。

わがクラブの自慢をちょっとだけお話させてください。大先輩方と若手が大変よくまとまったクラブと自負しております。これも先輩方のご指導のたまものと感謝しております。素晴らしい会員に出会いました。

多久ＲＣの大先輩より多久ＲＣにガバナー補佐の順番が回ってきたので、やってみないかと言われて承諾はしたものの、大変な任務を引き受けたと後悔しています。しかしながらロータリーの精神で何とか頑張ってみたいと思いますのでよろしくお願いします。

10～11年度のＲＩ会長のレイ・クリンギンスミス氏を引用しますと「クラブ奉仕と職業奉仕はどちらも人生を謳歌し、善き市民になるように導いてくれるものと気がついた。社会奉仕と職業奉仕をあわせるなら地域社会を住みやすく、働きやすい場所にするものである。国際奉仕は世界をよりよい場所にするための機会を与えるもの」といっています。

いつも四大奉仕で語られている言葉が自分の心に、素直に響きました。この言葉を会員の皆様に語りかけていき、それぞれの地域に根付いたロータリークラブはどうあるべきかをお聞きして、ガバナーへの橋渡しをしていきたいと思います。

最近、ロータリーは曲がり角にきていると言っている方たちもいますけど、もう一度四大奉仕の原点を見つめなおしクラブ訪問で、それぞれの地域の特性を教えていただきながら補佐としての役目を果たしていきます。

素晴らしい出会いを期待していけたらと思います。

一年間、よろしくお願いします。

【 経 歴 】

1985年6月	多久ロータリークラブ入会
1991～1992年度	幹事
1997～1998年度	会長
2002年6月	ポール･ハリス･フェロー

第2グループ　ガバナー補佐

小　林　正　明

〈神埼RC〉

第２グループのガバナー補佐を拝命いたしました、小林正明です。この一年間、皆様の温かいご理解とご支援・ご協力をお願い申し上げます。

私はチャーターメンバーとして入会して２０余年。入会・幹事・会長・補佐と、命令されるままにすごしてきましたが、「NOと言わない・・・」は水に合ってるのかも？それとも７２歳なって、気力の衰えか。のんびりと楽しく、例会出席をしています。

神埼クラブは、第2740地区の北東部。京都で言えば比叡山。鬼門筋の守り。鍋島藩の守り、修学院（天台宗）があります。修学院の住職は、会員です。朝な夕なに、皆様をお守りするお勤めを致しております。30人前後の会員、超親睦の楽しいクラブです。

本年度のRI会長レイ・クリンギンスミス氏のテーマは、「地域を育み、大陸をつなぐ」。地元地域社会の精神とリソースを育み、住みやすく働きやすい世界を創るために、世界の中の人々の善意をつないで、協力と支援を得ることにかけては、世界でも右に出る団体はないでしょう。と。これに基づき、RI会長の強調事項が示されています。

そして、高原武彦ガバナーの地区のテーマは、「地域・家族と共に生き生きロータリー」。それには「先ずは、足元から活性化が必要」と。各クラブが生き生きと楽しい活動をして、健全に運営されてこそ、地域は育まれ、大陸へとつながることが出来る。と。それに基づく目標が掲げられています。

さて、尻に火がつきました。遅ればせながらこれから勉強いたします。皆様のご指導ご鞭撻をいただき、よりよい一年でありますように、勤めてまいります。

【 経 歴 】

1986年5月	神埼ロータリークラブ入会
1988～1989年度	幹事
1991～1992年度	会長

ガバナー補佐挨拶

ロータリーの成長を願って

第3グループ　ガバナー補佐
山　本　　武
〈大町ＲＣ〉

２０１０－２０１１年度第3グループガバナー補佐を仰せつかりました大町ロータリークラブの山本です。未熟者でございますが精一杯務めさせていただきますのでよろしくお願いします。

昨今のチリ、中国の大地震及びアメリカの重油流出事故等をメディアは報道していますが、国内においては宮崎県の口蹄疫問題が私は身近な食品への危機としてとても心配です。あと何年にも尾を引く大問題です。何とか少しでもロータリアンの力を結集して援助できればと切に願っております。

ロータリーの奉仕活動いわゆる国際奉仕（奨学委員会及び国際青少年交換委員会ｅｔｃ）またロータリー財団への寄付など会員の資金を投じて若者たちの学びの場を助けてロータリアンの職業奉仕で地域の活性化を図り会員を増強することによりその資金を増大させ未来のロータリーが益々発展され国家社会に貢献できることを会員一同喜びとするものであります。まず、各クラブでの毎週の例会に出席することがすべての第一歩なのです。我等の第３グループの例会出席率の現状は有田７４%、武雄８８%、鹿島９７%、嬉野９１%、大町７７%、白石６８%、太良９６%（2月平均出席率）となっていますが出席１００%を目指して頑張ろうではありませんか。それには毎回の例会を楽しく、卓話等を重点に運営され会員の話に耳を傾け各自の情報を豊かにならんことを熱望するものであります。

第３グループの皆様方のご活躍を心より祈念申し上げますと共にこの一年間ご指導ご鞭撻をよろしくお願いします。

【 経 歴 】

1987年	大町ロータリークラブ入会
1994～1995年度	幹事
1999～2000年度	会長
	米山奨学地区委員
	国際青少年交換地区委員
	米山功労者
	ポール・ハリス・フェロー

中島登志雄

第4グループ　ガバナー補佐
〈唐津西ＲＣ〉

平均的なロータリーアンである私が今回補欠枠からの出場である。今年度は唐津西クラブより、ガバナー補佐出場の順番であった。我がクラブのエースの当番を皆、信じていた。勿論、私もそう思っていた。エースは以前から『ロータリアンは頼まれたら断ってはダメ』『出来るだけ地区委員等には参加すべきだ』と指導してくれていた。無情にもある日、風邪を拗らせたので交代してくれとベンチで告げた。登板するからは全力投球のみであるが皆様のブレーキにならぬ様に与えられたチャンスを最大限に努力するのみである。ただ、不安のみ先立ち、受験前の状況である。２２年６月３０日迄のタイム表を作成し、粛々と参考資料の勉強中。私がやれるのであれば、会員諸氏には自信が溢れるであろうからこれも皆様への奉仕であろうと認識する。高原ガバナーは地区方針として『地域・家族と共に生き生きロータリー』を地区テーマとして高々と掲げられた。タイムリーな活動方針である。クラブとして、個人としての今年度の楽しく、又、厳しい命題である。ロータリアンとして行動・生活していく上での基盤は地域・家族である。相互に奉仕する事により、安定した生活・職場環境の基盤が形成され強固なロータリー活動の原動力になると思う。ロータリー活動は永遠に継続する事であり、地域・地区に根ざした奉仕活動であるから、再度、今回の高原ガバナーの地区活動方針を遵守し、日々のロータリー活動の点検項目としたい。それは『四つのテスト』の延長線上の事であるから。この命題の成就・満点を目指し『奉仕と親睦』をベースに１年間努力する。自分の人生で最大の試練であり、楽園となるであろう。

【 経 歴 】

1985年1月	唐津西ロータリークラブ入会
2001～2002年度	会長
2000年	ポール・ハリス・フェロー
2004年	米山功労者

ガバナー補佐挨拶

第5グループ　ガバナー補佐
福　田　金　治
〈佐世保RC〉

２０１０-２０１１年度第５グループガバナー補佐に任命されました佐世保ロータリーの福田です。

私とロータリークラブとの出会いは、私が２３才の時、佐世保ローターアクトクラブのチャーターメンバーとして入会させて頂いたのが始まりです。その後３０才の時に佐世保ロータリークラブに入会させて頂きましたので、ローターアクト時代から通算しますと、４０年間という長い時間をロータリーとかかわりを持って生活してまいりました。ロータリー入会後は、地区委員、地区委員長も経験し、２００３～２００４年度　安部パストガバナーの時には地区幹事も務めさせて頂きました。

入会以来佐世保クラブの先輩会員、他クラブ、他地区の多くの方々のご指導により、今日まで大過なくロータリークラブ会員として責務をはたすことが出来てまいりました。

今後は、私がこれまでご指導いただきましたことを基礎として、後輩会員、これから入会される会員に、ロータリークラブを理解していただくお手伝いをしたいと思っております。

ガバナー補佐の任務については、手続要覧等に記載してありますが、一番重要な仕事は、担当グループのクラブ運営がうまくいく様に、ガバナーの仕事を補佐することだと思います。ロータリークラブは、国際ロータリー定款・細則、標準ロータリークラブ定款により運営されておりますので、グループ内の各クラブの方々と連絡をとりあい、各クラブの運営がとどこおりなく行える様に尽力したいと考えております。第５グループの各クラブの皆様には今年一年間、御協力、御指導の程、宜しくお願い致します。

【 経 歴 】

(ロータリー歴)
1977年5月　　佐世保ロータリークラブ入会
1991～1992年　クラブ幹事
2000～2001年　会計
2002～2003年　クラブ会長
(地区歴)
1987～1989年　地区ローターアクト委員
1990～1991年　地区ライラ委員
2000～2001年　地区職業奉仕委員長
2003～2004年　地区幹事
2006～2007年　財務委員長
1981年　ポール・ハリス・フェロー
1987年　マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
1999年　ベネファクター
2003年　マルチプル・ポール・ハリス・フェロー　大口寄付者
1986年　米山功労者
2010年　米山功労者　第18回メジャードナー

第6グループ　ガバナー補佐
志　久　雄　三
〈佐世保東RC〉

人は素晴らしい人と出逢うことに依り大きく成長し、多くの人と交わることに依り、人格も徐々に形成されていくものと私は思っております。

佐世保東ロータリークラブの会員がいくら減ったとは云え、ガバナー補佐の話が私にありました時、人並はずれて大雑把な私が、お引受していいのかなとも考えましたが、この際他クラブの高邁な方々と直に接して切磋琢磨することも人生で与えられた大きなチャンスじゃなかろうかと喜んで有難くお引受いたすこととしました。

７２歳となる高齢者で殊の外、五月蝿くなりつつありますが、皆様の慈悲の心でご寛容の程よろしくお願い申し上げます。

私は佐世保の商業団地で４０年以上営業を致しております。素晴らしい方々に囲まれて愉しい日々を送っておりますが、その人達ばかりしか知らないということも何となく淋しい憶いが致します。

教育者の方とも語り合い、銀行の方とも酒飲み交し、お医者さんにも教授いただき、百姓さんとも土に触れ乍ら、より多くの異業種の方々と交り学びたく存じております。よく、「ロータリーに入って損や？得や？」と聞かれる事があります。収支のことと思います。それも大切なことでしょうが、ロータリーにはそれを超えた目には見えないかも知れないものが…。仲々自分では気がつかないのかも知れないものが…。それは大きな得として存在しているように思えるのであります。

【 経 歴 】

1976年2月　　佐世保東ローリークラブ入会
1994～1995年度　会長
2008～2009年度　会長
　　ポール・ハリス・フェロー
　　米山功労者2回

ガバナー補佐挨拶

第7グループ　ガバナー補佐
笠　井　和　幸
〈大村RC〉

早いもので、大村ロータリークラブに入会して19年が過ぎました。19年の間に各委員長、クラブ幹事そして会長などいろいろ経験させていただきました。また、クラブの各周年や行事、ＲＩの100周年も経験させていただきました。さらに、昨年度は幸いにもクラブ創立50周年の節目にもかかわることができました。時により、人により教えられることばかりでした。そして、その時代の中で「ロータリーとは？」「奉仕の理想とは？」などと繰り返し学ばせていただきましたが、何一つとして確信が持てたものがございません。そのような私ですから再度勉強せよとのことで第7グループのガバナー補佐という大役が回ってきたものと思います。

今年度のレイ・クリンギンスミスＲＩ会長のテーマは、「地域を育み、大陸をつなぐ」です。高原武彦ガバナーは、このテーマを分かりやすく2740地区に置き換えたものとして「地域・家族と共に生き生きロータリー」を地区方針として推進されます。

ガバナー補佐の主な役割はガバナーとクラブのパイプ役だと聞いています。ＲＩおよび2740地区の方針を第7グループの各クラブに伝達すると同時に各クラブからの意見を地区に伝えていきたいと思います。

「ポール・ハリスがなぜロータリークラブを創ったのか？」「そのロータリークラブがどうして100年以上も続いているのか？」など、時にはロータリーの原点も考えながら、第7グループの皆様と友情の輪を広げていきたいと思っています。

大変未熟なガバナー補佐ですがロータリアンの皆様、どうか一年間ご指導下さいますようよろしくお願いいたします。

【 経 歴 】

1991年9月	大村ロータリークラブ入会
2002～2003年度	会長
2008～2010年	社会奉仕地区委員
	ベネファクター
	ポール･ハリス･フェロー

第8グループ　ガバナー補佐
橋　爪　　毅
〈諫早RC〉

第8グループガバナー補佐を拝命いたしました、諫早ロータリークラブの橋爪　毅です。一言ご挨拶申し上げます。

ロータリー歴は長いのですが、特に熱心だった訳でもありませんので、この大役はいささか荷が重いのですが、任命された以上は微力ながら何とか責務を果たしたいと思っております。5クラブの会員の皆さんには何かとお世話になることと思いますが、この一年間どうぞよろしくお願いいたします。

ＲＩ会長、高原ガバナーから今年度のテーマが示されました。ガバナー補佐の主な役目は、ガバナーの方針、意向をクラブに伝達し、クラブの意見を地区に伝えることだと理解しております。

ガバナーが今年度の地区目標の第一番目に、会員増強、退会防止をあげておられます。会員の減少は世界的な傾向とは言いながら、このままロータリーが衰退していくとは思っておりません。またそうあってはなりません。

ロータリーの原点は例会にあると言われています。出席率のアップは親睦を深めることになり、クラブの活性化につながります。クラブの力をつけるためには会員の増強が必要であり、退会防止に知恵をしぼらなければなりません。出席率をアップさせるようなアイデアがいります。

ロータリアンであるということはどういうことなのか、私自身意識の向上に努め自己研鑽にはげみ、ロータリアンでよかったと思えるような体験が出来ればと思います。ロータリーライフは、ひとつの生き方だと思います。出会いを喜び、親睦を深め、奉仕の理想に向かって、第8グループの皆さん、ロータリーライフを楽しみましょう。ご支援ご協力をお願いいたします。

【 経 歴 】

1968年3月	諫早ロータリークラブ入会
1985～1986年度	幹事
1991～1992年度	会長
1990年	ポール･ハリス･フェロー
2001年	米山功労者　3回

ガバナー補佐挨拶

第9グループ　ガバナー補佐

渡　邊　修　志

〈長崎西ＲＣ〉

ロータリーの皆様、ご縁あって再度お会いする事になりました。この度、第2740地区第9グループのガバナー補佐を拝命致しました、長崎西ＲＣの渡邊修志でございます。高原武彦ガバナーの下で、一生懸命務めさせて頂きますので、よろしく御支援御協力をお願い申し上げます。

ガバナー補佐要覧によると、ガバナー補佐の主な役割は、指定された担当ロータリークラブの運営について、ガバナーを援助する事とありますので、ガバナー補佐として、ガバナーと各クラブ並びに会員皆様とのパイプ役に徹しようと思う所存であります。どうか皆様方からの忌憚のない御意見を賜りたく存ずる次第であります。

ガバナー方針として「地域・家族と共に生き生きロータリー」という地区テーマが掲げられました。そこで“我らの生業”はその地域の中にあって、集いて図り、心をひとつにし、互いに親睦深めると共に、切磋琢磨し奉仕活動の向上に努める事が肝要であると思われます。その結果、地域社会の中で、職業奉仕、社会奉仕、青少年奉仕活動を通じて、何らかの形で地域社会に貢献すべきではないでしょうか。

これには先ず会員増強、奉仕活動の活性化も必要でしょう。それにはもう一度ロータリーの原点に立ち返って、足元からロータリー活動を見直す必要があるでしょう。回首原点、脚下照顧こそ“生き生きロータリー”活動の達成に繋がるものと思います。それでこそ、生き生きロータリーであります。

最後に、今から五年前、本城好春ガバナーにお仕えしてガバナー補佐を務めさせて頂きましたが、この度、再びご縁あってガバナー補佐の大役を仰せ付かることになりました。老骨に鞭打って、不惜身命ロータリー精神に基づいて頑張っていきたいと思いますので、皆様よろしくお願い申し上げます。

【 経 歴 】

1996～1997年度	会長
2005～2006年度	ガバナー補佐

第10グループ　ガバナー補佐

澤　山　俊　雄

〈長崎出島ＲＣ〉

2010-2011年度第10グループガバナー補佐を拝命しました長崎出島ロータリークラブの澤山俊雄です。

ロータリー歴は長崎出島ロータリークラブ創立（1998年）からですので、12年と短いにも拘わらず輪番制により大役を御引受けすることご容赦願います。

さて、考え方について述べよとのことですが、各クラブにおける問題点は異なりますので、まずはそれをお聞きしたいというのが私の正直な今の気持ちです。

ただ、私自身の地区委員での経験、自クラブでの活動を通じて日頃感じていることから述べさせて頂きますと、

1．RI本部の方針に全て迎合するのではなく、各地区の自主性即ちその年度のガバナーの方針・裁量に任せるということです。例えば、地区補助金を含むロータリー財団の資金用途についてももっと地区判断に委せるべきです。

2．会員増強はクラブ運営のためにも重要な事項ですが、勧誘を最優先するあまりロータリーの真の目的が正確に伝わらずに入会頂くと、クラブもその新しく入った会員のかたにも迷惑がかかると思いますので勧誘方法および勧誘時の説明については再考する必要があります。また　昨今の経済情勢より全国的に会員数減少クラブが顕在しますが、一つの方策としてクラブの統合も視野に入れて行く必要あるかと存じます。

3．出席率の向上については、メークアップの規定が各クラブで異なる場合もあるので、最低でも地区ごとに統一する必要があります。

4．国際交流についてですが、昨今社会人、学生とともに留学希望が減ってきていると報道されおり、ロータリーの一つの特徴である国際親善については、日本への受け入れだけではなく、日本からの輩出並びに地区毎の実現体制につき議論する必要があると地区委員の経験から感じます。

縷々申し上げましたが、最後にこの1年間ロータリーの友情のもと皆様のご協力、ご指導を仰ぎながら第10グループ各クラブの発展に少しでも貢献出来るよう尽力致しますので、皆様のご支援を宜しくお願い申し上げます。

【 経 歴 】

1998年4月	長崎出島ロータリークラブ入会
1998～2000年度	幹事
2003～2004年度	会長
2006～2007年度	財団奨学･学友地区委員
2007～2008年度	財団奨学･学友地区委員長
2008～2009年度	財団奨学･学友地区委員

文 庫 通 信 〈273号〉

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、２万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでＰＤＦもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。　以下資料のご紹介を致します。

新世代のためのプログラム

◎「最近の若者の心の叫び」　杉田　峰康　2010　7P
（第38回ロータリー研究会報告書）

◎「青少年交換･ローテックスおよびIACの現状と問題点」　関場　慶博　2010　4P
（第38回ロータリー研究会報告書）

◎「日本のRACとRYLAを含めての青少年奉仕活動」　海沼美智子　2010　6P
（第38回ロータリー研究会報告書）

◎「青少年の健全な育成と指導に何が必要か」　梨田　昌孝　2009　4P
（D.2660地区大会記録）

◎「ライラに参加して」　D.2840　2009　3P
（第8回ライラ研修報告書）

◎「RYLAの皆さんに期待するロータリアンの気持ち」　深川　純一　2009　5P
D.2670・D.2680（第31回青少年指導者育成セミナー報告書）

◎「人生 — いかによく生きるか」　阿部　志郎　2009　12P
D.2670・D.2680（第31回青少年指導者育成セミナー報告書）

◎「『少年少女ニコニコキャンプ』開催要項」　D.2660　2009　2P
（2008少年少女ニコニコキャンプ報告書）

［上記申込先：ロータリー文庫（コピー／ＰＤＦ）］

ロータリー文庫

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後5時　　休館＝土・日・祝祭日

ロータリーの偉人に学ぶ 元気の出る言葉

～松下幸之助氏の言葉より～

夢追えば、楽しい日々

こんなことをしてみたい。どこどこ行ってみたい。どのようなことでもよい。
将来の夢を持つことがどれ丈　人生を豊かにすることか。

高原武彦ガバナー公式訪問

	クラブ名	クラブ協議会	公式訪問		
			訪問日		例会場
第1グループ	佐賀	8月 5日(木)	8月12日(木)	夜	ホテルニューオオタニ佐賀
	小城	9月 8日(水)	9月 8日(水)		小城商工会館 2階ホール
	牛津	7月23日(金)	7月30日(金)	夜	「セリオ」内
	多久	8月12日(木)	8月12日(木)		多久商工会館 2階
	佐賀大和	7月27日(火)	7月27日(火)	夜	イタリアレストラン吉野屋
第2グループ	佐賀西	8月 9日(月)	8月 9日(月)		マリトピア
	佐賀北	9月 8日(水)	9月 8日(水)	夜	グランデはがくれ
	佐賀南	8月17日(火)	8月17日(火)	夜	ホテルニューオオタニ佐賀
	神埼	8月 3日(火)	8月 3日(火)	夜	割烹きはら
	佐賀空港	9月22日(水)	9月22日(水)		佐賀空港ターミナルビル3F
第3グループ	有田	9月21日(火)	9月28日(火)		大有田焼会館3階
	武雄	9月13日(月)	9月27日(月)		武雄センチュリーホテル
	鹿島	7月 6日(火)	7月13日(火)		鹿島商工会館3階
	嬉野	9月17日(金)	9月24日(金)		観光ホテル大正屋
	大町	9月 9日(木)	9月16日(木)		広場マーケット2階
	白石	9月15日(水)	9月22日(水)	夜	白石商工会館2階
	太良	9月 9日(木)	9月16日(木)	夜	太良ロータリークラブ会館
第4グループ	唐津	7月20日(火)	7月27日(火)		唐津信用金庫本店4階
	伊万里	7月21日(水)	7月28日(水)	夜	伊万里玉屋5階
	唐津東	7月15日(木)	7月22日(木)		唐津シーサイドホテル
	唐津西	8月 4日(水)	8月25日(水)		唐津市商工会館4階会議室
	伊万里西	7月 8日(木)	7月22日(木)	夜	伊万里迎賓館2階
	唐津中央	8月 6日(金)	9月17日(金)	夜	唐津ロイヤルホテル
第5グループ	佐世保	7月14日(水)	7月21日(水)		佐世保玉屋8階文化ホール
	平戸	9月 2日(木)	9月 9日(木)		文化センターレストハウス
	佐世保西	7月27日(火)	8月 3日(火)		ホテル万松楼「真珠の間」
	北松浦	9月 7日(火)	9月14日(火)		サンパーク吉井（ソレイユ）
	松浦	8月20日(金)	8月27日(金)		松浦シティホテル

クラブ協議会日程表

	クラブ名	クラブ協議会	公式訪問		
			訪問日		例会場
第6グループ	佐世保南	7月　9日(金)	7月16日(金)		ＪＡながさき西海させぼホール
	佐世保東	7月29日(木)	8月　5日(木)		ハウステンボスＪＲ全日空ホテル
	佐世保北	8月　2日(月)	8月　9日(月)	夜	㈱西沢本店８階カトレアホール
	佐世保中央	9月　2日(木)	9月　9日(木)	夜	セントラルホテル佐世保
	佐世保東南	9月　8日(水)	9月15日(水)		ハウステンボスＪＲ全日空ホテル
	HTB佐世保	9月　7日(火)	9月14日(火)	夜	ホテルヨーロッパ内宴会場「レンブラントホール」
第7グループ	大　村	8月10日(火)	8月24日(火)	夜	いけす寿楽
	島　原	7月13日(水)	7月20日(火)		島原南風楼
	雲　仙	7月24日(土)	7月24日(土)		ホテル東洋館
	大村北	8月　4日(水)	8月11日(水)	夜	長崎空港観光ホテル
	島原南	7月14日(火)	7月20日(火)	夜	原城温泉「真砂」
	大村東	8月　9日(月)	8月23日(月)	夜	長崎インターナショナルホテル
第8グループ	諫　早	8月20日(金)	8月20日(金)		水月楼
	諫早北	8月19日(木)	8月19日(木)		Ｌ＆Ｌホテルセンリュウ
	諫早西	8月11日(水)	8月11日(水)		平安閣　諫早サンプリエール
	諫早多良見	8月24日(火)	8月24日(火)		ホテルグランドパレス諫早
	諫早南	7月26日(月)	7月26日(月)	夜	諫早観光ホテル道具屋
第9グループ	長　崎	7月15日(木)	7月29日(木)		ホテルニュー長崎
	福　江	7月23日(金)	8月　6日(金)		カンパーナホテル
	長崎北東	7月28日(水)	8月　4日(水)	夜	長崎新聞文化ホール　アストピア
	福江中央	7月20日(金)	8月　6日(金)	夜	観光ビルはたなか
	長崎西	8月24日(火)	9月　7日(火)	夜	ホテルニュー長崎
	長崎琴海	8月19日(木)	9月　2日(木)		パサージュ琴海
第10グループ	長崎北	7月26日(月)	7月26日(月)		ホテルニュー長崎
	長崎南	8月　4日(水)	8月　4日(水)		長崎全日空ホテルグラバーヒル
	長崎東	9月　3日(金)	9月　3日(金)		㈱平安閣サンプリエール
	東長崎	9月　7日(火)	9月　7日(火)		協同組合長崎卸センター会館２階
	長崎中央	8月23日(月)	8月23日(月)		ベストウエスタンプレミアホテル長崎
	長崎出島	8月27日(金)	9月　3日(金)	夜	ホテルニュー長崎

RI第2740地区 地区主要

年月	強化月間	日付	ガバナー事務所	日付	地区委員会	日付	クラブ
7月	識字率向上月間	1 2 8 10	全国ガバナー会(東京) ロータリー財団 　地域セミナー 第1回　諮問委員会 第1回　ガバナー補佐会	3 11 18 25 31～1	米山奨学地区委員会 クラブ奉仕部門研修セミナー ロータリー財団奨学・ 　学友第1回研修会 社会奉仕部門セミナー インターアクト年次大会		
8月	会員増強月間		米山記念奨学評議委員会	7 8	米山奨学 　カウンセラー交流会 新世代部門セミナー		
9月	新世代月間	8～9 10	ガバナーエレクト 　研修セミナー（GETS） 2011～12年度 　地区研修リーダーセミナー 　（DTLS）	4 5 18 26	米山奨学クラブ委員長 　セミナー 国際奉仕部門セミナー 職業奉仕部門セミナー 国際青少年交換選考会		
10月	職業奉仕・米山月間		第2回諮問委員会 第2回ガバナー補佐会議	2	米山の集い	14 30	佐世保中央RC 　20周年記念式典 伊万里RC50周年 　記念式典
11月	RI財団月間	5～7 25 25 26～27	地区大会 第2回ガバナー会 第2回GETS 第2回ロータリー財団 　地域セミナー ロータリーゾーン研究会				
12月	家族月間		第3回諮問委員会 第3回ガバナー補佐会	19	ロータリー財団奨学・ 　学友第2回研修会		

2010～2011年度
行事予定表

年月	強化月間	日付	ガバナー事務所	日付	地区委員会	日付	クラブ
1月	R理解推進月間	16~23	国際協議会	16	米山記念奨学選考会		
2月	世界理解月間	26	2011～12年度 地区チーム研修セミナー			19	大村北RC35周年 記念式典
3月	識字率向上月間	12 31	会員増強表彰申請 2011～12年度 PETS兼幹事研修 セミナー RI会長賞申請必着	12	米山記念奨学生終了式･歓迎会		
4月	R雑誌月間	9	2011～12年度 地区協議会	10 16	ロータリー財団 奨学･学友第3回研修会 米山記念奨学生･ カウンセラーセミナー	16	大村東RC15周年 記念式典
5月		21~25	第4回諮問委員会 第4回ガバナー補佐会 RI国際大会 米国ルイジアナ州 ニューオーリンズ		ローターアクト年次大会 R財団国際親善奨学生選考会	7 8	平戸RC50周年 記念式典 佐世保RC60周年 記念式典
6月	親睦月間						

国際ロータリー第2740地区

RＩ会長
レイ・クリンギンスミス

ガバナー諮問委員会		
PG	逸見　嘉彦	佐世保南
PG	宮島傳兵衛	唐津東
PG	市瀬久米嘉	佐世保東
PG	佐古亮尊	大村北
PG	牟田勝輔	武雄
PG	辻　洋三	佐世保南
PG	野﨑元治	長崎
PG	武井洋一	佐世保
PG	隅田達男	伊万里
PG	安部直樹	佐世保
PG	栗林英雄	諫早北
PG	本城好春	唐津
PG	田口　厚	長崎
PG	野口　清	佐賀
PG	高城昭紀	島原

ガバナー指名委員会		
PG	逸見嘉彦	佐世保南
PG	宮島傳兵衛	唐津東
PG	市瀬久米嘉	佐世保東
PG	佐古亮尊	大村北
PG	牟田勝輔	武雄
PG	辻　洋三	佐世保南
PG	野﨑元治	長崎
PG	武井洋一	佐世保
PG	隅田達男	伊万里
PG	安部直樹	佐世保
PG	栗林英雄	諫早北
PG	本城好春	唐津
PG	田口　厚	長崎
PG	野口　清	佐賀
PG	高城昭紀	島原
G	高原武彦	有田

ガバナー・エレクト	
岩永信昭	長崎北東

地区拡大委員会		
野口　清	佐賀	
高城昭紀	島原	

財務委員会			
委員	馬郡謙一	佐世保南	
委員	高木義和	島原	

会計長	会計	金武康男	有田

編集長	月信	石川慶蔵	有田
委員	補佐	大宅洋二郎	有田
委員	補佐	深川祐次	有田
委員	補佐	川内　将	有田

事務局長	馬場重文	有田
補佐	横岳保雄	有田

地区委員会

①クラブ奉仕統括委員会		
◎	駒井英基	佐賀南
	佐藤　豊	長崎琴海
	古宇田れい子	佐賀南
	梅津哲夫	佐賀西
	永田武義	佐世保北
	助村房子	諫早南

②職業奉仕委員会		
◎	岩﨑修一	諫早北
	小松敏正	佐賀
	牟田則雄	太良
	太田武治郎	HTB佐世保
	小林靖明	諫早

③社会奉仕委員会		
◎	増﨑幸一郎	伊万里
	堤　光昌	佐賀
	片渕正人	白石
	松田裕二	HTB佐世保
	田嶋英夫	長崎北東

④新世代統括委員会		
◎	北郷雅子	長崎出島
	草野幸子	長崎出島
	藤岡良規	長崎
	小川　信	佐世保南
	瀬戸口智彦	長崎南

会員増強委員会		
◎	佐藤　豊	長崎琴海
	飯盛康登	多久
	大坪　豊	佐賀西
	塩澤恒雄	平戸
	井上　亮	佐世保中央
	高木義和	島原
	丸木覚誠	長崎北東

インターアクト委員会		
◎	草野幸子	長崎出島
	岸川正人	佐賀
	中尾嘉宏	佐賀北
	山口輝二郎	大町
	川添信雄	唐津中央
	松尾慶一	佐世保
	池富幸男	佐世保南
	里脇岩男	大村東
	永江圭爾	諫早
	中野　敏	長崎西

ローターアクト委員会		
◎	藤岡良規	長崎
	田尻隆士	佐賀
	折敷瀬三徳	鹿島
	古賀秀仁	伊万里西
	髙木友輔	佐世保
	上田康雄	長崎北

ライラ委員会		
◎	小川　信	佐世保南
	下村敬司	佐賀南
	辻　幸徳	唐津
	山口圭一	長崎西

2010～2011年度　地区組織図

ガバナー（ＲＩ役員）		
高原武彦	有	田

ガバナー補佐		
担当	氏　名	所属
1	下田龍二	多　久
2	小林正明	神　埼
3	山本　武	大　町
4	中島登志雄	唐津西
5	福田金治	佐世保
6	志久雄三	佐世保東
7	笠井和幸	大　村
8	橋爪　毅	諫　早
9	渡邊修志	長崎西
10	澤山俊雄	長崎出島

※クラブのグルーピングは従来どおり

ＲＩ理事		
2009～2011年度	黒田正宏	八戸南
2010～2012年度	近藤雅臣	千　里

ロータリーの友		
石川慶蔵	有	田

地区研修委員会		
委員	隅田達男	伊万里
委員	藤井義博	佐賀南
委員	岩永龍幸	伊万里
委員	百武裕二	松　浦
委員	馬郡謙一	佐世保南
委員	高木義和	島　原
委員	浜本好哉	長崎南

(財)米山記念奨学会		
2009～2011年度理事	栗林英雄	諫早北
2010～2011年度評議員	高原武彦	有　田
2010～2011年度評議員	岩永信昭	長崎北東

ガバナー事務所スタッフ			
役　職	担　当	氏　名	所　属
幹　事	総　括	酒井田正宏	有　田
副幹事	クラブ奉仕	徳永一雄	有　田
副幹事	職業･社会奉仕	嘉村泰幸	有　田
副幹事	新世代統括	福田雅信	有　田
副幹事	国際奉仕統括	金武康男	有　田
副幹事	財団奨学	池上清司	有　田
副幹事	米山記念奨学	下　今朝隆	有　田

PETS実行委員会		
委員長	中山武夫	有　田
副委員長	嘉村泰幸	有　田

地区協議会実行委員会		
委員長	嘉村泰幸	有　田
副委員長	中山武夫	有　田

地区大会実行委員会		
委員長	岡部景光	有　田
幹　事	深川祐次	有　田
事務局長	西山保広	有　田

（◎印は委員長）

新世代危機管理委員会		
顧　問	本城好春	唐　津
委　員	高原武彦	有　田
委　員	北郷雅子	長崎出島
委　員	前田博憲	佐賀西
委　員	瀬戸口智彦	長崎南
委　員	草野幸子	長崎出島
委　員	藤岡良規	長　崎
委　員	石坂和彦	大　村
委　員	曽我文雄	伊万里西
委　員	駒井英基	佐賀南
委　員	酒井田正宏	有　田
外部委員	中島英博	弁護士
外部委員	相内啓子	事務委託員

⑤国際奉仕統括委員会		
◎	前田博憲	佐賀西
	石坂和彦	大　村
	有田信一	長崎中央
	山田　晃	長崎南

⑥米山記念奨学委員会		
◎	曽我文雄	伊万里西
	西岡健次	牛　津
	本村　一	佐賀西
	樺島和行	武　雄
	白井　彰	唐　津
	大久保重敏	佐世保西
	中島閏二	佐世保北
	本多善彦	雲　仙
	小野秀喜	諫早西
	益田荘一	長　崎
	北郷雅子	長崎出島

国際青少年交換委員会		
◎	瀬戸口智彦	長崎南
	緒方うらら	佐賀大和
	原田恒俊	嬉　野
	白川十郎	伊万里
	川渕孝順	佐世保南
	戸村正司	HTB佐世保
	若杉能将	諫早多良見
	三山　格	長　崎

ロータリー財団委員会		
◎	石坂和彦	大　村
	香月　武	佐　賀
	森永　太	佐賀西
	木寺幸生	武　雄
	玉野哲雄	佐世保
	西川義文	大　村
	西　亮	長崎北東
	山田　晃	長崎南

財団奨学･学友委員会		
◎	有田信一	長崎中央
	笠　慶宣	佐賀南
	隅　康二	佐賀西
	野口道生	長崎出島

2010～2011年度

Ⅰ. 地区関係資金人頭分担金

（単位：円）

			08～09年度決算	08～09年度予算	10～11年度予算
(1)地区資金会計	地区資金		5,200	6,000	6,500
	地区大会分担金		6,000	5,300	5,300
	日本事務局分担金	R文庫協力金	300	300	300
		全国G会運営費	200	200	200
		平和奨学生支援金		15	15
	特別会計分担金	GSE分担金	500	500	0
		世界社会奉仕資金	360	360	360
	小計		12,560	12,675	12,675
(2)G事務所会計	G事務所分担金		4,200	4,300	4,300
	月信費		1,900	1,900	1,900
	小計		6,100	6,200	6,200
(3)国際青少年交換資金会計			2,000	1,800	1,800
計			20,660	20,675	20,675
予算算定基礎会員数			2,400	2,330	2,250

Ⅱ. 地区資金一般会計

（単位：千円）

			08～09年度決算	09～10年度予算	10～11年度予算	前年予算対比
収入の部	(1)地区資金		11,991	13,980	14,625	645
	(2)地区大会分担金		14,004	12,349	11,925	△424
	(3)日本事務局分担金		1,152	1,200	1,181	△19
	(4)特別会計分担金		1,983	2,004	810	△1,194
	(5)その他収入		1,198	0	0	0
収入合計（A）			30,328	29,533	28,541	△992
支出の部	**(1)ガバナー関係費**		6,542	6,400	6,700	300
		GE国際協議会	1,200	1,200	1,200	0
		全国G･PG会議費	2,643	2,500	2,500	0
		地区G･PG会議費	1,406	1,300	1,300	0
		各種会議費	868	900	1,000	100
		G記念品代	100	100	100	0
		渉外･広報費	325	400	600	200
	(2)地区活動費･補助金		16,712	14,949	14,525	△424
		地区大会	14,004	12,349	11,925	△424
		地区協議会	300	300	300	0
		PETS	337	300	300	0
		地区チーム研修セミナー	396	300	300	0
		インターアクト助成金	600	600	600	0
		ローターアクト助成金	700	700	400	△300
		RYLA助成金	300	300	600	300
		R財団学友会	75	100	100	0
	(3)G補佐費		1,425	1,500	1,600	100
	(4)地区委員会費		3,629	3,210	3,250	40
		クラブ奉仕	118	80	200	120
		出席※	0	0	0	0
		会員増強	89	200	400	200
		R情報･広報※	0	0	0	0
		R女性※	0	0	0	0
		職業奉仕	385	100	300	200
		社会奉仕	20	100	200	100
		新世代	68	100	100	0
		新世代危機管理委員会	0	0	0	0
		IA	1,152	1,250	600	△650
		RA	84	300	200	△100
		RYLA	39	50	200	150
		国際青少年交換	0	0	0	0
		国際奉仕	482	80	200	120
		R財団	373	300	300	0
		財団奨学･学友	352	350	350	0
		GSE※	0	100	0	0
		米山記念奨学	467	200	200	0
	(5)日本事務局分担金		1,152	1,200	1,181	△19
	(6)特別会計繰入金		2,183	2,204	810	△1,394
	(7)予備費･その他支出		386	70	475	405
支出合計（B）			32,029	29,533	28,541	△992
収支差額（A）－（B）			△1,701	0	0	0

※2010～2011年度は設置せず

地区関係予算

Ⅲ. ガバナー事務所・月信費会計

（単位：千円）

	08~09年度決算	09~10年度予算	10~11年度予算	前年予算対比
収入の部				
G事務所分担金	9,685	10,019	9,675	△344
月信費	4,174	4,427	4,275	△152
RI補助金	1,217	1,500	1,500	0
雑収入・その他	1,420	0	0	0
収入合計（A）	16,496	15,946	15,450	△496
支出の部				
公式訪問旅費	364	200	200	0
人件費	2,857	2,500	2,500	0
月信費	4,866	4,427	4,275	△152
通信費	582	600	550	△50
消耗品費	967	1,000	1,000	0
室料及び会議費	862	1,440	1,200	△240
旅費交通費	305	200	200	00
GE事務所費	5,400	5,400	5,400	0
直前G事務所費	100	100	100	0
予備費	193	79	25	△54
支出合計（B）	16,496	15,946	15,450	△496
収支差額（A）－（B）	0	0	0	0

Ⅳ. 国際青少年交換資金会計

（単位：千円）

	08~09年度決算	09~10年度予算	10~11年度予算	前年予算対比
収入の部				
国際青少年交換資金	4,612	4,194	4,050	△144
地区資金助成金	0	0	0	0
クラブ負担金	0	0	0	0
来日学生負担金	0	0	0	0
前年度繰越金	1,608	0	0	0
収入合計（A）	6,220	4,194	4,050	△144
支出の部				
学生滞在費補助	0	700	1,600	900
学生旅行補助	0	0	400	400
オリエンテーション費用	301	600	600	0
学生歓送迎費他	0	100	100	0
委員会費・全国委員会費	241	600	300	△300
印刷費他	138	200	150	△50
通信費	16	100	100	0
事務委託費	667	0	700	700
予備費	6	1,894	100	△1,794
支出合計（B）	1,369	4,194	4,050	△144
収支差額（A）－（B）	4,851	0	0	0

Ⅴ. 特別会計

（単位：千円）

	年度	期首残高	収入	支出	期末残高	備考
世界社会奉仕	08~09年決算	8,708	830	398	9,140	
	09~10年予算	9,140	839	—	A	
	10~11年予算	A	817	—	B	
GSE	08~09年決算	7,118	1,153	0	8,271	
	09~10年予算	8,271	1,165	—	A	
	10~11年予算	A	0	0	A	
規定審議会	08~09年決算	200	200	0	400	
	09~10年予算	400	200	600	0	開催年度
	10~11年予算	0	200	0	200	

報告のしおり

報告の種類	報告期日	期限	摘要
半期報告	前期　10年7月1日 後期　11年1月1日	RI事務所から送付された用紙を使用	RI日本事務局経理室
次年度会長・幹事決定報告(公式名簿掲載資料)	10年12月31日	RI事務所から送付された用紙を使用	RI日本事務局奉仕室 ガバナー事務所 ガバナーエレクト事務所
クラブ事務所通知（変更の場合）	都度速やかに	書式自由	RI日本事務局奉仕室 ガバナー事務所 ロータリー友事務所
会員の入会・退会・変更	都度速やかに	RI所定の用紙を使用	RI日本事務局奉仕室 ガバナー事務所
会長・幹事変更、例会日時・場所等	都度速やかに	書式自由	RI日本事務局奉仕室 ガバナー事務所 ロータリー友事務所
クラブ月報I	毎月7日	所定の用紙	ガバナー事務所
クラブ月報II	毎月15日	所定の用紙	ガバナー事務所
国際大会信任状	11年4月末日	RI事務所から送付された用紙を使用 会長・幹事の署名が必要	2010～2011年度 ガバナー事務所

《報告先》

◇国際ロータリー日本事務局
〒115-0045
東京都北区赤羽2-51-3　NS3ビル1階
（奉仕室）Tel. 03-3903-3161
Fax. 03-3903-3781
（財団室）Tel. 03-3903-3192
Fax. 03-3903-3781
（経理室）Tel. 03-3903-3183
Fax. 03-3903-3781
（資料室）Tel. 03-3903-3194
Fax. 03-3903-3781

◇ガバナー会事務所
〒105-0011
東京都港区芝公園2-6-15　黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3433-6497
Fax. 03-3433-7395
govkai@orange.ocn.ne.jp

◇ロータリー文庫
〒105-0011
東京都港区芝公園2-6-15　黒龍芝公園ビル3階
Tel. 03-3433-6456
Fax. 03-3459-7506

◇ロータリーの友事務所
〒105-0011
東京都港区芝公園2-6-15　黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651
Fax. 03-3436-5956
web@rotary-no-tomo.jp（問合せ）
henshu@rotary-no-tomo.jp（投稿）

◇財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011
東京都港区芝公園2-6-15　黒龍芝公園ビル3階
Tel. 03-3434-8681
Fax. 03-3578-8281
mail@rotary-yoneyama.or.jp

◇ガバナー事務所
〒844－0027
佐賀県西松浦郡有田町南原丁175-5
Tel. 0955-25-9110
Fax. 0955-25-9120
ri2740takahara@triton.ocn.ne.jp

送金のしおり

	送金資金の種類		金　　額	期　　限	振　込　先
人頭分担金	RI 人頭分担 前期　10 年 7 月 1 日現在会員 後期　11 年 1 月 1 日現在会員		（年頭 US＄　50.00） US$　25.00 US$　25.00	10年7月1日及び11年1月1日の会員数を基準に7日以内に送金手続きを完了する。	【三井住友銀行】 新宿通支店（普）6733244 国際ロータリー　日本事務局 事務局長　大島　四郎
	中途入会会員 RI 人頭分担金 ※新会員の入会年月日により納入額が変わります。		※1．下記参照	請求書にて請求された時	
	規定審議会の為の追加人頭分担金		上期のみ US$1.00	10年7月1日	
	地区資金等	地　区　資　金	年間　6,500円（半期　3,250円）	10年7月1日及び11年1月1日の会員数を基準に7日以内に送金手続きを完了する。	【佐賀共栄銀行】 有田支店（普）1057458 国際ロータリー第 2740 地区 2010-2011 年度 地区会計長　金武　康男
		ロータリー文庫協力金	年間　300円（半期　150円）		
		全国ガバナー会運営費	年間　200円（半期　100円）		
		平和奨学生支援金	年間　15円（後期のみ 15円）		
		世界社会奉仕資金	年間　360円（半期　180円）		
		ガバナー事務所費	年間　4,300円（半期　2150円）		
		ガバナー月信購読料	年間　1,900円（半期　950円）		
		国際青少年交換資金	年間　1800円（半期　900円）		
		小　　計	年間 15,375円（前期　7,965円）		
		地区大会分担金	年間　5,300円	10年10月1日	
寄付金	ロータリー財団寄付金		寄付者：個人 / クラブ 寄付分類： 年次寄付 一人 100 ドル以上目標 恒久基金 1000 ドル以上でベネファクター ポリオ・プラス その他	随　時	【三菱東京 UFJ 銀行】 本店（普）1528228 国際ロータリー　日本事務局 事務局長　大島　四郎
					【三井住友銀行】 本店営業部（普）0968049 国際ロータリー　日本事務局 事務局長　大島　四郎
	ロータリー米山記念奨学会 寄付金		＜普通寄付＞ 金額×会員数（7月1日、1月1日現在）	10年7月1日 11年1月1日	【三井住友銀行】 京橋支店（普）0920373 （財）ロータリー米山奨学金
			＜特別寄付＞ 準米山功労者　3万円以上 10万円未満 米山功労者　10万円以上 準米山功労法人　5万円以上 50万円未満 米山功労法人　50万円以上 100万円未満 米山特別功労法人　100万円以上	随　時	
その他	ザ・ロータリアン誌購読料		一部・半期分　US$　12.00	10年7月1日 11年1月1日	RI 人頭分担金と同じ
	「ロータリーの友」購読料		一部・半期分　1,260円（税込）	10年7月1日 11年1月1日	【三井住友銀行】 浜松町支店（普）6326314 ロータリーの友事務所
	文　献　資　料　代		表示価格	随　時	

※1．中途入会会員RI人頭分担金について

新入会員の入会年月日により納入額が変わります。

★（25ドル【半期RI人頭分担金】÷6【半期月数】）×残月数にて計算

7/2～8/1入会者については、（25÷6）×5＝20.8333・・・となり、端数を四捨五入にて計算し20.83ドルとなります。

新会員の入会年月日		半期人頭分担金
前期（2010年）	後期（2011年）	
7月　1日	1月　1日	25.00ドル
7月　2日　～　8月　1日	1月　2日　～　2月　1日	20.83ドル
8月　2日　～　9月　1日	2月　2日　～　3月　1日	16.67ドル
9月　2日　～　10月　1日	3月　2日　～　4月　1日	12.50ドル
10月　2日　～　11月　1日	4月　2日　～　5月　1日	8.33ドル
11月　2日　～　12月　1日	5月　2日　～　6月　1日	4.17ドル
12月　2日　～　12月31日	6月　2日　～　6月30日	0ドル

※現在端数分の金額を四捨五入数値にて計算しておりますが、RIからの請求により金額が変動致しますのでご了承下さい。

滋の博記念堂前にて撮影（2010年5月15日 地区協議会）

国際ロータリー第2740地区

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2010－2011 年度ガバナー　高 原 武 彦

ガバナー事務所

〒844-0027　佐賀県西松浦郡有田町南原丁175-5

TEL：0955-25-9110　FAX：0955-25-9120

背景の写真は日本磁器発祥の地「泉山磁石場」

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010ー2011年度
国際ロータリー第2740地区　ガバナー　高　原　武　彦

地域を育み、大陸をつなぐ

有田の宝物①
濁手撫子文大皿（九州陶磁文化館 蔵）
柿右衛門窯は日本磁器発祥の地、有田の中でも特に赤絵を創始した窯である。乳白色の素地に映える鮮やかな文様は、ドイツのマイセン窯をはじめ世界の焼物に多大な影響を与えた。現在もその技術は継承されている。

CONTENTS

高原武彦ガバナー …… 1
「ロータリーの友」地区委員 …… 2
ガバナー補佐・リレー随想 …… 3
委員長挨拶 …… 4
会員増強月間を考える …… 11
ハイライトよねやま …… 12
米山奨学生挨拶 …… 14
文庫通信 …… 20
地区大会のご案内 …… 表4

vol.2
2010.8.1

2010年～2011年
ガバナー **高　原　武　彦**

暑中お見舞い申し上げます。

8月号ガバナー月信の原稿〆切の日、未だガバナーエレクトである小さな町のロータリークラブがガバナーを引き受けたことでクラブ会員一同が生き生きと頑張っていて、より活気ある例会となっている。

地区大会と云うプロジェクトは自分達のもの、自分達で企画して実践したい意識のもと、目標達成に向って実行委員長・会長・会長エレクトを中心に討議を重ねている。新入会員の皆さんも積極的に参画してもらっていることが嬉しい。

クラブ協議会を毎週重ねて会員全員で考え意見を出して企画運営会議のメンバーで審議決定している。会員の全員に周知を徹底させて進めている。

月信が皆様方に届けられる頃にはキャラバン隊も出発可能になり、お願いに参ることと思います。

2740地区の会員の皆様方がより多数参加して頂き、大会を盛り上げ良い研修会になるように願っています。

ふるさととロータリアンの繁栄の指針
「ロータリーの友」と「ガバナー月信」の願い

ロータリーの友 地区委員　石　川　慶　蔵

22年５月10日メルパルク東京で開催された「ロータリーの友」のオリエンテーションに出席し、下記の内容を学びあつた。

１、「ロータリーの友」の基本方針と新企画

（１）「より近くに、より親しまれる友の編集」を目指して今後も「ゾーン別会議」や地区情報提供により内容充実に努めたい。

（２）表紙の新シリーズ　スタート。

・日本の豊かな自然環境をテーマにプロの写真家の作品を掲載。

（３）新企画について

①縦組み企画‥「クラブ担保―手に手」を終了し、真摯に仕事に取り組む個人をシリーズ化する。
仕事に対する考え方、取組み方等、人と生き方にスポットをあてる。
都会と地方、経営者と専門家等多様な取材記事。各地区の推薦をお願いしたい。

②横組企画‥「今、世界で何が起こっているのか？」

・現地に住み働いている人や現地を取材してきたジャーナリストの記事を連載。
この現実を放置してよいのか？奉仕活動の根幹を考える内容としたい。

・「家族に知らせたいROTARY」は、終了し「今月のロータリーの出来事」としてスタート。
100年以上の歴史の中から、重要な出来事を選び、「ロータリーとは？」を考えてもらう。

２、「ガバナー月信」の基本方針について

高原ガバナーのテーマ「地域・家族とともに生き生きロータリー」をより解り易く具体的に紹介する。
同時に各地区の「宝物探し」を提唱し、写真や記事で呼びかけていきたい。

（１）「月信」はガバナー方針を的確にわかりやすくメンバーに伝え、会員の親睦と奉仕活動を通して地域社会の発展に貢献する機関誌である。

（２）「月信」は、「感謝と奉仕の心」を地域社会や各職場で実践することを喜びとしその活動を広く知らしめる機関誌である。

（３）執筆者および各クラブに対しては、下記の点を強くお願いしている。

・読者であるロータリアンが誇りを持ち「わくわくドキドキ」する内容（心を高める）としてほしい。

・配布時には、ガバナー方針や重点記事を各クラブで必ず紹介してほしい。

１、ロータリーの偉人に学ぶ

35年前の大阪ロータリークラブの週報（1975年・７月７日記載）を読んだ。
松下幸之助氏が「時事雑感」と題し「弱いようで強いのが人間」「今は、国に要求のときではない」と自主独立の大切さを卓話で話されている。
不況時、緊急提言「崩れゆく日本をどう救うか」を出版され、大きな反響を呼んだ。
松下氏81歳。
私は、PHP研究所在籍時、松下氏がロータリーのバッジをはずされた姿を
見たことがない。
自らの経営理念とロータリー精神とを常に重ねあわせておられたと思う。
「経営とは感謝と奉仕の心だよ」と‥
その横に93歳の佐賀県出身の江崎利一氏（グリコ創業者）が元気で出席されている。
「その心意気やよし」２人の偉大なロータリアンに元気をもらっている。

【 略 歴 】

2004年10月12日　　有田ロータリークラブ入会

ガバナー補佐・リレー随想

第1グループガバナー補佐　下　田　龍　二

第1グループのガバナー補佐に就任しました下田龍二です。やっていけるか～？ 心配な毎日を過ごしています、ここまできたら～何とかなるだろうと開き直っています。

ガバナー事務所より原稿依頼がきて、文才がありませんので困ってしまいました。私は職業分類が薬剤師ですので、薬のことでしたら少しぐらいは頭の隅には残っていますけど、とりあえず前任者と同じようにわが町の話をします。

わが町、多久市は昔では炭鉱の閉山、最近では経済の衰退に伴って人口も激減しております。何とかなりませんでしょうか？ロータリーの知恵をお借りしたい気持ちでいっぱいです。

総務省の人口動態によると（2007年を100とすると）2020年の指数は84.2で2035年は指数が68.4で人口が15551人と推定されています。これからの若い人たちには明るい未来が必ずやって来ると言ってあげたいと思いますけど、自信がありません。先行き不安です。

先日来、7月からの船出に向けてガバナー補佐の研修、地区協議会そして第1グループ、第2グループ合同のＩ・M、合同例会についての打ち合わせ等をやってきました、ＲＩ元会長の言葉に「ロータリーは、画一化ではなく結束である」と言われています。地域や各ロータリークラブによっては、それぞれに特性があります。それぞれの地域の特性やクラブの個性を生かしながらも、「結束」していってこそ明日があると思われます。現在のような不安定な時代には、やはり「結束」が必要ではないでしょうか？ロータリーでは会員同士、クラブ同士そして地域同士がこれからも「結束」を深めていきたいものです。

昔、読んだ本に感銘を受けた言葉があります。

出光興産の創業者（出光佐三）の言葉に次のようなものがあります。

「わが社の資本はカネでなく、人間だ。カネは資本の一部だ。人生の目的はカネではない。社会大衆への奉仕だ。またいちばん大切なのは人。人が第一であって人が事業をつくり、事業がカネをつくる。カネは人についてくる」

この言葉にはロータリーの精神があるようにも思われます。忘れることが出来ません。

委員長挨拶

クラブ奉仕統括委員会委員長

駒　井　英　基

〈佐賀南RC〉

昨年から引き続き、クラブ奉仕統括委員長を引き受けております。よろしく御願いいたします。

この10年間、全国的なロータリークラブの会員減少によって当地2740地区も10年前には3000人を越える会員がありましたが、今年度の当初における会員数は、2230人ほどでスタートしております。このため、今年度も出席、広報、女性各委員会を統合してクラブ奉仕統轄委員会として活動するようになりました。

もとよりその活動目的からすれば最優先事項となる会員増強部門に関しては、別に編成する佐藤委員長率いる会員増強委員会とともに活動していくことになりますが、今年もクラブ奉仕部門に精通しておられる人材に恵まれることになり、精力的に諸問題に取り組んでいきたいと思います。

この中でも会員増強は急務となっており、高原ガバナーの今年度目標としてぜひとも各クラブ２名、地区として114名の会員純増を目指したいとの方針です。昨年度も各クラブの皆様方の大変な努力によってかなりの数の新会員に入会いただきながら、同時に退会者も出てしまった経緯もあります。

これには、昨今の経済不況の影響もあろうとは思いますが、せっかく入会いただいていながら、ロータリーに対する情報がいきわたっていなかったために入会３年未満での退会された方も多数おられたのではないかと考えております。

このような対策として、入会間もない会員用のマニュアルを作成しております。今年度は、会員増強の努力に加えて、このマニュアルなどを活用しながら入会歴の浅い会員の方々へのロータリーに対する理解を深める努力をしてみたいと考えております。

【 経 歴 】

1985年	佐賀南RC入会　チャーターメンバー
1991～1992年	佐賀南RC幹事
2001～2002年	地区職業奉仕委員
2003～2005年	地区職業奉仕委員長
2007～2008年	地区クラブ奉仕統括委員
2008～2009年	佐賀南RC会長
2009～2011年	地区クラブ奉仕統括委員長

会員増強に使命感と全エネルギーを

会員増強地区委員会委員長

佐　藤　　豊

〈長崎琴海RC〉

新ロータリー年度を迎え、会長・幹事をはじめ、会員増強委員会の皆様も大いに燃える心で計画を推進されていることでしょう。

高原ガバナーは前年に続き、2名純増を目標と発表されました。私達は8月が会員増強月間であることから、早速、具体的な計画と行動を示すことが必要です。

ご承知の通り、会員増強に関する周辺事情は相当厳しい状況です。

統計資料によれば、日本のロータリアンの会員数は12年連続減少しています。私達の第2740地区も8年連続減少という厳しい現状です。この傾向は、社会不況、生活の多様化、価値観の変異など幾多の原因が考えられます。

一方、世界に目を向けると、ポリオの点在、エイズの蔓延、食料危機、飲料水の絶対的不足、発展途上国の不衛生な環境、教育の機会を失う子供達、天災による被害などロータリアンがお手伝いできる事柄は無数あります。

日本国内においても、自殺者の増加、孤立化する高齢者、麻薬に手を染める若者、教育の崩壊危機など、懸念材料があります。１人の努力では実現できなくても、ロータリアンの力の結晶によって、多くの人々のお手伝いができるのです。

ロータリーの奉仕の理念は不変のものであり、１人でも多くの方々(未来のロータリアン)をポール・ハリスの奉仕の理想実現のためにクラブへ入会して頂けるようご案内しましょう。57クラブが心を一つに合わせて、しかも強い使命感の中で、会員増を目指して積極的に進めましょう。

前述の理由から考えると、相当の決意と全エネルギーを集中しないと目標達成は実現できません。会員増強は8月が強調月間ですが、私達は通年の活動として推進してまいりましょう。昨年から本格的に動き出した広域的な会員増強ネットワークは大きな飛躍の基礎となれると思います。

会員増強に対する使命感とどの程度エネルギーを集中できるかは、日本のロータリーの浮沈を左右する事柄です。

「地域を育み、大陸をつなぐ」ためにも会員増強に全力を注いでまいりましょう。

57クラブの深いご理解とご支持を心からお願いします。

【 経 歴 】

1992年3月12日	長崎琴海RC入会
1994～1995年	幹事
1999～2000年･2004-2005年	会長
2009～2010年	第9グループガバナー補佐

委員長挨拶

職業奉仕委員会委員長
岩　崎　修　一
〈諫早北ＲＣ〉

ロータリーの奉仕の中でも「職業奉仕」は難しくて良くわからないという方が多く、いまひとつ理解できないと良く聞きます。そこで、本年度も昨年度に引き続き、「職業奉仕」の意味について、会員自身にしっかり考えていただくことにいたしました。
そのための具体的な活動は次のとおりです。

① 各クラブの職業奉仕員委員長さんに、「職業奉仕」の例会卓話をしていただき、会員の「職業奉仕」に対する関心を高めていただく。

② 炉辺会合（家庭集会）の討議テーマとして「職業奉仕」を取り上げてもらい、「職業奉仕」に対する会員の理解を深めてもらう。

この２つを実施していただくことで、「職業奉仕」を真剣に考えていただく機会が、本年度も最低２回あることになります。よろしくお願いいたします。

なお、来る９月18日（土）には職業奉仕委員長セミナーを開催致します。廣畑富雄パストガバナーを講師にお迎えして、「職業奉仕」の理解に役立つ研修をしていただきます。クラブで卓話をしていただく上で、参考になると思います。
以上のとおり、本年度の職業奉仕委員会は、クラブ会員の皆様方に「職業奉仕」の意味を問いかけ、職業奉仕概念について考えて頂き、職業奉仕理念の理解を深めていただくお手伝いをすることを活動目標といたします。

職業奉仕委員長セミナー 開催日程
平成22年９月18日（土）　13:30～16:30
佐賀県立九州陶磁文化館
講師　廣畑　富雄（ひろはた　とみお）氏
第2700地区福岡西ロータリークラブ
パストガバナー
九州大学医学部　名誉教授

【 経 歴 】

1992年11月	諫早北ロータリークラブ入会
2005～2006年	国際青少年交換委員会委員
2009～2010年	職業奉仕委員長

社会奉仕委員会委員長
増　﨑　幸一郎
〈伊万里ＲＣ〉

今年度社会奉仕委員長を務めさせていただくことになりました伊万里ロータリークラブ所属の増﨑と申します。本稿は、「ガバナー月信」第2号に掲載とのことです。暑さが厳しい季節に配布されます。地区内ロータリアンの皆様には、まずもって暑中お見舞いを申し上げ、併せて一年間のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

さて、さっそく本題に入らせていただきたいと思います。本年度の当地区社会奉仕委員会のテーマは、「原点に立ち戻って考え、そして行動しよう！」です。これは今年度の国際ロータリーのテーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」と同地区テーマ「地域・家族と共に生き生きロータリー」の趣旨に則っています。かたい話で恐縮ですが、ロータリー・クラブ定款第4条綱領に「ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある。」とあり、その3項には「ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。」とあります。親睦は大切です。奉仕も大切です。親睦と奉仕の調和をこころがけながら活動していただければと思います。そして、継続中の奉仕活動のチェック、新規奉仕活動へのトライ、国際ロータリー会長賞、同特別会長賞へのトライなどについてもよろしくお願い致します。

【 経 歴 】

1991年3月	入会
1997～1998年	A委員
1998～1999年	A委員長
1999～2000年	新世代委員長
2000～2001年	新世代委員長兼IA委員長
2001～2002年	R財団委員
2002～2003年	R財団委員長
2009～2010年	クラブ奉仕統括委員

委員長挨拶

これからの抱負

新世代統括委員会委員長

北　郷　雅　子

〈長崎出島ＲＣ〉

今年度、新世代統括委員長を拝命いたしました。これまでは米山記念奨学会の事業活動に係わって参りましたので、新世代統括の仕事につきましては少しながら戸惑いもありますが、前委員長や、それぞれの四名の委員長のご指導とご協力とで、地区としての新世代の活動を有意義なものにするお手伝いをしたいと思っています。

新世代統括委員会には　インターアクト、ローターアクト、ライラ、国際青少年交換の四委員会があり、14歳から30歳までの若い世代の育成を担う委員会です。特に、インターアクト、ローターアクト、ライラの３委員会は連携を取って活動をしています。インターアクトからローターアクトへの道筋を付けることも、将来の新世代の会員増につながると思います。前年に引き続き、複数のロータリークラブで1つのローターアクトを提唱することも提案していきます。

ライラは来年第32回目の大会が福江ＲＣのホストクラブで開催されます。インターアクト始め、新世代の会員が五島・福江で新しい体験を出来、ロータリアンとの交流を通して、奉仕の精神を学んで将来のリーダーになれる人材が育つことを見守りたいと思います。

青少年交換留学委員会は日本と海外の交換学生を単独クラブでお世話することのほかに「マルチシステム」として諫早地区の数クラブ共同でプログラムを実行しています。

今後は、昨今のロータリー内のマイナス要因（減少、高齢化、財政苦境など）の中で、ロータリアンと新世代会員と共にいかに充実した経験を出来るかを工夫をする必要もあると思います。指導に当たるロータリアンたちも体力的に無理が無く楽しく、若い人たちに魅力ある内容も含めて考えて生きたいと思います。また、地区の皆様方といろいろな機会に交流を深めることが出来ますよう、新世代の会員にお声かけをお願いいたします。

8月8日には　新世代部門地区セミナーを開催いたします。四委員会の事をご存知の方も、始めての方も、一緒になって地区内の若い世代のリーダーたちを育てて行きたいと思います。上手くコーディネイトすることが新世代統括の仕事だと思いますので、一年間よろしくお願いいたします。

【 経 歴 】

1999年1月	長崎出島ロータリークラブ入会
2005～2007、2010～2011年	地区米山奨学委員
2007～2010年	地区米山奨学委員長

地区委員長になって思う事

インターアクト地区委員会委員長

草　野　幸　子

〈長崎出島ＲＣ〉

インターアクト委員長を拝命して今回が２度目になります。だんだん少子化になっていくなか、インターアクト会員になる生徒も減って各学校もインターアクト生を集めるのも大変な時期にきていると思いますが、ある志をもってインターアクト生になっている生徒たちがたくさん集まってくれてるなと感じました。と申しますのは今年５月にありました前期指導者研修会での事でした。全大会のあと各学校の指導者とロータリアン、それから各学校のローターアクト生徒たちと２つに分れて話合いを行い、それぞれ交流を持ちグループに分れてディスカッションをし、どういう活動を行っているか、会員増強はどういう風にしているか話合い、色んな意見交換ができました。その中で色々なグループをまわってみましたが、ここに集まっている生徒たちはしっかりとした考えを持ち、ボランティアに対しても気持ちの優しい生徒たちばかりで驚かされました。ボランティア活動に情熱を傾け他校との親睦を深め、日々を成長しているように思います。年次大会にも毎年出席してみてそれぞれの学校の特色を活かしたテーマ作りをし、みんなをひっぱっていってくれるし何分にも年次大会１日目の夜にある「夕べの集い」では生徒たちの生き生きとした姿をみるにつけ近い将来ロータリアンになってくれる要素十分だと思います。提唱ロータリアンも一緒になって１つの目標に向かって何かを成し遂げるという姿勢はとても他では真似出来ないものと思います。今年の年次大会は長崎南ロータリークラブと長崎女子商業高校がホストになり７月３１日～８月１日に行われます。「街を語り、人とふれあう～世代を超えて～」という題目にもあるように知識豊かな方々の話に耳を傾け現在自分たちが住んでいる長崎・佐賀の良さを再発見し、郷土愛を大切にして、それぞれの県の発展の為に尽力してくれる人を育てる意味でも今年の年次大会はとても有意義な大会になると確信しています。

是非進んでロータリアンに方々も参加して頂きたいと思います。

【 経 歴 】

1998年9月3日	長崎出島RC入会(チャーターメンバー)
2003～2004年	新世代地区委員
2004～2005年	新世代地区委員長
2009～2010年	新世代地区委員
2010～2011年	新世代地区委員長
2006～2007年	ベネファクター

委員長挨拶

ローターアクト提唱クラブの皆さまへ

ローターアクト委員会委員長

藤　岡　良　規

〈長崎ＲＣ〉

ローターアクトは、いわゆるロータリーにおける新世代部門の１事業であります。当２７４０地区内では、現在１２クラブに提唱を頂いております。

ロータリークラブ自体の会員増強すら困難な経済環境の中で、現在提唱頂いていないクラブや以前提唱頂いていたクラブに対し、アクトクラブの新設や復活をお願いするつもりはありません。ここは敢えて、現在提唱頂いているクラブの皆さまに向けて書かせて頂きます。

前述の通り、非常に厳しい環境下において、ローターアクトを維持していくのは大変なことと思います。アクターという「人の係わる事業」であり、通年の例会もありますので金銭もかかります。昨今のロータリークラブの予算状況を鑑みますと、個人的には正直なところ存続の危機感も持ちはじめております。

しかしながら、若者が少人数でもなんとか地域の役に立ちたい、そのプロセスの中で自らを高めたいと切望している中で、先輩である私達ロータリアンが手を差し伸べ続けることこそが非常に大切だと思っております。こういう厳しい時代だからこそ、若者の育成が必要なのではないかと考えます。また、ローターアクトには、４０年の歴史のあるクラブもございます。４０年間の歩みを止めてしまうのは本当に勿体ないことと考えます。提唱クラブの皆さまには、その火を消さないように何卒お願い申し上げます。

本年度のローターアクトは「会員の増強」「例会の充実」「ロータリーとの絆の強化」を柱に、楽しくマジメに活動をしていきたいと思っております。提唱クラブの皆様のご支援をお願い致します。

【 経 歴 】

2005年	長崎ロータリークラブ入会
2008～2009年度	ローターアクト地区委員
2009～2010年度	ローターアクト地区委員長

ライラ委員会委員長

小　川　　信

〈佐世保南ＲＣ〉

2010～2011年度ライラ地区委員長を仰せつかりました、佐世保南RC小川でございます。皆様の御指導と御協力宜しく御願い致します。

RYLA（ライラ）は、ロータリー青少年指導者養生プログラムで、14歳から30歳の若者が集まり、リーダーシップスキルと人格を養いながらロータリーについて学ぶ、集中研修プログラムです。才能豊かな若者達を第2740地区のロータリアンが主催するセミナーです。楽しみ、友人をつくりながら、青少年とロータリアンが討議し指導力と伝達力を磨き、同世代の仲間や人生の先輩たちと共に学ぶ機会を提供します。

2740地区RYLAは、国際ロータリー75周年の記念で第1回が開催され、途絶えることなく今期は第32回を迎え、福江ロータリークラブさんのホストで開催されます。

RYLAに参加した青少年達は、職場・学校に帰りロータリーの認識を高め、ロータリアンは素晴らしいロータリー活動を次世代へ推進することができ、青少年達が将来ロータリアンになることを望み、ロータリーを高く評価してくれると思います。

今回は福江ロータリークラブさんには、大変御迷惑をお掛け致します。

2740地区の会長・幹事さん、新世代の委員の皆様、御支援御協力の程宜しく御願致します。

尚、前回ホストされました佐世保南RCの会長様、実行委員長様、各委員の皆様方に感謝申し上げます。

【 経 歴 】

1959年9月	佐世保南RC入会
2008～2009年度	地区ライラ委員
2009～2010年度	地区ライラ委員長

委員長挨拶

国際青少年交換委員長としての抱負

国際青少年交換委員会委員長

瀬戸口　智　彦

〈長崎南ＲＣ〉

今年度も再度青少年交換事業に携わることになりました。昨今の厳しい情勢を考慮しますと青少年交換事業が皆様にとってより身近なものになる事を期待してこの交換事業を継続させていただきます。

①**国際交換事業**とは異文化のぶつかりあいです：

この事業は事情の異なる未知の外国との異文化の衝突と理解です。困難な中にお互いの意思の疎通を図ることによって問題を解決し、次世代の日本を背負って立つ若者を育てると同時に事業に携わることによって関係ロータリアンの皆様も感動を共有できることになります。

即ちこの青少年交換事業は将来を担う新世代に交換留学制度を通じて国際理解・国際親善を果たして貰うという、ロータリーの重要な国際奉仕活動なのです。派遣また来日学生を通して身近なところで、またとない国際交流を体験できる貴重な機会になるものと思っています。

②**不況の風**：

世界とくに米国を中心にした世界不況の影響下で、交換事業そのものに経済的に困難をきたしています。ある程度余裕のあるクラブと会員数の少ないクラブでは自ずとその対応に差がでてきます。しかし近年諫早地区では数クラブが合同で事業を共同するという新しいマルチクラブ方式が少しずつ発展してきております。

③**それでも感動**：

本プログラムへの参加には経済的のみでは無く、物心両面での奉仕活動をお願いする事となります。ひとりでも多くの学生がこの素晴らしいプログラムの下、親善大使として異文化に触れ、国際理解を深められる様、当地区としては皆様にホストクラブ／スポンサークラブをお引き受けいただきたくお願いもうしあげる次第です。留学後の双方の子供達の感動を呼ぶ出会に期待し、この交換事業が継続されることを祈念しています。

事業予定

7/10	第1回　地区委員会	有田
8/21～8/22	第1回ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ・地区委員会	武雄
9/26	10～11年度派遣学生選考会	有田ポーセリンパーク
10/7～8	第2回ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ・地区委員会	長崎
11/6～7	地区大会	
12/19	第3回ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ　豪州来日学生さよならパーティーHTB	
1/30	第4回ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ・地区委員会	

【 経 歴 】

せとぐち医院　理事長･院長
生年月日　1942年11月6日
入会　1981年10月7日　長崎南RC入会
　　1998年　幹事　　2008年　会長
地区　●青少年交換地区委員　地区委員長
　　●地区奨学プログラム　委員
　　●RYLA　地区委員　地区委員長

ご挨拶

国際奉仕統括委員会委員長

前　田　博　憲

〈佐賀西ＲＣ〉

当地区における国際奉仕統括委員会は「ロータリー財団委員会」「Ｒ財団奨学・学友員会」「ＧＳＥ委員会」の３委員会での活動の総称であり、当委員会が独自に具体的な活動を行ったり、地区内のクラブに対して個別の働きかけをする事は殆どありません。

元来、「地区委員会」の役割りは地区ガバナーの意向を地区内クラブへ効果的に伝達することと同時に地区内クラブの意見・要望等をガバナーへ具申する役目を果たすものですが、ロータリーにおける国際奉仕の基本方針は「奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進することにある」と手続き要覧に記されています。

「より良く、より正しいロータリー国際奉仕」を実現するために地区内各ロータリークラブと高原ガバナー傘下の上記３地区委員会の活動が円滑に行われますようにお手伝いをさせて頂きたいと存じております。

直近のスケジュールとして、今年９月５日（日）に武雄センチュリーホテルにおいてロータリー財団委員会とＲ財団奨学・学友員会合同での「国際奉仕部門セミナー」を開催いたしますので、関係各位のご参集をお願いいたします。

【 経 歴 】

1997年7月	佐賀西ロータリークラブ入会
2001～2004年度	地区米山記念奨学委員
2004～2005年度	地区米山記念奨学委員長
2005～2006年度	地区国際奉仕委員長
2009～2010年度	地区国際奉仕統括委員長

委員長挨拶

ロータリー財団委員会委員長
石 坂 和 彦
〈大村RC〉

私みたいな浅学菲才の人間が、ロータリー財団委員長をさせて頂くことに、大変申し訳なく思っております。しかしながらお受けをした以上、その職責を誠心誠意全う致したいと思います。その為には、先ずはチーム（委員会）の力を集め、チームの力で運営させて頂きたいと思っております。

財団に関わるということは、幅が広く奥の深い様々なことに留意し、それらを十分に理解していなければならないのかもしれません。しかし全てを網羅し理解することは、今の私にできることではありません。ただロータリーの本質，財団の本質を見失うことなく、世界中の今必要としている方々へ、財団の持つプロジェクト・事業を通じて、ロータリアンとして手助けの一助となればという誇りを忘れないでいたいものです。

『奉仕にこの身を捧げよう』これは、私が所属しております大村ロータリークラブ５０周年に際し、日野原重明先生より賜った言葉です。そして又、２０１７年にはロータリー財団１００周年を迎えます。財団も“未来の夢計画”で２０１３－１４年度完全実施に向けて始動しております。変わろうとしております。

―全世界的な規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野で、よりよき事をするために基金をつくろう―と国際ロータリー元会長アーチ・クランフが、１９１７年に提唱し、財団は始まりました。「世界でよいことをしよう」この原点を忘れることなく歩みを進めていきたいと念じております。なにとぞ皆様方のご指導ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【 経 歴 】

1991年	大村ロータリークラブ入会
1993～1994年	大村ロータリークラブ幹事
2004～2005年	大村ロータリークラブ会長
2005～2010年	地区ロータリー財団委員会委員

財団奨学・学友委員会委員長
有 田 信 一
〈長崎中央RC〉

今期、財団奨学・学友委員会の委員長を拝命しました。実は今年度のガバナー補佐に就任した親友の沢山敏雄さんが、４年前、当委員会の委員長の時に、委員の誘いを受けました。そのときには、親友の誘いであったこと、また「ロータリアンは、断らないこと」の教えがあったので、引き受けざるをえませんでした。

地区委員になり、当委員会の活動を知るにつけて、当委員会の活動が重要で、最もロータリクラブらしい活動だと感じるようになりました。

国際親善奨学金は、ロータリ財団の最初にできたプログラムで、異なる国や地域の人々の間に理解と友好関係を推進することが目的です。財団奨学生は、大学で勉学や研究を積むと同時に、留学先のロータリアンたちや地域の人々と積極的に交流する機会をつくらなければなりません。そして、日本の文化、更には長崎県や佐賀県の生活や文化を伝える使命を持っています。また、日本が世界大戦の加害国であると認識している国もあり、そのような国のロータリアンの前で、唯一の被爆国の国民としての意見を求められる場面もあります。　彼らが、留学先で十分に役割が果たせるように、研修を行うのが、当委員会の役割の一つです。そして、留学生は財団奨学生の体験を通して、一回りも二周りも大きくなって帰国してきます。帰国後は、学友として、後輩の留学生候補生のサポートに当たります。そのサポートぶりは素晴らしいものです。学友は必ず、「留学体験が人生にとって貴重だったこと」「ロータリクラブは素晴らしい組織あること」を口にします。そして、私たちロータリアンは、彼らの言葉から、ロータリクラブの素晴らしを改めて知ることになります。

会員の皆さん、ぜひ、多くの財団奨学生候補者を推薦してください。その候補者から、ロータリクラブの素晴らしさを教えてもらえますよ。

【 経 歴 】

ありた小児矯正歯科院長（顎口腔機能診断施設基準適合医療機関、指定自立支援医療機関）　博士（歯学）、日本小児歯科学会専門医指導医、日本矯正歯科学会認定医、長崎大学歯学部非常勤講師（予防歯科学）

所属：長崎中央ロータリクラブ

2001～02年	クラブ幹事
2007～09年	財団奨学・学友委員会地区委員
2009～10年	20～21年度: 財団奨学・学友委員会副委員長

委員長挨拶

米山記念奨学委員会委員長
曽 我 文 雄
〈伊万里西RC〉

米山記念奨学会は日本のロータリアンが独自に創り育ててきた、留学生を対象とした奨学団体です。民間の奨学団体としては日本最大のもので、国際親善に貢献しています。世界に誇れる奨学事業の一端を担うことになり、身の引き締まる思いをしています。

米山記念奨学会は、皆様に寄付をして戴き、その金を奨学生に支給することで成り立っています。2007年度の奨学生は18名でしたが、本年度は14名に減少しています。それは奨学会に対する寄付額が減少した為に、本部からの割り当て数が減らされたのです。

長崎は江戸時代、日本で唯一開かれた港町でした。その長崎を代表としている2740地区奨学寄付が、34地区中27－29位に低迷しているのは大変残念なことだと考えています。

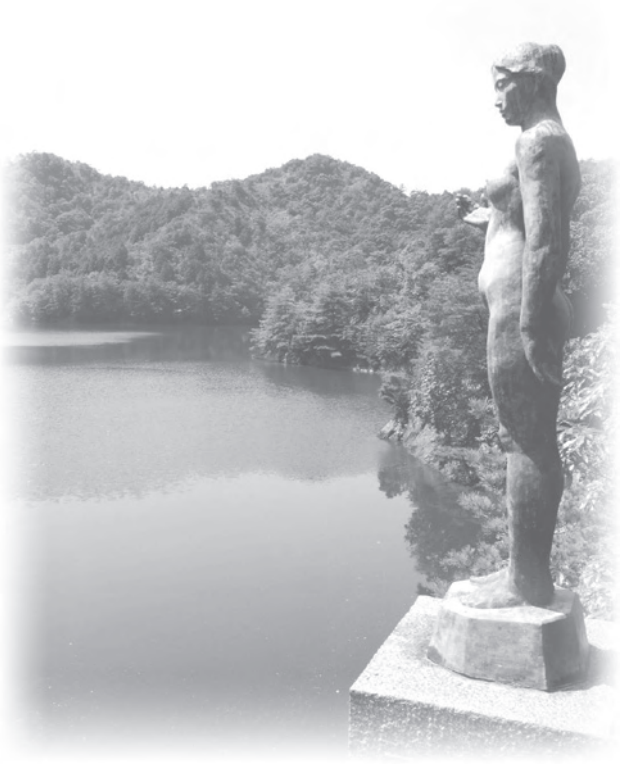
私はこの寄付額を３倍にするという目標を設定しました。その目標に向かって一歩ずつ上っていこうというわけです。その為には皆様が自然に寄付が出来るシステムを構築する必要があります。システム構築及び米山委員会運営に関するセミナーは９月に開催する予定です。

米山記念奨学会は「すばらしい贈り物」と「心つないで、世界へ」という二本のビデオを製作して、全クラブに配布しています。米山委員は勿論のこと、他の皆様も是非このビデオを御覧頂いて、米山記念奨学会に対する理解を深めて頂きたいと思います。

奨学生を受け入れて戴いている世話クラブやカウンセラーに対しては、研修会や交流会を開催してバックアップしていきます。世話クラブ以外のクラブに対しては「奨学生出前卓話」を通じて連携を保ちたい考えています。奨学生の研修旅行は永く日本の思い出として残るものにしたいと考えています。どうか皆様方のご協力をお願い致します。

【 経 歴 】

1977年1月	伊万里西ロータリークラブ入会
2004年度	伊万里西ロータリークラブ会長
2007～2010年度	2740地区米山奨学委員



ロータリーの偉人に学ぶ 元気の出る言葉

～松下幸之助氏の言葉より～

繁栄の基は、奉仕にある

サービスを適切にやっていくかいかないかによって、人々に満足いただけるかどうかにつながり、みずからの繁栄にも結びつくのである。

会員増強月間を考える―
会員増強は本当に必要か？どの程度重要であるか？

地区会員増強委員会委員長　佐　藤　　豊

ＲＩは8月を会員増強月間として提案しています。

実のところ、日本のロータリアンの会員数は12年連続減少が統計資料で示されています。私達の第2740地区についても、過去8年間に渡り連続減少です。こうした減少は社会的な背景や幾多の原因が考えられるものの、ポール・ハリスとその仲間たちが創始以来100余年が経過しましたが、基本的な奉仕の理念やロータリーの魅力と輝きは不変のものです。

私達は既に7月11日、武雄センチュリーホテルで、クラブ奉仕・会員増強の為の合同研修会を開催致しました。杉谷卓紀様（熊本県玉名ＲＣ）の熱意あふれる講演会から、ロータリーの最も肝要な知識の重要性や会員相互の親睦やロータリアンとしての資質の向上が欠かせないものであることを確実に学びました。

会員増強委員会が配布した資料の内容は、会員増強プランがいかに重要であるか具体的な原因追求と問題点を明らかに示しました。更に具体的な統計表の数字から、学ぶべき教訓と解決・改善策を示しました。特に、会員増強のための広域的ネットワークの活用は確かな飛躍の基礎となれるものです。

会員一人ひとりは、ロータリーの宝です。こうしたことから、会員が死亡や転勤者以外の理由で退会されることがないよう、心を配りましょう。とりわけ、入会後3年未満の会員には、例会への積極的な参加や親しみ深いロータリー愛に満ちた交流を通して、励ますことも大切なことです。

日本国内においても、私達の身近にも女性の事業家が大活躍されておられます。生活の多様化が進む中、女性だからできる職業、女性の方しかできない仕事も無数なのです。このような優れた職業人をクラブへ入会を勧めることに躊躇してはなりません。積極果敢に進めていきましょう。

ところで、7月11日の研修会資料は、今現在どこにありますか？　杉谷卓紀様や地区会員増強委員会の資料が大いに活用されるよう願っています。私達の会員増強に対する自覚と熱意、使命感は、ロータリーの近未来を左右する程の最重要事項なのです。

会員増強は8月の期間に限らず、1年間通してエネルギーを集中させてまいりましょう。1年間の成果は1年後、全クラブ純増2名という高原ガバナーの目標達成という喜びを体感することになれます。

私達は会員増強への熱意を通して「地域を育み、大陸をつなぐ」奉仕活動に参加しましょう。

2010 年 6 月 15 日発行［月刊］
（財）ロータリー米山記念奨学会

ハイライトよねやま 124

1 寄付金速報 ― 今年度残り１カ月、達成厳しく ―

5 月までの寄付金は 12 億 1,850 万円です。前年同期と比べて 11.9%減、約 1 億 6 千万円の減少となりました。普通寄付金が 2.5%減、特別寄付金が 16.0%減と、依然として厳しい状態です。

今年度も残りあと 1 カ月を切りました。奨学生 800 人支援に必要な目標額 14 億 5 千万円に対し、まだ 2 億 3 千万円が不足しています。今期の普通寄付金を納入されていないクラブはお早めにご送金ください。普通寄付金・特別寄付金ともに 6 月 30 日（水）当会口座入金分までが今年度の寄付実績となります。入金が 7 月 1 日（木）以降になった場合は来年度の寄付となります。
ぜひとも今年度最後のご協力をよろしくお願い申し上げます。

2 理事会・評議員会開催報告 ― 2010 年度事業計画・予算決定 ―

6 月 2 日に 2009 年度第 2 回評議員会、翌 3 日に 2009 年度第 3 回理事会が、それぞれメルパルク東京（東京都港区）にて開催されました。

評議員会　全国から 48 名の評議員と、常務理事、監事および島津久厚名誉理事長の 11 名が出席。議長には、互選によって多田 宏評議員（第 2580 地区ガバナー）が選出されました。

【主な評議員会決議】

a. 理事補欠選任：第 2610 地区前山正一理事の辞任に伴い、津田達雄氏が補欠選任された。
b. 2010 年度事業計画案および収支予算案、2010 年度奨学資金特別積立財産取崩：それぞれ原案通り承認された。

評議員会では、「ホームページを活用して海外の学友に情報発信し、ホームカミング制度を一層推進してほしい」「選考において日本語能力を重視し過ぎているのでは」などの意見が出されました。また、現地採用奨学金の試行結果や、公益認定に向けての進捗状況などについての質疑応答がありました。

理事会　理事 30 名と監事 3 名および島津久厚名誉理事長が出席し、議長の板橋敏雄理事長の進行のもと、評議員会の承認を得た上記 b が理事会でも承認されたほか、以下が決定されました。

【主な理事会決議】

a. 2010 年度評議員選出：各地区から推薦された 68 名の評議員を選任。
b. 2011 学年度奨学生採用数：寄付金収入の低迷から、目標額 14 億 5,000 万円の達成は困難な状況であるが、前年度に引き続き奨学生採用数を 800 名とすることを決定。同時に奨学事業の意義と重要性を更に広報し寄付への呼びかけを各地区に依頼することとした。

理事会では、「次年度は特別積立財産を取り崩すが、資金集めについて真剣に考える時期に来ているのでは。われわれ理事の役割について具体的に考えていきたい」との発言を皮切りに、各理事が寄付増進の具体策や問題点について活発な意見交換を行いました。

なお、両日とも会議開始前に、東京米山友愛ＲＣの創立会員である張 旭梅（ちょうきょくばい）さん（中国／2005-06／東京広尾ＲＣ）がスピーチしました。「ロータリーと出合って人生が変わった。会員となってからはロータリアンに対する理解がさらに深まり、少しずつ成長している自分がいる。これからクラブのメンバーとともに、学友・奨学生とロータリー、そして、日本とそれぞれの出身国との懸け橋となるよう頑張りたい」と述べ、大きな拍手が贈られました。

3 東京米山友愛RCの加盟認証状伝達式が開催されました

東京米山友愛ロータリークラブの国際ロータリー加盟認証状伝達式が5月30日、都内で開催され、同地区のロータリアンをはじめ、全国から400人以上が参加しました。国内で初めて米山学友を中心に設立されたこのクラブは会員数29名（うち米山学友18名）、平均年齢37歳、学友以外の会員も在日外国人や留学経験のある日本人で構成され、合わせて19もの言語が話せるという国際色豊かなクラブです。

関 博子特別代表（東京世田谷中央ＲＣ会長）の点鍾で式典が始まり、設立経過報告、会員紹介のあと、バグパイプ奏者の先導で、黒田ＲＩ理事、加盟認証状を捧げ持った学友がスポットライトに照らされながら入場。壇上にて黒田ＲＩ理事から久邇ガバナーへ、そして楊錦華（ようきんか）クラブ会長へ加盟認証状が手渡されました。楊会長は、「私たちは、助けを必要とする人々の力になりたいという友愛の精神を持ち、世界の懸け橋となるような活動を目指している。会員の若さや国籍の多様さを活かして、奉仕の理想に根差した活動を積極的に進めていきたい」と、決意を語りました。

第2部では、中国米山学友会初代会長・姫軍（きぐん）さん（1995-97／東京臨海ＲＣ）が特別記念講演を行いました。「若い彼らが果たしてクラブを運営していけるのかと、祝福と同時に心配する気持ちもあるでしょう。しかし、必ずできます！」と、力強く断言。中国学友会華北分会副会長の嘉木揚 凱朝（ジャムヤン カイチョウ）さん（1995-97／名古屋大須ＲＣ）と共に、著名な書道家に揮毫を依頼したという「敬天愛人」と書かれた書軸を掲げながら、「ロータリーと出合ったことは天命。自分のためだけに生きるのではなく、ここにいるロータリアンのように、社会奉仕の精神をもった人間になることを目標とし、今後の長く困難な道のりを一歩一歩進むことができれば、きっと成功するはず」と結び、万雷の拍手が贈られました。

第3部の祝宴は、ロータリー財団管理委員の田中作次氏、元国際ロータリー理事の服部禮次郎氏、米山学友で駐日アフガニスタン臨時代理大使のバシール・モハバット氏（1982-83／名古屋清須ＲＣ）らが祝辞を述べました。歓談後は、ペンライトが揺れる幻想的な雰囲気のなか、「We are the World」の大合唱で幕を閉じました。

※7月上旬、米山記念奨学会ホームページで当日の模様を動画（15分）で公開予定です。

4 韓国米山学友会が再スタート！

韓国学友会の2010年度定期総会が5月28日、韓国ソウル市内で開催され、元国際ロータリー理事の蔡熙秉（チェヒビョン）氏をはじめ、韓国学友77人、日本からは板橋理事長を含むロータリアン4人が参加する盛大な会となりました。

総会では新役員が紹介され、これまで長年学友会長を務めた安熙道（アンヒドク）さんに代わり、2009年の韓日親善会議でスピーチを行った柳京子（リュウキョンジャ）さん（第3650地区ニューソウルＲＣ会員、1981-83／北茨城ＲＣ）が新会長に就任し、3人の副会長も決まりました。これまで低調だった韓国学友会が活動を再開し、今後は総会の定期的開催、ホームページの開設、地域別支部の設置など積極的な活動を展開する予定です。

（事務局長　坂下博康）

(財)ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15
黒龍芝公園ビル3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津（のづ）・峯（みね）

米山奨学生挨拶

チェウ　ティ　トウ　フォン
TRIEU THI THU HUONG

国　　籍：ベトナム
大　　学：佐賀大学
お世話クラブ：牛津RC
カウンセラー：西岡　健次

私はベトナムの留学生のフォンと申します。2008年10月にハノイ国家大学の日本語学科を卒業してから、研究として来日しました。現在、佐賀大学の教育学研究科の大学院２年次に在学しております。

今年は米山奨学生になりましたので、大変嬉しいです。米山奨学生として私はもっと日本の文化、日本人の生活を理解したいと思います。お世話クラブを通じて、日本人と交流できるし、沢山のことを勉強すると期待します。また、ベトナム人の米山奨学生の代表として、ベトナムの文化、観光地、ベトナム人の生活を日本人に紹介させていただきたいと思います。日本人がベトナムによく分かるようになり、それから日越関係がもっと深くなると期待します。

信　条

私は「勤勉さは成功によって報われる」という信条がいつも心に強く意識しています。

成功を収めるために、頭がいいだけではなく、一心励まなければなりません。頑張れば頑張るほど成果が大きくもらえると確信しています。実に、社会の中で、色々な手本はその信条を証明しました。例えば、科学者たちは社会によって学術論文を認められるために、長い年間まじめに研究しなければなりません。

またSONY，CANNONなど有名なブランドが現在のような消費者の確信をもらうのは会社員たちが一所懸命働くことに基づくからこそです。だれかは人間の成功は賢さが1%だけ、勤勉さが99%を占めると言いました。成功を収めると、勤勉さは必要条件だと思います。私はいつもこのことが心に強く、明るい将来があるために、今まじめに勉強しています。

趣　味

私の趣味は旅行です。子供の時、テレビなどを通じて、旅行が好きになりました。母国だけではなく、各国の文化を理解したいと思います。旅行を通じて、自分の目でその地域の文化、習慣が実感できるようになります。そうすると、自分の知識が広げられ、人生が楽しく、もっと意味があると思います。

今、日本にいますので、勉強以外に日本の文化、日本人の習慣をよく理解するために、色々なところへ行きたいと思います。

イン　ソン　イ
尹　遜　瑋

国　　籍：中国
大　　学：佐賀大学
お世話クラブ：佐賀RC
カウンセラー：小松　敏正

私は中国からきた尹遜瑋と申します。現在佐賀大学経済学研究科修士課程に在籍しております。この度、米山記念奨学生として選ばれるという栄誉をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。米山奨学制度については、他の奨学金とは異なって、ただ単にお金をあげるものだけではなく、いっそう深遠な意義や崇高な理想を持っていると強く感じています。

これからの一年間を通じて、世話クラブのロータリアンの方々とお付き合いながら、ロータリーの理想とその意義を身をもって感じとりたいと思います。また、地域における親睦活動や奉仕活動に参加し、日本の文化や習慣等に触れることで、真の留学生活を送るように頑張りたいと思います。

信　条

中国のことわざ —— 世上无难事只怕有心人

日本語で直訳すると、世間に難事はなく、ただ心がけ次第だと専念しさえすれば世の中にやれないことがないと意味する。どんな難しいことであっても、ずっとずっと根気よく頑張っていると、成功する日がかならず来ると思う。

趣　味

映画、スケッチ、旅行（食べ歩き）

現在、ワールドカップにも熱中

米山奨学生挨拶

ソウ　チャイ
荘　家怡

国　　籍：台湾
大　　学：佐賀大学
お世話クラブ：佐賀西RC
カウンセラー：本村　一

私は台湾出身の留学生です。2006年より日本留学して以来、４年になります。現在、佐賀大学大学院博士課程３年に在籍しております。専攻は社会学です。研究分野は「高齢社会」と「高齢者の社会参加」、「シルバー・パワーの再活用」などです。

今年、2010学年度米山奨学生になり、ロータリークラブの様々な社会貢献活動に参加することを通じ、日本の文化や習慣などに触れる機会が増えると思います。最も特別なことは、ロータリアンに社会奉仕という「儒商」の精神と国際平和の創造の心持ちを学べます。将来、自分も世界・社会にささやかな貢献をするため、この恵まれたチャンスをよく活用するよう努力していきたいです。

信　条

博覧強記、温厚篤実、自由闊達、精錬潔白

趣　味

読書、映画・音楽鑑賞、料理づくり、水泳、カラオケ、旅行など

ディン　ティ　ミン　フォン
DINH THI MINH PHUONG

国　　籍：ベトナム
大　　学：佐賀大学
お世話クラブ：佐賀大和RC
カウンセラー：堤　和之

みなさん、こんにちは。ベトナムから来たミンと申します。今年４月で日本滞在が一年半になります。佐賀大学文化教育学部の教育学研究科専修・社会学専攻の修士課程二年生です。このたび米山奨学生に選ばれて、たいへん喜んでいます。ありがとうございました。

お世話クラブは佐賀大和ロータリークラブで、ベトナム人奨学生ははじめてということです。クラブの皆さんや、カウンセラーといろいろな情報交換をとおして、両国の交流親善に力を尽くします。一年間の短い間ですが、ベトナムをより理解していただき、私は日本をより深く理解いたします。私の希望は、両国の架け橋となり、親善や理解をより促進するよう努力することです。

信　条

「きょうの仕事を明日に延ばすな」

日々、元気に精一杯頑張って、今日できることをやって、明日まで残さないで終えるようにいつも心がけています。よくできたこともあれば、できないこともありますが、それよりも大事なことはやるかどうかではないでしょうか。

失敗してもかまいません。しかし、その失敗を自己反省し、失敗から学び、学んだことを活かしていくことにより、成功のゴールに達すると考えられます。やはり、一つのことわざにまとめられます。それは「失敗は成功の元」ということです。

失敗をなんどもくり返し恥をかきながら人間は、未知の分野に進むのです。失敗を恐れてしりごみすると、成功の丘に登ることはできないといつも心に強く意識し行動します。

趣　味

私はパソコンに深い興味をもっています。ベトナムでは最近コンピューターが普及していますが10年前は、コンピューターはすごく珍しくて、普通の家族なら買えませんでした。

現在は経済成長とともに人々の生活が豊かになって、ほとんど各家庭では持っています。私も大学に入ってから、コンピューターを使い始めました。パソコンを通じて数多くの情報を手にいれたり、今まで知らない知識を身につけたりできますので、とても夢中です。

さらに、現在は学校行事や勉強においても、パソコンは当たり前という現実なので、将来の仕事のために、今からパソコンのスキルをさらに学ぶよう意識しています。趣味と実益をかねて自分に役に立つよう、さらに興味が深くなってきました。

米山奨学生挨拶

イム　ソ　ヨン
林　昭　延

国　　籍：韓国
大　　学：活水女子大学
お世話クラブ：長崎南RC
カウンセラー：岸本　宏利

活水女子大学現代日本文化学科の４年生で韓国から参りました林昭延（イム ソ ヨン）と申します。

今、学校で日本文学や日本の文化、哲学、心理学、社会学など様々な分野を学びつつ、日本語・日本語教育を専攻として私のような外国人に日本語を教える為に学んでいます。

今回の米山奨学金を受けさせていただけることとなり、心より感謝申し上げます。米山奨学生として恥ずかしくないよう一生懸命に努めますとともに韓国のことをより多くの方々に知っていただけるよう、私が留学を通じて感じたこと、学んだことを伝えるお手伝いをさせていただきたいと思っています。そしてそのことにより、日本と韓国の親善のために微力ながらお役にたてれば幸いです。

信　条

私の信条は自分がやっていくことに対して成功か経験として思うことです。生きていきながら失敗や試練を経験しますが、失敗を失敗と考えることによって躓き、挫折するのだと思ったからです。また、それを抱えていくのは前に進むのに障害物しかならないと思います。それで失敗を成功または良い結果のための経験だと思って、避けられない苦労や試練ならば楽しみながらしようと心がけています。

趣　味

言語勉強のため、日本のドラマやアメリカドラマを見ていますが、残っている留学期間は日本の様々なところを旅行したいと思います。

パパ　モンボ　チンガ　パーフェット
PAPA MOMBO TCHINGA Parfait

国　　籍：ガボン共和国
大　　学：佐世保工業高等専門学校
お世話クラブ：佐世保北RC
カウンセラー：宮崎　有恒

私は子供の頃から、娯楽の中でも多くの人を集める遊びが好みだった。そのため、サッカーやバスケットボールといった球技に大変興味を持っている。

チームの中で、自分の役割を守り、皆と力を合わせて楽しんでいることに魅力を感じる。目標が一つで、それを達成するため、仲間と協力しながら汗を流している。勝負には苦しさや楽しさが同時に反映されることを学んだ。私は、周りの人や友人から、忍耐力とコミュニケーション力に養われた人とよく言われ、明るくて協調性のある人とも見られる。米山奨学生として、今まで体験したことや自分の個性を発揮しながら、新しい展望を発見し、行動力のある社会人になるため不可欠なことを身につけたいと願う。

信　条

戦いが難しいほど勝ちが大きい

趣　味

最近、日本の歌を週に一回ぐらいカラオケで練習している。（福山雅治、演歌）

米山奨学生挨拶

キム
金　ゴンウ

国　　籍：韓国
大　　学：長崎外国語大学
お世話クラブ：長崎RC
カウンセラー：木場　耕志

はじめまして、今回米山奨学生になりました金ゴンウと申します。まず、私を奨学生として高く評価していただき、真に感謝しております。私は去年３月にここ日本、長崎に参りまして、日本での勉学がちょうど１年になりました。経った１年間のことを振り返ってみると、沢山の思い出がございますが、何事もいろいろな環境に、人に支えられて来た１年間で、自分一人の努力だけで頑張ってきたことではないと強く感じております。送って頂いた書類を拝見いたしまして私が頂く奨学生呼称はただのものではないと承知しております。そして、私も誰より一生懸命に頑張って、人に支えられるのではなく、人を支えてゆく人になりたいと思う次第でございます。

信　条

自分には厳しく、人には優しく。

趣　味

ミッションスクールである学校のチャペルアワーの時賛美歌を捧げています。
また、野球が好きなので、部活で野球をしています。

グェン　　ティー　ニュン
NGUYEN THI NHUNG

国　　籍：ベトナム
大　　学：長崎県立大学
お世話クラブ：佐世保南RC
カウンセラー：馬郡　謙一

私は1987年12月２日にベトナムのタンホア県に生まれました。現在、長崎県立大学３年生で、貿易を専門に勉強をしています。私の趣味は遊行と文化交流活動に参加することです。

私は米山奨学生として、まず学校での勉強をきちんと勉強し、ロータリアンの理想について勉強したいと思っています。そしてこれから、ロータリークラブが主催する文化交流活動をはじめ、いろいろな活動に参加したいと思います。ロータリアン、日本から多くの恩を受けている私は日本とベトナムの架け橋になりたいと思っています。頑張ります。

信　条

ベトナムではある諺があります。それは、「一生懸命に鉄を削るなら、絶対にある日その鉄は針になる」です。
私はその諺を信じて、いつも一生懸命勉強しています。

趣　味

私の趣味は、多くの人々と交流し、異文化を体験したいことです。今、私は、色々な活動に参加しています。

米山奨学生挨拶

タン　ジン　ウェン
THANT ZIN WIN

国　　籍：ミャンマー
大　　学：長崎総合科学大学
お世話クラブ：東長崎RC
カウンセラー：八木　浩二

私はミャンマーからの留学生です。2007年４月に日本へ留学しました。今年、長崎総合科学大学、経済情報学科の３年生です。趣味は読書です。国際交流活動やボランティア活動などにも興味を持っています。機会があればいつも参加しています。長い歴史、深い文化を持っている日本が好きで、将来の計画は、日本の会社に就職することです。

米山奨学生として、様々な経験をもらいたいです。ミャンマーのことを皆もっと分かるように頑張りたいです。日本の文化や習慣にももっと深く学びたいです。様々な活動に積極的に参加したいです。

将来は日本とミャンマーを結ぶ架け橋として両国の交流に貢献していきたいです。

信　条

”やればできる”何にもやらないと何にもできない、何にかをするときに最後まで、できるだけ努力してやってみれば必ず成功するとしんじている。

趣　味

読書、映画やドラマを見ること、音楽を聴くこと

サイ　ギ　サン
蔡　宜　珊

国　　籍：台湾
大　　学：長崎大学
お世話クラブ：雲仙RC
カウンセラー：福田　宥晃

私は、台湾からの蔡宜珊です。日本に来て今年で３年目です。はじめて日本に来たのは、大学３年生の時、交換留学生として長崎大学環境科学部に留学したことでした。その後、台湾で大学を卒業して、長崎大学経済学部の研究生になって勉強していました。今は、長崎大学大学院経済学研究科に在籍しており、「台湾自動車産業のサバイバル戦略展望」を研究テーマとして研究しています。今度、ロータリー米山記念奨学会の奨学生になり、誠に光栄の至りです。将来は、感謝の気持ちを込めて、日本に恩返しをしたいと思い、日本と母国である台湾との架け橋になり、国際交流を深める上で、日本・台湾の社会に貢献できるように力を捧げたいです。

信　条

常に感謝することです。
一人の力では限りがありますが、皆の力を合わせれば無限大の可能性があります。
今年ロータリー米山奨学生になることができたのも、皆が支えてくださったからです。
将来はこの感謝の気持を覚え、恩返しをしたいと思っております。

趣　味

日本のドラマを観て日本語を覚えることです。
私は、いつも同じドラマを二回以上に観ます。
一回目ではヒアリングを練習し、二回目では文法や慣用句などを覚えます。

米山奨学生挨拶

シュ　レイ
朱　玲

国　　籍：中　国
大　　学：長崎大学
お世話クラブ：長崎出島RC
カウンセラー：光富　智子

私は朱玲と申します。中国南京の出身で、長崎大学経済研究科の修士２年生です。着物の美しさに惚れたのがきっかけで、大学時代から日本語の勉強を始めました。長崎に来てから、先生と友達から生活習慣や礼儀作法を習っています。住みやすい長崎で、米山奨学生に選ばれて、私は本当に感謝しています。このチャンスをいただいて、カウンセラーとロータリアンの皆様から、もっともっと平和的な考え方や謙虚な人柄、細かいマナーまで教わりたいと思います。常に自分を見つめて、自分の欠点を直して、人々に役立つ人間を目指していきたいです。

信　条

「心が変われば態度が変わる。態度が変われば習慣が変わる。
習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。」
蓮沼門三のその言葉、私にとって一番大切な信条です。

趣　味

（1）体の健康を保って、瞑想で心身を統一するヨガを常にします。それのおかげで、心からの感謝気持ちや笑顔が出てきます。
（2）効率的に読書や勉強をする方法、または時間とお金を最適に使うことを紹介する本をよく読みます。それらの自分自身をリセットできる本を読むことが好きです。
（3）美に関わる生け花に興味を持っています。今はきれいにお花を生けられないですが、諦めないで続けたいと思います。

マハムット　ムニール　グーゼル
MAHMUT MUNIR GUZEL

国　　籍：トルコ
大　　学：長崎大学
お世話クラブ：長崎琴海RC
カウンセラー：山上広信

私はトルコからきた長崎大学院生です。２年半まえに日本へきました。しょうらいはトルコと日本のゆ出・ゆ入のビジネスをしたいです。そのために日本の文化をたくさんしりたいし、ともだちもたくさんつくりたいです。米山しょう学金をもらってとてもかんしゃしています。これからはもっとべんきょうできるし、あたらしくアイキドウをしたいと思います。今私はローターアクトに入っていて、人とあったりボランティアをしたり、とてもすきですので、ともだちの外こく人を５人しょうかいしました。しょう学生になりもっとロータリーのことをわかって、しょうらいのビジネスにつなげたいし、私もだれかをたすける人になりたいと思います。がんばります。

信　条

「これからも、頑張れば、何でもできます」。今からでも、何でも成功できると思います。

趣　味

興味を持って取り組んでいることは特に水産の技術を勉強しています。また、ビジネスや日本とトルコの国際貿易の勉強中です。

訂正とおわび

・月信７月号Ｐ19　地区主要行事予定表　７月 識字率向上月間　→削除
・月信７月号Ｐ25　ロータリーの友事務所
　web@rotary-no-tomo.jp（問合せ）　→削除
　Eメール henshu@rotary-no-tomo.jp（投稿）　→hensyu@rotary-no-tomo.jp
・月信７月号Ｐ26　ロータリー米山記念奨学会寄付金振込み先
　【三井住友銀行】京橋支店（普）0920373
　（財）ロータリー米山奨学金　→（財）ロータリー米山記念奨学会

訂正してお詫びいたします。

文 庫 通 信 〈274号〉

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、２万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでＰＤＦもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。　以下資料のご紹介を致します。

ガバナー月信より

◎「2010年規定審議会報告」	佐藤　秀雄	2010	3p	(D.2510)
	野々村政昭	2010	3p	(D.2800)
	安平　和彦	2010	2p	(D.2680)
◎「職 業 奉 仕 と は 」	久邇　邦昭	2010	2p	(D.2750)
◎「国際奉仕をやっているクラブの方が会員減少が少ないのだ！」		2010	2p	(D.2720)
◎「重要な変更のお知らせ−1･2（ロータリー財団寄付に関して）」		2010	2p	(D.2840)
◎「第15回ロータリー日本青少年交換研究会報告書−1･2･3」	峯岸　則幸	2010	3p	(D.2840)
◎「国際ロータリー青少年交換の近況」	中村　　盟	2010	2p	(D.2630)
◎「ロータリー簡単図解その4〜7〈ロータリー・ロータリークラブとは?/ロータリーとは?綱領/決議23-34から決議92-286/社会奉仕を考える〉」	鈴木　章夫	2009、2010	4p	(D.2520)
◎「入りて学び　出でて奉仕せよ」	村上　有司	2010	7p	(D.2640)

［上記申込先：ロータリー文庫（コピー／ＰＤＦ）］

ロータリー文庫

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時〜午後5時　　休館＝土・日・祝祭日

国際ロータリー第2740地区

2010−2011年度

地区大会のご案内

11月5日(金)・6日(土)・7日(日)

地域を育み、大陸をつなぐ

11月5日(金)

■ 記念懇親ゴルフ大会 〈受付 7:30~ スタート 8:28〉
会場：若木ゴルフ倶楽部(武雄市)
TEL0954-26-3030

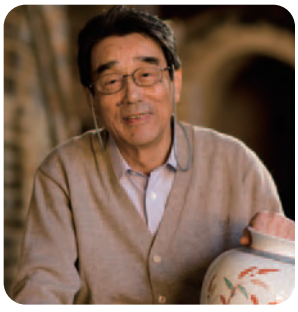
■ RI会長代理ご夫妻　歓迎晩餐会 〈受付 17:00~〉
会場：大正屋(嬉野市)
TEL0954-42-1170

11月6日(土)

■ 会長・幹事会 〈受付 9:00~〉
■ 大会四委員会 〈開始 10:30~〉
会場：有田ポーセリンパーク
TEL0955-41-0030

■ 登録開始 〈11:00~〉会場：焱の博記念堂 玄関ホール
■ 本　会　議 〈12:30~〉会場：焱の博記念堂 コンベンションホール
TEL0955-46-5010

■ 記念講演
14代酒井田柿右衛門 氏
〈聞き手〉**渡邊あゆみ**(旧姓 黒田)
NHKアナウンサー
「有田の伝統を語る」
会場：焱の博記念堂 コンベンションホール



■ 記念懇親会 〈開始 18:00~〉
会場：焱の博記念堂 コンベンションホール

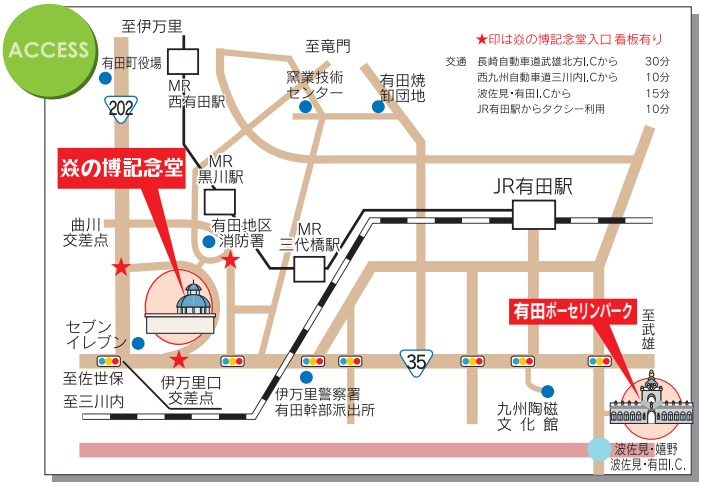
11月7日(日)

■ 記念講演会

江 上 栄 子 氏
料理研究家

演 目
「食育と器」
-日々の暮らしを
いきいきと過ごすために-

会場：焱の博記念堂 文化ホール
TEL0955-46-5010



〈時間等 一部変更になる場合がありますので、ご了承下さい。〉

国際ロータリー第2740地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740
2010 − 2011 年度ガバナー　高 原 武 彦

地区大会事務局
〒844-0027　佐賀県西松浦郡有田町南原丁175-5
TEL:0955-25-9113　FAX:0955-25-9120

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010−2011年度
国際ロータリー第2740地区　ガバナー　高　原　武　彦

地域を育み、大陸をつなぐ

CONTENTS

高原武彦ガバナー …… 1
ガバナー補佐・リレー随想 …… 2
クラブ奉仕部門別研修セミナー報告 …… 3
第１回国際親善奨学金候補者研修会報告 …… 5
有田へ …… 6
ガバナー公式訪問 …… 7
寄付者紹介 …… 14
職業奉仕月間にあたって …… 15
米山記念奨学月間にあたって …… 16
第５・６グループ RC 会員研修会開催の報告 …… 17
2010-11 年度地区社会奉仕部門前期セミナー …… 18
インターアクト年次大会開催 …… 19
ハイライトよねやま …… 20
文庫通信 …… 22
新入会員紹介・物故者 …… 23
地区大会ご案内 …… 表紙2

武雄の宝物②
武雄供日の流鏑馬行事

1183年源頼朝が平家討伐の必勝祈願の為武雄神社に使者を送った所、飛来した白鷺が源氏を守護し見事勝利。戦勝深謝の為再度勅使を送った際、これを迎えた武雄領主が奉納したのが始まりとされ、その華麗で勇壮圧巻な姿は現在に引継がれている。

vol.3
2010.9.1

新世代のための月間に思う

2010年～2011年
ガバナー 高 原 武 彦

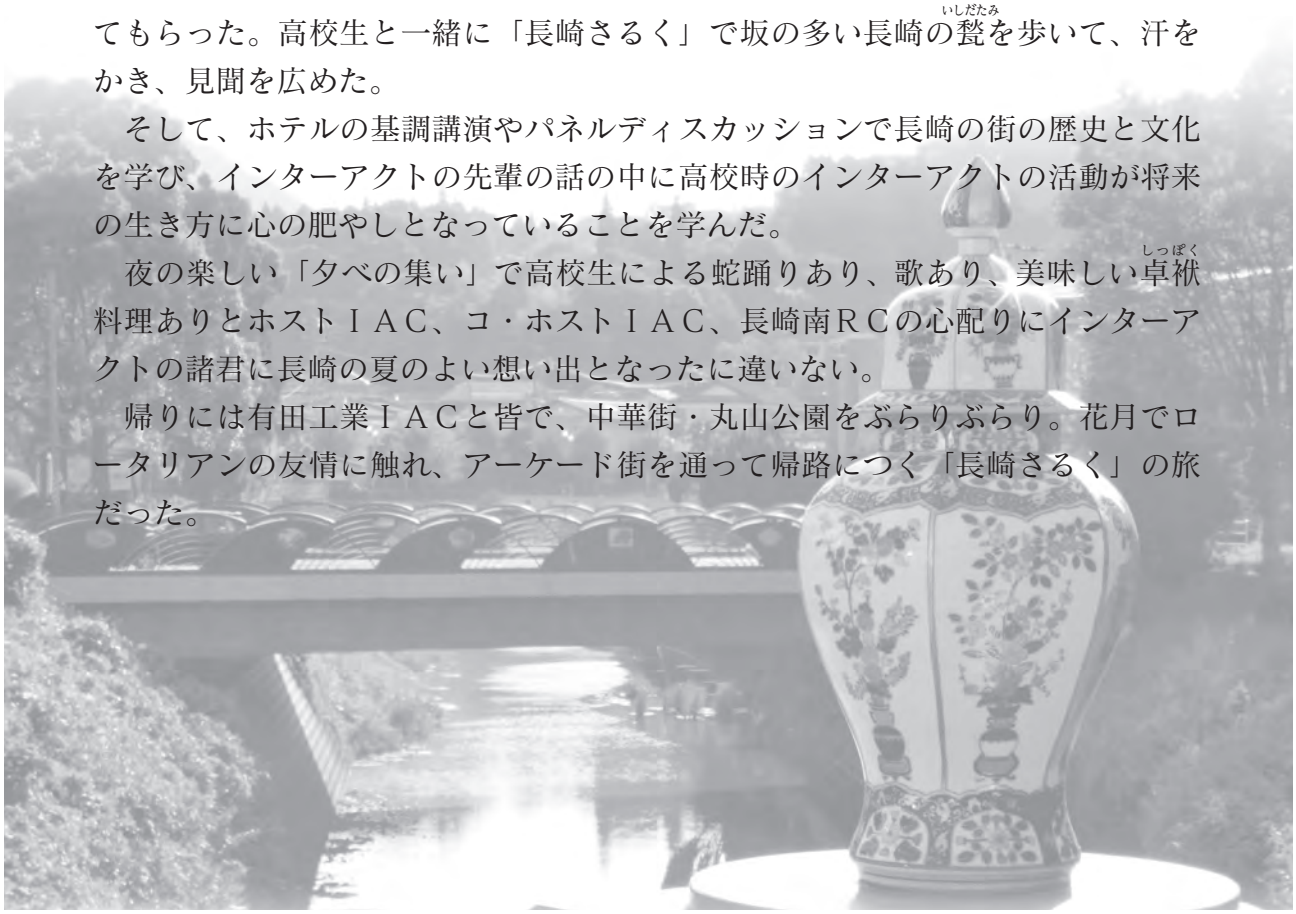
ロータリーはこれから若い人達がどのような職業に就こうとも誇りと自信をもって、よりよい市民を目指し、よりよい地域社会を作るためにリーダーシップを発揮出来て、国際理解を深め、世界平和へ貢献してもらえるようなプロジェクトにより多くの若者に参加する機会を与えていきたいものだ。そして希望が一杯の次世代へつなげて行くことが益々大切なことだと思われる。

先日７月31日（土）～８月１日（日）インターアクトの年次大会に参加させてもらった。高校生と一緒に「長崎さるく」で坂の多い長崎の甍（いしだたみ）を歩いて、汗をかき、見聞を広めた。

そして、ホテルの基調講演やパネルディスカッションで長崎の街の歴史と文化を学び、インターアクトの先輩の話の中に高校時のインターアクトの活動が将来の生き方に心の肥やしとなっていることを学んだ。

夜の楽しい「夕べの集い」で高校生による蛇踊りあり、歌あり、美味しい卓袱（しっぽく）料理ありとホストＩＡＣ、コ・ホストＩＡＣ、長崎南ＲＣの心配りにインターアクトの諸君に長崎の夏のよい想い出となったに違いない。

帰りには有田工業ＩＡＣと皆で、中華街・丸山公園をぶらりぶらり。花月でロータリアンの友情に触れ、アーケード街を通って帰路につく「長崎さるく」の旅だった。



ガバナー補佐・リレー随想

第２グループガバナー補佐　小　林　正　明

『ロータリアンが誇りを持ち「わくわくドキドキする内容（心を高める）」』・・・と。

１．先輩諸氏から、神埼にロータリークラブ設立への協力と勧誘。「私にとっては、まだ夢の世界」とお断り。その後、Ｔ氏（佐賀西RC）に「資格あり、入会しなさい」と。「刃物磨くには砥石でいいが、人を磨くには人に合え」など、異業種交流の必要性等々、先輩諸氏の助言を受け入れ、設立委員会から参加。そして、待ちに待った認証伝達式。数多くのロータリアンから祝福を頂き、チャーターメンバーと共に、感謝感激。我らに、百万人の友達が出来た。世界中に仲間が出来た。

さあー、未知の世界への旅立ちだ。わくわくドキドキ

２．２代目幹事・Ｔ君が見えられて。「君は３代目の幹事。会長は宮地勝朗君」「ダメ」「理事会で決定。直ちに、活動計画書作成に取り掛かれ」と無理難題。横で聞いていた妻が、「宮地さんの奥さんは同級生」早速、今まで話した事も無い宮地君と面談。「RCは幹事の手腕次第。よろしく頼む」！？。「佐賀RCのＵさんは私の友人。RCの事なら何でも知っているから相談したら」と妹の助言。事務所に参上し、親クラブ・佐賀西RCのFさんと共に、温かいご指導を頂く。何とか先が見えてきた。クラブに持ち帰り、皆と検討協議。一気に友情が深まっていく。組織が躍動しながら出来上がって行く。準備は出来上がった。ガバナー公式訪問を待つばかり。幸いに、辻庚一ガバナーは、取引会社の社長。すべてに恵まれ、導かれていく。心は弾む。これで皆と一緒に、進めよう。　　わくわくドキドキ

３．例会を重ねていく内に、交換留学生受け入れの要請が来た。受けようにも、経験は無いし、自信も無い。協議の結果受入れ決定。我家にも、ビンセント（米国）フィリッペ（ブラジル）がホームステーした。妻は大変だったようだが、食事はレベルアップ・室内は清潔・親子、夫婦に争い無・友人知人に楽しく紹介・異文化交流等々。毎日毎日が、クラブ・家族共々・・・・・わくわくドキドキ

（私は、毎日毎日ホームステー大賛成）

４．皆と苦楽を共にしながら、十周年・二十周年と記念行事を祝い、役割を務め、友情を育みながら経過してきた。昨年度の出席率は、毎年向上しながら86%。100%の例会もあった。会員増強：驚きの、純増５名。今年は、１・２グループのＩＭを担当。先輩クラブをお手本に準備中。組織は益々成長し、友の輪は広まって行くだろう。

わくわくドキドキ

５．「地域を育み、大陸をつなぐ」「地域、家族と共に生き生きロータリー」。私が輝けば、家族が輝き、クラブも輝く。クラブが輝けば、会員も増え、グループも輝く。さあー有田焼の様に、文化を育みながら、世界へと飛躍して行こう。わくわくドキドキ

クラブ奉仕部門別研修セミナー報告

2010年～2011年度
クラブ奉仕統括委員長　駒　井　英　基

クラブ奉仕部門別研修セミナーが２０１０年７月１１日１４時より武雄センチュリーホテルにて「会員増強推進のために」「退会を防止するために」「クラブの活性化」という大きな３つのテーマにて開催されました。今回のセミナーは、地区内全クラブの会長さん及びクラブ奉仕責任者の方、さらに地区内１０グループガバナー補佐さん方にお集まり頂き、総勢１４０名以上の参加者で行なわれることになりました。まず梅津哲夫地区クラブ奉仕統括委員による司会の元、助村房子地区クラブ奉仕統括委員による開会の辞、次いで高原ガバナーの点鐘により始まりました。

高原ガバナーは、冒頭のご挨拶の中で、セミナーではご参加の皆様方と伴に勉強してクラブ奉仕や社会奉仕を通して、人生を謳歌し、それぞれの地域のためなり、より良い市民となれるように導きたいとセミナー冒頭で力強く宣言されました。次いで地区クラブ奉仕統括委員長として挨拶した当方は、１０年でこの２７４０地区では25%に及ぶ会員減少が続いているので地区としては各委員会を統括してスリム化し運営中であるとの報告いたしました。また此処１０年間では毎年８０名近くの会員が減少していましたが、高城ガバナー年度に皆様方のご尽力によって、その減少に一応の歯止めをつけることに成功することができました。まず復調の第一歩を踏み出したことになりますから、これからは少し攻めの方向、具体的には入会３年未満の会員の方を対象としたセミナー開催などを企画したいと思っております。

また、佐藤豊地区会員増強委員長による地区会員現況報告と会員紹介システムの説明がなされました。その中では、会員増強月間が８月になっていますが、常に増強を意識しておかなくてはならず、ロータリーは会員減少非常事態宣

言を出してもおかしくないという危機感を持つべきであり、今後のロータリーに輝く未来を望むのなら、会員増強がその源となるべきであると力説されました。
「会員紹介のための広域ネットワーク創り」のイメージ図を今一度確認していただき、熱意を持って一人でも多くの方を推薦していただきたいとの事でした。

今年の特別講演として昨年に引き続き杉谷卓紀ロータリーコーディネーターに演者を御願いし、「会員組織の現況と今後の課題」という演題にて講演いただきました。
講演内容としては、パワーポイントを用いて世界のロータリーの現状を交えた大変わかりやすいお話を頂き、会員数をただ増加させるだけでなく、組織強化を目指すことにより、魅力あるものにしていかなくてはならないという内容でした。

今回も講演後、各グループ毎に３つのテーマにそった討議をしていただくことになり、討議終了後、各グループを代表して、１０人のガバナー補佐さんより討議内容を発表していただくことになりました。

討議内容として、印象に残るものとしては、ロータリーの魅力低下に対する対策が退会防止に繋がることや、入会金の減額、女性会員の積極的な勧誘、退会者への再度の入会勧誘、親子会員のあり方など多くの提言がなされました。

今年のセミナーは以上のとおりですが、出席いただいた方々が、各クラブへお帰りになって、この会員減少への危機感を実感された由を報告していただき、今後のより積極的で、気配りのできるロータリー活動の参考になりますことを願いつつ、クラブ奉仕部門研修セミナーの報告といたします。

第１回国際親善奨学金候補者研修会報告

財団奨学・学友委員長
有　田　信　一

国際親善奨学金候補者研修会とは

国際親善奨学金候補者研修会とは、５月に開催された選考会で選抜された国際親善奨学金候補者が希望通りの大学に進み、研究を行いながら、親善大使としての役割が果たせるように、入学までの手続きや留学地域でのプレゼンテーションの仕方を理解してもらうことを目的としています。
当地区では出発までの１年間に３回の研修会があり、候補者はそのすべてを受講する義務があります。

第１回の国際親善奨学金候補者研修会

７月１８日に、第１回の国際親善奨学金候補者研修会を開催しました。
高原武彦ガバナー、岩永信昭ガバナーエレクト、酒井田正宏地区幹事、池上清司地区副幹事、前田博憲国際奉仕統括委員長、石坂和彦ロータリー財団委員長出席の元、長崎ブリックホールの特別室で行いました。

国際親善奨学金候補者として、研修を受けたのは、池田加奈さん（長崎西ＲＣ）、熊本加奈子さん（佐賀ＲＣ）、澤部涼子さん（諫早多良見ＲＣ）の３名です。そして、３人の候補者をそれぞれ支える顧問ロータリアンとして、榎本延光さん（長崎西ＲＣ）、大坪恵介さん（佐賀ＲＣ）、梅田裕一さん（諫早多良見ＲＣ）に出席いただきました。

そして、講師陣の強力なサポーターとして、２人の学友、戸上真由子さん（2003～04年度の国際親善奨学生、イギリスのウェールズ大学で教育学・心理学を研究）と堀田彰子さん（2008～09年度国際親善奨学生　ニュージーランドのオークランド大学で開発経済学を研究）に来てもらいました。

研修内容は
１）ロータリーについて　２）ロータリー財団について　３）ロータリー財団プログラムについて　４）国際親善奨学金プログラムについて　５）顧問ロータリアンの責務について　６）国際親善奨学生の責務について
などの内容で行いましたが、緊張感のある中にも、和気あいあいとした研修会となりました。

今年度の国際親善奨学金候補者の紹介

候補者名	留学希望先	希望専攻科目	推薦RC
池田加奈	オランダ・イングランド・オーストリア	英語教授法	長崎西RC
熊本加奈子	イングランド・アイルランド・ウェールズ・ニュージーランド	教育学・児童英語教育・英語教授法	佐賀RC
澤部涼子	イングランド・オーストラリア・アメリカ	通訳・翻訳	諫早多良見RC

ロータリー財団奨学・学友委員会の紹介

笠　慶宣委員（佐賀南ＲＣ）、隅　康二委員（佐賀西ＲＣ）、野口道生委員（長崎出島RC）
私を支えてくれる３人の委員の方々です。
経験豊かな笠 慶宣 前委員長の支えは心強いものがあります。また、隅康二委員と野口道生委員は、偶然にも、歯科医師で、以前からの知り合いでした。

良いチームワークで委員会と研修会を企画運営していきたいと思います。
よろしくお願いします。

有田へ(檻の中の熊のたわごと)

伊万里ロータリークラブ
隅　田　達　男

今年度のRI２７４０地区の地区大会は有田で開催されるという。

それは、有田RCの創立５０周年を記念して有田クラブの皆様が、高原武彦君を２０１０－２０１１年度、RI２７４０地区のガバナーに推挙され、高原君が心よくひきうけて就任されたからである。創立５０年たっても、ガバナーを出さないクラブはなにか変と私は思っていたが、これで胸のつかえがおりた。

有田は不思議な町である。

まず、人口２万数千人の商都でありながらホテルがない。

広大な土地があるに不拘ず陶磁器関連以外の製造業がない。

名所古蹟が多々あるのに、あまり知られていないし、有田の人もあえて宣伝しない。

Rotaryにとって最重要人物である日本人ロータリアンの第１号である福島喜三次君が有田町出身である事を知るロータリアンは少ない。

大東亜戦争の名提督、古賀峯一海軍大将も有田出身である。山元五十六元帥の後任で連合艦隊司令長官だったと記憶している。

有名な古伊万里も有田産という。でも人口に膾炙(かいしゃ)しているのは古伊万里である。伊万里と合併して伊万里を名のれば名実共に古伊万里の産地となろうに、そういう話はない。

有田には知られざる名所が多い。

蔵宿駅（松浦鉄道）の駅舎は大正２年の木造駅舎。絵本の様な停車場風景。入母屋の屋根が深いひさしを作り、初夏にはホームにツツジが咲く。駅はこれでいいのだ。（名駅舎１００選）

陶山神社　有田焼陶祖の神をまつる。陶磁器製の奉納物が多い。鳥居が日本唯一の陶器製。

陶祖李参平　朝鮮から有田の地に来た陶工。１６１６年泉山で白磁石を発見。

天狗谷窯　日本磁器発祥の窯と言われているが異なる見解もある。

泉山磁石場

トンバイ塀　登り窯を築くために用いた耐火レンガ（トンバイ）の廃材や使い捨ての窯道具陶片を赤土で塗り固めて作った塀の事です。

岳の棚田

有田内山の町並み

龍門峡

現代の有名人は枚挙にいとまなく、紙面に載せきれない。

有田は夢のある町です。地区大会へどうぞ。

私は、パストガバナーと呼ばれるのが嫌いである。パストの意味を考えて欲しい。私は現　伊万里ロータリークラブの会員である。伊万里ロータリークラブ隅田達男と銘記して欲しい。

ガバナー公式訪問

鹿島ロータリークラブ

会長：寺川　定男
幹事：栗山　正路

7月13日、高原武彦ガバナー、山本武ガバナー補佐、酒井田正宏地区幹事をお迎えしての公式訪問を開催致しました。早朝より、高原ガバナーはじめ地区役員5名様、自クラブ4名にて「鹿島だち」と言うことで、祐徳稲荷神社におきまして、ガバナーのこの一年ご健康とご無事におつとめ頂く事を御祈願して頂きました。就任されたばかりの高原ガバナーが、2740地区57クラブの中で第一番目の公式訪問を当鹿島クラブをお選び頂き大変光栄に存じました。例会に先立って行われた懇談会では、活動計画に基づき1週間前に行ったクラブアッセンブリーについても言及して行いました。自クラブでは今期地区テーマ「地域、家族と共に生き生きロータリー」を実践して行いたいと思います。今、親睦活動が非常に盛んで「家族旅行」「新年家族会」「観月会」「寿の会」等々、又当会員ご夫人の会「万寿会」の協力参加もあって活気がみなぎっております。

又、当クラブはローターアクトの提唱クラブでもあり、クラブ運営面においてなかなか大変ではありますが、ローターアクト共々頑張ってやっていきたいと思っております。例会ではRI会長のテーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」について丁寧に卓話を頂き、誠にありがとうございました。今後も皆様のご指導を賜りながら、元気のある楽しいクラブ運営を進めていきたいと思います。

最後に高原ガバナーはじめ地区の皆様にはご自愛の上、ご活躍されますことを祈念申し上げます。

佐世保南ロータリークラブ

会長：鶴田　　司
幹事：中島　洋三

7月16日(金)、高原武彦ガバナー、第6グループ志久雄三ガバナー補佐、酒井田正宏地区幹事をお迎えしての公式訪問例会を開きました。
例会前の懇談会、会員とテーブルを囲んでの食事、例会、記念写真撮影と滞りなく進行しました。

今年度国際ロータリーテーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」及び高原武彦ガバナーの方針との整合性を図りながら、佐世保南ロータリークラブの主な「クラブ運営方針」を次のように決めました。

1．ロータリーの基本は、会員の例会への楽しく、和やかな出席と各委員会活動における交流と親睦である。心が通じあい、友情あふれる、笑顔と楽しさ溢れるクラブになるよう努力する。
2．クラブの年次目標と長期目標を設定する。
3．厳しい経済状況の中、会員数が全国的に減少している。地区の設定は純増2名であるが、今年度既に3名が入会、あと5名程の入会を目指す。

また、佐世保と極めて近い距離の有田ご出身の日本人で初めてロータリアンになられた福島喜三次さんのことなど興味深いお話をいただきました。
一番人種差別の強いアメリカ南部のダラスでロータリアンになることができたのは・・・ダラスに於いて売り手、買い手の間に信用と呼ばれる信頼関係を作り大きな信望を得ることができたのは「利他即自利」の商売の極意、即ち取引に「超我の奉仕」を無意識の内に実行されていて、地域の関係者からは人徳のある日本人として尊敬されていたからだろう・・・というくだりに大いに感銘を受けました。

公式訪問は始まったばかりですが、高原武彦ガバナーにおかれましては、猛暑が続く中お体に十分ご留意されご活躍されることを祈念しまして報告といたします。

ガバナー公式訪問

島原ロータリークラブ

会長：谷川　正文
幹事：花田　勝美

7月20日(火)、高原武彦ガバナー、酒井田正宏地区幹事、笠井和幸第7グループガバナー補佐をお迎えし、公式訪問例会を開催しました。

例会に先立ち、会長・幹事・会長エレクトとの懇談会では、当クラブの現況、委員会活動などお聞きいただき、今期のクラブ運営など、ご指導いただき、たいへん有意義な時間をすごすことが出来ました。

例会では高原ガバナーより卓話をいただき、RIテーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」についてと、地区の方針・地区目標などについて話をされ、特にロータリーの存続の為には会員増強が不可欠だと話された。会員増強は今年度、当クラブが目標としているテーマでもあり、地区目標の推進を図っていきたいと思います。

そこで当クラブの重点目標として次のことに力を入れていきます。

1、会員増強　現在34名　(3年後50周年に向け40名目標)
2、例会活性化
3、各委員会活動の見直し
・ロータリーを外に発信する社会奉仕に目を向けて行きたい。
・世界ジオパーク認定日本第1号の広報の協力を市に約束していますので一緒に実践していこうと思います。

最後に、高原ガバナーにおかれましては、健康には十分留意され今後益々の活躍を祈念申し上げます。

島原南ロータリークラブ

会長：吉田　修生
幹事：梶原　光廣

7月20日(火)高原武彦ガバナー・笠井和幸ガバナー補佐・酒井田正宏地区幹事をお迎えして、公式訪問例会が開催されました。会長・副会長・幹事・副幹事との事前懇談会では、会員増強、退会防止についての取組みや、小人数(21名)クラブでの委員会活動のあり方等に対し、様々なアドバイスを頂き、平均年齢53歳で、在籍10年未満会員が6割強の当クラブにとって、今後のクラブ運営に多いに参考になりました。卓話では、地区の方針「地域・家族と共に生き生きロータリー」について丁寧な説明がありました。梅雨明け後の猛暑の中、遠路並びに、昼間の島原クラブ訪問に続けての訪問は、ハードではなかったかと心配していましたが、「生き生きロータリーアン」を体現して頂き、会員一同感謝しております。2740地区は10数年ぶりに会員が増加とのこと、今年度もいい流れでありますように願っています。

今年度の目標

1、会員2名増強(特に空白地区からの増強)
2、退会防止と例会出席率向上(親睦例会の活用)
3、ロータリー財団年次寄付1人100ドル

ガバナー公式訪問

佐世保ロータリークラブ

会長：飯田　満治
幹事：古賀　　巖

２０１０年7月２１日（水）　高原ガバナー、福田ガバナー補佐、酒井田地区幹事をお迎えして、公式訪問例会を開催しました。新年度3回目の例会でガバナーをお迎えしての例会でしたので、大変緊張しましたが、会員も多数出席しお迎えすることが出来ました。

例会の前の懇談会では、クラブ活動計画に基づいて説明致しました。我がクラブのスローガンを、RIや地区のテーマをうけて、60年の感動　地域とともにワクワクロータリーとしたこと、本年は、６０周年記念式典を２０１１年５月８日（日）に予定し、他に記念事業を検討中であること、また、会員純増３名を目標にし、会員拡大をめざしていること等を報告しました。

例会の講話では、RI会長のテーマやメッセージ等について詳しくお話しをいただきました。クラブや地区で時代遅れになっているやり方や伝統的習慣を、よりよい方法で新風を吹き込み、新しい伝統を始めるべきだというお話しや、最後におっしゃられた、利己と利他を調和させる人生哲学を研鑽する場、クラブであり、超我の奉仕を少しでも意識し実践する人がロータリアンではないかという言葉が心に残りました。また、公式訪問がスタートしたばかりで、まだまだ長丁場ですが、本年は猛暑とも予想されているので、体調にご留意されるよう申し上げました。

唐津東ロータリークラブ

会長：市丸　昌哉
幹事：諸泉嘉治朗

７／２２（木）大変猛暑の中、高原武彦ガバナー、中島登志雄ガバナー補佐、酒井田正宏地区幹事を迎えての公式訪問例会を開催致しました。

又、事前に１１時３０分より高原ガバナー、中島ガバナー補佐、酒井田地区幹事さんとの懇談会を会長、幹事、会長エレクトを交えて唐津東ロータリークラブの現況等について意見交換を行いました。

高原ガバナーは、地区のテーマとして『地域、家族と共に生き生きロータリー』と地区のテーマとされました。当クラブの運営方針でも『地域に密接した奉仕活動に積極的に取り組みましょう。』としています。炉辺会合等で、会員や会員の事業所、家族や知人等の社会奉仕活動を紹介しあって、地域の社会奉仕活動内容を理解すると共に当クラブでの取り組み方について意見交換したいと思っております。

例会・各行事等にも積極的に参加し、生き生きとした楽しいクラブ運営になるよう例会にも力を注ぎ、会員増強・退会防止になるよう努めたいと思っています。

又、親睦を通じて会員一人一人の絆を深めて、それによってクラブ活動も活発になり、最終的には奉仕に繋がるのではないかと信じています。そして、我がクラブの伝統である『親睦と融和」の精神を忘れず、クラブ運営の指針としたいと思います。

ガバナー公式訪問

伊万里西ロータリークラブ

会長：堤　茂樹
幹事：馬場　久之

去る7月22日(木)連日の猛暑の中、高原ガバナー・中島ガバナー補佐・酒井田地区幹事をお迎えしてガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

懇談会では、当クラブに培う伝統的な流れや特色等を話させていただき、高原ガバナーからも他クラブのユニークな取り組みや、魅力ある例会など参考になる話を聞かせて頂きました。終止和やかな雰囲気の中に有意義な懇談会でした。

例会では新たに横岳地区副幹事・石川ガバナー月信担当・有田ロータリークラブの下直前会長にもご出席を頂きました。

当日の例会は100%出席例会と位置づけ、SAA・出席委員会と連絡を密に取りながら、念願の出席率100%で皆様をお迎えすることが出来ました事に手前味噌で恐縮ですが満足をいたしております。例会での高原ガバナーの卓話は、人柄から感じ取られますように、一言一言丁寧な、説得力のある話し方に感銘を受けた次第であります。

例会後の懇親会や2次会と、楽しい時間を持つ事ができ感謝しております。

西クラブの重点項目として、会員相互の親睦を通じた更なる深い交流と、魅力ある例会による出席率の向上・会員純増2名を重点とし会員一丸となって取り組んで行きたいと思います。

連日続きます訪問等々どうぞ健康に留意されましてご活躍をされんことを心から願っております。ありがとうございました。

雲仙ロータリークラブ

会長：吉原　國康
幹事：相原　孝一

前年度100%出席者表彰

ガバナー公式訪問が7月24日(土)に高原ガバナー、笠井ガバナー補佐　酒井田地区幹事をお迎えし、開催されました。例会前に当クラブ会長、幹事、会長エレクト、副幹事との、懇談会が開かれ意見交換会があり色々とご指導していただきました。ガバナーは雲仙に歩いて登られた、エピソードを話されました.

高原ガバナーは「地域・家族と共に生き生きロータリー」を地区のテーマとされました。各々のRCが生き生きと楽しい活動をして、地域の人々や家族と共に話題にできるような社会奉仕活動を探して、より住みやすい地域、家庭、幸福な家庭へとつなげるようにしたいと話されました。

当クラブのテーマは「Enjoy. Rotary」とします。会員一人一人が、楽しく笑顔あふれるような例会作りに努めます。特に力を入れたい活動は

◆会員増強・退会防止・純増3名(女子会員1名)

◆親睦委員会と連携して炉辺会談、夜の例会を行う

今年度会員増強3名を目標に会員一同努力したいと思います。会員と緊密な連携を取りながら地域を育み地域に密着した活動を目指します。今後ともご指導よろしくお願いします。

ガバナー公式訪問

諫早南ロータリークラブ

会長：大砂　清信
幹事：古川　忠光

7月26日(月)高原ガバナー、橋爪ガバナー補佐、酒井田地区幹事をお迎えして、公式訪問例会を開催致しました。

例会前には、会長・幹事との懇談会が行われました。当クラブの現況報告や特徴などの質問がありました。

「会員数27名で、内女性会員6名です。会員数は、少ないですが、意思の疎通は上手く行っていると思います。又、平均年令も54才と若い人が多いのが、当クラブの特徴です。」継承事業と致しましては、今年で6回目となる諫早南ロータリークラブ杯少年剣道大会を8月29日に開催する予定です。

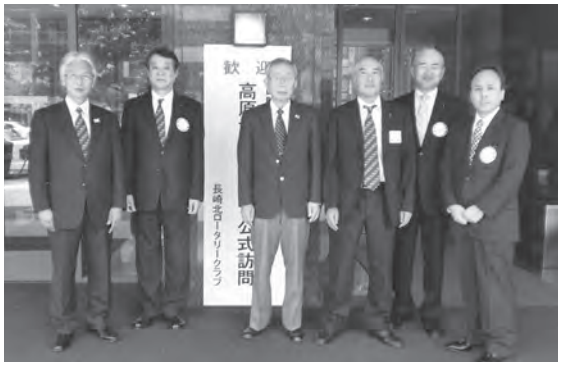
例会では、地区のテーマである「地域・家族と共に生き生きロータリー」先ずは、足元から活性化が必要であるという話をされ、また、この不透明な経済環境の中、いかにして、ロータリアンの減少を防ぐか、どのようにして増員していくかという話をされました。

高原ガバナーは、諫早出身で、親しみがより一層増しました。

当日は、夜の例会にもかかわらず、わざわざお越しいただき、遅くまでありがとうございました。諫早にお越しの際は、是非例会へご出席下さい。

長崎北ロータリークラブ

会長：谷村　博志
幹事：小林　純一



7月29日(月)、高原武彦地区ガバナー公式訪問をいただきました。ガバナー公式訪問の日程を事前に見てみると、全57クラブ、中には23クラブは夜の例会もあり、最終訪問となる9月28日のご自身の有田ロータリークラブまで、まさに昼夜を問わない3ヶ月間の強行スケジュールで、「ありがとうございます」、「ご苦労さま」というのも言い足らないように思えて、「感謝いたします」との歓迎の言葉となりました。酒井田正宏地区幹事も同様の日程となることに感謝いたします。

当日の例会は、当クラブの活動の一環である「いのちの電話」と「声の奉仕会・マリア文庫」への助成金贈呈を用意していました。特に「マリア文庫」については、「人道的な社会奉仕」として、地区助成金の対象に認められ、折よく地区ガバナーの立会いのもとに聾唖を助ける音声機器などの目録を贈呈できました。

ガバナー方針の中で強く共感するものに「足元からの活性化」があります。
①当クラブ独自の「国際交流基金」制度の発展。②少年剣道大会の継続。③日常の例会の充実。
あえて3箇条に絞りましたが、当クラブ等身大の活動は総花的ではいけない、足元をみつめ、新鮮さを加えつつ個性ある活性化を望みます。

ガバナー公式訪問

唐津ロータリークラブ

会長：田中丸忠良
幹事：東島　吉隆

7月27日(火)高原ガバナーの公式訪問例会です。やや緊張しながら11時前に例会場に到着しました。当然のことながら公式訪問は初めての経験です。副会長の時は、会長の隣に居ても、重さが違います。ガバナーのお話を聞きながら2740地区57クラブをすべて回るということの大変さに驚かされると共に、その責任の重さに感動した次第です。

例会は大過なく終了し、何かホッとした様な思いがしました。これから1年間会長として、唐津ロータリークラブを責任をもって運営していくことの重大さをひしひしと感じた次第です。今年の方針である「地域・家族と共に生き生きロータリー」のスローガンのもと、唐津の地にロータリーの存在意義を知らしめる努力と、何よりも家族にロータリーの良さを知ってもらうことを知らしめる1年だと思い努力をすることが大切だと感じた1日でした。私たちは下記の重点目標に向かって1年間努力を致したいと思っております。

1．出席率の向上
2．参加したくなる親善活動と家族会の充実

佐賀大和ロータリークラブ

会長：金子　智則
幹事：井手　浩利

今期の佐賀大和ロータリークラブのスローガンは「何事にもプラスワンの発想で行こう」です。クラブ協議会において、会長、幹事、四大奉仕委員長により、今年の活動方針を発表致しました。高原武彦ガバナーは地区の方針で「地域・家族と共に生き生きロータリー」をテーマにされ、一つ一つのクラブが生き生きと楽しい活動をして健全に運営されてこそ始めて、地域を育むことにもなり、大陸へつなぐことが出来ると思うと述べられています。

1．会員増強、退会防止
各会員一人一人がロータリーの知性と活動を認識し、ロータリアンとしての自信と誇りを高めていくことが大事です。その為に毎回の例会を有意義なものにしていくことが大切である。それが出来ればおのずと、会員増強、退会防止につながっていく。
本来であれば、こちらから勧誘しなくても先方から佐賀大和ロータリークラブに入りたいと思って頂けるようなクラブになりたい。

2．ポリオ撲滅
クラブ目標として1,200ドル達成に向けて、例会時に500円(ワンコイン)の寄付をお願いする。

ガバナー公式訪問

伊万里ロータリークラブ

会長：山浦　義行
幹事：川原　丈司

高原ガバナー、第４グループ中島ガバナー補佐、酒井田地区幹事をお迎え迎して、割烹山平にて公式訪問例会が開催されました。 当クラブは7月２７日が創立記念日であり、その翌日の２８日に公式訪問の例会を開催でき、記念すべき例会となりました。

例会に先立って当クラブから山浦会長、川原幹事、樋渡会長エレクトが参加して懇談会を開催しました。高原ガバナーの優しい配慮で和気藹々の内に有意義な時間となりました。 歴代書いて頂いている恒例の皿への楽焼きを、高原ガバナー、中島ガバナー補佐にそれぞれの思いを書いて頂きました。

高原ガバナーの卓話では、特にクラブ出席率の高さと皆出席会員の多さに対し、お褒めの言葉をいただきました。

創立５０周年を迎えたことから、その後の記念の懇親会にも参加をいただき、終始和やかな雰囲気の中で親睦の時間を共有できました。

暑さ厳しい中での公式訪問に対し会員一同感謝申し上げるとともに、高原ガバナーにおかれましては、お身体にご留意されますますのご活躍を祈念いたします。

クラブにおける活動目標

①．会員増強と退会防止に努める
②．５０周年記念を機会として、ロータリー理念を共に考え実践する
③．明るく楽しく会員相互間の理解と親睦を深める

長崎ロータリークラブ

会長：中村　重敏
幹事：光安　幸夫

７月２９日(木)猛暑の中、高原ガバナー、渡邊ガバナー補佐、酒井田地区幹事、西山会員をお迎えして、公式訪問が開催されました。例会前のクラブ役員との懇談会では、長崎RCより、中村会長、嵩下次年度会長、光安幹事、天本次年度幹事出席の下、当クラブの現況と活動報告を行いました。今年度の当クラブ活動方針として、

1、クラブ内の親睦を深める。(例会、二三会、ゴルフ会等をより活発に行う)
2、奉仕プロジェクトの推進
・セントポールRCとの交換学生プログラム
・アバディーン・バルゴニーRCとのトーマス・B・グラバー奨学生プログラム
・米山奨学プログラム　等を確実に行って行く。

以上を踏まえて新しい活動に繋げて行けるように努力したいと思っております。例会では、高原ガバナーよりRIのテーマ“地域を育み、大地をつなぐ”をより具体的に、“地域・家族と共に生き生きロータリー”と言う地区方針について詳細にお話をいただきました。最後に当クラブの宝であります第４６代RI会長ハーバード・J・テーラー氏(1956年来崎)の四つのテスト直筆の複写を来訪記念として贈呈させていただきました。

ガバナー公式訪問

牛津ロータリークラブ

会長：小柳袈裟治
幹事：今泉　昭博

特に力を入れたい活動
①親睦活動で退会防止
②地域の子供たちへの奨学金制度

①地区テーマ、「地域・家族と共に生き生きロータリー」親睦委員の企画で唐津での家族会を行い地引網・プール等、会員家族孫等が集まり会員家族の構成がわかります。12月にはクリスマス会もあり子供たちも大喜びです。又、夫人の集いも奥様たちと会食しながらロータリー活動状況を知らせ、理解を深めてもらう、これも退会防止につながります。親睦を通じてさらに会員相互の友情を深めていきたいと思います。

②デフレ不況で地元の高校生、大学生のなかにも経済的に困っている人もいると思われます。地元の学生を対象にした基金を作り、市役所、教育委員会と話し合い、又教育委員の山本会員に相談し、地元の子供たちにも応援できる奨学金基金制度が牛津ロータリーの記念事業としてできないか全会員にお聞きし、賛否をとりたいと思います。これができると、地元でのロータリー活動がわかり次のロータリー会員の獲得につながると思います。

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介いたします。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

ロータリー財団

種　類	氏　名	クラブ名
マルチプルポール ハリスフェロー	松尾雄次郎	唐津ＲＣ
	鶴田　司	佐世保南ＲＣ
	中島　洋三	佐世保南ＲＣ
	山口　嘉浩	佐世保南ＲＣ
ベネファクター	森　眞敏	福江中央ＲＣ
年次寄付	石井　計行	長崎中央ＲＣ
	牛津ＲＣ	
普通寄付	東長崎ＲＣ	

米山記念奨学会

種　類	氏　名	クラブ名
功労者	御手洗富章	福江中央ＲＣ
	中島　洋三	佐世保南ＲＣ
マルチプル	高原　武彦	有田ＲＣ
	鶴田　司	佐世保南ＲＣ
	峯　順通	佐世保南ＲＣ
	馬郡　謙一	佐世保南ＲＣ
メジャードナー	松尾雄次郎	唐津ＲＣ
普通寄付	牛津ＲＣ	

職業奉仕月間にあたって

職業奉仕委員長 岩 﨑 修一

「職業奉仕」はロータリー独特の概念であり、他の奉仕団体と区別する最も特徴的な概念だといわれています。私は、「職業奉仕」という言葉をロータリーに入会して初めて知りました。しかし当時は、意味を全くわかっていませんでした。やがてクラブで職業奉仕委員長を拝命する機会がありましたが、その時ですら、意味は良く理解できていませんでした。
そんな私が、やっと「職業奉仕」を少し理解したのは、ロータリー100周年の年に、ロータリー創設の経緯を学んだ時でした。

今から約100年前のシカゴは相当に殺伐とした都市だったようです。アル・カポネが逮捕されたのが1929年ですから、それまでの数十年間は無法者が闊歩していた時代です。1800年頃から資本主義が台頭し、世の中では貧富の差が拡がり、経営者はあらゆる手段を使って自由競争という名のバトルを展開し、非合法の取引ですら堂々とまかり通っていました。
そのような社会にあっては、人と人との信頼関係も崩れ、安心して取引をすることができない――― これで良いのだろうかと疑問を感じながら、嘆かわしく感じていた人が多かったろうと思われます。

多分、ポールハリスをはじめ初期のロータリアンは、会合で親睦を深めながら、せめて自分たちだけは正当な取引をしようではないか、自分たちは、決して人をだますような取引はしないようにしようではないか、と話し合っていたのだと思います。そして、自分たちが誠実な仕事をし、信頼される企業になれば、そして、やがて、そんな仲間が一人二人と増えて来れば、病んだこのシカゴの町も少しは良くなるのではないか、と思ったのではないでしょうか。

無法者の町シカゴを健全な町に造り替えるために、一人一人が、真摯な態度で誠実に仕事をし、そんな仲間を増やす。その結果シカゴの町が誠実な企業で埋め尽くされれば、この町はどんなに素晴らしい町になるだろうか。これこそが社会に対する奉仕ではないか。
そうでなければ、不適切な方法でお金を稼いでも、寄付さえすれば全て免罪されると思う人達を排除することはできない。
地味ですが、良い企業になり、良い仲間を増やすことが大事なのだという考え方が、ロータリーの「職業奉仕」の真意だろうと思いました。

良い企業への道筋は経営学の手法と同じだと言われていることを考え併せてみれば、「職業奉仕」とは決して難しいものでも、特別のものでもなく、日々、誠実に自分の職業に打ち込み、優良企業を目指して精進することであり、そのことこそが「職業奉仕」の実践ではないかと思っているのです。

米山記念奨学月間にあたって

米山記念奨学委員会　委員長　曽我文雄

１０月は米山記念奨学月間と定められ、そのＰＲや事業を活発に行うことになっています。しかし、米山委員会のメンバーにとっては毎月が米山月間なのです。地区協議会に於いて、各クラブの米山委員長には「短時間でいいので、出来れば毎例会で米山に関するお話をして下さい」とお願いをしています。そうすることによって米山委員会の活動内容を、会員の皆様に理解して戴けると考えているからです。

公式訪問の際にガバナーから、国際ロータリーの会長が「旧弊にとらわれず、チャレンヂしていくべきだ」という意味の発言をされているとお聞きして意を強くしています。米山奨学会は日本独自の事業なので、目標を達成するためには自由な発想による活動が可能なのです。

年度当初の挨拶にも書いています通り、米山奨学会は皆様方に寄付をして戴き、それを運用していくことで成り立っているのです。寄付には一時的なものと継続的なものがあります。一時的な寄付であれば無理なお願いも出来ますが、継続的な寄付には無理は禁物です。

米山奨学会は可能な範囲で無理なく、長期に継続して寄付をして戴きたいと考えています。しかし、各クラブの委員長は殆どが一年で代わっています。その為に完全に理解する前に一年が終わってしまうのです。事業を継続していくには、システム化する必要があります。

９月４日（土）のクラブ委員長のセミナーでは、事業を成功させる法則と寄付をシステム化する方法を勉強していただきます。この法則は会社や家庭でも応用が可能です。委員長が出席出来ない場合は代理の方でも結構ですから、必ず全クラブの参加をお願いします。

また、十月からの奨学生出前卓話の受付をやっていますので多数申し込みをお待ちしています。奨学生の出前卓話はご希望が重複したり、学校の都合が悪かったりする可能性がありますので、第一から第三希望までお知らせ頂ければ有難いと思います。場合によっては、各グループの地区委員と話し合って決定して戴きたいと考えています。

どうか今後とも米山奨学委員会にご協力を賜ります様お願いいたします。

第5・6グループロータリークラブ会員研修会開催の報告

第５グループガバナー補佐　福　田　金　治
第６グループガバナー補佐　志　久　雄　三

皆様もご承知の様に、ＩＭ（Ｉ・Ｃ・Ｇ・Ｆ）（都市連合一般討論会）について詳しい記述は、１９８１年以降の手続要覧には載っておりません。

１９８１年までの手続要覧にはＩＭ（Ｉ・Ｃ・Ｇ・Ｆ）の主催者、参加者及び研修方法について詳しく記載されておりましたが、１９８１年以降の手続要覧にはＩＭ（Ｉ・Ｃ・Ｇ・Ｆ）についての記述がありませんので、１９８１年以降、ＩＭ（Ｉ・Ｃ・Ｇ・Ｆ）を主催されるクラブは　過去の実施例を参考に、色々工夫して実施されてこられました。しかし近年のＩＭ（Ｉ・Ｃ・Ｇ・Ｆ）は近隣クラブの会員が一堂に会してロータリーについて勉強し、懇親を深めるという、当初の開催目的から離れている様に思っておりました。

そこで、新年度の始まる前に、第５、第６グループ中の各クラブにＩＭ（Ｉ・Ｃ・Ｇ・Ｆ）の開催についてお尋ねした所、ほとんどのクラブより中止して良いとの回答を得ました。しかし、ＩＭ（Ｉ・Ｃ・Ｇ・Ｆ）を中止しますと、グループ中の会員が　合同で研修する機会が他にないので、今回の「ロータリークラブ会員研修会」を企画した理由です。

企画に際しましては、以前は（Ｉ・Ｃ・Ｇ・Ｆ）と言われた時代に私共が受けました研修内容に少しでも近づけたいと思い、「ロータリーの基本的な勉強」「ロータリーの存在理由」について、在籍年数の長い「パストガバナー」「ガバナー補佐」が講師となり、別記の通り実施致しました。

ロータリー行事は、通常は土・日開催が普通ですが、今回は　佐世保南ＲＣ会長の提案で、ウィークデーの木曜日、夕方より開催でしたが、当初の予定より多くの会員に出席していただき、ウィークデー開催は大成功でした。又、登録料につきましても、いままでの「全員登録」「人頭分担金」は行わず、実際に出席される方のみに負担していただきましたが、結果的には１３４名の方に登録して頂き、数名の当日欠席者は出ましたが、ほとんどの出席者が研修会後の懇親会にも出席していただき、私共の開催主旨が理解していただけた様に思います。

今回の「ロータリークラブ会員研修会」の主管クラブを引き受けていただきました佐世保ロータリークラブの飯田会長様を始め、会員皆様にも改めて御礼申し上げます。

RI第2740地区　第5･6グループ
ロータリークラブ会員研修会

日　時	平成22年7月22日(木)	研修会　16:00～18:20
		懇親会　18:30～20:00
場　所	九十九島観光ホテル	
講　師	武井洋一パストガバナー	「I･C･G･Fについて」
	安部直樹　〃	「ロータリー全般」
	福田金治ガバナー補佐	「ロータリーの基礎」
登録料	6,000円	

2010－11年度地区社会奉仕部門前期セミナー開催される

（2010.7.25　武雄センチュリーホテルにて）

社会奉仕地区委員　白石RC　片　渕　正　人

猛暑の中、地区内57クラブの会長、委員長を一同に会してセミナーが開催されました。13時30分堤光昌地区委員（佐賀）の司会。高原武彦ガバナーの点鐘。田島英夫地区委員（長崎北東）の参加者の紹介。「ガバナー挨拶」参加に対し労いの言葉。7月13日鹿島を皮切に昨日の雲仙まで8クラブの公式訪問終了。地区目標会員増強について、すでに３～５名の増強クラブもありこれからもしっかりした計画のもと取り組まれ今年度の達成を期待しているところです。

次に増崎幸一郎地区委員長（伊万里）より今年度のテーマ「原点に立ち戻って考え行動しよう」。原点とは？社会奉仕とは？具体的な考え方が示されました。活動方針として①継続中の奉仕活動のチェックを②新規活動へのトライを③RI会長賞、特別会長賞へのトライを④各クラブで社会奉仕にまつわる卓話の実施をお願いしたい。次に田口厚パストガバナーの基調講演。最初にロータリーに対する自己診断。私はロータリー活動にあまり熱心でないと思う。しかしNOとは言えないロータリーを実践している。パストガバナーの人柄を垣間見た感じでした。また、高原ガバナーの誕生に結びついた酒井田地区幹事との秘話も紹介されました。現在日本の高齢化社会が深刻でありRCも例外なく会員減少が活動の低下を招いていると言われています。今こそ地域に根ざした社会奉仕活動を活発化し若いロータリアンを引き入れて増強を進めてほしい。休憩の後、57クラブの委員会活動報告及び今年度の活動計画について発表がなされました。各々内容のある地域に根ざした取り組み活動が発表され今後の参考になるところが多いと感じました。小生も過去、町の環境保全監視員を2年経験し不法投棄、ゴミ置場を定期に巡回指導に関わりました。以降、環境保全、エコに関心を持つようになりました。今後も自分にできることから行動したいと思います。

国際ロータリー第2740地区 2010年～2011年度 インターアクト年次大会開催

７月３１日・８月１日この全日空グラバーヒルホテルを中心にインターアクト年次大会が行われました。皆様も御存知の通り今年度ホストクラブは長崎南ロータリークラブ！ホスト校は長崎女子商業高等学校、コ・ホスト校が長崎女子高等学校・活水中学高等学校・海星高等学校・五島高等学校で大会に臨みました。参加校は２０校、インターアクターの参加は、過去最多と思われる２０５名が参加、ロータリアンも７８名が参加しはじまりました。　今大会は、企画段階からいろんな事があり実行委員会メンバー全員が思考錯誤を繰り返し、今までの今大会への疑問も考えながら全く新しい南ＲＣの年次大会にしたい！という強い思いから、１から考え直し意見を戦わせながら少しずつ出来あがっていきました。ここグラバーヒルに全員が集合した後は簡単な説明のあと、ご協力いただいた“長崎さるく”のボランティアガイドさん・ロータリアンと共に、特別コースで実際に長崎をさるき、今大会のテーマである「街を語り、人とふれあう　～世代を超えて～」一人ひとりに考えてもらいながら、鉄川　進氏をコーディネーターに迎えての、林　一馬氏の基調講演、さらにパネリストとして梅元　建治氏・宮本　絵理子氏を交えてすばらしい話が展開していきました。続けてワークショップに入り、梅元氏にファシリテーターとして活躍していただき、心憎いまでの話法で生徒達を導き、子供たちの心に残るものになったと確信しています。夕べの集いでは長崎女子高等学校龍踊部による演舞と長崎しっぽく料理で長崎を楽しんでもらい、その中でも自分達の街を理解して学びこれから自分達に何が出来るのかを考えてくれたのではないかと思っています。翌日の式典ではいろいろはハプニングがありながらも、田上市長にも参加していただき良い話を聞かせていただき無事に終えることができました。昨年より何度も打合せをし、当日まで御尽力いただきました実行委員会の皆様、また御忙しい中、当日参加してお手伝いいただいた皆様本当にありがとうございました。感謝。

2010 年 8 月 13 日発行［月刊］
（財）ロータリー米山記念奨学会

ハイライトよねやま126

1 寄付金速報 ― 2010 年度のスタートは… ―

2010-11 年度が始まって 1 カ月が経過しました。7 月の寄付金は約 1 億 9,700 万円で、前年度に比べて 5.6%減、約 1,200 万円の減少でした。特別寄付金が 5.6%増と好調である一方、普通寄付金は 8.9%減となり、会員数減少に伴うと思われる普通寄付金の減少が、厳しい滑り出しの原因となっています。

今年度の予算目標額は、前年度実績より 2,700 万円減の 13 億円としています。日本のロータリアンが誇りとする米山記念奨学事業の発展・拡大のため、今後もご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2 新奨学生の募集が始まりました！

2011 年 4 月採用の新奨学生募集が始まりました。地区米山記念奨学委員会からの報告により決定した指定校は全国で 442 校（前年 465 校）、被推薦者数は 1,643 人（前年 1,702 人）です。この中から地区の選考を経て、新規奨学生約 600 人が選ばれます。

指定校が推薦者を選考する際の「選考の目安」を提示した地区は 28 地区で、「日本語運用能力」(24 地区)、「国籍が偏らないこと」(22 地区)、「ロータリー活動への理解、積極的な協力」(14 地区) を挙げる地区が多く見られました。また、今年度は初めて「世話クラブ等でスピーチを行えること」を挙げる地区もあり、米山奨学生としてロータリー活動や世話クラブに対する理解と積極的な参加を期待することを指定校に明示する地区が増えました。

なお、大学・大学院以外を対象とする「地区奨励奨学金」を導入したのは、昨年と同じ 5 地区 9 校。大学生と同等の応募資格を有する高専専攻科を指定校とした地区はゼロでした。

※募集要項・申込書はHPからダウンロードでき、8 月 16 日付で当会から指定校へ送付されます

3 トルコと日本の友好に尽くした米山学友が逝く

日本とトルコの友好親善のために尽力していた米山学友、メスット・シェネルさん（2003-04／岩井ＲＣ）が 6 月 18 日、急性心不全のため死去しました。31 歳でした。毎日新聞の記事によると、メスットさんは埼玉県川口市でジョギング中に急逝。日本のＮＰＯ団体が作成した、日本とトルコの友好を物語る 120 年前の海難事故救援物語をボランティアで翻訳した本が 5 月 18 日に出版され、これが彼にとって最後の友好親善活動となりました。

メスットさんは 2001 年に「日本トルコ育英会」を創設し、トルコや中央アジアからの留学生に奨学金を支給していたほか、トルコを紹介する音楽コンサートを企画したり、母国で日本留学を紹介するセミナーを開催するなど、両国の親善交流のために骨身を削って活動していました。ボランティア活動について「幸せというお金より高い価値があり、自分自身への約束という、仕事よりも責任を必要とすることであり、何よりも限りない世界」（東京都国際交流委員会発行『れすぱす』01 年 9 月号より）と語っていたメスットさん。「いつか自分もロータリアンになりたい」という願いが叶う前に、帰らぬ人となりました。心からご冥福をお祈りいたします。

4 中国米山学友会上海総会が開かれました

中国米山学友会の第２回総会が７月17日、上海国際会議センターで開かれ、中国全土と日本から集まった米山学友161人と、日本のロータリアン・家族ら253人の400人以上が参加する盛会となりました。今年度の中国学友会会長を務める張晋岩さん（1993－95／鈴鹿西ＲＣ）は、今回の主題として「感恩・交流・奉仕」を掲げ、「日本のロータリーへの感謝を伝え、幅広く交流を行い、奉仕活動をスタートする」との学友会活動方針を表明。壇上の学友からは、カウンセラーや世話クラブへの感謝の思いが次々に語られ、会場の各所で旧交を温めるロータリアンと学友の姿が見られました。

趣向を凝らしたプログラムの中でも、最も参加者を驚かせ、感動させたのは、世話クラブへの感謝盾の贈呈でした。今回の参加ロータリアンの所属クラブ全93クラブのうち、実に87クラブが中国の米山奨学生の世話クラブ経験があることから、中国学友会では、各世話クラブに宛てた感謝盾を用意。代表者として関場慶博パストガバナー（弘前ＲＣ）に壇上で贈呈した後、学友が各テーブルを回ってすべての世話クラブに贈呈しました。「こんなに立派な盾をもらえるとは思いも寄らなかった」「皆さんの気持ちは必ずクラブで報告します」と、各テーブルでは喜びの声とともに記念撮影が行われていました。会の締めくくりは、「手に手つないで」。広い会場を世代や国境を越えた人の輪で取り囲み、皆で歌う様は圧巻で、中には感激で涙する学友の姿もありました。

2002年以来、上海学友会の設立と活動を支援してきた中津川ＲＣへの感謝、留学生活を温かく支えてくれた世話クラブとカウンセラーへの感謝、そして、米山記念奨学金制度を支える日本のロータリーへの感謝――。中国の学友が寄せる深い感謝の気持ちが伝わった今回の総会・懇親会は、学友、ロータリアンそれぞれの胸に感動を刻んで無事終了しました。

※米山記念奨学会HPで、９月中旬、当日の模様を動画で配信予定です

5 スリランカ学友からアジア文化芸術祭<名古屋>のご案内

名古屋大学で経済学博士号を取得し、現在、名古屋で翻訳・通訳会社を経営するスリランカ出身の米山学友、エス・エム・ピ・サマラクーンさん（1997-98／名古屋西ＲＣ）は、在日スリランカ大使館の依頼を受け、昨年から母国スリランカの文化を紹介するイベントを主催しています。２回目となる今年は、スリランカの有名な舞踊団のほか、韓国、中国、日本の音楽家を交えて、各国の文化を知り、互いに理解を深める「アジア文化芸術祭」として開催。愛知県、名古屋市、在日スリランカ大使館、中国駐名古屋総領事館など多くの後援を得て、下記の通り実施されます。お近くの方は、ぜひお出かけください。

【日時】：2010年９月19日(日)19時30分開演(開場は19時から)
【会場】：愛知県産業労働センター「ウインクあいち」【料金】：6,000円(全席指定) 前売5,000円
チケットの予約・問合せは、ワールドリンク株式会社(TEL:052-799-5658/5659 FAX:052-799-5659)まで
詳細は、http://www.worldlinkservice.com/ をご覧ください。
※このイベントの収益の一部は、スリランカの恵まれない子どもたちへの奨学金として使われます。

(財)ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15
黒龍芝公園ビル3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津（のづ）・峯

文　庫　通　信 〈275号〉

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、２万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでＰＤＦもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。　以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演より

◎「ロータリーの歴史をふまえて」	南園　義一	2010	2p	(D.2770)
◎「ＵＮＤＰ親善大使として、見たこと、感じたこと」	紺野美沙子	2010	2p	(D.2770)
◎「日本人のこころ」	徳川　恒孝	2010	10p	(D.2590)
◎「日本のこれから」	藤原　正彦	2010	4p	(D.2590)
◎「世界の水問題」	金杉　　誠	2010	6p	(D.2590)
◎「先人に学ぶロータリーの心　日本人の職業倫理」	島田　燁子	2010	3p	(D.2530)
◎「先人に学ぶロータリーの心　江戸時代の京都商道～石門心学とロータリー」	木戸　邦考	2010	4p	(D.2530)
◎「現代に生かす　戦国武将の知恵」	松平　定知	2009	8p	(D.2800)

［上記申込先：ロータリー文庫（コピー／ＰＤＦ）］

ロータリー文庫

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後5時　　休館＝土・日・祝祭日

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介いたします。

※氏名の下部は、勤務先、趣味

佐賀RC
万波　茂 君
東京海上日動火災保険㈱佐賀支店

佐賀RC
陣内　芳博 君
㈱佐賀銀行

鹿島RC
谷川　繁男 君
佐賀西信用組合
ゴルフ

嬉野RC
平井　恒治 君
(有)ヒライ
マージャン・ボーリング・ゴルフ

伊万里RC
小松　茂 君
前山一級建築士事務所㈲
特になし

伊万里西RC
福田　綱吉 君
㈱名村造船所伊万里事業所
スポーツ観戦

松浦RC
大塚　哲夫 君
電源開発㈱松浦発電所
読書・ゴルフ

松浦RC
原田　孝 君
九州電力㈱松浦発電所
読書・散歩

松浦RC
中山　吉則 君
中山レディースクリニック
読書・旅行・フィッシング

平戸RC
岡田　俊一 君
岡田豆腐店
ゴルフ

平戸RC
早田　圭介 君
有限会社SOUDA
ゴルフ

佐世保西RC
上舩津　靖裕 君
株式会社親和銀行
ソフトボール

佐世保南RC
桟　宗利 君
㈱カケハシ
ゴルフ・木工・水彩画

佐世保南RC
宇土　義継 君
宇土綜合写真㈱
つり

佐世保南RC
橋本　正喜 君
九州ひぜん信用金庫
読書・つり・映画鑑賞

佐世保北RC
村瀬　高広 君
㈲佐世保大塔自動車学校
ドライブ

佐世保北RC
田平　孝 君
九州電力㈱佐世保営業所
ゴルフ

長崎南RC
松本　一隆 君
道ノ尾病院
ジム通い

長崎南RC
永田　修一 君
桜町調剤薬局
読書・美術鑑賞

長崎東RC
峰　利克 君
長崎放送株式会社
山歩き・ゴルフ・音楽鑑賞

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介いたします。

※氏名の下部は、勤務先、趣味

長崎西RC
斉藤　秀和 君
㈱竹中工務店長崎営業所
ゴルフ・スポーツ観戦

大村東RC
福永　祐文 君
サムコテクシブ
ゴルフ・旅行・音楽鑑賞

雲仙RC
横田　俊之 君
横田クリーニング

諫早RC
園田　洋一 君
九州電力㈱大村営業所
ゴルフ・サッカー

長崎RC
荘野　尚志 君
九州電力㈱長崎支店
バトミントン

長崎北東RC
波戸　宏光 君
たちばな信用金庫長崎中央店
音楽鑑賞・読書

物故者

伊万里西RC
竹田　敏之 君
52歳

伊万里西RC
大宅　弘海 君
79歳

佐世保RC
金氏嘉一郎 君
58歳

ロータリーの偉人に学ぶ 元気の出る言葉

～松下幸之助氏の言葉より～

いろいろの花があってよかった

顔も違えば好みや物の見方も違う。十人十色、本当にいろんな人がいる。だが、そうであれこそ新たな発明・発見、豊かな文化も生まれてくる。いろんな花があって百花繚乱の美が生れるごとく、いろんな人がいてこそ、社会は多彩に豊かになるのである。

第2740地区ガバナー事務所 http://www.d2740.org/index.php
E-mail：ri2740takahara@triton.ocn.ne.jp

国際ロータリー第2740地区

2010－2011年度

地区大会のご案内

11月5日(金)・6日(土)・7日(日)

地域を育み、大陸をつなぐ

11月5日(金)

■ 記念懇親ゴルフ大会 〈受付 7:30～ スタート 8:28〉
会場：若木ゴルフ倶楽部(武雄市)
TEL0954-26-3030

■ RI会長代理ご夫妻　歓迎晩餐会 〈受付 17:00～〉
会場：大正屋(嬉野市)
TEL0954-42-1170

11月6日(土)

■ 会長・幹事会 〈受付 9:00～〉
■ 大会四委員会 〈開始 10:30～〉
会場：有田ポーセリンパーク
TEL0955-41-0030

■ 登録開始〈11:00～〉会場：焱の博記念堂 玄関ホール
■ 本　会　議〈12:30～〉会場：焱の博記念堂 コンベンションホール
TEL0955-46-5010

■ 記念講演 〈15:30～〉
14代酒井田柿右衛門 氏

〈聞き手〉
渡邊あゆみ
(旧姓 黒田)
NHKアナウンサー

「有田の伝統を語る」
会場：焱の博記念堂 コンベンションホール

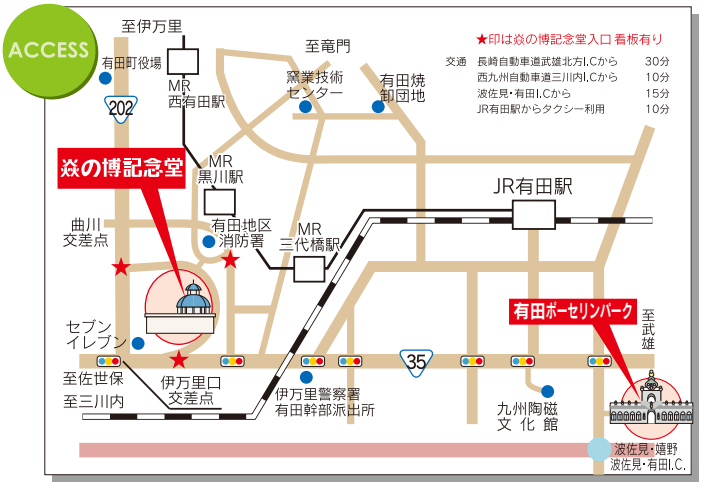
■ 記念懇親会 〈開始 18:00～〉
会場：焱の博記念堂 コンベンションホール

11月7日(日)

■ 朝ごはんプロジェクト
〈11:00開始〉

■ 記念講演会 〈14:00開演〉
江 上 栄 子 氏
料理研究家

演 目
「食育と器」
-日々の暮らしをいきいきと過ごすために-
会場：焱の博記念堂 文化ホール TEL0955-46-5010



〈時間等 一部変更になる場合がありますので、ご了承下さい。〉

国際ロータリー第2740地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740
2010－2011 年度ガバナー　高 原 武 彦

地区大会事務局
〒844-0027　佐賀県西松浦郡有田町南原丁175-5
TEL:0955-25-9113　FAX:0955-25-9120

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010−2011年度
国際ロータリー第2740地区　ガバナー　高　原　武　彦

地域を育み、大陸をつなぐ

CONTENTS

高原武彦ガバナー …… 1・2
ガバナー補佐・リレー随想 …… 3
新世代部門地区セミナー報告 …… 4
青少年交換プログラムオリエンテーション報告 …… 5
ガバナー公式訪問 …… 6
ガバナー・ノミニー決定宣言 …… 17
ロータリー財団月間にあたって …… 18
新入会員紹介・寄付者紹介 …… 19
会員数・出席者報告 …… 20
米山カウンセラー研修・交流会報告 …… 21
ハイライトよねやま …… 22
文庫通信 …… 24
地区大会ご案内 …… 表紙4

有田の宝物③
有田の名水

竜門峡（りゅうもんきょう）【場所：有田町広瀬山】
黒髪山の麓に集まった清水が渓谷美を織りなし、神秘的な雰囲気漂う竜門峡。日本名水百選に指定されており、春は桜、夏は鮮やかな緑、秋は紅葉と、水に浮かぶ四季折々の美しい景観が見られます。黒髪山系の登山口でもあり、キャンプなどもできます。

vol.4
2010.10.1

2010年～2011年
ガバナー **高 原 武 彦**

1．クラブ公式訪問

７月13日祐徳稲荷神社で公式訪問の無事を祈願していただいて、鹿島立ちをして１日１～２クラブ、計45クラブ（９月９日現在）を終えることが出来ました。会員の皆様方の温かい御支援とお心遣いをいただきました。ロータリアンの友情に感謝いたしております。９月28日の有田ＲＣのゴールは見えてきました。各クラブでの会長、会長エレクト、幹事さんとの懇談会でロータリーの奉仕への思い、又　夜の懇親会での会員の皆様方とのお話に色々と勉強させていただきました。私の大切な想い出となります。

又　猛暑の中、土曜日・日曜日には地区委員長の熱意でクラブ会長や多くの関係会員のご出席のもと、熱気溢れる研修会を開催していただき皆様方のロータリーに対する熱い思いが一層熱く燃えたことと思います。

こんなに車で走り廻ったのは、生まれて初めてです。若い時、真夏の海の上を走り廻って潮気にもまれた経験のおかげか、暑さと冬物のブレザーにも耐え、公式訪問で色々の地域を巡ることが出来ることに感謝して最後まで頑張りたいと思っています。

2．９月は職業奉仕月間・米山月間

レイ・クリンギンスミス会長のテーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」の中に、クラブ奉仕も職業奉仕もどちらも人生を謳歌し善き市民となるように私達を導いてくれるものであることに気づいたと云われています。

善き職業人となり、よき市民となり、世の中に役立つことで地域は育まれていくと思います。善き職業人として「利己」と「利他」の調和させる人生哲学を研鑽する場　ロータリークラブであり、各々企業は周囲の人々の幸せとともに発展していきたいと願っています。

３．ロータリー米山記念奨学事業

二度と戦争の悲劇を繰り返さないため国際親善と世界平和に寄与したいと云う願いで米山基金構想から（財）ロータリー米山奨学会と発展してきました。

ロータリー会員の皆様の寄付金を財源にして奨学金を支給して半世紀にわたって受け継がれています。

未来へかける平和の懸け橋

これからもロータリアン皆んなで支えていきましょう。

４．第2740地区大会を成功させよう。

来る11月の地区大会は、レイ・クリンギンスミス会長の「地域を育み、大陸をつなぐ」の壮大なテーマと「地域・家族と共に生き生きロータリー」の地区テーマのもと、ロータリアンとしての誇りを持ち、今後の活動に夢と希望がもてるような熱い地区大会にしようと決意しております。

当地有田は、400年の歴史を誇る伝統工芸の町であり、日本人初のロータリアン福島喜三次翁生誕の地であります。さらに本年、創立50周年の素晴らしい節を迎えます。今大会は、14代酒井田柿右衛門先生に「有田焼の伝統を語る」、と題して記念講演をしていただきます。ロータリアンとしての誇りと使命、地域社会への奉仕、人材育成、継続し発展させることの大切さ等、今我々が直面している課題解決のヒントや知恵をいただけるものと期待しております。

一人でも多くの皆様がご参加されますことを心から祈念しております。

ロータリーの原点に立ち返り地域社会発展のため結集しよう!

ガバナー補佐・リレー随想

第３グループガバナー補佐　山　本　　武

やっと９月いっぱいで第３グループ公式訪問を終えることができてホッとしています。各クラブのみなさまには大変お世話になりありがとうございました。「鹿島立ち」ということで鹿島クラブを一番始めに訪問いたしましたが、高原ガバナー、酒井田地区幹事、寺川会長、栗山幹事、鹿島クラブの会員さんで祐徳稲荷神社に参拝させていただき身の引き締まる思いがしました。各クラブを訪問させていただきましたが、どのクラブも私どものクラブに比べたら立派に運営なされておられ会員減少が嘘のような気がします。

訪問クラブでは、私がテープで聞いて大変感動した法政大学院の坂本先生のお話をご紹介しました。それは企業が永続する方法についての話です。私は今まで「顧客が一番大事」という考えを持っていました。しかし、それが先生の話を聞くと根本的に否定されています。なるほど私共の地区でも３０年ぐらいで１０社程消えておられるので説得力があります。一つの意見として一読くだされればいいと思います。企業人、組織人として、まず第一に従業員を大事にすること。そして第二に取引先を大事にすること。第三に顧客を大事にすること。第四に地域の弱者やお年寄りを大事にすること。第五に株主を大事に運営することです。地域社会の一員として利益を還元され、それぞれの地域で必要欠くべかざる会社であり組織であると自覚し活動されていただきたいと思います。そして生涯の目標をロータリークラブの一員として誇りを持って終わられることに尽きると思います。しかし、ロータリーについて「なぜ？」と思っておられる方も多数おられることも承知しています。「ロータリーはすばらしい」「みんなのためになっている」と各々が思って行動すればそのようになります。ゴルフ、カラオケ、ゲートボール、囲碁、少年野球等各クラブが力を入れて活動なさっている親睦行事や奉仕活動に積極的に参加され、より親睦を深め自己の向上心を高められたらすばらいいことだと思います。

この原稿を書いている時に急に２０年前、私の娘が交換留学生として一年間お世話になったことを思い出しました。大町クラブではアメリカからの留学生ピーター君を４家族でお世話させていただいたのですが、年齢的にも食べ盛りでびっくりするような食欲、天真爛漫な性格と行動力に得がたい経験をさせていただきました。

ロータリーにはまだまだいっぱいやることがあります。超我の奉仕、職業奉仕の精神等、また例会を重視し、特に卓話の充実をはかり魅力を増して会員増強に努力しましょう。

新世代部門地区セミナー報告

2010年～2011年度
新世代統括委員会委員長

北　郷　雅　子
（長崎出島RC）

本年度RI会長のテーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」の活動そのものといえるような新世代統括部門地区セミナーを8月8日（日）13時から東彼杵町総合会館・教育センター大会議室で各クラブの新世代委員会担当者対象で開催しました。

高原Gのご挨拶の後、岩永GEからも新世代部門についてのご意見を頂戴しました。続いて、新世代統括４部門の委員長から、地区協議会の短い時間ではお伝えできなかった内容や今後の予定などが報告されました。

インターアクト委員会(草野幸子委員長・長崎出島RC)から7月31日と8月1日に「年次大会」をホスト校：長崎女子商業高等学校、提唱RC:長崎南RCで開催された報告が主になされました。

ライラ委員会（小川信委員長・佐世保南RC）からは　来年第32回RYLAのホストクラブが福江RCで5月14・15日決定した旨と、参加のお願いがされました。

国際青少年交換委員会（川渕孝順委員・佐世保南RC）からはオーストラリアの留学生のホストファミリーをしている話などを交えて、スライドを使いながら　留学生の交換の意義や今後の学生の予定などを判りやすく説明されました。学生のレポートは2740地区のホームページに掲載されていますのでぜひお読み下さい。

ローターアクト委員会(藤岡良規委員長・長崎RC)からはもっとロータリアンとの絆を強くしていきたい旨のスローガンを含め、今後の課題や現在の活動について説明がありました。
ローターアクト代表事務局(西正和ローターアクト代表・長崎東RC提唱)からも、積極的にロータリーの奉仕活動に参加させてほしいと要望がありました。
地区大会実行委員会(岡部景光委員長・有田RC・前新世代統括委員長)からは地区大会11月5日・6日(本会議)・7日のご案内の後、「青少年の集い」を分科会として、6日に開催することが伝えられました。今年度も国際的な新世代交流の分科会が開催されるとの詳しい説明は、福田副幹事からありました。
地区内でいろいろな国際的な新世代交流の機会を作っていただくことは、お世話クラブや提唱クラブでなくても、ロータリアンに新生代部門の学生たちと直接交流して頂けることになり、皆様の更なるご協力・ご理解に繋がると思います。

2010～2011年度　RI 2740青少年交換プログラム

第1回オリエンテーション開催される

8月21日～22日に亘り佐賀武雄　京都屋において10～11年度地区青少年交換プログラムの第1回オリエンテーションが開催されました。

参加者
高原武彦G、酒井田正宏地区幹事、岩永信昭GE
福田雅信地区副幹事
地区委員：瀬戸口智彦、川渕孝順、若杉能将、白川十郎、戸村正司、三山格、相内啓子（事務局専任）
関係ロータリークラブ：関啓治（雲仙）大浦和夫（佐世保南）増崎進一(長崎西)益田荘一（長崎）
岸本宏利、岩隈（長崎南）　白倉一男（諫早北）
保護者／ホストファミリー：岩永亮子　岩永康輝（長崎南）増崎春桂（長崎西）樋口香菜（諫早南）竹下薫（諫早北）
派遣学生：松尾彩亜未（諫早マルチ）益田喜和子（長崎）
来日学生：タミカ（ｵｰｽﾄﾗﾘｱ）プージャ（インド）ケビン（フランス）キア（台湾）
帰国学生：岩永瑞希（長崎南）前原優子（諫早マルチ）
ROTEX：　松永夕加(台湾)
北川あゆみ（フランス）　中山康平（フランス）

プログラム
第1日目　8月21日(土)
12：00～13：00　地区委員会　10～11年度の交換学生事業の計画と担当の割り当て
13：00～　10-11年度青少年交換事業第1回目オリエンテーション
全体会議
1）高原Gの歓迎挨拶、
2）瀬戸口地区委員長　交換学生（YEP）の説明
3）帰国学生　前原優子（フランス）←諫早マルチ　フランスの思い出
　岩永瑞希（カナダ）←長崎南　楽しかったトランスカナダの旅
4）派遣学生　松尾彩亜未（諫早商業→フランス）
　益田喜和子（活水高校→台湾）
　出発を前に抱負をのべました。
5）来日学生　タミカ（オーストラリア→聖和女子学院）
　プージャ（インド→小浜高校　雲仙）
　ケビン（フランス→鎮西学院高校　諫早マルチ）
　キア（台湾→活水高校　長崎）
　日本語もまじえ、パワーポイントを使い　それぞれ母国の紹介をしました。
6）ROTEX：松永夕加(台湾）中山康平(フランス）
　留学経験でつちかった国際的な視野で活躍中のお二人からアドバイスをいただきました。

分科会
交換学生事業の一般的な説明（瀬戸口）
諫早のマルチ交換（数クラブでの共同交換事業）の利点と問題点（川渕　高原G）
来日・派遣　学生には日本での生活をはじめるにあたってのオリエンテーション
学校生活・お風呂のはいりかた・日常会話など多岐にわたり、ROTEXが指導しました。

第2日目　8月22日(日)
6：30　～7：30　参禅　臨済宗　廣福寺
峰松大榮師の指導で座禅を体験しました。
座禅の姿勢・呼吸法の教えをうけ、静寂の本堂のなかで思い思いに座禅を組みただ蝉の声だけが耳に聞こえる・・・。
日本文化の精神にふれるよい機会となりました。
9：00～10：00　朝食
10：00　～11：00　淳窯訪問　（講師　野村淳二氏））嬉野風ん谷
内容　①地球こそ大きな陶器　岩盤は器です。
　②大きな粘土の塊が「ろくろ」の上でみるみる大きな皿に変化する様子
　③登り窯の仕組みの説明
　④何故日本にこれだけ窯業が栄えたのか
11：00～12：00　昼食　（京都屋）
13：00～14：00　午後の研修。　解散

ガバナー公式訪問

佐世保西ロータリークラブ

会長：鴨川　潔
幹事：望月　太一

8月3日(火)高原武彦ガバナー、第5グループ福田金治ガバナー補佐、酒井田正宏地区幹事をお迎えしての公式訪問例会を開催致しました。
本年度は、ロータリーの原点に戻り職業奉仕、親睦活動に重点を置く活動をしたい。職業奉仕を通じて自己の研鑽に励み自己の職業に於ける前向きな活動を考慮し地域のトップリーダーとしての努力を行う事を目標に(会社が充実すると社員及び社員の家族全てが元気になり相手の事を思いやる土俵が出来る　→例会出席も楽しくなる　→　親睦活動も充実する等々上昇気運のスパイラルを得る事となる。)行動を起こす。自分の職業を足元より考え自分の職業に励む事は大切である。又、親睦活動を充実する事は会員相互のさらなる発展、クラブの活性化に大きく進歩する事と思います。

クラブとしての継続事業は、韓国成歓ロータリークラブ(姉妹クラブ)と一年ごとに青少年(中学生or高校生10名以内)の交流を続けております。本年度は、成歓ロータリークラブより8名、引率者(ロータリアン2名)計10名を佐世保へ迎え、来年は当クラブより韓国成歓ロータリークラブの方へ送り込む予定です。今年、佐世保を訪問した韓国の学生諸君が必ず近い将来日本の学生とさらなる友好を深める事を期待したいと願っております。

長崎北東ロータリークラブ

会長：森　義彦
幹事：山口　裕

8月4日(水曜日)、高原ガバナー・渡邊ガバナー補佐・酒井田地区幹事、をお迎えして公式訪問を開催いたしました。 当日は、ガバナーも他に日中の公式訪問があられ当クラブは夜の例会となりました。

例会に先立ち、会長・幹事・会長エレクト・副幹事との懇談会では、当クラブの現況・委員会活動等の内容をお話しし、今後のクラブ運営につきましてご指導をいただき、たいへん参考になりました。

今年度国際ロータリーのテーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」を基本とし、高原武彦ガバナーの方針とともに、当クラブの今後の奉仕活動・クラブ運営・会員相互間の信頼関係を更に深め構築していかないといけない事を確信いたしました。

長崎北東ロータリークラブの今後の重点目標としましては

1) 会員増強と退会防止(現在48名、今期50名目標)

2) 例会の活性化

3) 楽しいクラブ運営を遂行する

高原ガバナー・渡邊ガバナー補佐・酒井田地区幹事をはじめ、地区の皆様にはご健康を十分にご注意いただきまして、今後のご活躍をご期待いたします。

ガバナー公式訪問

長崎南ロータリークラブ

会長：津田　尚幸
幹事：岡村　康司

当クラブで今年度特に力を入れたい活動

1 会員増強と退会防止

会員増強と退会防止は車の両輪である。
①会員増強委員会に強いリーダーシップ発揮してもらいまた理事役員に最低1名の紹介をお願いしている
（その効果もあり新年度開始2か月（8月末）で78　名に達した）
②例会欠席が続いている会員に出席を促す
③新入会員や入会して日が浅い会員向けに定期的に勉強会を企画する

2「常に笑いのある楽しい例会」運営を心がける

例会が楽しければ退会防止に繋がる
①役員歴のある会員（会長経験者）に卓話を担当してもらうことで、全員に例会参加の意識を高めてもらう
②プログラム委員会は充実した卓話を企画する

3 青少年育成と地域発展に力を入れたい

①今年で3回目となる「長崎県中学生ラグビー大会」の企画
①わが国最初の英語教師といわれるラナルド．マクドナルド（Ranald McDonald 1824～1894）　について見聞を広めていきたい。歴史の陰に埋もれた偉人の発掘を通して地域発展を考えたい。

佐世保東ロータリークラブ

会長：橋口　　正
幹事：江良　秀樹

連日猛暑が続く8月5日（木）、高原武彦ガバナー、志久雄三ガバナー補佐、酒井田正宏地区幹事をお迎えしての公式訪問例会を開催致しました。

例会に先立って行なわれた懇談会では、当クラブの概況、会員減少、社会奉仕事業等の報告を致しました。
ガバナーからは、「44年の歴史ある佐世保東ロータリークラブにおいて減少する会員数に危機感をもって、今後の会員増強に努めてください」と励ましの言葉をいただき、また「現会員21名の方々は、真のロータリアンだろう!」とも言われ、「佐世保東ロータリークラブをアピールする活動をしたらどうだろうか」との助言も述べられ高原武彦ガバナーのお人柄が窺える懇談会でした。

今後、佐世保東ロータリークラブとして「地域・家族と共に生き生きロータリー」を掲げ、今まで以上に会員との強い絆を育まなくてはいけないと確信いたしました。

例会では、ガバナーから当クラブの継続事業として行なっている社会奉仕活動、国際奉仕活動等について心温まる感想をいただき、その後、ガバナーの卓話　RI会長の指針、ガバナーの地区方針など、時には余談を交えながら解りやすくご説明をされ、短く感じた30分でした。
今年度は、特に会員増強に力を入れることを念頭において、会員一人一人が初心に帰り、ロータリーの目的である「奉仕の理想（理念）」を再確認し、一騎当千の活躍で友の輪を拡げて行きたいと願っております。
11月に開催されます地区大会は、ロータリーの精神である、友情とか、地域社会への奉仕とか、あらゆる人の職業の理解とか、仲間への愛情を養う等の一つの大きな学び場所だと信じております。又、新しい出会い、新しい発見も期待しご参加お願い申し上げます。
高原ガバナーの公式訪問は厳しい残暑の中で9月末まで続きますが、くれぐれもお体ご自愛いただき、ご活躍をご祈念申し上げます。

本年度のクラブ重点目標
1．会員増強・退会防止　純増　2名　　2．親睦と友情の増進
3．会員個々の積極的事業参加　　4．ガバナー補佐　志久雄三氏への協力

ガバナー公式訪問

福江ロータリークラブ

会長：有川　一男
幹事：中村　陽二

五島への訪問は、海を隔てて宿泊を伴ないます。高原武彦ガバナーは横岳事務局補佐と共に前日より訪れ、早速、香珠子海岸「椿茶屋」で夕食会を楽しみました。
翌８月６日、早朝長崎からの船便で、酒井田地区幹事、渡邊Ｇ補佐、北郷新世代統括委員長、岡部前新世代統括委員長が訪来し、多数の訪問者を招いての「公式訪問例会」となりました。
高原ガバナーは、「地域を育み、大陸をつなぐ」のRI テーマが、ロータリアン以外の人々にも向けられた意義を詳しく説明され、さらに有田が生んだ日本人最初のロータリアン福島喜三次氏の、日本のロータリー草創期における功績についてもお話しされました。
岡部委員長は、福江ロータリークラブが、「RYLA 開催」を受け容れて戴いたお礼を述べ、地区を挙げての協力を約束されました。また、本年度、有田で開かれる地区大会要旨について案内をされ、参加協力を呼びかけられました。
新会員（小島一尊君）入会では、高原ガバナーにバッジを付けて戴く光栄に浴し、慌ただしいプログラムではありましたが、たいへん有意義な記念例会となりました。
例会終了後、高原ガバナーほか５名猛暑のなか寸暇を惜しんで、魚津ヶ崎公園や柏崎に残る遣唐使史跡や高浜海水浴場など景勝地を訪ね、五島の歴史や自然に興味を持たれたようでした。これら五島の持つ魅力を「RYLA 五島開催」にも生かしたいと思っております。
ご訪問、有難うございました。

福江中央ロータリークラブ

会長：森　　眞敏
幹事：御手洗富章

８月６日（金）、高原武彦ガバナー、渡邊修志ガバナー補佐、酒井田地区幹事、横岳事務局補佐、岡部前新世代統括委員長、北郷新世代統括委員長をお迎えしてのガバナー公式訪問例会が開催されました。高原ガバナーと横岳事務局補佐には、２日間五島の魚とお酒をご堪能いただき、また、高原ガバナーの十八番「海その愛」まで聞かせていただいたことは、私共といたしまして本当に感慨無量でございました。会長、幹事、会長エレクトとの懇談会では、クラブ運営について適確なご指導をいただき、例会では、出席率と米山記念奨学会、ロータリー財団の寄付状況についてお誉めの言葉をいただき有難うございました。
今後益々、努力して参りたいと思います。当クラブの現在会員数は28名で、近年会員増強には頭を悩ませているところではございますが、親睦を大切にして、１年間「地域、家族と共に生き生きロータリー」の精神でクラブ運営に取り組んで参りたいと思います。ご訪問どうも有難うございました。
●本年度特に力をいれる事業とか活動
1 会員、家族の為の親睦事業（ゴルフ、釣り、ボーリング大会）
2 五島市つばき振興計画への参加、つばきの植樹
3 下五島地区青少年スポーツ大会への後援（ミニバスケット大会）
高原ガバナー、渡邊ガバナー補佐、酒井田地区幹事、地区の役員の皆様方が御忙しい中ご訪問いただいた熱い思いを、今度は私達がお返しするために地区大会を盛り上げたいと思います。

ガバナー公式訪問

佐賀西ロータリークラブ

会長：森永　太
幹事：江頭　弘美

わが佐賀西ロータリークラブへは、8月9日の猛暑の中、高原武彦ガバナー、小林正明ガバナー補佐、酒井田正宏地区幹事に公式訪問をいただき、クラブ現況その他につきご報告をいたしました。当クラブが1昨年創立50周年記念事業として制作し、佐賀市に寄贈しましたバルーンを活用しての障がいを持った子供たちのバルーン体験学習の活動は、高原ガバナーがテーマとして掲げられました「地域を育む」を実践するものだとお褒めの言葉をいただきました。

この事業は、バルーンのメッカである佐賀にありながら、ほとんどバルーンを身近に見ることができない子供たちに、バルーンを体験してもらおうと昨年度から始めたものです。

その他、当クラブでは継続的に米山奨学生の受入れと国際親善奨学生の派遣を行い国際奉仕活動に対する意識が高いとの評価をいただきました。

当クラブの自慢は会員同士の「和」です。これからもこの「和」の気持ちをもって家族を含め地域への活動を続けていきたいと思います。

佐世保北ロータリークラブ

会長：宮原　明夫
幹事：峯　徳秀

8月9日(月)、高原武彦ガバナー・志久雄三ガバナー補佐・酒井田正宏地区幹事をお迎えして、公式訪問例会を開催しました。

例会前に行われた会長・幹事・会長エレクトとの懇談会では、当クラブの概況、委員会事業活動計画等を確認して頂き、今期のクラブ運営に関し、大変有意義なアドバイスを多数頂戴しました。

例会における高原ガバナーの講話においては、RI会長のテーマやメッセージ等について詳しくお話を頂き、今年度地区テーマである「地域・家族と共に生き生きロータリー」の下、まずは足元からの活性化が必要であると述べられました。

我々、佐世保北ロータリークラブでは、「ロータリーのこころを地域に広めよう」を本年度スローガンとし、

① クラブ創立以来の伝統である『「奉仕」と「親睦」の最優先』を継承するとともに、「佐世保北ロータリークラブらしさ」を失わない。

② クラブ運営の為の会員増強は当然必要ではあるが、ロータリーの良さを分かち合える仲間を増やし、より良き地域のリーダーを育てるといった視点からの会員増強に努める。

をクラブ運営の指針とし、元気ある楽しいクラブ運営を進めさせて頂きます。

最後に、あと1ヶ月余りとなりました11月5日～7日開催の地区大会のご盛会を祈念申し上げ、ガバナー公式訪問クラブ報告と致します。

ガバナー公式訪問

大村北ロータリークラブ

会長：清水　祐一
幹事：小坂　信春

緊張の面持ちの中、高原ガバナー、酒井田地区幹事、横岳事務局補佐、笠井ガバナー補佐をお出迎え、8月11日の公式訪問を迎えました。開催に先立ち、会長、幹事、副会長を交えてクラブの特徴や、会員増強等についての意見交換を行いました。質問の中には、100円基金の由来や運用について、経験の浅い私には答えに苦慮するところを岡富副会長から助け船を出していただき、大助かり。高原ガバナー入場の際には「カリフォルニア・ウィ・アー・カム」をBGMとして流して、お迎えしました。(ガバナーは覚えていらっしゃらないとのことでした)情報ではガバナーはお酒が大好きだとお聞きしておりましたので、例会を30分延長して、RIのテーマや日本でのロータリーの起こりなどのお話をじっくり聞かせていただきました。記念撮影のあと、我がクラブの誇るべき夜の例会(アルコール付き)で懇親を深め、「今日はギターは弾かないんですか？」など冗談を交えつつ、あっという間に点鐘の時間になり、最後は「加山雄三の「海、その愛」でお見送りをさせていただきました。とたんに私の肩の荷が軽くなった一瞬でした。
今後とも地区の皆様とともに、楽しいクラブになるよう努力していきたいと思います。
特に力をいれたい活動
100%例会の継続　②楽しい例会
熱いメッセージ　コミュニケーションと飲ミュニケーションを大切に

佐賀ロータリークラブ

会長：荒尾　眞人
幹事：楠田　俊明

8月12日(木)高原武彦ガバナー、下田龍二ガバナー補佐、酒井田正宏地区幹事、横岳保雄事務局補佐をお迎えして、公式訪問例会を開催致しました。例会前の懇談会並びに例会におけるガバナーのお話を通し、RIテーマのより身近で、具体的な地区方針「地域・家族と共に生き生きロータリー」に示されている、足元から地域を育む必要性を受け止め、次を目標として活動して行きたいと思います。

1．地域の中でのロータリーを見直す。
　クラブの活動の歴史を学び、地域の現状に合った活動への取り組みを行う。
2．会員数純増地区目標2名の達成
3．例会プログラムの充実及び、語らいの場としての大切な時間を、一人一人が育む気持を持つことにより出席率の向上を図りたい。

当日は18：30からの夜の例会で、有田ロータリークラブはじめ、下田ガバナー補佐所属の多久ロータリークラブより多数メークアップにお越しいただきありがとうございました。
楽しい懇親の時間を過ごすことができました。

ガバナー公式訪問

多久ロータリークラブ

会長：渕上　勝利
幹事：岸川　武資

8月12日(木)、高原武彦ガバナー・酒井田地区幹事・下田第一ｸﾞﾙｰﾌﾟガバナー補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問を開催いたしました。午前中の懇談会では、当クラブ会長・会長エレクト・幹事・次期幹事で参加いたしました。

何しろ、初めてのことであり少し緊張もありましたが、酒井田地区幹事のスマートで明瞭なご指導もあり、又、高原ガバナーの温かいお人柄に触れ、終始和やかな雰囲気をつくっていただきました。

懇談の中では、多久市の置かれている現状に話が及び、現状人口22,000人(ピーク時50,000人)を切ろうとしていること、そして、地域経済が疲弊している中に、地域の活性化に向けて地元との連携について関心を強くしていること等の現況をお話しさせていただきました。
今年度、高原ガバナーの提唱されている「地域・家族と共に生き生きロータリー」は、まさに当地、多久市に置かれている現状に当てはまるテーマと、改めて感じ入ったところです。

昨年、当クラブも25周年、ささやかな記念行事を行いました。ロータリーも一つの曲がり角の観も聞かれますが、ロータリーの4大奉仕の理念を今一度見つめなおし、新たな出発と考えています。

そこで当クラブの重点目標としては
1.親睦活動の充実、夜の例会の開催。
2.例会出席率の向上、90%以上出席率の定着、MUの奨励で他クラブとの親睦。
3.退会防止に注力しながらの会員増強
4.温暖化防止・まちなか美観向上の為の植樹事業への取り組み
以上を念頭に置き、また、これまで培われてきた大先輩と若手が大変良くまとまった当クラブの雰囲気づくりの継承に努めて参る所存です。

佐賀南ロータリークラブ

会長：成清　啓二
幹事：菰田　秀三

会長就任48日目の8月17日に高原武彦ガバナー公式訪問を受けました。

会長、幹事、会長エレクトとの懇談会では、どんなご指摘を受けるかと心穏やかではありませんでしたが、当クラブが長年奉仕活動を続けてきましたシチメンソウ保護育成活動についての問いにホッと胸をなでおろした次第です。

ガバナー卓話では、RI方針・地区方針についてお話をしていただきました。

昨今の景気の悪化、また政治不信と明るい話がありません。ガバナーは、先ずは足元からの活性化が必要だと言われております。
当クラブにおいても会員減が続いておりますが、今 以上に会員同士の親睦を図り、ことに対処していく所存です。

今年度のクラブ目標は

1．退会防止および会員増強
2．無理なく長期的に奉仕できる活動を模索する

この2点を重点目標に掲げ 会員一同努力致しますので、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。
最後に高原ガバナーのご健康とご活躍をお祈り致します。

ガバナー公式訪問

諫早北ロータリークラブ

会長：髙尾　茂
幹事：大石　竜基

8月19日高原武彦ガバナー、酒井田正宏地区幹事、橋爪毅ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会を開催致しました。

懇談会では、本年度の事業計画・クラブ概要を説明し、ガバナーより助言を頂きました。クラブ運営に反映させ、活溌な事業、会員相互の親睦を図っていきたいと思います。

本年度のRIテーマは「地域を育み、大陸をつなぐ」、高原ガバナーは「地域・家族と共に生き生きロータリー」というテーマを設けられました。

ロータリー財団の寄付金の重要性、青少年交換事業における青少年の育成など、多岐にわたる話に会員一同聞きいっておりました。

当クラブは創立40周年を迎えます。その記念事業として「～新しい大地を踏みしめて～」をテーマに、諫早湾干拓駅伝ロードレース大会を開催いたします。（開催日；12月5日）諫早湾干拓地を舞台にスポーツ振興と青少年の育成のための大会を企画し、準備をすすめております。

また、例年、児童図書を市内幼稚園・保育所に寄贈しており、幼児教育の一環として、本に親しみ情操教育の一助となっています。

クラブ事業を通して会員相互の親睦を計り、家族懇親を深めて楽しいクラブ運営を計りたいと思っております。

高原ガバナーにおかれましては、今後ともお身体に十分留意されご活躍を心より祈念申し上げます。

諫早ロータリークラブ

会長：木村　廣昭
幹事：酒井　明仁

8月20日（金）高原ガバナー、酒井田地区幹事及び橋爪ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会を開催しました。お盆を過ぎたとは言え昼間はまだ猛暑が続いている中、予定時間よりかなり早めに例会場に到着されたことから、当方のメンバーが揃うのを待たれた形で、懇談会がスタートしました。懇談会では、幹事よりクラブ現況を報告するとともに、クラブ会員が減少傾向にある中、会員増強に向けたクラブの取組状況やローターアクトクラブの現況などを報告しました。報告を受け高原ガバナーから各事項について適切なアドバイスを頂きました。

例会時の卓話では、高原ガバナーが若い頃諫早にお住まいだった頃からの話しからスタートし、学校時代の同級生が当クラブの会員であることなど付言され家族的な雰囲気で話しは進められました。その後RI会長レイ・クリンギンスミス氏の今年度のテーマ選定の経緯の話しから、ロータリーの奉仕活動について進む中で、元プロ野球の野村監督さんの話、日本人最初のロータリアン福島喜三次さんの話しを引き合いに出されて説明をされました。その後、地区のテーマを発表されるとともに地区の目標数字を示されましたが、高原ガバナーの真面目さを十分に感じさせられる卓話の時間であったと思います。

高原ガバナーの益々のご健勝をお祈り致します。

ガバナー公式訪問

大村東ロータリークラブ

会長：野田　孝則
幹事：中尾　光吉

去る８月23日(月)夜の例会に、高原武彦ガバナー、酒井田正宏地区幹事、横岳保雄副幹事(ガバナー担当)をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。過去に無いサプライズがあり、当クラブ会員一同盛り上がった次第です。心より厚く御礼申し上げます。

例会に先駆け、会長・会長エレクト・幹事との懇談会につきまして、地区幹事より組織図の再検討、特に新世代奉仕について細かく御指導がございました。

当クラブで特に力を入れたい活動として

1．琴平スカイパークに桜の木の増殖
2．大村城南高等学校インターアクトクラブの支援と交流
3．大村市立図書館への図書の寄贈

当クラブは、平成８年に設立し、本年度15周年を迎えます。現在会員43名が在籍しています。会長の方針で会員増強２名以上(女性会員１名)を目標に努力しているところです。まだまだ若いクラブですが、会員同士の親睦の絆は他クラブ様には引けをとらないと考えております。

本年度15周年を迎えるに当たり、会員同士の親睦をより一層深め、楽しい未来の為に親睦と奉仕を調和させながら、感謝の気持ちをこめて取り組みたいと思います。

御来訪頂きました皆様の有難い御指導を糧として、会員一同力をあわせクラブの発展に邁進していきたいと思います。

高原ガバナーをはじめ地区幹事の皆様の御健勝をお祈り申し上げます。

長崎中央ロータリークラブ

会長：本田　文昭
幹事：今西　建夫

８月23日　高原武彦ガバナー、澤山俊雄ガバナー補佐、横岳保雄事務局補佐を迎えガバナー公式訪問例会およびクラブ協議会が開催されました。

例会に先立って会長、幹事、会長エレクトとの懇談会が行われ、クラブの現況、周年記念事業、社会奉仕活動などを説明いたしました。このなかで、ゆうゆう牧場での障害児の乗馬体験会についていろいろと質問があり、お褒めと励ましを頂きました。

例会でのガバナー講話ではクリンギンスミスRI会長のテーマである「地域を育み、大陸をつなぐ」について熱く語られました。

例会後、澤山ガバナー補佐を囲んでのクラブ協議会が行われましたが、進行表がきちんと文書になっていることに驚かれているようでした。そして素晴らしい継続事業がされているが、新規事業についてもいいアイデアを出し合ってやってほしいとのコメントを頂きました。

高原ガバナーの方針に会員増強がありますが、最低純増３名、あわよくば６名という会長方針をかかげており、それとともに活気ある楽しいクラブ運営と、地域に根ざした奉仕活動を進めていきたいという思いを強くしました。

最後に高原ガバナーと澤山ガバナー補佐のますますのご健勝と、11月に開催される地区大会が会場の名のごとく熱く盛り上がりますよう祈念いたします。

ガバナー公式訪問

大村ロータリークラブ

会長：帯屋　徹
幹事：森本　英敏

過日、8月24日第2740地区の高原ガバナー、酒井田地区幹事並びに横岳副幹事におかれましては、酷暑の中そしてお疲れの中にガバナー公式訪問をいただき誠にありがとうございました。
ガバナーは特に若い時期、大村市立病院に勤務された時代を回顧されていたのが印象的でした。

さて、我が大村ロータリークラブは、昨年度、第7グループで最初の創立50周年の記念式典を実施する事が出来ました。
これは、偏に多くの市民の方々、そして職場、家族の暖かいご理解を頂いたこと、又、第2740地区、特に佐世保ロータリークラブのご指導や第7グループの各クラブの熱心なご理解があり、多くの先輩ロータリアンがクラブの発展にご尽力いただいた賜ものであります。

51周年に当る本年は、新たなる半世紀に向かいクラブとして、過去にこだわらず良いものは残し、改革出来るものは改革するとの合言葉で運営いたします。

『生き生きとしたロータリー活動の実践』をメインテーマとして
1）生き生きとした活動とはどんなものか、みんなで考え、みんなで実践しましょう。
2）会員間の親睦を深めましょう。
3）ロータリーらしい奉仕をしましょう。
4）IMの開催を成功させましょう。
この51周年がこれから、また、新しい歴史をひとつ積み重ねてまいりますよう努力いたします。
第2740地区の高原ガバナー、地区そしてグループの各クラブには大変お世話になりますが本当に宜しくお願いいたします。

―51周年事業―
1　聴導犬の育成基金の活動の一環として募金箱の贈呈
2　名跡旧円融寺（国指定）庭園の環境整備（清掃等）の継続
3　角館・大村姉妹ロータリークラブ締結30周年記念モニュメントの角館クラブ設置に尽力
4　名勝山田の滝（市指定、幕末大村藩37士の倒幕密談場所）の環境整備（清掃等）の実施

諫早多良見ロータリークラブ

会長：吉岡　数俊
幹事：中川　浩司

8月24日（火）高原ガバナー、橋爪ガバナー補佐、酒井田地区幹事をお迎えして、公式訪問例会を開催いたしました。

例会前の懇談会では、クラブの現況報告や特徴について質問がありました。当クラブの特徴は①会員の1/3が30～40台と若い会員が多いこと、②私のような若い会員でも幹事という大役を勤めさせてもらえる機会に恵まれたクラブであること、③アメリカ人の会員がいること、④親睦活動が活発なクラブであること（会員の半数近くが野球部であり、ロータリークラブの甲子園大会に出場したことがある）、またガバナー方針で特に力を入れている点は、会員増強・退会防止で当クラブでは純増3名を目指していきますと発表させていただきました。例会では高原ガバナーよりRIテーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」について卓話をいただきました。高原ガバナーは諫早出身で、少年時代のエピソードなどもお話いただきながら和やかな例会となりました。

今後も、ご指導を賜りながら楽しいクラブ運営を進めて参りたいと思います。高原ガバナーはじめ地区の皆様にはお体に十分ご留意されてご活躍されますことを祈念申し上げます。

ガバナー公式訪問

唐津西ロータリークラブ

会長：鶴丸　　進
幹事：岩本　剛人

8月25日、高原武彦ガバナー、中島登志雄ガバナー補佐、酒井田正宏地区幹事、横岳保雄事務局補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催致しました。

高原ガバナーは、RIのテーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」と当地区のテーマ「地域・家族と共に生き生きロータリー」について、その意図とするところを詳しくお話になり、家族と会員、さらに地域、最後は国境・大陸を越えて相互理解を深め、平和な次世代を作ることが大切だと言われました。

また、その基本は笑顔での付き合いであり笑う事が心を明るくするとおっしゃって、息を大きく吸ってハッハッハッと息を切りながら吐く練習をすると自然と笑えるようになるという秘術を伝授されました。また、ポリオ撲滅運動の事では、飲み会で三次会に行かずにその分のお金を寄付していただければ、何人もの子供たちに予防接種ができることなど、非常に解りやすく気さくに話をしていただきました。

当クラブの目標も家族の理解、会員の親睦を深め、地域に奉仕・貢献して行くというものですので、しっかり頑張って行こうと思っております。

猛暑の中の公式訪問に対し会員一同心より感謝申し上げます。

松浦ロータリークラブ

会長：犬養　義一
幹事：小松由美子

8月27日(金)、高原ガバナーを迎えての公式訪問例会を開催しました。

高原武彦ガバナー、福田金治ガバナー補佐、酒井田正宏地区幹事を迎えての例会は、通常例会と比べてひときわ華やかな例会となりました。

例会前に会長・幹事との懇談会を行っていただきました。その中で、わが松浦ロータリークラブは、28名の全会員が親睦活動を大事に活動しており、結束力、団結力においては、非常に優れているのではないかと自負していること。しかし残念ながら例年のように減少しつつある会員数を挽回するために、今年度当クラブの方針を「楽しくなければロータリーではない」としたこと。例会、各委員会活動を活発にそして楽しくし、会員増強につなげるために現在クラブをあげて奮闘中であることなどを報告させていただきました。

例会では、ガバナーにRI会長のテーマやメッセージをわかりやすく解説していただきました。終始和やかな雰囲気の中で、充実した例会が持てたことを感謝いたします。ご指導いただきました点に留意し、よりよいロータリーライフを楽しめるよう会員一同努力します。

当クラブのクラブ方針「楽しくなければロータリーではない」

会員増強(純増2名)

長崎出島ロータリークラブ

会長：山田　佑子
幹事：有馬　裕幸

9月3日夜6時30分より高原武彦ガバナーの公式訪問例会がホテルニュー長崎で開催されました。高原ガバナー、澤山第10グループガバナー補佐、酒井田地区幹事、岡部地区大会実行委員長をお迎えしました。高原ガバナー、酒井田地区幹事は2740地区の57クラブの40番目の当クラブ訪問ということで、酷暑の中本当にお疲れ様でした。例会前のガバナーとの懇談会では「クラブの現況と活動計画要旨」に従いまして当クラブの説明を申し上げました。

例会ではガバナーのロータリアンとしての根幹に関わる格調高いお話をしていただきました。当クラブとしましては、ガバナーの方針に従い、次の3項目を中心に活動したいと思います。

①社会奉仕を中心として、毎年行います長崎県下の児童養護施設の小学生を対象とした「長崎県スポーツ・レクリエーション大会」の全会員あげての取り組み、清掃奉仕活動。

②クラブ内の親睦を深める為のゴルフ同好会、囲碁同好会、音楽同好会、家族旅行の計画等があります。

③例会出席をあげるためにも楽しい例会を企画しています。

ロータリーの偉人に学ぶ　元気の出る言葉

～松下幸之助氏の言葉より～

お互いが相当運がいい

自分は運がないとか悪いとか、自ら不幸を探すようなことをしてはいないか。お互いに今ここにこうして育ち、生きている、それだけでも相当運がいい。そうした自分の幸運に感謝しながら生きていけばこそ、より豊かな人生がひらけてくるのである。

第2740地区ガバナー事務所　http://www.d2740.org/index.php
E-mail：ri2740takahara@triton.ocn.ne.jp

ガバナー・ノミニー決定宣言

2012-13年度ガバナー候補者の公表について、2010年7月28日付にて地区内全クラブ会長宛に通知いたしましたが、期限内に対抗候補者を推薦する申し出はありませんでした。

従いまして、RI細則第13.020.節「ガバナー指名手続」の定めにより、2010年7月8日のガバナー指名委員会に於いて指名されました、

福元　裕二君（佐賀北RC）が2012-13年度ガバナーに就任するガバナー・ノミニーに選出されたことを決定宣言いたします。

2010年9月15日

国際ロータリー第2740地区
ガバナー　高　原　武　彦

福元　裕二君のプロフィールは次の通りです。

生年月日　昭和24年7月16日
現 住 所　佐賀市開成6丁目10-12
本　　籍　佐賀県
現　　職　学校法人永原学園理事長
　　学校法人永原学園西九州大学学長
　　学校法人永原学園西九州大学短期大学部学長

【履歴】

1972(昭47)年3月　九州大学農学部食糧科学工学科卒業
1974(昭49)年3月　九州大学大学院農学研究科修士課程修了
1974(昭49)年4月　帝人株式会社　生物医学研究所
1990(平２)年4月　学校法人永原学園佐賀短期大学　助教授
1992(平４)年4月　学校法人永原学園佐賀短期大学　教授
1999(平11)年4月　学校法人永原学園佐賀短期大学
　　学長(大学名変更、現在に至る)
2007(平19)年4月　学校法人永原学園西九州大学
　　学長(現在に至る)
2008(平20)年4月　学校法人永原学園
　　理事長(現在に至る)

【団体歴】

九州地区私立短期大学協会会長
日本私立短期大学協会副会長
短期大学基準協会理事
全国栄養士養成施設協会理事
私立大学退職金財団理事
日本私立学校振興・共済事業団理事

【ロータリー歴】

1992年　佐賀北ロータリークラブ入会
2005年　佐賀北ロータリークラブ会長
1996年　ポール・ハリス・フェロー
2006年　マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

11月は、ロータリー財団月間です！

ロータリー財団委員長　石　坂　和　彦

来る１１月は、ロータリー財団月間です。是非この機会に、ロータリー財団について、各クラブ例会時に情報共有の為のお時間をとって頂き、財団を身近に感じて頂きたいと思います。ロータリー財団は、私たちみんなの財団です。私たちは、財団を通じて，ロータリアンとしての夢を、一つ一つ，あるいは一歩一歩ずつではありますが、形にしています。

財団がちょっと遠い存在であるのは、分かりにくい財団の仕組みもあります。ロータリー財団の正式名称は「国際ロータリーのロータリー財団です。」本部は、アメリカのイリノイ州にあります。国際ロータリーを唯一の会員とする非営利財団法人です。そしてこの財団が、国際ロータリー本体の組織では十二分になしえない国際奉仕ならびに人道的，教育的事業を、財団の様々なプロジェクトを通じて、世界中で実施しています。誇らしいことです。もちろんその基礎は、財団に寄せられたロータリアン皆様方の、温かいお志・ご寄付であります。私たちの財団への寄付は、世界中のロータリアンの力で、あるいは支援者，支援団体の力で、活かされております。この５年間で、一万件を超える、そして又１億４千万ドルをこえる、人道的事業に財団が貢献しております。財団は「お金を集めるところ」だけではありません。

このように「有効に活用されて」いるのです。

財団の基本的４つの目標は、

一　ポリオの撲滅

二　未来の夢計画の実施

三　毎年あなたも１００ドルを

四　恒久基金への支援

財団の三つの基本的プログラムは、

一　人道的プログラム　地区補助金，マッチンググラント他

二　教育的プログラム　国際親善奨学金，世界平和フェローシップ，他

三　ポリオプラスプログラム

寄付をするということは世界中の奉仕活動に参加しているということです。もちろん地区内各地域のプロジェクトにも活かされてます。世界中のニーズにあったプロジェクトに私たち自身が、参画することができるのです。是非有意義なプロジェクトをお考え頂き、財団をもっともっと身近に感じて、役に立つ財団へ育てていきましょう。

（ロータリー財団未来の夢計画が、２０１３年度から完全実施されます。財団をより身近に捉えるチャンスでもあります。）

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介いたします。

※氏名の下部は、勤務先、趣味

島原RC
木場　英之 君
九州電力㈱島原営業所
釣り・登山・ゴルフ

島原RC
田実　貞昭 君
十八銀行島原支店
釣り・ゴルフ

伊万里西RC
古賀　敬一 君
㈱佐賀銀行伊万里支店

長崎出島RC
宮崎　耕平 君
(有)宮崎工業

佐賀北RC
尾崎　　薫 君
NTT西日本佐賀支店
読書

雲仙RC
三宅　真吾 君
(有)シンセントエコテック
ゴルフ

長崎東RC
福留　貴司 君
㈱イレブン
旅行・読書

唐津RC
富永　金吾 君
㈱佐賀銀行唐津支店

長崎RC
嶋崎　真英 君
長崎自動車㈱

福江RC
小島　一尊 君
㈱十八銀行福江支店
ゴルフ

平戸RC
江田　洋一 君
江田時計店
美術館めぐり・読書・ドライブ

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介いたします。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

	種　　類	氏　　名	クラブ名
ロータリー財団	ポールハリスフェロー	**北 村 孝 輔**	佐世保南ＲＣ
	マルチプルポールハリスフェロー	**中 村 文 昭**	佐世保南ＲＣ
	恒久基金	**小 林 正 明**	神埼ＲＣ
	年次寄付	**村 里 愛 子**	大村ＲＣ
	ポリオ・プラス	大村東ＲＣ	
米山記念奨学会寄付	マルチプル	**岡 﨑 敏 幸**	佐世保南ＲＣ

2010年　7月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数 7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減	新入	退会
第1グループ	佐賀	4	78.56	61	0	63	0	2	2	0
	小城	5	70.6	27	2	26	2	-1	0	1
	牛津	5	91.1	30	1	29	1	-1	0	1
	多久	5	88.5	41	4	40	4	-1	0	1
	佐賀大和	4	75.78	24	2	23	2	-1	0	1
	小計		80.908	183	9	181	9	-2	2	4
第2グループ	佐賀西	4	83.33	46	0	46	0	0	0	0
	佐賀北	4	94.14	31	3	31	3	0	0	0
	佐賀南	4	80.27	38	1	38	1	0	0	0
	神埼	4	89.07	32	0	32	0	0	0	0
	佐賀空港	3	78	12	1	14	1	2	2	0
	小計		84.962	159	5	161	5	2	2	0
第3グループ	有田	3	80.56	36	0	36	0	0	0	0
	武雄	3	89.94	53	4	53	4	0	0	0
	鹿島	4	94.2	39	3	40	3	1	1	0
	嬉野	4	91.67	23	1	24	1	1	1	0
	大町	5	71.43	20	0	20	0	0	1	1
	白石	4	62.5	12	0	12	0	0	1	1
	太良	8	78.13	8	0	8	0	0	0	0
	小計		81.204	191	7	193	8	2	4	2
第4グループ	唐津	4	89.41	53	0	52	0	-1	0	1
	伊万里	4	94.35	30	0	31	0	1	1	0
	唐津東	5	92.09	52	0	52	0	0	0	0
	唐津西	4	95.16	33	0	33	0	0	0	0
	伊万里西	5	95.12	44	0	43	0	-1	2	3
	唐津中央	4	87.72	32	4	32	4	0	0	0
	小計		92.308	244	4	243	4	-1	3	4
第5グループ	佐世保	4	98.43	72	0	71	0	-1	0	1
	平戸	4	104.3	35	3	37	3	2	2	0
	佐世保西	4	95.5	24	0	25	0	1	1	0
	北松浦	4	94.44	22	0	22	0	0	0	0
	松浦	5	87.1	25	1	28	1	3	3	0
	小計		95.954	178	4	183	4	5	6	1

※上記の表の新入・退会は当月中の数字

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数 7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減	新入	退会
第6グループ	佐世保南	5	99.64	69	0	72	0	3	3	0
	佐世保東	5	95.24	21	0	21	0	0	0	0
	佐世保北	3	98.47	43	0	45	0	2	2	0
	佐世保中央	5	96	40	2	39	2	-1	0	1
	佐世保東南	4	74.03	26	2	26	2	0	0	0
	HTB佐世保	4	77.37	24	4	23	4	-1	0	1
	小計		90.125	223	8	226	8	3	5	2
第7グループ	大村	4	85.45	48	3	48	3	0	0	0
	島原	4	87.51	34	2	34	2	0	2	2
	雲仙	5	87.21	26	0	27	0	1	1	0
	大村北	4	100	32	0	32	0	0	0	0
	島原南	4	65	21	1	21	1	0	0	0
	大村東	3	85.6	42	2	43	2	1	1	0
	小計		85.128	203	8	205	8	2	4	2
第8グループ	諫早	5	88.3	56	0	57	0	1	1	0
	諫早北	5	87.26	66	2	66	2	0	0	0
	諫早西	5	92.94	40	0	39	0	-1	0	1
	諫早多良見	4	92.35	36	0	36	0	0	0	0
	諫早南	3	62.96	27	6	26	6	-1	0	1
	小計		84.762	225	8	224	8	-1	1	2
第9グループ	長崎	5	88.94	83	0	84	0	1	1	0
	福江	5	83.46	33	0	33	0	0	0	0
	長崎北東	4	88.33	47	6	48	6	1	1	0
	福江中央	4	98.22	28	0	28	0	0	0	0
	長崎西	4	70.76	58	0	58	0	0	1	1
	長崎琴海	5	65.52	18	1	18	1	0	0	0
	小計		82.538	267	7	269	7	2	3	1
第10グループ	長崎北	3	73.45	76	0	76	0	0	0	0
	長崎南	4	88.16	73	0	75	0	2	2	0
	長崎東	5	88.5	50	0	51	0	1	1	0
	東長崎	4	82.16	23	0	23	0	1	0	1
	長崎中央	3	92.26	57	0	57	0	0	0	0
	長崎出島	5	80	51	12	51	12	0	0	0
	小計		84.088	330	12	333	12	4	3	1
合計			86.198	2203	69	2218	73	37	33	18

米山カウンセラー研修・交流会

米山記念奨学委員 小 野 秀 喜

2010～2011年度の米山奨学会カウンセラー研修セミナーは、2010年８月７日（日）、有田町の有田ポーセリングパークで開催されました。カウンセラー研修セミナーは各奨学生の奨学期間中の世話クラブとカウンセラーの役割などについて勉強する研修セミナーです。曽我地区委員長の開会挨拶に始り、本年度の米山地区委員、又、出席者の紹介が益田荘一地区委員（長崎RC）からありました。

次に来賓挨拶として（財）米山記念奨学会理事、栗林英雄理事より米山記念奨学事業は日本のロータリアンが作った独自の国際奉仕プログラムであり、事業の推進は全国約９万３千人のロータリアンの寄付によって支えられ、現在、年間８００名の米山奨学生を支援しており、年間約１５億円を必要とするとのことです。そして米山奨学生学友会（元米山奨学生同窓会）の現況の報告をいただき、 最後にカウンセラーの皆様に期待と感謝の言葉が贈られました。

又、高原武彦ガバナーもガバナー公式訪問の御多忙の中に駆けつけて戴き、暖かい激励の言葉をいただきました。

昼食の後、曽我地区委員長より「世話クラブとカウンセラーの役割」について米山奨学会よりのPPTを使っての説明があり、カウンセラーの皆様も、より深い理解を得られたのではないかと思います。

その後、各カウンセラーのお一人ずつの自己紹介、カウンセラー４ヶ月の 話題と現況報告を述べられ、意見交換をいたしました。各カウンセラーの発表にたいして、栗林理事から「このような素晴らしいカウンセラーにお世話頂いている奨学生は大変幸せな人たちである。」とお褒めの言葉を頂きました。

最後に大久保重利地区委員(佐世保西RC）のユーモア溢れる閉会挨拶をもって有意義な研修セミナーを終了いたしました。

地区米山奨学活動もそれぞれのお世話クラブとカウンセラーのご協力にかかっています。又、奨学生が地区内のロータリアンとの交流（出前卓話）などをスムーズにできますように、ロータリアンの皆様の暖かいご支援を今後ともお願いいたします。

2010 年 9 月 13 日発行［月刊］
（財）ロータリー米山記念奨学会

ハイライトよねやま 127

1 寄付金速報 ― 米山月間に向けての寄付状況は？ ―

8 月までの寄付金は前年同期と比べて 1.9%増、約 560 万円の増加となりました。普通寄付金が 3.3%減、特別寄付金が 13.4%増と、普通寄付金は伸び悩んでいるものの、特別寄付金は比較的好調で、8 月のみの単月寄付額としては過去 10 年間で 2 番目に高い結果となりました。

10 月は米山月間です。事務局では“よねやま”を皆さまに知っていただくためのさまざまな資料をご用意しています。全クラブにお送りする「寄付金マニュアル」のほか、ご要望に応じて、卓話やセミナーにご活用いただけるデータを提供いたします。今年度は**税制優遇の対象が昨年よりも拡大**し、**普通寄付金にも適用可能に**なるなど、**寄付のメリットが増えています**。10 月の米山月間には、事業理解の推進とともに、さらなる寄付の呼びかけをお願い申し上げます。

2 理事会・評議員会開催報告

8 月 30 日に 2010 年度第 1 回評議員会、翌 31 日に第 1 回理事会が、都内で開催されました。

評議員会　全国から 45 名の評議員と、常務理事、監事および島津久厚名誉理事長の 11 名が出席。議長には、互選によって井橋吉一評議員（第 2770 地区ガバナー）が選出されました。

【主な評議員会決議】

a. 2009 年度事業報告・決算報告の承認：それぞれ原案通り承認

b. 2010 年度収支予算一部修正：2009 年度決算数字に基づき、2010 年度収支予算上の一般正味財産期首残高、一般正味財産期末残高、正味財産期末残高の修正が提案され、承認された

閉会後、坂下事務局長より海外応募者対象奨学金制度、新公益法人への移行について説明があり、意見交換がなされました。海外応募者対象奨学金制度は、現在、制度見直し中の「現地採用奨学金」に代わる新しい制度とあって、「母国ロータリーの推薦が望ましい」「地区米山奨学委員会として実務レベルでどう進めればよいか」などの活発な意見交換がなされました。

理事会　理事 31 名と監事 3 名および島津久厚名誉理事長が出席し、議長の板橋敏雄理事長の進行のもと、評議員会の承認を得た上記 a・b が理事会でも承認されたほか、以下が決定されました。

【主な理事会決議】

c. 2010 年度評議員 1 名選任：6 月 3 日の理事会で 2010 年度評議員を選任したが、その後、第 2600 地区ガバナーより評議員の推薦があり、未定となっていた 1 名が選任された。　→2010 年度第 2600 地区評議員　都築文男氏（塩尻ＲＣ）

d. 海外応募者対象奨学金制度：原案通り承認されたが、「日本語運用能力を問わない場合、カウンセラー選任やロータリアンとの交流に支障が出ないか」「地区委員会の負担が増大する」「対象を低所得国とするなどの条件設定が必要では」といった意見も出され、本制度の試行が承認された。制度の内容は試行中に見直される。

e. 会合旅費規程一部改定：算出起点を「自宅」とする改定が承認され、8 月 30 日から施行となった。

両日とも会議開始前に、7 月 17 日に上海で開催された中国学友会総会・懇親会の映像を上映したほか、会議後に 2009 年度寄付金実績上位の地区に対して、板橋敏雄理事長より感謝状が贈呈されました。

中国学友会総会・懇親会 in 上海の映像は、当会ホームページで公開中です！

3 台湾の学友夫妻から10万円の寄付

先月、第2650地区元米山記念奨学委員の伊藤勝晤氏（草津ＲＣ会員）より、嬉しい連絡を頂きました。8月初旬、台湾南部の高雄市に米山学友の蘇 南彰さん・蔡 璧如さんご夫妻を訪問した際、お二人から「お世話になった米山奨学会に御礼がしたい」と、寄付金10万円を託されたとのことでした。夫の蘇さん（2002-04／大津ＲＣ）は歯科医、妻の蔡さん（2002-03／草津ＲＣ）は義守大学経済学部准教授と、夫婦共に活躍されるお二人は、米山奨学生としての出会いがきっかけで結婚。当時、地区米山委員としてお二人と関わった伊藤氏とは現在も親しく交流が続いているそうです。

蘇さん(右)・蔡さん(左)ご一家と伊藤氏

今回の寄付について、伊藤氏は「二人の気持ちに大変感動するとともに、同じように米山奨学制度に感謝している学友がたくさんいることを、多くのロータリアンに知っていただきたいと思います」と語ってくれました。

4 タイでのWCS活動に米山学友が協力

豊橋ゴールデンＲＣ（第2760地区）ではＷＣＳ活動として、タイのスリウオンＲＣ（第3350地区）と協力して、聴覚障害児の小学校に10万円分の図書を寄贈。7月19日に現地で行われた贈呈式では、米山学友のジャンミシー・パッタモンさん（タイ／2001-03／豊橋ゴールデンＲＣ）が通訳として協力しました。同クラブ米山奨学委員長の山本雅久氏は次のように語っています。

「パッタモンが米山奨学生として初めてクラブに来た時は、日本語もやっと話せるレベルでした。時折、自宅に招き、食事を共にするうちに私の家族とも親しくなり、我が子のような存在になりました。次男の卒業式と彼女の卒業式が重なった時、妻は彼女の母親代わりを選び、自分の着物を着せて、一緒に卒業式に参列したほどです。今回のタイ訪問では、彼女の通訳のお陰で先方地区と細部まで打ち合わせることができました。学友が自国の子供たちのために進んで協力してくれたことを嬉しく思いますし、その心がより大きく育ち、いつか母国のロータリアンになって、タイのロータリー活動に役立ってくれることを祈っています」

タイでの贈呈式（後列中央がパッタモンさん）

まもなく米山の資料が全クラブへ届きます！

今年も米山月間【10月】用資料を全ロータリークラブへお届けします（9月18日発送完了予定）。
クラブ会長およびクラブ米山奨学委員長は必ずお目通しください。
※理事、ガバナー、評議員、専門委員、地区米山奨学委員長・委員の皆さまにもお送りします。

お送りする資料（豆辞典以外は基本的に1部ずつです）

- **豆辞典** ※豆辞典は、全会員に配布してください
- **クラブ米山記念奨学委員長の手引き（委員長用）**
- **寄付金マニュアル（クラブ事務局用）**
- **2009-10年度事業報告書**
- **2009-10年度事業報告書（統計・資料編）**
- **2009年度決算報告（クラブ会長・委員長各1部）**
- **米山広報資料　申込書**

DVD、リーフレットは別途ご請求ください

(財)ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15
黒龍芝公園ビル3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津（のづ）・峯（みね）

文　庫　通　信　〈276号〉

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、２万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでＰＤＦもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。　以下資料のご紹介を致します。

地区大会報告書より

◎「運命とロータリーの未来」	ビチャイ・ラタクル	2010	12p	（D.2670）
◎「よきロータリアン　指導者としてのロータリアン」	渡辺　好政	2010	14p	（D.2710）
◎「ロータリー財団」	北　　清治	2010	5p	（D.2560）
◎「ロータリーの原点を知る『決議23－34号』ーパネル･ディスカッション」	安孫子貞夫 他	2010	13p	（D.2800）
◎「世界と高知　会員の状況」	杉谷　卓紀	2010	5p	（D.2670）
◎「江戸時代の日本に学ぶもの」	徳川　恒孝	2010	5p	（D.2560）
◎「これからの日本」	小泉純一郎	2010	9p	（D.2630）
◎「落語でお伊勢参り」	桂　　文我	2010	6p	（D.2630）

［上記申込先：ロータリー文庫（コピー／ＰＤＦ）］

ロータリー文庫

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後5時　　休館＝土・日・祝祭日

国際ロータリー第2740地区

2010−2011年度

地区大会のご案内

11月5日(金)・6日(土)・7日(日)

14代 酒井田柿右衛門 氏

1934年佐賀県有田生まれ。多摩美術大学美術学部日本画科卒業後、作陶技術を十二代、十三代柿右衛門に師事。襲名以前は「酒井田 正」として活躍している。'82年に十四代柿右衛門を襲名、重要無形文化財保持団体代表に就任。'99年九州産業大学大学院芸術研究科専任教授就任、'10年より名誉教授。'01年重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定。同年佐賀県立有田窯業大学校長に就任。'06年有田名誉町民に。同年日本工芸界副理事長に就任。ヨーロッパ、アメリカ、アジア各国での個展開催や、各展覧会への参加、国内でも毎年各地で「十四代柿右衛門展」など、精力的な活動を行っている。旭日中綬章の受章をはじめ各受賞多数。

渡 邊 あゆみ 氏 NHKアナウンサー (旧姓 黒田)

NHKアナウンサー
横浜に生まれ、後に鎌倉に転居
神奈川県立湘南高校から東京大学に進学
教養学科イギリス科卒業
日本放送協会入局　アナウンス室着任
報道番組のレポーター、ディレクターを経て、ニュース番組のキャスターを経験。
生活情報番組MCなどを担当。
NHK日本語センターでアナウンサーを目指す学生などへの講師を兼務。
現在は「歴史秘話ヒストリア」(総合テレビ水曜夜１０時)
「１００年インタビュー」(BSハイビジョン月１回放送)
「新・話の泉」(ラジオ第１）などを担当している。

江 上 栄 子 氏 料理研究家

江上料理学院　学院長
・佐賀県有田焼の窯元「香蘭社」の深川家出身。
・青山学院大学英文科卒業
・パリ「コルドンブルー料理学校」のグランディプロムを取得後、世界60カ国の家庭料理の研鑽を重ねる。
・その温かな笑顔と優しい語り口でテレビ・公演・雑誌などで幅広く活躍。
・外食産業や食品会社の顧問も多く努める。
・著書には、『男の台所』、『基本のおかず』、『料理の基本』など多数。
全国料理学校協会理事　東日本料理学校協会副会長
NPO食育インストラクター協会理事
食空間コーディネーター協会副理事長
社団法人日本漆工協会理事　フランスチーズ鑑評騎士の会 理事長　ゴブラン会副会長　経済産業省伝統的工芸品産地プロデューサー
フランス農事功労賞シュバリエを受勲。ボマールワインの騎士号をも持つ。

11月6日(土)

- 会長・幹事会〈受付 9:00~〉会場：有田ポーセリンパーク
- 大会四委員会〈開始 10:30~〉TEL0955-41-0030

- 登録開始〈11:00~〉会場：焱の博記念堂 玄関ホール
- 本　会　議〈12:30~〉会場：焱の博記念堂 コンベンションホール TEL0955-46-5010
- 青少年の集い〈14:30~〉会場：焱の博記念堂 会議室

- 記念講演〈15:30~〉
  14代酒井田柿右衛門 氏
  〈聞き手〉**渡邊あゆみ** 氏（旧姓 黒田）NHKアナウンサー
  「有田の伝統を語る」会場：焱の博記念堂 コンベンションホール
- 記念懇親会〈開始 18:00~〉会場：焱の博記念堂 コンベンションホール

11月5日(金)

- 記念懇親ゴルフ大会〈受付 7:30~ スタート 8:28〉
  会場：若木ゴルフ倶楽部(武雄市)
  TEL0954-26-3030
- RI会長代理ご夫妻　歓迎晩餐会〈受付 17:00~〉
  会場：大正屋(嬉野市)
  TEL0954-42-1170

11月7日(日) 地域貢献事業

- 朝ごはんプロジェクト〈11:00~〉
  「ぼく・わたしの食べたい朝ごはん」コンクール・表彰など
- 記念講演会〈開場 13:30~ 開演 14:00〉
  江 上 栄 子 氏 料理研究家
  演 目「食育と器」-日々の暮らしを いきいきと過ごすために-
  会場：焱の博記念堂 文化ホールTEL0955-46-5010

お問い合わせ先

地区大会事務局

〒844-0027 佐賀県西松浦郡有田町南原丁175-5
TEL:0955-25-9113 FAX:0955-25-9120
E-mail：chikutaikai@samba.ocn.ne.jp

◆ホストクラブ：有田RC
◆コ・ホストクラブ：武雄RC・鹿島RC・嬉野RC・大町RC・白石RC・太良RC

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010—2011年度
国際ロータリー第2740地区　ガバナー　高　原　武　彦

地域を育み、大陸をつなぐ

木版摺更紗着物「叢技散花」

木版摺更紗着物「紫陽装華」

CONTENTS

高原武彦ガバナー …… 1
ガバナー補佐・リレー随想 …… 2
職業奉仕セミナー報告 …… 3
国際奉仕部門セミナー報告 …… 4
第4回 RI2740YECの報告 …… 5
米山記念奨学会クラブ委員長セミナー報告 …… 6
ガバナー公式訪問 …… 7
長崎県中学ジュニアラグビー大会・寄付者紹介 … 14
交換学生挨拶 …… 15・16
ハイライトよねやま …… 17・18
新入会員紹介 …… 19
会員数・出席者報告 …… 20
会員増強について …… 21
文庫通信 …… 22
地区大会ご案内 …… 表紙4

鹿島の宝物④

木版摺更紗（もくはんずりさらさ）と人間国宝 鈴田滋人さん

染色工芸家　鈴田滋人さんは、平成20年、重要無形文化財木版摺更紗の保持者（人間国宝）の認定を受けられました。

「鍋島更紗」の技法を研究、解明された父 照次さんの後継として、日本の伝統工芸の継承発展のために活躍されています。

小さな木型を繰り返し押していく連続作業によって清新な幾何学模様が創り出され地元の自然をテーマとした「木版摺更紗」こそ、鹿島の宝物であります。

vol.5
2010.11.1

財団月間に寄せて

2010年～2011年
ガバナー 高 原 武 彦

「世界でよいことをしよう」。1917年元RI会長アーチ・クランフが残した有名な言葉。「全世界的規模で善意・慈善・教育・その他社会奉仕の分野でよりよきことをするために基金を作ろう」と提案したことにより財団が始まった。1928年国際ロータリー財団と名付けられ、1983年に米国イリノイ州法の法令の下、非営利財団法人となり、ロータリー財団の正式名称は「国際ロータリーのロータリー財団」となった。

ロータリー財団のプログラムとして次の三つがある。

1）教育的プログラム
2）人道的プログラム
3）ポリオプラスプログラム

この制度の基金は、世界中のロータリアンからの寄付によって賄われている。

2740地区でも教育的プログラムの中で毎年国際親善奨学生を世界に向けて派遣している。近年このプログラムへの応募者が少なくなっているようで少し寂しいことだ。

10年前頃、財団学友委員として選者会に出た時、色々異なった分野の素晴らしい若者の集まりから順位をつけ６名の候補者を選ぶことに自分自身に戸惑いを感じた覚えがある。青少年交換留学生の応募者にも減少を感ずる。それには色々の理由が考えられるが、2010年度ノーベル化学賞の栄誉に輝いた鈴木章、根岸英一 両先生の談話の中にも日本からの留学生の減少を次のように危惧されておられた。「若い学生たちは海外よりも国内で研究したがる傾向が強い。米国の大学に留学し博士号を取得している中国や韓国の学生は日本人学生よりはるかに多い。このままでは研究においても抜かれてしまう。米国で世界最先端の研究に取組み世界の留学生と切磋琢磨する中で新しい手法を開拓したのだ。若者たちに自ら進んで困難に立ち向かう気概を身につけてもらいたい。大志を抱く若者を育てるのは社会と教育現場の責任でもある。大学の研究費は減少している。目先だけの費用対効果ばかり求めて効果が出ない研究は縮少を余儀なくされている」と話されていた。

1960年～1980年代の基礎的研究が現在、医薬品の合成や有機発光ダイオードの品質向上等に寄与して認められたようで、研究には年月がいることが理解出来る。

2011年度海外での勉強の準備をしている2740地区の国際親善留学候補者３名。青少年交換留学生の５名の若者の勇気にエールを贈りたい。若い時しか出来ない経験もあり、異なった国で異なった文化、生活習慣を肌で感じ、理解を深め、認め合うことが出来る国際感覚を養い、世界理解、世界平和へつなげてもらいたい。国際親善奨学生だった方々は学友となられて世界の各分野で活躍されておられる。

ガバナー補佐・リレー随想

第４グループガバナー補佐　中　島　登志雄

１．自分自身何時頃からロータリアンになったのか?。

多分入会して５年過ぎた位であろう、それ迄は襟元のバッジで認識。内部は不見識の人間。失格である。５年経過頃よりぬるま湯へ進入。ここ数年前より少し熱い湯に浸れる。当初は親睦要員。追行員である。その後、奉仕の理想の畑へ迷走。　やっとロータリーの原点追求である。時間がかかる。それで良しとしよう。趣味の露天風呂巡りと同質なのか、最初は近場。無色・無臭の湯。レベルを上げて、秘湯への進出。カラスの行水から長湯へと進化。たかが、温泉。されどの露天風呂。マナーを守るも・破るも自分自身。ロータリアンである自分は!!ゆっくり浸ろうロータリー温泉に。

２．ロータリーのプロとアマ

何をもってプロとアマとするのか、９月２０日より身辺警護の講習参加。４日間富士山麓で研修。大臣等は権力があるＳＰが警護。　個人の場合は民間警護要員。講師曰く。ＳＰの時は拳銃所持。そこのけそこのけの権力がある。但し、民間は警戒棒のみである。講師は元ＳＰ。元大臣ＹＫ氏警護時街頭講演中、暴漢に襲われる。ＹＫ氏は守れたが、本人は負傷。相手が武器所持時は、警戒棒で落とし、その後体当たりが基本。しかし、彼は右腕を負傷。　ゼロか１００の差である。守ればＯＫ。失敗すればＮＯ。アマとプロである。同じ様にロータリアンにも識別出来る。自分は限りなくアマから遠ざかろうと考え、行動している。まだ、中間点であろう。近いゴールはクリアした。又、ゴール、ずっと先にも、ゴールが見えている。あせらず、小走りで１つ、１つのゴールを走り抜けよう。

３．ロータリアンの悩みについて

人間には１０８の悩みが有るという。悩み事は３つで全体９５％。１つ解決すれば次の悩みが出る。私の趣味は手相研究であるが、他人は問う。大体３つのテーマ、金持ちになれるか。寿命は。何時結婚できるか。　答は占い。表と裏である。八方と八気の裏・表の１２８の回答。果たしてロータリアンの悩みは２つ。親睦と奉仕についてであろう。ここにも、表と裏が存在する。限りないプロとアマである。あいまいである。ファジーである。　第４世代でなく第５世代のＰＣで解析出来るか？。ロータリーは進化するから無限？　０と１の間で悩み。今からも、先輩・諸氏の指導・アドバイスを受け１ロータリアンとして、頑張って行こう。

職業奉仕セミナー開催報告

国際ロータリー第2740地区
職業奉仕委員長 岩 﨑 修 一

去る9月18日（土）、秋の連休の初日でしたが、職業奉仕部門セミナーを、有田町　九州陶磁文化館で開催しました。本年度は、第2400地区福岡西ロータリークラブ廣畑富雄パストガバナーに講師をお願いしました。

廣畑パストガバナーは、九州大学医学部、ハーバード大学大学院で学ばれ、その後、国連高等科学専門官の後、ハワイ大学、九州大学、ハーバード大学で研究を深められました。現在は九州大学名誉教授です。2000～2001年度2700地区のガバナーを勤められ、2007年には、RI規定審議会代表議員、RI職業奉仕委員会日本代表委員を歴任されました。2006年には、「ロータリーの心と原点」を出版されておられます。講演は 「職業奉仕（職業サービス？）について」と題して行われました。各クラブの職業奉仕委員長外1名以上の出席要請でしたが、中には4名出席というクラブもあり、総勢150名の盛況振りでした。

『ロータリー用語は公式には英語で書かれるため、翻訳の仕方で微妙にニュアンスが違ってくる。

「職業奉仕」の元の英語はVocational（職業）・Service（奉仕）である。Vocationalは、単に職業というだけではなく、天から与えられた仕事、すなわち天職という意味合いがある。Serviceとは、人の為になる行為という意味であり、「奉仕」と訳されているが、我々が日常で使う「奉仕」とは少し違った概念である。自分を犠牲にして人に仕えるという意味ではなく、「**人の為に役に立とうという考え方や行動**」ととるべきである。従ってVocational Serviceは、「天職を通じて、人の為になるように励むこと」ということになる。米山梅吉翁が「職業奉仕」とは云わず「職業向上サービス」と云われたこと、また、その後も「奉仕」ではなく「サービス」にこだわった先達が多かったことなどから、現在一般的に云われている「職業奉仕」という言葉は、Vocational Serviceの概念を適切に表現しきれていないのではないかと思われる。 』というお話がありました。

Serviceという英文の意味は、「人の為になろうという考え方や行動」ですから、そのような態度で、天職である仕事に全力で打ち込むことが大事なようです。自分の職業を大切に思い、職業を誠実に遂行することで世の中に貢献する。それこそがロータリーの職業奉仕だという感を強くしました。
職業奉仕に徹することにより、世の中も必ず良くなると思います。職業奉仕委員長の皆様には、クラブの皆様に、是非これらのことをお伝えいただきたいと思います。格調高いお話でしたが平易な御説明で、また、時折珍しい写真も見せていただきながら、大変充実したセミナーでした。

ところで、本年度、地区職業奉仕委員会として各クラブにお願いしているのは1回以上の例会における職業奉仕に関する卓話と1回以上の炉辺会合における職業奉仕に関する話し合いです。
その実施計画を、当日「活動計画書」として提出して頂きました。ありがとうございました。
今後の各クラブの職業奉仕活動に期待しています。

国際奉仕部門セミナー報告

国際ロータリー第2740地区
国際奉仕統括委員長
前　田　博　憲

９月５日（日）、佐賀県武雄市武雄センチュリーホテルにおいて２０１０～１１年度の地区国際奉仕部門セミナーを開催いたしました。

当日は高原ガバナー、栗林・高城両パストガバナー、各グループのガバナー補佐の皆様や酒井田地区幹事、中野次年度地区幹事などの地区関係者と地区内の５７全てのクラブより会長始め国際奉仕関連の委員長１２０余名にご出席を賜り熱心にご研修いただきましたことに改めてお礼を申し上げます。

先ず、高城パストガバナーに開会のご挨拶を頂いた後に財団奨学・学友委員会の有田信一委員長（長崎中央ＲＣ）より財団奨学プログラムの役割や組織などについてのレクチャーの他に奨学生の応募が近年減少傾向にあることなどの問題提起や奨学生募集に対するクラブへの協力依頼などがありました。

その後の学友による体験報告では、２００３～０４奨学生の戸上真由子さんが歴史と伝統のある英国ウエールズ大学での留学生活の模様や地区内のロータリークラブメンバーとの深い交流や親善の様子を紹介され、次いで２００８～０９年度奨学生の古井陽子さんが本来の志望国（カナダ）とは全く異なるガーナを指定されて暫しの葛藤の末に留学を決意され、現地で我々の想像を超える苦労や貴重な経験から得られたご自身の生活信条などを話して頂きました。

イギリスにおける成熟した地方都市と、方やガーナという未だ発展途上にある国への対照的な留学ではありますが、それぞれのお立場でロータリー親善奨学生としての役割りを十分に果たして帰国されたことに改めて深い感銘を覚えました。

財団委員会の部では、石坂和彦委員長（大村ＲＣ）よりＲ財団の意義や目的、さらにはその成り立ちから今日に至るまでの歴史などの説明の後、「世界で良い事をしよう」の合言葉の元にＲ財団の目標である４つの項目（即ち　１、ポリオプラス　　２、未来の夢計画　　３、毎年あなたも１００ドルを　４、恒久基金への支援）の重要性について詳しく説明がありました。

プログラムの最後に、今回新しい試みとして石坂財団委員長のご提案で、東京世田谷ロータリークラブより第２７５０地区財団委員会副委員長（Ｒ財団情報・広報担当）の高橋茂樹氏をお招きして基調講演を行って頂き、日頃地区内ではなかなか耳にすることの出来ない国際奉仕活動の様々な取り組みや今後我々が目指すべき方向性について大変有意義なお話を拝聴することができました。

セミナー終了後の質疑応答では皆様よりいくつかの貴重なご指摘やご要望等も承り、関係者一同今後の地区運営にしっかりと活かして行こうと感じた次第であります。

栗林パストガバナーより「最初にプログラム見たときには４時間のセミナーは長いと感じたが、終わってみればかえって短く感じた」との有難いご講評を頂戴した後、大変大事な診療を終えられて直ぐに駆けつけて、ご出席頂いた高原ガバナーのご挨拶で今年のセミナーを閉じることができました。

最後に、今回のセミナーの準備万端を整えて頂いた石坂、有田両委員長や地区委員の方々、ガバナー事務所メンバーの皆様に深く感謝申し上げます。

ＲＩ2740地区2011～2012年度派遣学生選考会

第4回 RI2740YEC（青少年交換委員会）の報告

交換学生地区委員長
瀬戸口　智　彦

日　時　2010.9.26　　11：30～15：00

場　所　有田ポーセリンパーク

参　加　ガバナー事務所　　高原Ｇ　酒井田地区幹事　　福田地区副幹事

青少年交換地区委員会

瀬戸口　若杉　白川　戸村　川渕　三山　相内(専任事務)

派遣候補生

大浦貴史（佐世保南RC）　樋口香菜（諫早南RC）　大石里香（諫早北RC）

増崎春佳（長崎西RC）　　大浦誌帆（推薦RC未定）

選考試験

Ⅰ　選考試験

応募者の紹介

（各関係ロータリークラブと応募者）

にひきつづき

１）13：00　　選考試験の説明

２）13：10　　英語面接試験　/

日本語面接試験/

３）13：30　　筆記試験

４）14：40　　地区委員長の講評

５）15：00　　高原ガバナーの感想

Ⅱ　地区委員の選考結果

上記　5人の応募者はいずれも明朗で筆記試験　口頭試験の結果も良好でした。

ガバナーの認可を得て国際ロータリー本部（RI）を通して候補者と留学希望国との調整を行います。なおまだクラブ推薦が得られない候補者においては今しばらくクラブの推薦があるまで保留されます。

米山記念奨学会クラブ委員長セミナー報告

2740地区 米山委員長 曽 我 文 雄

２０１０年９月４日伊万里市民センターに、高原ガバナー、栗林理事、ガバナー補佐、クラブ委員長、地区委員等８０名以上の皆様にお集まり頂きセミナーを開催いたしました。当日ＮＨＫの番組収録があることが分かったのが二日前で会場の変更も不可能で駐車場を確保するのが精一杯でした。皆様方に大変ご迷惑をお掛けしましたことを、あらためてお詫び申しあげます。

当日は第一部として隅田達男パストガバナーに「米山梅吉と福島喜三次」という演題で講演をして戴きました。今まで知らなかった日本に於けるロータリーの舞台裏を見せて頂いた気分になって、皆さんも驚かれた様子でありました。　　第二部として「寄付額を三倍に引き上げよう！」という題名でセミナーを行いました。それは「目標は高く掲げて、一歩一歩その目標に近づいていく」という原則に則ったからです。

毎年ガバナーから一人一万円以上の寄付をして戴きたいと言われて来た委員長は、どうして寄付をお願いしたら良いか分からずに、頭を痛めているうちに、一年が終わり、次の委員長に代わってもらい、ホットしていたのではないでしょうか？　私は自分の考え方と経験を基に、自分のクラブで実験を重ね一つの結論に到達しました。それがシステム化です。

寄付には一時的なものと、継続的なものがあります。この二つは寄付金の集め方も全く違います。これは例をあげて説明しました。

学校新築・移転、野球部の甲子園出場等の一時的な寄付は額も大きく短期間で集めるために、半強制的になり、新聞等で叩かれたりして後始末が大変で、政治的解決も必要になります。

米山の様に継続的な寄付集めでは、悪評がでる様な集め方は絶対にしてはいけないのです。この不景気の時代に「十万円寄付して下さい」とお願いしてもＯＫと言ってすぐお金を出してくれる人は殆どいないでしょう。もっと楽に寄付出来るシステムを構築する必要があるのです。

米山の寄付には普通寄付と特別寄付があります。普通寄付はクラブの会計から支出され、特別寄付は個人が寄付するものです。普通寄付は例年通りと考えて、毎年これをどうするか検討しているクラブは殆どないと思われます。

普通寄付は単価を自己申告して納付するものです。クラブの会員数、都市の経済力等を他のクラブと比較検討して戴き、クラブとしての貢献度を高めて頂きます様よろしくお願いいたします。

米山委員会の活動を活性化するには、皆さんに米山の事業内容を知ってもらう必要があります。

それは知らないところには寄付したくないのが人情だからです。又、一度聞いただけでは４８時間経てば５０%、１６日経てば９８%の人が忘れるからです。では、どうしたら覚えてもらえるか？それは繰り返すことです。皆さんが掛け算の九九をどうして覚えたか？思い出してください。

次に委員長は米山奨学会の事業に惚れ込んでください！自分がこの事業はすばらしいと信じていなければ、他の人に勧めることは出来ません。世界に誇れるこの事業に惚れ込むことから始めましょう。

会社には事業計画があります。委員会にもこれが必要です。最初に目標を決めます。私はこれを「寄付額を三倍に引き上げよう！」としました。

計画をたてて目標に一歩ずつ近づいていきます。そのためには細かい計画が必要です。そして自信を持って実行していくのです。

システムの作り方については、私が自分のクラブで計画し、実行してきたことを基にお話をいたしました。これは、規約を作って友の会組織を立ち上げ、積み立てをするという単純なものです。規約は理事会の承認が必要です。しかし、作ればそれでお終いというものではありません。委員長の仕事はここからはじまるのです。この組織を会員全員に説明し、納得してもらい、米山奨学会の意義を説明し、喜んで積み立てに参加してもらうのです。委員長は寄付して下さいとはお願いしません。寄付する為の「積み立て友の会」に入会して頂く様にお願いするのです。だから、積立額は無理ではないが３年経てば１０万円に近くなる位の額を設定して実行しています。

しかし、委員長に熱意がないと会員は見向きもしません。今日もまた米山委員会の報告かと会員があきれるくらい米山の報告をしてください。こうなると会員が気持ちよく積み立て友の会に入会してくれるようになります。委員長が本気で努力すると皆が協力してくれるのです。

セミナーの最後に長崎東クラブの新部氏から自分達のクラブが世話をした奨学生が台湾に帰国して、事業にも成功して、台湾訪問をした長崎東クラブのメンバーを大歓迎してくれた時の話は、会場の皆さんを感動させました。

私が今回の話をすることが出来たのは、我が伊万里西クラブのメンバーが私の我が儘な実験を許してくれたおかげであると感謝しています。

ガバナー公式訪問

神埼ロータリークラブ

会長：生島　忠嗣
幹事：伊東　和孝

神埼ロータリークラブでは、去る８月３日　高原ガバナー、酒井田正宏地区幹事をお迎えして、公式訪問例会を開催致しました。例会前には、当クラブの小林ガバナー補佐　会長　幹事　会長エレクト　幹事エレクトとの懇談会が行われ、当クラブの概要説明及び今期クラブ運営に関してご指導頂き大変有意義な懇談会が出来ました。

例会では、高原ガバナーより国際ロータリー並びに地区方針、クラブへの要望、クラブ訪問の感想など大変判り易くご説明頂きました。

例会後は、クラブ会員との懇親会が行われ、楽しいひとときを過ごす事が出来ました。

今期も当クラブでは「地域を育み大陸を繋ぐ」をテーマに「活気ある楽しいクラブ」を基本に親睦活動、会員増強、社会奉仕の計画実行に務めたいと思います。

今回、ガバナーが出されている地区方針「地域・家族と共に生き生きロータリー」に向かって会員全員で健全な運営を致したいと思います。ご指導のほどよろしくお願い致します。

諫早西ロータリークラブ

会長：清水　輝雄
幹事：馬渡　信也

平成22年8月11日(水)高原武彦ガバナー、橋爪毅ガバナー補佐、酒井田正宏地区幹事、横岳保雄地区事務局補佐をお迎えしてのガバナー公式訪問例会を開催致しました。 例会前の会長、幹事、会長エレクトとの懇親会では当クラブの概況報告、活動計画の内容と継続事業等をお話致しました。

今後のクラブ運営についての御指導を頂き、RIのテーマ[地域を育み、大陸をつなぐ]と共に当クラブ会長のテーマ[ロータリーを楽しもう]を旗印に地域に根差すロータリー活動に取り組んで参りたいと思います。

特に会員相互の親睦、親睦あってこその退会防止

地球温暖化防止の啓発として市内小学校への植樹

第６回となるミニバスケットボール大会の実施などに力を入れ楽しいクラブ作りに努力します。

ご訪問まことに有難う御座いました。

ガバナー公式訪問

長崎琴海ロータリークラブ

会長：田中　一広
幹事：友岡　純一

9月2日(木)、高原ガバナー、渡邊ガバナー補佐、酒井田地区幹事、嘉村地区副幹事をお迎えして、公式訪問が開催されました。

事前に行われた懇談会では、長崎最少(18名)のクラブながら、毎年行っている社会奉仕部門の「県立盲学校の水泳授業支援」「長崎明誠高校・西彼農業高校との新世代会議」、また国際奉仕部門のカンボジア支援委員会の活動について大変興味を示され、お褒めの言葉を頂きました。

また高原ガバナーは、長崎大学のヨット部時代、当クラブの例会場であるパサージュ琴海近くの大村湾もよくクルージングされていたということで、例会場から見える穏やかな海を懐しそうに眺めておられたのが印象的でした。また「さだまさしの島はどこですか？」と逆に質問されたのには、びっくりさせられました。

最後に、やはり会員数のことを心配されており、必ずや最低純増２名は実現する決意を述べ、例会を無事終了致しました。

長崎東ロータリークラブ

会長：北川　常廣
幹事：川上　信幸

9月３日高原武彦ガバナー、酒井田正宏地区幹事、澤山俊雄ガバナー補佐、岡部景光地区大会実行委員長をお迎えして、ガバナー公式訪問例会およびクラブアセンブリーが開催されました。

例会に先立って、会長、幹事、会長エレクトが参加した懇親会では、クラブの現状報告や特徴について質問がありました。会員数は最近の急激な減少が止まる傾向にあり、増員に一層努力する。クラブの特徴は、友好クラブとして国内の函館東と国外の高雄西の2つのロータリークラブと長年密接な相互交流をしているとお返事しました。

公式訪問例会では、高原ガバナーは、「地域を育み、大陸をつなぐ」のRIテーマを詳しく説明されて、更にポリオ撲滅運動の医学的な意義を解説されるなど有意義な30分の卓話をして頂きました。

私達は本年度の重要課題として、会員数を増加する。また、 長崎市民に社会奉仕を行って我がクラブの認識を深めたい。この目的に、本年1月23日の創立40周年記念大会では、長崎で新しい3つの社会奉仕活動を行ったが、この内の1つ、小学生の英語教育を奨励する「小学生の英会話の集い」は要望が最も高いので、本年度も社会奉仕活動として継続したい。

ご訪問を感謝します。

ガバナー公式訪問

長崎西ロータリークラブ

会長：劉　　済昌
幹事：北口　功幸

9月7日（火）高原ガバナー、渡邊ガバナー補佐、酒井田地区幹事、横岳事務局長補佐をお迎えして、公式訪問例会を開催致しました。例会前のクラブ懇談会では、当クラブより劉会長、木庭次年度会長、北口幹事、平山次年度幹事が出席し、今年度の当クラブの現況と活動報告を北口幹事より致しました。 会員増強について、当クラブは女性会員がいないので入れてはどうかと言うお話がありました。当日はガバナーのスケジュールで夜の例会になり、基調講演ではRI会長のテーマ等詳しくお話を頂きました。その後懇親会に入り、多くの会員が直接ガバナーとお話しができ、とても充実したひと時を持つことが出来ました。

東長崎ロータリークラブ

会長：上原　高徳
幹事：友永　修一

9月7日火曜日、高原武彦ガバナー、澤山俊雄ガバナー補佐、酒井田正宏地区幹事、横岳保雄地区副幹事をお迎えして、公式訪問例会並びにクラブ協議会を開催致しました。
例会前の会長、幹事、会長エレクトとの懇談会では、当クラブの現況を報告しクラブの活動等についてご質問ご指導を頂きました。特に、当クラブが直面しています会員の減少・退会防止については、新入会員を対象とした研修セミナー等のあり方や、ロータリー地域内の候補者のリストアップ・退会会員への再入会の働きかけ等のアドバイスを頂き大変参考になりました。
また、当クラブの継続事業であります、ちびっ子創作村の支援事業や米山奨学生の受け入れについてもよくご理解頂き高い評価を頂きました。
例会の卓話ではレイ・クリンギンスミスRI会長のテーマついて、そしてポリオ撲滅運動の歴史について分かり易くお話をして頂きました。さらに、高原ガバナーのロータリーの価値観についての熱い思いをお話して頂き深い感銘を受けました。

今年度の当クラブの活動目標
◇出席率の向上
◇例会の充実
◇会員増強・退会防止

最後に、高原ガバナーはじめ地区役員の皆様の今後益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。

ガバナー公式訪問

佐賀北ロータリークラブ

会長：太田　善郎
幹事：池田　敬介

去る9月8日夜の例会に高原ガバナー、小林第2グループガバナー補佐、岡部地区大会実行委員長、酒井田地区幹事をお迎えしてガバナー公式訪問を開催致しました。例会前の懇談会では当クラブの今後一年間の活動方針を説明致しました。例年の方針に加え、楽しい例会で退会の防止と、会員増強を図りたい旨報告致しました。色々とご指導を頂き有難うございました。

例会では卓話をして頂きました。RIの根本理念、超我の奉仕そしてこれまでの歴史を踏まえての新会長の今後の方針等を詳細に解説頂き、又高原ガバナーの地区方針についてもお話し頂きました。私個人としては日頃の勉強不足を痛感させられましたが会員一同深い感銘を受けました。

明日からのロータリーの活動に生かしたいと思います。有難うございました。

平戸ロータリークラブ

会長：柿添　圭嗣
幹事：貞方　正一

9月9日（木）、高原武彦ガバナー、福田ガバナー補佐、酒井田地区幹事、並びに西山有田RC会長をお迎えして公式訪問例会を開催致しました。例会に先立って11時30分より当クラブ会長、副幹事、会長エレクトとの懇談会を行いましたが、会員増強に対する姿勢等につきアドバイスをいただき大変有意義な内容となりました。特に気合いを入れて作ったクラブ活動計画・報告書につきましては今年度50周年を迎えるに相応しく50年のクラブ概要をまとめて載せている事、各委員長の写真を入れた事、加えて各人がRC旗の前で笑顔で写っている事等に御評価をいただきました。通常通り12時30分に例会点鐘、ガバナーより今期のテーマは初めてRCが外へ向けて発信する内容である事や、地区テーマを基本にした卓話をお聞きする事が出来ました。中でも足元から活性化が必要である事や、高潔性、リーダーシップといった文言は正に当クラブの活動方針にオーバーラップしており、改めて会員一同活動意欲が湧いてきた次第です。重点活動方針を下記致します。

1．今年度テーマ「ロータリアンの意識を」職業倫理に裏打ちされた会員で構成されてこそ真のロータリアン足る
　新入会員増強につながる。9月現在38名目標40名以上。会員　強→増
2．青少年絵画コンクール「私が住みたい50年後の平戸」
　来年5月の当クラブ50周年を記念して市内全ての小中学生を対象として開催を予定しています。

ガバナー公式訪問

ハウステンボスロータリークラブ

会長：松尾　京子
幹事：川副源太郎

9月14日には高原ガバナーの夜例会への公式訪問を頂きまして心より御礼申し上げます。
夜の公式訪問にもかかわらず、酒井田正宏地区幹事、志久雄三ガバナー補佐、横岳保雄副幹事にご同行いただき大変ありがたく存じました。
お迎えするに当たりましては大変に緊張しておりましたが、例会前に行われました当クラブの現況報告においては終始なごやかな雰囲気でご指導を頂きました。幹事より当クラブの概況と本年度の委員会活動報告をいたしましたが、予定通りの活動推進をとのお話を頂きました。
また、例会におかれましては、2010年～11年にRI会長の掲げておられます「地域を育み、大陸をつなぐ」テーマにそって、家族が基本にあっての「地域の育み」を実現するという有意義な話をいただきました。
今期の当クラブの会長方針としまして、例会出席の向上を目指していますが、ハウステンボスホテルヨーロッパという恵まれた例会場環境を生かすことで、例会出席率の向上や会員増強を進めてはどうかという貴重なアドバイスを戴きました。
高原ガバナーのこうしたアドバイスを深甚に受け止めて、当クラブの和やかな親睦の強さを生かし、楽しいクラブになりますよう努力して参ります。
来る11月5～7日に開催されます地区大会は、地域の伝統文化という身近なテーマになっておりますので大変楽しみにしておりますと共に、盛会になりますようにお祈り申し上げます。

北松浦ロータリークラブ

会長：前田　治伸
幹事：森山　政幸

9月14日(火)、高原武彦ガバナー、酒井田正宏地区幹事、福田金治ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会を開催いたしました。例会時に会長・幹事・会長エレクトとの懇談会があり、当クラブの現況報告、事業計画の説明を致しました。会員数22名の小さなクラブですが、前年度IMを担当したことで、会員の結束がさらに強くなったこと、しばらく休止していた優良従業員表彰事業を復活させることなどを話し、和気あいあいの内に終了いたしました。

例会では、22名全員出席の100%例会を達成することができました。高原ガバナーの卓話では、RI会長のテーマやメッセージ等、有意義なお話をいただき感謝申し上げます。

北松浦クラブの今年の目標は会員増強2名でしたが、ほぼ達成のめどがつき、新たに1名増を目標に取り組んでいきます。

ガバナー公式訪問

小城ロータリークラブ

会長：大家　和義
幹事：古川　博文

9月15日(水)に、高原武彦ガバナー、下田龍二ガバナー補佐、酒井田正宏地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。
クラブ協議会から引き続き会長、幹事、会長エレクトとの懇談会・例会に至る迄、適切な御指導を頂き緊張も少なく和やかな雰囲気で終了することが出来ました。
当クラブは、1965年設立し、現在26名の会員、内名誉会員1名・女性会員1名であり、近年、会員増強・退会防止には苦慮しているところであります。また、会員増強が会員一人ひとりの責任であることを忘れずに10%の会員増を目標に頑張っていきたいと思っております。
今年度の地区方針をベースに親睦活動と社会奉仕活動の計画と実践に向かって会員全体が取り組むよう努力いたします。
(主要目標)
各部門における行事計画への積極的計画
会員増強・退会防止への積極的取り組み
同じ理想、目標を共存する他団体との交流
ロータリー財団への貢献
地域に根をはやし、地域の活性化を図る

私どもロータリアンは、45年の歴史あるクラブに「品位と秩序」を保ちつつ、RI会長の目標である、『地域を育み、大陸をつなぐ』を基本理念とし、会員一人ひとりが自分の目標とし、「明るく楽しく愉快な」例会運営に務めて参ります。

佐世保東南ロータリークラブ

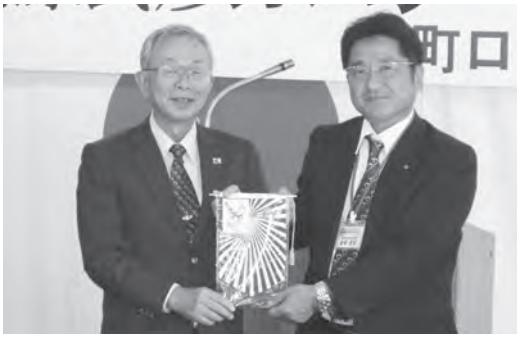
会長：古川　幸造
幹事：池田　正喜

9月15日(水)高原武彦ガバナー、志久雄三ガバナー補佐、酒井田正宏地区幹事をお迎えして、公式訪問例会を開催いたしました。
例会前の会長、幹事、20周年事業委員長を交えた懇談会では、当クラブの現況、委員会活動の説明と来年20周年記念事業の報告を致しました、高原ガバナーよりクラブの運営など、ご指導いただき、とても有意義な時間をすごさせて頂きました。
例会の卓話では国際ロータリーテーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」及び地区の方針「地域、家族と共に生き生きロータリー」についてわかりやすく、丁寧にお話をいただきました。
当クラブも来年で20周年を迎えます、若い会員の方が多く入会いただき、記念事業の準備もスムーズに進み、今年もいい形で流れています、このまま続いていきますよう努力してまいります。
今期の当クラブのテーマ「Take part in all」全員参加　を掲げて目標を設定しました。
親睦活動の充実
主席率の向上
会員増強、退会防止
20周年記念事業の準備

ガバナー公式訪問

大町ロータリークラブ

会長：釜﨑　博昭
幹事：樋口　文章



大町クラブでは、9月16日木曜日　高原ガバナーをお迎えし例会を開催いたしました。その節は行き届かない点も多々あり、大変失礼しました。また、高原ガバナーにおかれましては愉快な卓話ありがとうございました。

さて、大町クラブで今期特に力を入れたい活動は、一つはまず持って会員増強、二つ目に地域及び会員間の親睦、そして社会奉仕であります。

一つ目の会員増強は、どこのクラブでも最大のテーマであると思います。大町クラブでもここ数年前に5,6人の新入会員を確保しました。しかし、大半の方がお辞めになりました。理由は経済低迷による個々の事業所のご事情によるものや、クラブの雰囲気になじめず退会されるケースでいずれも2年以内に退会されました。そこで、二つ目の地域及び会員間の親睦等に力を入れ対外的に当クラブ活動をアピールし、どこの事業所から見ても興味が持たれ入会しやすいクラブ環境づくりを目指したいと思います。大町クラブでは、その一環として2ヶ月に一度程度ですが、例会場をゴルフ場に変更しゴルフ場例会を今年9月より実施いたしております。また。当クラブが社会奉仕活動の一環として毎年11月に開催する江北、大町、北方町の3町合同ゲートボール大会に出場すべく毎月二例会後に30分程度ゲートボール練習に汗しております。因みにここ数年大会に参加しておりますが完敗であります。年に一度ですが地域のお年寄りの方と交流がはかれ喜ばれております。その中において地域交流活動、会員間の親睦活動を深めながら会員増強に結びつけることに繋がれればと考えています。

ロータリーの偉人に学ぶ　元気の出る言葉

～松下幸之助氏の言葉より～

反省、改善のほかに成功のコツはなし

成功する為の特別の方法というものは無い。絶えずもっと良い方法はないか、さらに改善すべき点はないかと反省し、適時適切に手を打って、改めるべきところを改めていく。そうした反省、改善の繰り返しによって、一歩一歩着実に成功に近づいていくのである。

●ガバナー・エレクト事務所開設のお知らせ●2010年10月5日開設

所在地：〒852-8104 長崎市茂里町3番1号　長崎新聞社7階
TEL：095-865-7536　FAX：095-865-7539　E-mail：ri2740iwanaga@ace.ocn.ne.jp
執務時間：(2011年6月30日まで)月～金曜 10～16時　　(2011年7月1日から)月～金曜 9～17時
事務局員：久保　明日美
※来所の際にはパスカードが必要です。長崎新聞社受付にお申し付け下さい。

第３回 長崎南ロータリークラブ杯 長崎県中学ジュニアラグビー大会

９／11,12 第３回長崎南ロータリークラブ杯長崎県中学ジュニアラグビー大会をかきどまり運動公園で開催。 試合だけでなく昨年から実施しているラグビークリニックは、三菱重工ラグビー部吉原直樹監督以下20名の 選手が、未来のラグビー選手を夢見る長崎県下の中学1,2年生150名に「体の基礎を楽しく鍛える」を テーマに実施する。選手は楽しみながら自主トレーニングをする方法を教えてもらい、体幹を鍛える事の大切さを 今後の練習メニューに取り入れ、未来のラガーマンを夢見る少年達はますます成長することでしょう。 また、選手のお母さんと、ロータリアンとの交流試合もあり炎天下の中、楽しい交流が図れたことも特筆すべき事でした。そして応援に駆けつけていただいた長崎市内のロータリーアンの皆様にも感謝致します。

長崎南ロータリークラブ

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介いたします。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

ロータリー財団

種　類	氏　名	クラブ名
ポールハリスフェロー	**田崎賢一**	大村北RC
マルチプルポールハリスフェロー	**井上東也**	唐津RC
	松角雅夫	諫早北RC
	吉岡数俊	諫早多良見RC
大口寄付者	**福田俊郎**	佐世保北RC
年次寄付	**野田孝則**	大村東RC
メモリアルコントリビュー	**宮崎高幸**	雲仙RC
ポリオ・プラス（PHF）	**國崎忠臣**	佐世保南RC

米山記念奨学会寄付関係

種　類	氏　名	クラブ名
特別寄付金	小城RC	
功労者	**橋口光彰**	有田RC
メジャードナー	**田中純智男**	佐世保東RC
マルチプル	**松角雅夫**	諫早北RC

交換学生挨拶

タミカ　ライマン
Tamika Ryman

オーストラリア
スポンサークラブ：佐世保南RC

日本とオーストラリアの“かけ橋”になりたい！

学校での関心事項や活動は：地元で学校の代表として、バスケットボールやタッチボール、ラグビー・ユニオン、バレーボール、ネットボールのようなスポーツをやっています。さらに、特別なカリキュラムでは日本語を第二の外国語として勉強しています。

指導的な役割について：この２年間はバスケットボールのチームのキャプテンをしました。中学校のときと高校の低学年のとき、生徒会の役員をしました。

私の趣味はいろいろなスポーツをしたり、校内、校外で友達とぶらぶらして新しい人と出会ったり、singstarというゲームをしたり、家族と時間を過ごしたり、地元の祭のバスケットボールの試合の主審をしたりすることです。

新しい文化やいろいろな人生を学ぶことができるようになるので、ほかの言語に興味を持つようになりました。私はこの言語を使ってキャリアをのばしていきたいので、日本語の勉強に時間を使います。

私はキャリアをつんで弁護士か私の日本語を長く使える通訳、観光旅行の主催者、日本で英語の先生になりたいです。私がこの中からひとつを選ぶのは、ほかの人と話すのが大好きだからです。私は、ほかの人と連絡をとったり彼らの生活の面白いことを共有するのがたのしいです。

私は第二外国語を流暢に話せるようになり、長く付き合える友達を作り旅行をして、日本の習慣を理解したいです。帰ったら、私のオーストラリアの仲間に私の経験やホストファミリーとの日本での生活、日本のことばなどを教えたいです。そして日本の文化の長所もよく学び、私たちの国の間に平和を推進しコフスハーバーと佐世保の姉妹都市としての結びつきをたしかなものにしたいです。

私の母は、Sawtell Primary School で学校の教師の手伝いとしてはたらいています。ときどき夜や週末にコフスハーバーのWoolworth で業務マネージャーをしています。私の父は警察の巡査部長で警察官やNew South Wales の北部地域青年クラブの人達と一緒に働いています。

海外旅行の経験：ロータリー国際青少年交換として日本に旅行するのが私の初めての海外です。

きらいなもの：私は、始終、自分のやりかたを言い張る人や、よく考えずに勝手な理想をおいかける人や、世界中で自分が一番重要な人だと信じるような人が嫌いです。食べ物で嫌いなものはかぼちゃです。

私は、違った意見や考えを言う十代の若者に共鳴します。私は、人々を尊敬する人とみなし理解しようと努めます。他の文化や生活スタイルを容認してその上でリラックスし、のんびりとやっていきます。私はすべてのチャンスをゲットし、経験を広げていきたい。

不要不急のときは几帳面で、十分過ぎるほど正確を期すのに、他の立場に立つとむちゃくちゃでいらだってしまいます。

典型的な土曜日はこのような感じです。朝起きて泳いだり運動したりします。トーストやシリアル、フルーツを朝ごはんに食べて、買い物に家族や友達と行きます。そして弟のサッカーやバスケットボールを見たり妹のネットボールをみて私もネットボールをします。その後４時ごろに家に帰りバーベキューをします。そして家族と夜に映画を見ます。自由な時間は家族や友達とビーチをぶらぶらしたりプールで遊んだりプレイステーションやsingstarをします。

私の必修科目は数学、理科、宗教、英語、体育、そして家庭科、日本語、数学の3科目から選択して授業をうけます。５２分授業の６時間です。典型的な学校の日は、６：３０に起きて運動をして、朝ごはんを食べて８時のバスに乗ります。学校には８：２０に着き８：５３にベルが鳴ります。休憩時間の前に数学と理科があり、昼食の前に英語と宗教があります。最後の２つの教科は選択教科か体育で、３：２０に終わります。バスに乗って３：５０に家に着き、スポーツをしたり宿題をしたりします。

私の家は煉瓦で出来ていて、大きな庭とプールがあります。私は自分のベッドルームを持っています。でもおじいちゃんとおばあちゃんがきたときは妹と共有します。２つの机とコンピューターのある部屋で宿題

をします。
私は３人兄弟の一番年上です。Brittniiという１２歳の妹とZaineという９歳の弟がいます。Brittniiは私の学校の７年生でZaineはまだ小学校４年生です。Brittniiはダンスやバスケットボールやネットボール楽しみます。Zanieは、ラグビー･リーグやラグビー･ユニオン、サッカー、バスケットボールが好きです。
コフスハーバーは、ニュー･サウスウェールズ州の州都シドニーとクイーンズランド州の州都ブリスベンの間にあります。コフスハーバーの人口は約７万人でオーストラリアには２億２千万人います。バナナの栽培や漁業、観光がコフスハーバーの地域の産業です。
私のお気に入りの本は、Angus,Thongs and Perfect Snogging　です。これらは私のお気に入りの著者 Louise Rennson が著した本です。全９巻の全集のうちの数冊です。私はそれらがすきです。なぜなら、面白く１０代の生活や趣味についてだからです。映画化もされています。読むにはとても良い本です。私は月に１冊本を読みます。もし面白い本だったら２、３週間で読んでしまいます。
雇用問題：満足できるながくできる仕事を得たいから雇用問題に関心があります。たいくつしないようないい仕事をしたいです。私の人生をそんな職業でやっていける人生を自分自身で夢見ています。そんな仕事ができるように学校で一生懸命勉強をしなければとおもいますし、生活のわざを学び、何とかして卒業資格を得たいです。人に頼らないで、社会的に受け入れられるようになることが必要になってきます。私が今興味を持っているものは、法律や観光、言語です。

ケビン　トラム
Kevin TRAM

フランス
スポンサークラブ：諫早マルチRC

日本の文化を学びたい

僕の名前は、ケビン・トラムです。
１７歳で、生まれた時からポワチエに住んでいます。
ポワチエは、ポアトゥー・シャラント地域のヴィエンヌ県に位置します。 2008年には91,395人の人口で、ヴィエンヌ県の一番人口の多い町となりました。
僕は、庭のない二階建ての家に住んでいます。 町の中心部からはそう遠くないです。 アメリカンキッチン付のリビングがあります。 一階には二つの寝室があり、両親と弟の部屋があります。僕の部屋は二階です。
僕は僕の部屋で宿題をしますが、僕にとって不得意な科目は学校で友達に教えてもらいながら済ませるのがすきです。 僕の学校 (Victor Hugo Secondary School)は中心部にあり、歩いていくことができます。
学校では、生徒は、約30時間の授業の他、2-3時間の課外科目があります。 １年生の生徒は、数学、フランス語、物理、科学、生物、歴史、地理、公民、体育とともに外国語レッスンと3時間の課外科目をあわせて習います。 一年修了時に生徒達は、文学、経済学、科学、科学技術テクノロジーのコースを選ぶことができます。 他にもクラブ活動として、スペイン語、イタリア語、アラビア語、日本語から選べます。
僕は暇な時、友達とたむろしています。 家に居る時は、たまにパソコンをしてメールをチェックしたり、ギターを弾いたりします。 本を読むことも好きです。
僕は、ロックミュージックを聞くのが好きで、特に古いロックや日本のロックが好きです。 友達とスポーツの練習をしたりもします。 2000年に僕は、アメリカと日本を家族と２，３週間観光しました。
９年も前の事ですが愉しかった思い出があります。2009年の７月に伯父と伯母とロンドンに観光にも行きました。
僕の短所で、我ながらいやなところは内気なことです。僕のこの留学の目的の１つはロータリークラブやホストファミリーの人たちに助けてもらいながらこの内気な性格に打ち勝つことです。
そして僕は、日本人の１０代がフランスについてどんなふうに思っているのかを知りたいです。

Kevinの父からの手紙
私の息子は私達とも、彼の友達とも、とても良い関係を築いております。私達は、息子が時々何か間違ったことをしたら しかります。しかし、ちゃんと説明してやると、なぜだめだといわれたか納得します。
彼がなにかしら問題に直面したときは、彼は助けを求めることなしに自分で克服しようとします。だから私達は、彼になにか困っていることはないかときいてやります。
私たちは、息子のこの留学が実現することを願います。 なぜなら、彼はずっと、日本へ行きたいといっていましたし、日本の文化のことなどをしきりに私たちに話しておりますので。
この留学で息子が内気な短所などを直す為にホストファミリーの方々にお力添えをお願い致します。

2010 年 10 月 13 日発行［月刊］
（財）ロータリー米山記念奨学会

10月は米山月間

ハイライトよねやま128

1 寄付金速報 ― 米山月間へご協力ください ―

9月までの寄付金は前年同期と比べて4.0%増、約1,380万円の増加となりました。普通寄付金が2.3%減、特別寄付金が13.7%増と、これまで比較的好調に推移していましたが、米山月間である10月前半の寄付実績はここ数年の中で最も低く、厳しい出足となっています。

10月から12月までの3カ月間は、1年間の特別寄付金の約半分をご送金いただいている重要な時期です。各クラブにお届けしている月間用資料をご活用いただき、当会事業への理解を少しでも深めていただくよう、広報活動へのご協力をよろしくお願いします。

2 GETSで米山記念奨学事業を紹介

9月8日に東京都内で開催されたガバナーエレクト研修セミナーで、板橋敏雄理事長と坂下事務局長が各20分間、米山記念奨学事業の現況説明を行いました。また、配偶者プログラムでは、米山学友の駿渓（スルタニ）トロペカイさん（アフガニスタン／1981-83／小山ＲＣ・土浦ＲＣ）と楊錦華さん（中国／2002-05／東京日本橋ＲＣ）がスピーチを行いました。

駿渓さん（左）と楊さん

『ロータリーの友』6月号の“よねやまだより”でも紹介した駿渓さんは、アフガニスタンの首都カブールに教育・職業訓練のための「希望の学校」を設立し、母国の女性たちの自立を支援している活動を報告。また、東京米山友愛ＲＣの初代会長を務める楊さんは、カウンセラーとの絆や、学友仲間らとともに新クラブ設立を目指した経緯や今後の抱負を語りました。2人の報告に、会場からは惜しみない拍手が送られ、「感謝や恩返しといった言葉が聞かれなくなったこのご時世に、留学生だったお二人から、恩返しの言葉と行動を聞かせてもらい、感動した」などの感想が聞かれました。

3 10月は米山月間です！

米山奨学事業を1人でも多くのロータリアンにご理解いただくためには、**奨学生・学友の声**を直接お聞きいただくことが一番ですが、そのほかにも下記の資料をお使いいただけます。

① **映像で！**➔ホームページから視聴できます。ご要望があればＤＶＤをお送りします
- ■駐日韓国大使として活躍する米山学友、權哲賢氏特別インタビュー（14分）
- ■学友の活躍を紹介「心つないで、世界へ」（15分）
- ■事業概要「すばらしい贈り物」（22分） ほか

② **パワーポイントでプレゼン！**
➔ホームページからダウンロードできます。説明者用メモ付き。

③ **新ポスター**
➔ガバナー事務所宛てに送付。在庫ある限りクラブからも注文可能

④ **新バナースタンド** ➔巻き取り式でコンパクト収納。8,000円。
注文から1週間ほどで納品できます。

2010年度ポスター

また、『ロータリーの友』10月号“よねやまだより”では、米山月間特集として、7月に上海で開催された「中国学友会総会・懇親会」の報告記事のほか、学友の活躍紹介、地区別寄付状況などの情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

4 台湾学友会の日本人支援奨学金、第２期生決定

台湾米山学友会（正式名称：(社) 中華民国扶輪米山会）が日本のロータリーへの恩返しとして始めた「日本人若手研究者奨学金」は今年２年目に入り、９月から新しい奨学生を迎えました。

第２期奨学生に選ばれたのは、国立台湾師範大学大学院に留学中で、中国語教育を専攻する笹川優子さんです。笹川さんには１年間、台湾学友会から毎月 25,000 台湾ドルが支給されるほか、学友会メンバーがカウンセラーとなって、台湾での留学生活を物心両面で支えます。

許理事長から奨学金を授与される笹川さん(右)

９月 25 日、台湾学友会の許國文理事長（第 3490 地区パストガバナー）から奨学金を授与された笹川さんは、奨学生に選ばれた気持ちを次のように語ってくれました。「私が日本の大学に在学中の頃、台湾、中国などから来た多くの留学生の友人がロータリー米山記念奨学金の支援を受け勉学に励んでいたのが深く印象に残っています。今回、私も扶輪米山会奨学生として皆さまに温かく迎えていただき、とても感謝しています。台湾での長い留学生活は充実と困難の連続ですが、今年は奨学生としての自覚を持ち、これまで以上に勉学･研究に力を注いでいきたいです。これからの１年間、扶輪米山会の皆さまとの交流を通じて、台湾と日本の発展に貢献していきたいと思います」

5 日中関係の悪化に奨学生・学友たちは……

尖閣諸島沖の中国漁船衝突事故をきっかけに、日中関係の悪化が報じられています。この事態に胸を痛める中国出身の米山奨学生・学友たちの声を紹介します。

５年前に反日デモが問題になったとき、新聞への投書で「留学生として日本のすばらしい一面を中国人に伝えていきたい」と語った湯伊心さん（2005-07／横浜ベイＲＣ）は、「中国は世界の人々から敬遠される国ではなく、愛される国になって欲しい。ロータリアンから学んだ草の根交流は、たとえ国家間に亀裂が生じようとも決して影響を受けません。私たち米山奨学生・学友は、ロータリアンとの関わりを通じて、何か行動することができるはず」と、語ります。

先日、第 2800 地区（山形県）の地区大会で特別講演を行った張旭梅さん（2005-06／東京広尾ＲＣ）は当日を振り返って、「こんな時期に、中国人学友である私の話など聞いてくれるのだろうか…と不安でした。話し終わった後、“中国のことを嫌わないでください！私は中日友好を心から願っています”という思いで胸がいっぱいになりました」と、言います。張さんの講演を聞いた多くのロータリアンが涙を流し、会場にいた中国出身の米山奨学生たちも立ち上がって拍手を送ったそうです。

第 2800 地区大会で語る張さん

現役奨学生も複雑な気持ちで例会に参加しています。金静海さん（2010-11／横浜瀬谷ＲＣ）は、「肩身の狭い思いで座っていたら、世話クラブの皆さんが“国同士の出来事は金さんとは関係がないのだから心配しないで大丈夫”と、普段と変わらぬ温かさで励ましてくれ、どれほど気持ちが救われたかわかりません」と、嬉しい体験を話してくれました。

重要なお知らせ

普通寄付金についての確定申告用領収書の申請期限は 2010 年 10 月 31 日（日）です。ご希望のクラブはお早めに申請くださいますようお願いいたします。
詳細は当会ホームページをご覧ください。

(財) ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津（のづ）・峯（みね）

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介いたします。　※氏名の下部は、勤務先、趣味

佐賀RC
牟田　信次 君
ニシム電子工業㈱
ゴルフ

佐賀RC
豊田　章夫 君
佐賀ダイハツ㈱
ゴルフ

有田RC
今泉　浩一 君
㈱今泉鐵工所
アンティーク家具収集 読書

伊万里西RC
松本　正大 君
㈱松本自動車
みかん作り

長崎南RC
伊藤　裕明 君
オリックス㈱長崎支店
ドライブ・旅行

長崎南RC
恩地　幸一 君
㈲ケイアンドエイービルメンテナンス
ゴルフ・食べ歩き

長崎南RC
高久　和也 君
高久歯科医院
読書

長崎南RC
中村　成俊 君
大進建設㈱
ゴルフ・麻雀

唐津東RC
館林　清美 君
九州電力㈱唐津営業所 営業所長
ウォーキング・ゴルフ

諫早RC
森本　精一 君
森本　精一法律事務所

長崎RC
原田　　浩 君
西部ガス㈱

佐世保RC
久富　洋一 君
九州電力㈱相浦発電所
テニス・ゴルフ

佐世保RC
佐藤　丈治 君
NTT西日本　九州佐世保支店
ゴルフ・麻雀

佐世保RC
髙瀬　宏滋 君
㈱髙瀬商事
野球・音楽

佐世保南RC
篠原　政幸 君
ヨーコー商事㈱

伊万里西RC
平野　省蔵 君
㈱カンセイ
ゴルフ

物故者

長崎南RC
松島　福男 君
91歳
9月4日死亡

訂正

Vol.4号の新入会員紹介の中で、島原RCの 木場英之君と 田実貞昭君の勤務先が逆になっていました。
木場君が十八銀行 島原支店。田実くんが九州電力㈱島原営業所です。
お手元の月信4号をご訂正お願い致します。

2010年　8月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数 7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減	新入	退会
第1グループ	佐賀	4	80.6	61	0	63	0	0	0	0
	小城	4	73.0	27	2	25	1	-1	0	1
	牛津	4	87.9	30	1	29	1	0	0	0
	多久	4	94.4	41	4	40	4	0	0	0
	佐賀大和	5	78.2	24	2	23	2	0	0	0
	小計		82.8	183	9	180	8	-1	0	1
第2グループ	佐賀西	4	82.9	46	0	46	0	0	0	0
	佐賀北	4	87.2	31	3	32	3	1	1	0
	佐賀南	4	77.0	38	1	38	1	0	0	0
	神埼	4	85.8	32	0	32	0	0	0	0
	佐賀空港	4	71.0	12	1	14	1	0	0	0
	小計		80.8	159	5	162	5	1	1	0
第3グループ	有田	5	81.1	36	0	36	0	0	0	0
	武雄	4	86.8	53	4	53	4	0	0	0
	鹿島	4	89.1	39	3	40	3	0	0	0
	嬉野	4	87.5	23	1	24	1	0	0	0
	大町	3	80.7	20	0	20	0	0	0	0
	白石	3	62.2	12	0	12	0	0	0	0
	太良	4	78.1	8	0	8	0	0	0	0
	小計		80.8	191	7	193	8	0	0	0
第4グループ	唐津	5	93.0	53	0	53	0	1	10	0
	伊万里	3	95.7	30	0	31	0	0	0	0
	唐津東	3	94.5	52	0	52	0	0	0	0
	唐津西	4	95.1	33	0	33	0	0	1	0
	伊万里西	3	93.0	44	0	44	0	1	0	0
	唐津中央	3	95.6	32	4	32	4	0	2	0
	小計		94.5	244	4	245	4	2	1	0
第5グループ	佐世保	3	100.0	72	0	72	0	1	1	0
	平戸	4	87.8	35	3	38	3	1		0
	佐世保西	5	95.6	24	0	25	0	0	0	0
	北松浦	4	88.6	22	0	22	0	0	0	0
	松浦	3	85.7	25	1	28	1	0	0	0
	小計		91.5	178	1	185	4	2	2	0

※上記の表の新入・退会は**当月中**の数字

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数 7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減	新入	退会
第6グループ	佐世保南	3	100.0	69	0	72	0	0	0	0
	佐世保東	3	93.7	21	0	21	0	0	0	0
	佐世保北	4	98.8	43	0	45	0	0	0	0
	佐世保中央	3	100.0	40	2	39	2	0	0	0
	佐世保東南	3	69.2	26	2	26	2	0	0	0
	HTB佐世保	4	75.7	24	4	23	4	0	0	0
	小計		89.6	223	8	226	8	0	0	0
第7グループ	大村	5	79.7	48	3	48	3	0	0	0
	島原	5	75.1	34	2	34	2	0	0	0
	雲仙	3	92.8	26	0	28	0	1	1	0
	大村北	4	100.0	32	0	32	0	0	0	0
	島原南	4	78.0	21	1	21	1	0	0	0
	大村東	4	84.8	42	2	43	2	0	0	0
	小計		85.1	203	8	206	8	1	1	0
第8グループ	諫早	3	88.7	56	0	57	0	0	0	0
	諫早北	4	82.5	66	2	67	2	1	1	0
	諫早西	5	96.8	40	0	39	0	0	0	0
	諫早多良見	4	85.4	36	0	36	0	0	0	0
	諫早南	4	62.0	27	6	24	5	-3	0	3
	小計		83.1	225	8	223	7	-2	1	3
第9グループ	長崎	3	91.3	83	0	85	0	1	1	0
	福江	3	92.6	33	0	34	0	1	1	0
	長崎北東	3	86.7	47	6	48	6	0	0	0
	福江中央	4	97.3	28	0	28	0	0	0	0
	長崎西	4	71.6	58	0	58	0	0	0	0
	長崎琴海	3	68.6	18	1	18	1	0	0	0
	小計		84.7	267	7	271	7	2	2	0
第10グループ	長崎北	4	75.1	76	0	76	0	0	0	0
	長崎南	4	83.8	73	0	74	0	-1	0	1
	長崎東	3	82.7	50	0	52	0	1	1	0
	東長崎	4	87.5	23	0	22	0	0	0	0
	長崎中央	4	92.8	57	0	56	0	-1	0	1
	長崎出島	3	80.8	51	12	52	12	1	1	0
	小計		83.8	330	12	332	12	0	2	2
合計			85.7	2203	69	2223	17	5	11	6

会員増強について

会員増強地区委員会　委員長　佐　藤　豊

臨時の会員増強天気予報をお知らせします。
佐賀県・長崎県地方は下り坂、全国的にも終日雨模様が続きそうです。
雨の確率は約85%の見込みです。

高原ガバナー年度がスタートして間もない7月11日、私達はクラブ奉仕統括部門研修セミナーを武雄センチュリーホテルで開催致しました。各クラブの会長、クラブ奉仕委員長、会員増強委員長の皆様は、ご多忙の中、ご参加頂きありがとうございました。ロータリーコーディネーター・杉谷卓紀様(玉名ＲＣ)の「会員組織現況報告」の講演、第1～第10グループ単位のグループ討議などを通じて、会員増強の重要性について相互理解ができたことは大きな収穫でした。全てにおいて、またガバナー補佐のご尽力に対しても心からお礼を申し上げます。

さて、昨ロータリー年度からの第2740地区内の会員数動向は、９年連続減少(退会者延べ814人、年平均90.44人)を止めるまでに至りませんでした。上記セミナー開催時点での予測では、純増30人との見込みでしたが、ガバナー月信No.4によると、マイナス15人という減少。結果的に10年連続減少という不名誉なことになり、今さらながら会員増強は並大抵なことでないと痛感しています。

昨年度も各クラブは会員増強月間(8月)だけに満足せず、通年の重要課題として真剣なご努力を頂きました。増加・減少・現状維持と6月末の集計が示されましたが、熱意と使命感は全会員が認めています。ご努力に心からお礼を申し上げます。

今期、高原ガバナーは、会員増強目標として各クラブ純増2名を掲げられました。昨ロータリー年度で会員数増加を果たされたクラブもどうか新ロータリー年度でも引き続き良い手本としてご努力頂けますようお願いします。結果的に会員数減少となられたクラブも、前年の教訓を生かし、クラブの力を結集して、純増2名の目標達成のために具体的・積極的にご活躍頂けますようお願いします。

前述のように、会員増強は一朝一夕に結果を生み出せる事柄ではありません。いかに、会員増強委員長が声をあげても、大きな成果を得ることは困難であり、クラブ会長・幹事をはじめ全会員の熱意と関心と具体的な計画・実施が肝要です。

ここで会員増強地区委員会から、5つの質問です。
①8月の会員増強月間で、どのような計画実施がなされましたか？
その計画実施は、今現在どのような進捗状況ですか？
②7月のセミナー資料はお役にたっていますか？
その資料は今現在どこに保管されていますか？
その資料は再度読み直してみる必要はありませんか？
③例会中、委員会報告で会員増強について協力依頼されていますか？
会員の増強と個人的な会員増強について話題提供がされていますか？
④女性会員の入会について、クラブは好意的ですか？ 積極的ですか？
⑤会員増強のための広域的ネットワークの活用方法について積極的ですか？

南米チリ鉱山で発生した落盤事故で、一時期、地下700ｍからの鉱員の救出は絶望的でした。33名の全員救出が成功した最大要因は、救出に対する熱意、使命感、具体的な計画と実施が関係者全ての共通意志から生まれたものです。

オバマ大統領は、選挙期間中、米国民にチェンジ！を訴え、Yes, We Can.という言葉で自身と国民に勇気と希望を与えました。

立場をロータリーの会員増強に置き換えるならば、ロータリーの輝く未来は会員増強こそ全てのエネルギーの源であり、ロータリー愛と使命感がある限り、会員増強目標達成は必ず果たされるものと確信できます。

ドアの前に立つだけでは扉が開くことはありません。ドアはノックしてこそ扉が開かれるのです。いかに優れた知人、友人でも、声をかけない限り、振り向くことはありません。遠距離にお住まいの知人・友人にもロータリーの会員となる推薦を積極的に実行して下さい。なぜなら、その方こそ未来のロータリアンであるからです。この進め方こそ広域的なネットワークの優れた利点なのです。私達も互いに、誰かの声かけと推薦があったからこそ、会員になれたのですから。

昨年度、会員増強に貢献された2名の方が今回の地区大会で表彰を受けられました。これは、ホームクラブ以外の方をガバナー事務所を経由して推薦することによって、他クラブの新会員誕生に貢献されたことによるものです。これは画期的なことであり、同時に日本で初めての実例であり、今後の会員増強を力強く推進するための良い手本と言えます。

もともと会員増強の専門家など存在しません。誰もがアマチュアなのです。しかし、目標を持ち、計画を立て、地道に進める使命感があれば、必ず達成できるのです。

表題が示すように、私達の第2740地区だけでなく、日本中でロータリアンの連続減少が見られ、天気図は雨模様です。天気予報が雨なら、私達会員一人ひとりが傘を忘れず、対策を立てましょう。

一人ひとりのロータリアンが会員増強のために思いをひとつにし、手をつなぐ心でロータリーライフを過ごすことができれば、23年6月末は57クラブそろって純増2名達成の喜びを実感できると確信しています。

どうか、セミナーの資料を今一度ご参考頂き、地区大会の感動をバネに大いに会員増強に歩みを進めて頂けますようお願いします。

文 庫 通 信 〈277号〉

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、２万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでＰＤＦもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。　以下資料のご紹介を致します。

贈 呈 資 料 か ら

◎「広報(Public Relations)とは…」　田岡　久雄　2010　45p
［申込先：日本事務局　FAX(03)3903-3781］

◎「ロータリーマジック　違いをもたらそう」　江崎柳節　2010　197p
［申込先：江崎柳節　FAX(0568)77-0239］

◎「日本ＲＣ認証順位一覧」　前岡志郎　2010　56p
［申込先：ロータリー文庫 ］

◎「ロータリーの心と実践」　D.2660　2010　90p
［申込先：D.2660　FAX(06)6264-2661］

◎「我等の生業」　行田さくらRC　2010　87p
［申込先：行田さくらRC　FAX(048)564-3020］

◎「マレーシア・ボルネオ島・サラワク州植林支援活動報告書」　上田東RC　2010〔28p〕
［申込先：上田東RC　FAX(0268)21-3501］

◎「心学の祖　梅岩に学ぶ職業奉仕　真実かどうか？<DVD>」　亀岡RC　2010
［申込先：亀岡RC　FAX(0771)25-2151］

◎「ロータリー情報マニュアル第3版」　D.2650　2010　786p
［申込先：渕上勝夫　FAX(0779)87-2560］

◎「新作講談『日本のロータリー創始者・米山梅吉翁一代記』<DVD>」　宝井馬琴（講談）さいたま新都心RC　2010
［申込先：ロータリー文庫 ］

［上記申込先：ロータリー文庫（コピー／ＰＤＦ）］

ロータリー文庫
〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後5時　　休館＝土・日・祝祭日

国際ロータリー第2740地区

2010−2011年度

地区大会のご案内

11月5日(金)・6日(土)・7日(日)

地区テーマ

「地域・家族と共に生き生きロータリー」

14代 酒井田柿右衛門 氏

1934年佐賀県有田生まれ。多摩美術大学美術学部日本画科卒業後、作陶技術を十二代、十三代柿右衛門に師事。襲名以前は「酒井田　正」として活躍している。'82年に十四代柿右衛門を襲名、重要無形文化財保持団体代表に就任。'99年九州産業大学大学院芸術研究科専任教授就任、'10年より名誉教授。'01年重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定。同年佐賀県立有田窯業大学校長に就任。'06年有田名誉町民に。同年日本工芸界副理事長に就任。ヨーロッパ、アメリカ、アジア各国での個展開催や、各展覧会への参加、国内でも毎年各地で「十四代柿右衛門展」など、精力的な活動を行っている。旭日中綬章の受章をはじめ各受賞多数。

渡　邊　あゆみ 氏　NHKアナウンサー

(旧姓 黒田)

NHKアナウンサー
横浜に生まれ、後に鎌倉に転居
神奈川県立湘南高校から東京大学に進学
教養学科イギリス科卒業
日本放送協会入局　アナウンス室着任
報道番組のレポーター、ディレクターを経て、ニュース番組のキャスターを経験。
生活情報番組MCなどを担当。
現在は「歴史秘話ヒストリア」などを担当している。

江　上　栄　子 氏　料理研究家

江上料理学院　学院長
・佐賀県有田焼の窯元「香蘭社」の深川家出身。
・青山学院大学英文科卒業
・パリ「コルドンブルー料理学校」のグランディプロムを取得後、世界60カ国の家庭料理の研鑽を重ねる。
・その温かな笑顔と優しい語り口でテレビ・公演・雑誌などで幅広く活躍。
・外食産業や食品会社の顧問も多く努める。
・著書には、『男の台所』、『基本のおかず』、『料理の基本』など多数。
全国料理学校協会理事　東日本料理学校協会副会長
NPO食育インストラクター協会理事
食空間コーディネーター協会副理事長
社団法人日本漆工協会理事　フランスチーズ鑑評騎士の会 理事長　ゴブラン会副会長　経済産業省伝統的工芸品産地プロデューサー
フランス農事功労賞シュバリエを受勲。ボマールワインの騎士号をも持つ。

11月6日(土)

- 会長・幹事会〈受付 9:00~〉会場：有田ポーセリンパーク
- 大会四委員会〈開始 10:30~〉TEL0955-41-0030
- 登録開始〈11:00~〉会場：焱の博記念堂 玄関ホール
- 本　会　議〈12:30~〉会場：焱の博記念堂 コンベンションホール TEL0955-46-5010
- 青少年の集い〈14:30~〉会場：焱の博記念堂 2F会議室
- 記念講演〈15:30~〉
  14代酒井田柿右衛門 氏
  〈聞き手〉渡邊あゆみ 氏（旧姓 黒田）NHKアナウンサー
  「有田の伝統を語る」会場：焱の博記念堂 文化ホール
- 記念懇親会〈開始 18:00~〉会場：焱の博記念堂 コンベンションホール

11月5日(金)

- 記念懇親ゴルフ大会〈受付 7:30~ スタート 8:28〉
  会場：若木ゴルフ倶楽部（武雄市）TEL0954-26-3030
- RI会長代理ご夫妻　歓迎晩餐会〈受付 17:00~〉
  会場：大正屋（嬉野市）TEL0954-42-1170

11月7日(日)　地域貢献事業

- 朝ごはんプロジェクト〈11:00~〉
  「ぼく・わたしの食べたい朝ごはん」コンクール・表彰など
- 記念講演会〈開場 13:30~ 開演 14:00〉
  江　上　栄　子　氏　料理研究家
  演 目「食育と器」-日々の暮らしを いきいきと過ごすために-
  会場：焱の博記念堂 文化ホールTEL0955-46-5010

お問い合わせ先

地区大会事務局

〒844-0027　佐賀県西松浦郡有田町南原丁175-5
TEL:0955-25-9113　FAX:0955-25-9120
E-mail：chikutaikai@samba.ocn.ne.jp

◆ホストクラブ：有田RC
◆コ・ホストクラブ：武雄RC・鹿島RC・嬉野RC・大町RC・白石RC・太良RC

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010ー2011年度
国際ロータリー第2740地区　ガバナー　高　原　武　彦

地域を育み、大陸をつなぐ

CONTENTS

高原武彦ガバナー …… 1
ガバナー補佐・リレー随想 …… 2
ガバナー公式訪問 …… 3
新入会員紹介・寄付者紹介 …… 7
米山の集い …… 8
地区大会を終えて …… 9
青少年交換合同オリエンテーション …… 10
ハイライトよねやま …… 11・12
会員数・出席者報告 …… 13
文庫通信 …… 14

有田の宝物⑤

大公孫樹（おおいちょう）【場所：有田町泉山】

泉山弁財天社の境内にある、おそらく日本一であろうと思われるイチョウの巨木。樹齢約1000年、高さ40m、根回り18m、幹回り11.6m、枝張り東西31m。大正15年（1926）、国指定天然記念物に指定されています。秋になると落ち葉で黄色のじゅうたんがひかれ、ロマンチックな散歩道となります。また、大公孫樹下には、江戸時代、佐賀藩の役人が常駐し、陶石ややきものの持ち出しなどに対し、厳しい取り締まりを行っていた口屋番所跡があります。

vol.6
2010.12.1

公式クラブ訪問を終えて

2010年～2011年
ガバナー 高 原 武 彦

7月13日祐徳稲荷神社で公式訪問の無事を祈願して頂き、鹿島立ちをして一クラブづつ、57クラブを昼、夜と廻り9月28日夜有田ＲＣで無事終了出来ました。会員の皆様方の温かいご支援とお心遣いをいただき有難うございました。ロータリアンの友情に感謝申し上げます。　各クラブの会長・会長エレクト・幹事さんとの懇談会でロータリーの奉仕への熱い思いと、又夜の懇談会では会員の皆様方とのお話をお聞きして色々勉強させてもらい、元気を頂き楽しく訪問させて頂きました。

今年の夏は猛暑で晴れた日が続く中で土曜、日曜は委員会の研修セミナーが開催され皆様方の熱心さに後押しされ毎日よく走り廻ったなあと自分のことながら感心しています。
2回台風の接近があり、諫早西ＲＣ、東長崎ＲＣの方々に心配していただいたこともありましたが、全クラブ予定通り訪問出来たことは大変幸運でした。

クラブの中には会員が少ないクラブと多いクラブがあり、又古いクラブと新しいクラブがありますが、それぞれのクラブが地域に根差して活発に奉仕活動を実践して頑張っておられることがわかりました。

今回7月29日、私の75才の誕生日に丁度長崎ＲＣを訪問いたしました。長崎ＲＣは、満74才になっていました。1936年創立で2740地区では最も歴史のあるクラブです。それに加えて会員の中には98才(明治45年生)の方が二人おられ、これ又地区最高令者です。100才の会員誕生を楽しみにしています。会員数は85人でこれも地区最大クラブでした。他クラブにも90才代の赫灼としたロータリアンが数人いらっしゃいました。
因みに2740地区最年少者は30才で3クラブにおられます。
平均年齢の最も若いクラブ52.42～53才で佐賀空港ＲＣ、長崎出島ＲＣでした。ご発展を期待しております。

地域のプロジェクトにもロータリークラブとして参加されリーダーシップを発揮されているところも多く見受けられました。これからも職業奉仕やクラブ奉仕を通して自己研鑽に励み善き市民となるよう努力したいものですね。

ガバナー補佐・リレー随想
ロータリーについて考える事

第５グループガバナー補佐　福　田　金　治

１．ロータリークラブはRIが制定した規定を守らなければならない理由

手続要覧の第１章に「クラブがＲＩに加盟するにあたっては、クラブの定款として標準ロータリークラブ定款を採択しなければならない」、又、標準ロータリークラブ定款第１５条で「会員は、入会金と会費を支払うことによって、綱領の中に示されたロータリーの原則を受諾し、本クラブの定款・細則に従い、その規定を遵守し、これに拘束されることを受諾するものとする」と記載されています。この文章でわかるように、ロータリークラブはＲＩに加盟する条件として、標準ロータリークラブ定款を採用しなければならないし、ロータリー会員は入会金、年会費を支払うことにより、クラブの定款・細則を守ることが義務づけられています。

私共のクラブがＲＩに加盟を続け、私共がロータリークラブの会員を続ける以上は、ＲＩが作成した標準ロータリークラブ定款に違反しない様に行動することが必要です。例えば、学校に試験を受けて入学する場合、入学を許可する条件として校則を守ることが義務づけられていることと同じです。

もしどうしてもＲＩの規則、クラブ定款を守れない場合は、ＲＩへの加盟を脱退、所属クラブを退会しなければなりません。

２．ロータリークラブの活動目的について

第２５８０地区パストガバナー佐藤千寿さんは、「もともとロータリークラブというのは、仲間同士助け合おう、自分の町を住み良くしようという身近な問題から誕生したもので、『身を捨てて人類を救済しよう』という聖人の集まりではありません」と述べておられます。私もこの考えに賛同するものの一人です。文献等によりますと、ポール・ハリスも３名の仲間とロータリークラブを作った目的の１つに、この事も含まれているようです。

ロータリアン → クラブ → 地区 → ＲＩという流図で考えますと、まず私共ロータリアンが、人格的、社会的に良い人間となり、それから「クラブ」「地区」「ＲＩ」の発展の為に努力すべきではないかと思います。

３．新会員研修会が必要な理由

どうして近年退会者が多いのか理由を考えた時、確かに世の中が不況であることも一つの理由でしょうが、過去に会員が増えていた時代にも不況はありました。従って不況だけが退会者の増えている理由では無いと思います。

私が入会した３０年前は、新入会員がロータリーのことについて研修する会合がかなり行われ、先輩会員にも熱心に指導して頂きましたので、ロータリーの事を良く理解でき、ロータリー活動に興味を持つ事ができました。

近年はロータリーについて研修する機会が少なくなり、あっても昔みたいに入会年数の短い会員の参加が少ないようです。さらに私共も反省しなければならない事ですが、先輩会員が後輩会員への指導・教育する事が減っています。

会員数の減少が少ないクラブは、新会員研修制度が充実しており、先輩会員の指導も良いです。反面、会員数の減少が多いクラブは、新会員研修制度も無く、先輩会員の指導も無い様です。

その結果、せっかく入会して頂いたのに永続きせずすぐに退会されるので、自然退会者の減少に追いつかず、結果的にはズルズルと会員減少が続いています。

各クラブで毎年新会員研修会を行い、ロータリークラブの事を少しでも多く理解してもらえれば、ロータリー活動に興味を持って頂ける様になり、退会者が減るものと確信いたします。

ガバナー公式訪問

太良ロータリークラブ

会長：緒方　良二
幹事：秀島　　寛

9月16日(木)高原武彦ガバナー、山本武ガバナー補佐、酒井田正宏地区幹事、岡部景光地区大会実行委員長をお迎えして、公式訪問例会を開催いたしました。会長、幹事、会長エレクトを交えて和やかな懇談会になりました。高原ガバナーは『地域、家族と共に生き生きロータリー』を地区テーマとされましたので地域に根ざしたRC活動を目標とします。

太良RCの重点目標

①会員増強　1名(現在8名、今期9名)

②地域発展……(青少年健全育成)事業の継続…少年野球大会、中学生ソフトテニス大会の開催

③職業奉仕……鹿島RC合同の高校模擬面接

④親睦行事……他RCとの合同例会等を通じ会員相互の理解、友情を深めたいと思います。

太良RCは8名と少ないメンバーですが、楽しく明るいRC活動目指し頑張ります。

ロータリーの偉人に学ぶ　元気の出る言葉

～松下幸之助氏の言葉より～

万物万人すべてに感謝

この世に無用なものは一つもない、人はもとよりどんな物も、それぞれ役割を持って存在し、お互いの生活をより豊かにするために働いている。そうした万物万人それぞれの働きに感謝すると共に、それらを無駄なくより生かすよう努めていきたい。

ガバナー公式訪問

唐津中央ロータリークラブ

会長：平田　稔
幹事：時津芽久美

去る9月17日(金)の夜の例会に高原武彦ガバナー、酒井田正宏地区幹事、中島登志雄ガバナー補佐、横岳保雄事務局長補佐のみな様を迎えて、ガバナー方式訪問例会を開催いたしました。

例会に先立ち、会長、幹事、会長エレクトとの懇談会に臨みした。まずは、当クラブの現況と、当期の活動について報告をいたしました。問題点、改善点や、今年の規定審議会で採択された事柄などについて説明していただきました。

唐津中央ロータリークラブは、会員33名、今年16年目を迎えます。残念ながら会員増強はなかなか難しいのが現状ですが、今期は新しい会員を迎えることができ、クラブの活動方針である「豊かな親睦の機会と活気あるプログラム」の下、ますます元気に活動していきたいと考えております。

例会では、高原ガバナーより、RI会長のテーマやメッセージなどについて、エピソードを交えながら分かりやすく、詳しいお話をしていただきました。高原ガバナーは地区の方針に「地域・家族と共に生き生きロータリー」を掲げて、それぞれのクラブが生き生きと活動することが、ひいては地域、家族、また大陸へとつながっていく事ができると思うと考えを述べられました。

お話の後、食事、記念写真の撮影と、無事に公式訪問例会を終了する事ができました。

白石ロータリークラブ

会長：池上　司
幹事：山口　繁喜

白石クラブでは9月22日(水)高原武彦ガバナー、酒井田地区幹事、福田地区副幹事、山本ガバナー補佐をお迎えしての公式訪問例会を開催いたしました。例会に先立ち行なわれた会長、幹事、会長エレクトとの懇談会では、当クラブの現状を報告し、クラブ運営方法等についてのご指導をいただき大変有意義な時間を過ごすことができました。また、例会では高原ガバナーより卓話をいただき「地域・家族と共に生き生きロータリー」を地区テーマとし、ロータリーをみんなで楽しみましょう!とのこと。白石ロータリークラブも少人数クラブではありますが親睦を第一に頑張っていこうと思いました。

今年度の地区目標は・会員増強・退会防止(純増2名)・ロータリー財団寄付・米山記念奨学会寄付・ポリオ撲滅を挙げられています。白石クラブの今年度の目標は①会員増強②例会の充実③経費節減としています。目標達成に向けて一生懸命頑張っていきたいと思います。

最後に、高原ガバナーにおかれましては健康に十分留意され、今後益々のご活躍を祈念申し上げます。

ガバナー公式訪問

佐賀空港ロータリークラブ

会長：北川　優
幹事：水町　雅之

去る9月22日(水)、2740地区の高原武彦ガバナーが、我が佐賀空港RC例会(当日の出席率100%)に第2グループ小林ガバナー補佐、酒井田地区幹事、福田地区副幹事と共にご来訪になられました。ガバナー挨拶の中で「例会場から有明海が一望でき雲仙普賢岳や大牟田の街まで望めて素晴らしい会場ですね」とお褒めを賜りました。

また、当クラブは地元の有志・団体で構成している『有明佐賀空港に花を咲かそう実行委員会』と共に社会奉仕活動を行っております。このことに対し、ガバナーより「今後も地域に密着したクラブ活動を継続してください」と激励の言葉をいただきました。

嬉野ロータリークラブ

会長：山口　保
幹事：吉田　直樹

嬉野ロータリークラブへの公式訪問は9月24日(金)でした。
高原武彦ガバナー・山本武ガバナー補佐・酒井田正宏地区幹事・岡部景光地区大会実行委員長・中山武夫RI会長代理晩餐会委員長さん方、お揃いで訪問していただきました。

まず、午前11時30分から私達会長、会長エレクト、幹事との懇談会を開いていただきました。その中でやはり一番に話題になったのは、会員増強の事でした。高原ガバナーより「先ずは在籍している会員さんが、もっともっとロータリーに対して研鑽を積み重ねて知識を深めて下さい。その上でロータリーの素晴らしいところをセールスーポイントに会員の増強に努めて下さい。」とのご指導をいただきました。

午後の例会では、「地域を育み、大陸をつなぐ」という今年度のRIのテーマについてご指導をいただきました。

当日一日貴重なご指導をいただき改めて感じたこと、それは当クラブ内は勿論のこと他クラブのロータリアンとの交流を積極的にはかり、ロータリー会員の融合の輪を大きく広げていくということです。
また、当クラブ自身も野球同好会、炉辺会合(浮世会)等を最大限に活かし会員の融和を図りながら、ロータリー本来の奉仕活動に邁進していきたいと思います。

ガバナー公式訪問

武雄ロータリークラブ

会長：重松　彰
幹事：野田　耕三

9月27日(月)高原武彦ガバナー、酒井田正宏地区幹事、山本武ガバナー補佐をお迎えして公式訪問を開催致しました。
例会に先がけ会長・幹事・会長エレクトとの懇談会では、有田クラブを除くと最後の公式訪問であり、近隣クラブという気安さから終始リラックスした雰囲気で会議が進行しました。
野田幹事が本年度の事業計画「本年度の重点事業　1．秋田への市民墓参団事業の推進　2．退会防止及び会員増強」・クラブ概況を説明し、ガバナーより各事業について適切なアドバイスをいただき今後の活動に生かしていきたいと思います。
例会の卓話では、今年度のRI会長レイ・クリンギンスミス氏は「地域を育み、大陸をつなぐ」をテーマに掲げ「古い伝統的な慣習を見直し、明らかに良い方法があれば改善し、新しい伝統を作っていく」と明言され、また高原ガバナーは、「地域・家族と共に生き生きロータリー」をテーマにして、まずは足元から活性化が必要だとの話をいただきました。卓話の中で「奉仕は思いやり」であり、「親睦は自己研さん」であるという言葉に特に感銘を受けました。
その後、懇親会に移り終始和やかな中でお酒を飲み、またガバナーにはカラオケまで歌っていただき大変ありがとうございました。
最後に高原ガバナーの益々のご健勝とご活躍をお祈りいたします。

有田ロータリークラブ

会長：西山　典秀
幹事：橋口　光彰

9月28日高原ガバナー、酒井田幹事、山本ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会を開催いたしました。7月13日の「鹿島だち」を皮切りに56クラブの公式訪問、本当にお疲れ様でした。
公式訪問当日は橋口幹事とやや緊張しながらお待ちしていました。
懇談会では有田ロータリークラブの現状と今年度の活動計画方針を報告し、地区大会へ向けて全会員が一丸となって取り組んでいる事、そして、「地域、家族と共に生き生きロータリー」の地区テーマに沿って地域の人たちと活動に取り組み、又、家庭集会を今年度は2回開催してお互いに意見交換を出し合い、親睦を深めるために家族一日バス旅行など計画して和やかなクラブ作りをして行きたいと思っています。高原ガバナーから56クラブの訪問を終えての感想をふまえて丁重なご指導を頂き、これからの有田ロータリークラブへの「喝」を入れて頂きました。その後、会員全員が56クラブ訪問の労をねぎらいご苦労さんでしたの意をこめた拍手の中、例会場へ入られました。例会では公式訪問最後の卓話でRI会長のレイ、クリンギンスミス氏の今年度テーマやメッセージ等について詳しく話を頂き、時には余談を交えながら解りやすく楽しく話をされました、会員皆が真剣にガバナーの話に聞き入っていた一時でした。これからのクラブの運営において改革ができるものだとおもいます。例会が終わり、懇親会では「高原ガバナー公式訪問ご苦労さまでした」の慰労会を開催いたしました。酒宴ではいよいよ近づいて来た地区大会への思いを全員が語り総力を挙げて取り組む体制を確認できました。会員同士の固い絆が地区大会を成功へと導いてくれるものだと信じて、最後に「地区大会頑張ろう三唱」で締めくくりました。その後散会。有意義な公式訪問でした。

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介いたします。　※氏名の下部は、勤務先、趣味

長崎南RC
小吉　利寛 君
長崎ターミナルビル㈱

佐賀大和RC
古賀くみ子 君
㈲古賀食鳥

佐賀大和RC
浅川　達夫 君
㈱佐賀IDC

長崎中央RC
内田　泰祐 君
ベストウエスタンプレミアホテル
ドライブ・音楽鑑賞

長崎中央RC
山本　裕久 君
キリンビール㈱長崎支社
読書

大村東RC
坂口　隆昌 君
㈱長崎T・M建設
ゴルフ

大村東RC
高瀬　昇 君
株式会社まえだ
盆栽

諫早RC
上野　英剛 君
㈱ウエノ
ギター

諫早RC
竹山　良次 君
㈱親和銀行
野球

牛津RC
鶴丸　達男 君
牛津中央薬局

長崎琴海RC
松石　健二 君
㈱松石電機システム

唐津中央RC
佐々木義文 君
㈱精工コンサルタント
ゴルフ、スポーツ観戦

物故者

長崎RC
伊藤　勇 君
98歳
10月7日死亡

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介いたします。ご厚意に深く感謝申し上げます。

ロータリー財団

種　類	氏　名	クラブ名
年次寄付	有川　一男	福江RC

米山記念奨学会寄付関係

種　類	氏　名	クラブ名
メジャードナー	福田　俊郎	佐世保北RC
	西沢　茂	佐世保北RC
マルチプル	二ノ宮　健	佐世保北RC
	西川　正美	佐世保北RC
	岡井　正明	佐世保北RC
	須田　昇	佐世保北RC
	豊島　揆一	佐世保北RC
	山北　恭行	佐世保北RC
	馬場　政廣	長崎東RC

種　類	氏　名	クラブ名
マルチプル	川野　恒雄	諫早北RC
	神之浦　潔	福江中央RC
功労者	寺川　定男	鹿島RC
	今村　博	鹿島RC
	阿保　守邦	東長崎RC
	西岡　英一	東長崎RC
	(故)竹田敏之	伊万里西RC
準米山功労者	飯田　義則	東長崎RC
	迫　龍二	長崎東RC
	井手　正範	伊万里西RC
特別寄付	長崎出島RC	
	長崎南RC	
	小城RC	

米山の集い

２７４０地区米山奨学委員長 曽 我 文 雄

米山奨学生１３名（１名は帰国中）、カウンセラー１２名、大学関係者６名の皆様方にお集まり頂き、「米山の集い」を開催いたしました。集いの目的は、出席の皆様方から忌憚のないご意見を述べて頂き、それを今後の運営に反映させていきたいということでした。

四つのテストと委員長挨拶に始まり、ガバナーから挨拶を頂いた後、米山奨学会及び地区奨学委員会の現状等について次の８項目の話をいたしました。

１、不景気の影響を受けて、毎年会にたいする寄付が減少していること。
２、その為に奨学生数が減らされてきていること。
３、大学院生一人の奨学金には、１０万円寄付者が１７名必要なこと。
４、寄付金を集める方法をシステム化して、それを各クラブに導入していただく為のセミナーを開催したこと。
５、来年度は特別措置として、今年度と同じの14名の奨学生を募集できることになったこと。
６、苦労して集めた寄付金をもらう奨学生はそのことを理解して、勉学に励むのは勿論のこと、卓話やボランテイア活動などを通じて日本を理解し、友好の架け橋になって欲しいこと。
７、奨学生の修学旅行に阿蘇山と熊本城を選びたいこと。
８、その他奨学生として守るべき事項や心構えや考え方等。

昼食のあとは大学関係者と学生は５分位、カウンセラーは２分位の持ち時間で、意見や要望を出して頂きました。カウンセラーの持ち時間が短かったのは、前回のセミナーでお話を聞いていたことを含めてレポートの提出をおねがいしたからです。大学からは奨学金が多額で大変有難く、受給者の成績が格段に上昇して驚いたこと、カウンセラー制度のおかげで学生の性格まで穏やかになったこと等が報告されました。学生からも感謝の言葉や日本人に対する考え方が変わったこと等が発表されました。話が盛り上がって、和気藹々のうちに無事終了しました。

閉会後に地区大会担当者から大会当日の協力依頼があり、奨学生も全面協力を約束して、お別れしました。

第１回
我がクラブNo.1卓話

弱小クラブでも「やればできる!」
～手づくり地区大会を終えて～

地区大会会計長　横　岳　保　雄

2008年8月、料亭「龍泉荘」で隅田パストガバナーをお迎えしての納涼例会に臨んだ席で、本人はガバナーの要請を固辞したつもりが、隅田パストガバナーが、さもガバナーが誕生したかのようなスピーチをされ、会員一同拍手喝采。納涼例会が急拠、決起集会の様相となりました。その日の事が懐かしく思い出されます。

その時は仮承諾と言う事で後日改めて、お願いに伺いますと言う事で解散致しましたが、病院継続問題が重くのしかかり、正式受託をして頂く迄には長い困難な道が続きました。紆余曲折の末に辿り着いた結論は「病院を廃院にするしかない」と決断された事を後で知りましたが、奥様を始めご家族の皆様に多大なるご負担を強いる事になり、当時の幹事として自責の念に駆られました。

「徳は弧ならず必ず鄰あり」と申しますが、なんと娘婿の若先生が有田に戻り病院を継承される事になり、後顧の憂いなく、お役目をお引き受けくださいましたお心を、全て察する事は出来ませんが、温情に甘え有田クラブ一丸となって大会への準備が加速されていきました。

小さなクラブですので一人何役もこなしながら、岡部実行委員長、酒井田地区幹事の陣頭指揮の元、先の見えない闘いが始まりました。又今年に限って「時」の経過が早く進んだかの如く、あっと言う間に７月を迎えましたが、これ以後ＲＩ会長のテーマであります「地域を育み、大陸をつなぐ」を実践すべく、高原ガバナーが掲げる「地域・家族と共に生き生きロータリー」のもと大所高所からのご指摘に沿いながら、57ヶ所の公式訪問と同時進行で試行錯誤を繰り返し、地区大会本番へ向かって、機が熟していくのを肌で感じられるようになりました。

有田ロータリークラブ設立以来、50周年になりますが、またとない機会に在籍出来ました上に、奇しくもガバナー擁立に関わることが出来、その幸運に感謝申し上げる次第です。

共に喜び、共に苦労した会員の皆様との連携により、地区大会全般に亘り、2740地区の皆様の評価を勝ち取ることが出来たとまでは断言出来ませんが、全員が衆知をを集め結束すれば、弱小クラブでも「やればできる」と言う自信が持てたような気が致します。最後に地区大会が第３グループの皆様の並々ならぬお力添えを頂きましたおかげで滞りなく終了致しました事を幾重にも感謝申し上げお礼の言葉といたします。

大募集!!
新企画「我がクラブNo.1卓話」

「ワクワク ドキドキ 楽しいロータリー!」にする為には、毎回の卓話の充実が不可欠です。新企画は各クラブより「これぞ卓話!」と思われるものを募集して掲載いたします。優秀卓話は「ロータリーの友」に提案し掲載を依頼する予定です。
（文字数800～900文字）

「月信」委員長　石 川 慶 藏

第1回 D2740･D2700 合同オリエンテーション
「長崎おくんち見学と平和学習」

地区青少年交換委員長　瀬戸口　智彦

初めての試みとしてかねてから2700/2740地区で企画していた合同オリエンテーションが長崎オクンチ見物と原爆資料館を中心にした平和学習として開催されました。

参加者：

①2700地区（福岡）地区委員　：吉田、高藤夫妻
学生：デジリー（ドイツ）エリザ（スエーデン）
アナイス（ベルギー）ショウン（マレーシア）（7名）

②2740地区（佐賀・長崎）地区委員：　瀬戸口、川渕夫妻、戸村、若杉、益田、前原（ROTEX）
竹馬　夫妻、＋1
学生：タミカ（ｵｰｽﾄﾗﾘｱ）　プージャ（ｲﾝﾄﾞ）、ケビン（フランス）キア（台湾）　（延べ9名）

第1日目　10/7（木）

12：00～12：15　福岡、佐賀長崎の参加者はＪＲ九州Ⓗ、・Ⓗクオーレで其々チェックイン
12：15～13：00　ニュー長崎１Fで昼食後2日間の予定の説明
13：00～15：00　長崎駅前（＃３電車）⇒電停公会堂前→歴史博物館で長崎ガイド（英語ガイド）
15：00～16：00　諏訪神社⇒浜の町→県庁坂お下り見物（途中文明堂で龍馬カステラの御馳走を振舞っていただきました。　途中浜の町で「龍踊り」に遭遇し学生は興奮しまくり。
16：00～17：30　御旅所参拝→屋台ブラブラ徒歩→浜の町電停（＃４電車）⇒電停公会堂前
18：00～20：30　長崎市公会堂「おくんちの夕べ」（１７名）ここでも「モッテコイ」「ショモウヤレ」と踊り町と観客が一体となり興奮のるつぼとなり福岡の皆さんも初めてと感激
20：30　歓迎会アミュウプラザのイタリアレストラン「カプリチョーザ」　興奮冷めやらぬまま解散

第2日目　10/8（金）

07：00　朝食（ロイヤルホスト）（ホテルクオーレ）後2日目の予定説明
08：00　JR九州長崎Ⓗ、ホテルクオーレⒽチェックアウト
09：00～10：00　長崎駅かもめ広場→長崎駅前⇒松山電停　(電車移動)
10：00～　松山電停（平和公園前）（電車移動）平和学習
平和公園・平和祈念像:原爆資料館）英語ガイド白浜/松田（長崎平和推進協会）の素晴らしい解説（恐らく自ら勉強されてガイドブックを作られた様子）学生たちも原爆の惨劇を目のあたりにして衝撃をうけたようです。
12：00　パークサイドホテルで昼食後
13：00　松山電停　⇒　長崎駅前で解散

今回は急遽合同オリエンテーションが開催され一部入場券が不足するなど配慮を欠いた結果もありましたが両地区の参加者の皆さんには満足いく結果となりました。２地区の合同ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝも時間があれば再度開催したいと思います。
最後にJRホテル関係　パークサイド　ニュー長崎さらに文明堂さんには大変なサービスをしていただき感謝しております。ほんとにありがとうございました。

2010 年 11 月 12 日発行［月刊］
（財）ロータリー米山記念奨学会

ハイライトよねやま 129

1 寄付金速報 ―米山月間の成果に感謝！ ―

10 月までの寄付金は前年同期と比べて 6.0%増、約 2,910 万円の増加となりました。普通寄付金は前年とほぼ同額（+0.03%）ですが、今期に入って初めて前年同期を上回りました。また、特別寄付金は 10.8%増でした。

10 月は米山月間ということもあり、5 人（うち 2 人はご夫妻）の方から各々100 万円の個人寄付をいただきました。さらに、東京ロータリークラブからは創立 90 周年記念として、1,000 万円もの大口寄付をいただきました。このような経済状況下、学友を含め多くのロータリアンの方々からのご寄付に感謝申し上げます。上期も残り 2 カ月を切りましたが、引き続きご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2 2011 学年度奨学金申し込み状況

2011 年 4 月採用の奨学金（学部・修士・博士課程奨学金、地区奨励奨学金）には、指定校 442 校のうち 401 校から 1,504 名の応募がありました。例年に比べ、「該当者なし」などの理由から申込みのない指定校が少なく、各地区選考委員会による取り組みの成果が表れています。

申込者を国・地域別にみると、中国が 62.2% (前年度比+0.3%)、韓国 14.4% (▲0.5%)、台湾 4.6% (+0.6%)、その他が 18.8% (▲0.4%) となり、台湾がやや増加したものの、前年から大幅な増減はありません。課程別では、博士課程が 24.0% (▲0.1%)、修士課程 49.6% (+0.5%)、学部課程 25.1% (▲0.3%) でした。また、「地区奨励奨学金」は 4 地区 8 校から計 20 名、「クラブ支援奨学金」には 8 地区 12 クラブから応募がありました。

11 月中旬から順次、各地区へ応募書類を発送します。その後、11 月下旬～1 月下旬にかけて地区選考委員会による書類選考・面接試験が実施され、2 月中旬には新規採用者 607 名（2010 年 11 月現在）が決定します。

3 第 2640 地区学友会が上海でシンポジウム

第 2640 地区（大阪府・和歌山県）学友会が主催するシンポジウムが 10 月 10 日、上海で開催され、現役米山奨学生と学友、ロータリアンなど約 100 人が参加しました。

テーマは「21 世紀における留学生の役割」。主催者挨拶を同地区学友会初代会長を務めた邱迅（きゅうじん）氏（上海在住）が行い、続いて米田眞理子ガバナーが奨学事業の趣旨を説明、また、上海大学および大阪府立大学の各副学長が来賓として挨拶しました。第 2 部のパネルディスカッションでは、学友、奨学生、ロータリアン、大学関係者らが自らの経験を元に留学生の役割について語り、参加者との意見交換も含めて示唆に富んだ議論が展開されました。アトラクションの最後は、奨学生全員が「感恩の心」という歌を手話つきで熱唱し、会場の感動を呼びました。また、7 月に総会を開いた中国学友会からは張晋岩（ちょうしんがん）会長と楊弋涛（ヤンイータオ）氏が参加し、張会長が中国学友会の活動を紹介しました。懇親会後、朝 10 時からのシンポジウムが惜しまれながら終了し、再会を約して解散しました。（事務局長　坂下博康）

「感恩の心」を手話付きで披露する奨学生・学友たち

4 新モンゴル高校創立 10 周年記念式典に参加して

2010-11 年度 学務・学友委員　足立 功一（第 2500 地区 釧路北RC）

10 月 5 日、米山学友のジャンチブ・ガルバドラッハさん（1998-99／山形北ＲＣ）が開校した日本式高校、「新モンゴル高校」の創立 10 周年記念式典がウランバートルで開催され、第 2800 地区（山形県）を中心とする日本のロータリー関係者とともに参加してまいりました。

10 年前、モンゴル初の 3 年制高校として生徒 105 人でスタートした同校は、現在では生徒数約 750 人を擁し、中学校・小学校も併設する指折りの進学校だそうです。世界中の大学へ留学生を輩出しており、日本にもこれまでに 150 人の留学生を送り出すなど、モンゴルの教育制度を根本的に変えたと言われるくらいの実績を残している学校であります。

米山学友が母国で素晴らしい学校を設立し、大きな実績をあげていることに、米山記念奨学事業を支える日本のロータリアンの一人として、心から誇りに思いました。そして、式典を通じて、モンゴルの次代を担う若者の教育に貢献し、日本-モンゴル間の友好に素晴らしい成果を上げていることを実感することができました。これまでジャンチブさんを支えてきた世話クラブや、山形を中心とする支援団体「柱一本の会」に敬意を表すると同時に、こうした素晴らしい人材の宝庫である米山奨学事業の、なお一層の発展に向けて、微力を尽くしたいと思います。

5 米山奨学生・学友が敬老会に参加　ー第 2770 地区ー

第 2770 地区（埼玉県南東部）米山記念奨学委員会では、奉仕活動の一環として 9 月 19 日、越谷市内の介護老人福祉施設キャンベルホームの敬老会に参加。同地区の米山記念奨学生・学友ら 36 人が民族衣装に身を包み、母国の文化を紹介したり、歌や踊りを披露したほか、食事の手伝いをしながら入居者一人ひとりと言葉を交わし、交流を楽しみました。

参加した奨学生の一人、李美善（りびぜん）さん（中国／岩槻中央ＲＣ）は「すごいことをやったわけでもないのに、私たちの手を握り、涙を流すお年寄りの皆様を見て、一緒に涙を流した奨学生もいました。今回の訪問は、人生の生き方について真剣に考える機会になりました。今を一生懸命に生きなければならないという使命感を感じたひとときでした」と、感想を寄せました。

また、グエン・ブイ・アン・ティーさん（ベトナム／八潮ＲＣ）は、「日本は長寿世界一と言われますが、元気に生活しているおじいさんやおばあさんを見て、本当に感動しました。留学生は言葉にしなかったけれど、祖父や祖母のことを懐かしく思っていたことでしょう」と、語りました。

入居者の家族からも「食事の世話をしてくださる留学生の皆さんを見て、家族のように感じた」「笑顔と涙で興奮している母を久しぶりに見て感動した」など、好評を得ました。4 時間にわたる交流の最後は、参加者総勢 156 人での「川の流れのように」の大合唱で締めくくられました。

(財) ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津（のづ）・箸

2010年　9月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数 7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減	新入	退会	累計
第1グループ	佐賀	4	78.5	61	0	64	0	1	2	1	3
	小城	5	79.0	27	2	26	2	1	1	0	-1
	牛津	4	80.2	30	1	29	1	0	0	0	-1
	多久	4	87.5	41	4	40	4	0	0	0	-1
	佐賀大和	4	70.7	24	2	23	2	0	0	0	-1
	小計		79.2	183	9	182	9	2	3	1	-1
第2グループ	佐賀西	4	81.0	46	0	47	0	1	1	0	1
	佐賀北	4	84.82	31	3	32	3	0	0	0	1
	佐賀南	3	79.0	38	1	37	1	-1	0	1	-1
	神埼	4	84.1	32	0	33	1	1	1	0	1
	佐賀空港	5	76.0	12	1	14	1	0	0	0	2
	小計		81.0	159	5	163	6	1	2	1	4
第3グループ	有田	4	83.7	36	0	37	0	1	1	0	1
	武雄	3	91.2	53	4	53	4	0	0	0	0
	鹿島	4	91.0	39	3	40	3	0	0	0	1
	嬉野	5	88.3	23	1	24	0	0	0	0	1
	大町	4	82.5	20	0	20	0	0	0	0	0
	白石	5	63.0	12	0	12	0	0	0	0	0
	太良	4	84.4	8	0	8	0	0	0	0	0
	小計		83.4	191	7	194	7	1	1	0	3
第4グループ	唐津	4	88.8	53	0	53	0	0	0	0	0
	伊万里	5	94.8	30	0	31	0	0	0	0	1
	唐津東	4	91.1	52	0	53	0	1	1	0	1
	唐津西	4	88.9	33	0	33	0	0	0	0	0
	伊万里西	4	96.4	44	0	46	0	2	2	0	2
	唐津中央	4	95.2	32	4	32	4	0	0	0	0
	小計		92.5	244	4	248	4	3	3	0	4
第5グループ	佐世保	5	99.7	72	0	75	0	3	3	0	3
	平戸	4	96.7	35	3	38	3	0	0	0	3
	佐世保西	3	94.1	24	0	25	0	0	0	0	1
	北松浦	4	91.2	22	0	22	0	0	0	0	0
	松浦	4	89.3	25	1	28	1	0	0	0	3
	小計		94.2	178	1	188	4	3	3	0	10
第6グループ	佐世保南	3	94.1	69	0	73	0	1	1	0	4
	佐世保東	4	98.8	21	0	21	0	0	0	0	0
	佐世保北	3	98.5	43	0	45	0	0	0	0	2
	佐世保中央	4	100.0	40	2	39	2	0	0	0	-1
	佐世保東南	5	80.9	26	2	26	2	0	0	0	0
	HTB佐世保	4	79.9	24	4	23	4	0	0	0	-1
	小計		92.0	223	8	227	8	1	1	0	4
第7グループ	大村	4	82.0	48	3	48	3	0	0	0	0
	島原	4	88.2	34	2	34	2	0	0	0	0
	雲仙	3	90.5	26	0	28	0	0	0	0	2
	大村北	5	100.0	32	0	32	0	0	0	0	0
	島原南	4	69.0	21	1	21	1	0	0	0	0
	大村東	3	85.9	42	2	43	2	0	0	0	1
	小計		85.9	203	8	206	8	0	0	0	3
第8グループ	諫早	3	90.2	56	0	57	0	0	1	1	1
	諫早北	3	88.6	66	2	67	2	0	0	0	1
	諫早西	4	96.8	40	0	39	0	0	0	0	-1
	諫早多良見	4	84.7	36	0	36	0	0	0	0	0
	諫早南	3	66.7	27	6	24	5	0	0	0	-3
	小計		85.4	225	8	223	7	0	1	1	-2
第9グループ	長崎	4	88.5	83	0	86	0	1	1	0	3
	福江	4	89.7	33	0	33	0	-1	0	1	0
	長崎北東	5	87.6	47	6	48	6	0	0	0	1
	福江中央	4	95.5	28	0	28	0	0	0	0	0
	長崎西	4	64.6	58	0	58	0	0	0	0	0
	長崎琴海	4	62.7	18	1	18	1	0	0	0	0
	小計		81.4	267	7	271	7	0	1	1	4
第10グループ	長崎北	3	75.2	76	0	76	0	0	0	0	0
	長崎南	4	83.1	73	0	77	0	3	4	1	4
	長崎東	4	89.5	50	0	52	0	0	0	0	2
	東長崎	4	85.2	23	0	22	0	0	0	0	-1
	長崎中央	3	93.9	57	0	55	0	-1	0	1	-2
	長崎出島	4	80.3	51	12	52	12	0	0	0	1
	小計		84.5	330	12	334	12	2	4	2	4
合計			86.0	2203	69	2236	72	13	19	6	33

※上記の表の新入・退会は**当月中**の数字で、累計は
7月1日から9月末までの増減です。

文 庫 通 信 〈278号〉

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、２万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでＰＤＦもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。　以下資料のご紹介を致します。

職 業 奉 仕 に つ い て

◎「ロータリーの本質は職業奉仕の実践にあり」	上野 操　2010　1p （D.2580月信）
◎「職業奉仕のいろは」	深川純一　2010　16p （職業奉仕のすすめ）
◎「東洋の実業倫理とロータリーの職業奉仕」	安平和彦　2010　21p （職業奉仕のすすめ）
◎「近江商人について」	塚崎 純 他　2010　3p （職業奉仕のすすめ）
◎「石門心学とロータリー」	石田二郎 他　2010　6p （D.2680地区大会記録誌）
◎「回首原点－ロータリーで元気になろう」	佐古亮尊　2010　10p （D.2500地区大会報告書）
◎「今・改めてロータリーを見直す」	森田 均　2010　10p
◎「〔決議23－34〕はロータリアンの『金科玉条』なり」	古川隆三　2010　1p （D.2650月信）
◎「ロータリー簡単図解その8〈解り易い職業奉仕〉」	鈴木章夫　2010　1p （D.2520月信）

［上記申込先：ロータリー文庫（コピー／ＰＤＦ）］

ロータリー文庫

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後5時　　休館＝土・日・祝祭日

国際ロータリー第2740地区

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2010－2011年度ガバナー　高 原 武 彦

ガバナー事務所

〒844-0027　佐賀県西松浦郡有田町南原丁175-5

TEL：0955-25-9110　FAX：0955-25-9120

背景の写真は日本磁器発祥の地「泉山磁石場」

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010ー2011年度
国際ロータリー第2740地区　ガバナー　高　原　武　彦

地域を育み、大陸をつなぐ

CONTENTS

高原武彦ガバナー …… 1
年頭のご挨拶　ガバナーエレクト 岩永信昭 …… 2
新年のご挨拶　ガバナー補佐 …… 3〜7
公式訪問 …… 8
新しい 2011 年を迎えて …… 9
地区大会報告　実行委員長 岡部景光 …… 10
奨学生研修旅行報告 …… 11
第１回 奨学生報告書 …… 12・13
松浦市特別支援学級体験旅行 …… 14
諫早北 RC 創立 40 周年記念事業 …… 15
我がクラブ No.1 卓話　第２回 …… 16
新入会員紹介 …… 17
寄付者紹介 …… 18
ハイライトよねやま …… 19・20
会員数・出席者報告 …… 21
文庫通信 …… 22

嬉野の宝物⑥
天然記念物の大茶樹

嬉野市不動山に大きな茶樹があり、大正15年10月20日に国の天然記念物に指定された。

この大茶樹は元来一木で樹高4メートル、枝張り約12メートルで樹齢は350年と推定されていて、茶の代表的巨樹として歴史的学術的に評価が高い。

嬉野茶の創始者といわれる吉村新兵衛が、不動山の皿屋谷地区で茶を栽培したがこの大茶樹はその頃のものといわれている。

vol.7
2011.1.1

新年 おめでうございます

2010年～2011年
ガバナー 高 原 武 彦

明けましておめでとうございます。
お健やかな新春をお迎えのこと、お慶び申し上げます。
昨年は2740地区各クラブの皆様方には大変お世話になり、多くのことを勉強させて頂きましたことに感謝申し上げます。
ガバナー就任直後の三ヶ月、猛暑にも負けず地区幹事と一緒に無我夢中で走り廻り、クラブ公式訪問や各地区委員会、又懇親会に出席しロータリーの心や地域の歴史等一般社会学をも学び、2740地区の状況が少しわかったように思います。
地区大会開催にあたっては、ロータリアンの友情と寛容の素晴らしさと有難さをこんなに感じることはありませんでした。ロータリアンのエネルギーとパワーの凄さには超我の奉仕が基礎にあるから何事も実践可能なものになって行くように思いました。

後半期もフットワークを出来るだけ使って地区の会員の皆さんと共に活力あるロータリークラブを目指し続けて行きたいと思っています。どうぞよろしく御支援をお願い致します。

会員の皆様方が今年もご健康でロータリーライフを楽しみながら善き市民として平和な暮らしが続きますことをお祈り致します。

年頭のご挨拶

国際ロータリークラブ第 2740 地区
ガバナーエレクト
岩　永　信　昭

皆様、明けましておめでとうございます。
本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

この号をお手にされる頃には当方はアメリカカリフォルニア州サンディエゴで国際協議会に出席していることと思われます。（1月16日～1月21日開催）相当ハードな内容のようですが、ロータリーを深く学ぶいい機会と捉え一生懸命勉強してきたいと考えています。

帰国しましたら慌しくＰＥＴＳ、地区協議会を開催しなければなりません。皆様に有益な情報をお伝え出来るようガバナー・エレクト事務所、ホストクラブ一丸となって頑張りたいと存じます。

皆様にとりまして実り多き1年となりますことを心よりお祈り申し上げ新年の挨拶と致します。

年頭の挨拶「誇りを～」

第１グループガバナー補佐
下　田　龍　二

新年明けましておめでとうございます。皆様にとっては輝かしい新年をお迎えのこと心よりお喜び申し上げます。公式訪問、クラブ協議会、地区セミナー、クラブ訪問などガバナー補佐として参加させていただきました。各クラブにおいてはロータリーの「寛容」の気持ちで迎えていただき感謝しております。

何とか半年間すぎました、素晴らしい出会いもありロータリー歴26年の私は考えさせられることも一杯ありました。各クラブからの相談事も、未熟ながらお答えしたり、私なりに勉強したりして再度クラブ訪問でお答えもしました。

各クラブの会長さんからもクラブの特色を聞かせていただき、ロータリーの心に直接ふれたような気がします。

ここで思うのはロータリー105年経過して、これでよいのか？このままの状況でよいのか？考え直す次期に来ているのではないかと思ったりもしています。最近、「ロータリーの心と原点」（廣畑富雄著）という本を読みました、感激しました。著書の中では「ロータリーは大丈夫か？危ないのでは？いや、崖っぷちでは？」このような記述、わかるような気がします。ロータリアンとしてのほこり（プライド）は重要です、しかしながら時としてほこり（ダスト）だらけになってきているのでは？

今こそ、ＲＩ元会長ラクタルさんの「Back to Basics」、基本に返ろう!この言葉が胸に響きます。

後半は第２グループ担当のＩ・Ｍのお手伝いを第１グループが一体となって協力していきたいと思っております。

今年度も素晴らしい出会いをもとめながら、いろんな事を教えていただきながら、前に進んで行きたいと思います。

気を引き締めて頑張っていきますのでよろしくお願い申し上げます。

「新年のご挨拶」

第２グループガバナー補佐
小　林　正　明

明けましておめでとうございます。皆様、お健やかに新春を迎えられ、心よりお慶び申し上げます。前半は、戸惑いながらの進行でした。にもかかわらず、皆様の温かい友情に支えられ、つつがなく会務を続ける事が出来ました事、深く感謝申し上げます。

さて、ロータリアンになって２５年。生活習慣のように、例会出席。神埼RCの居心地良さに満足。メーキャップもしないままに10余年。昨年度、神埼RCは、地区大会で表彰されましたように、純増５名。本年度は、女性２名。出席率も向上し形が整ってきた。

今年の行事、第１グループと合同で行うＩＭ。そして、グループネットワークによる会員増強。この二つを有効に活用するかが難問。友情を楯に相談し、ご指導を受けましたが、結果は、ロタキチならぬロタボケの自分を発見。ショック！顔に出るんですかね。友情はありがたいもので、「ロータリーの心と原点」「ロータリー入門書」「私のロータリー観」の３冊頂き、リフレッシュ。ＩＭのテーマ・演者を神埼ＲＣ・実行委員会と協議しながら進めていましたが、ピカッと閃き、「ロータリーの心と原点」を小脇に持ち大村へ。
突然の訪問。本を前に、テーマは「ロータリーの原点」演者をお願い。佐古亮尊パストガバナーは慈父の如く、ニコニコしながら「私で良ければ」と。ロタボケがロタキチに戻った感激。色々とお話を聞くうちに、混迷の今、必要なのは「ロータリー精神」。ＩＭはもう成功したような気持ちになりました。

帰路、「初心に帰れ」と言う先人の言葉が浮かび、生かされて生きている、自分を噛み締めました。ロータリーで育っているな、と実感しました。ありがたい事です。

会員増強ですが、各自それぞれにリフレッシュすれば、会員は自然に増加するでしょう。一人は皆のために。皆は1人のために。
手に手をつないで、ロタキチ人生を送って行きます。あなたとともに。

ＩＭが地区大会のように、多くのロータリアンが参加される事を夢見ています。ぜひ、お越しください。お待ちしています。

「新年のご挨拶」

第３グループガバナー補佐
山　本　　武

新年あけまして　おめでとうございます

早いものであっという間に半年が過ぎました。この半年間第３グループガバナー補佐として各クラブを訪問させていただきました。訪問する度にどのクラブからも歓待を受け大変光栄に存じております。クラブ協議会、ガバナー公式訪問も各クラブの会員の方々の暖かいご配慮のお陰で何とか無事終えることができました。心より感謝申し上げます。

また、11月に行なわれた地区大会のホストを務めたれた有田クラブの岡部実行委員長さんをはじめとする会員の皆様のすばらしい団結力と行動力には本当に感動いたしました。

私事ではありますが、ガバナー補佐就任前に病気入院しまして「手術をしなければあと数年の命」と医者から宣告を受け、ガバナー補佐をお引き受けすることを躊躇しました。しかし、前宮崎幸久ガバナー補佐より「任期途中で倒れた際には私が後をします」という力強いお言葉をいただき勇気をもらい補佐を引き受けました。

あと半年の任務となりましたが、3月5日には大町クラブをホストに、コ・ホストとして有田、武雄両クラブのご協力を得て開催するIMを控えています。ロータリーの基礎を学び、すばらしい講師のお話を聞いて楽しいIMになるよう準備を進めています。全員登録となっていますので多数ご参加いただき更なる友情を深めたいと願っています。第３グループの皆様にはお世話になりますがどうかよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝、ご多幸を祈念申し上げ年頭の挨拶といたします。

「新年のご挨拶」

第４グループガバナー補佐
中島登志雄

明けましておめでとう御座います。本年は兎年。飛躍発展の一年であります。皆様には全てが上昇気流の年でしょう。又、来年は米国の大統領選です。世間では兎年で次年度が選挙の年は非常に縁起がよく、可能性を秘め株価が上昇する年なのである。過去のデータです。兎は飛び跳ねます。ロータリー年度の前半の未処理案件を脱兎の如く解消しましょう。皆様は、兎派ですか亀派ですか。昔話では亀との競走で亀の勝利でした。兎が慢心し休憩しなかったら、亀との勝負は100%兎の勝利で在りましたが。本年度も『奉仕と親睦』の２つの命題に挑戦です。親睦が兎であり奉仕が亀かも知れません。逆だと認識されている方も多数・・・親亀の背中に小亀は乗せられるが兎の背中に亀は乗せれられません。12支の干支には兎はあっても、亀は有りません。前年の虎・後年の龍である。兎も亀も優しく、親しみもてる動物です。しかし、本年もロータリー濃度の熟成に果敢に突き進むのみである。まさに、兎の様に脱兎の如く。私は、猪年生。猪突そろそろ突進である。高原ガバナー・。酒井田地区幹事のコントロールのまま。脇道にずれない様に会員の年齢は30代から90代と幅広い。入会暦が重なる程成長し意識が熟成されて、益々、行動的になられていると認識しています。世間では、定年延長と騒いでいるがロータリーには停年・定年がない。素晴らしい事である。常時戦場ならぬ常時現役である。旧労働省は55歳定年・週48時間勤務それが、60歳定年・週44時間労働65歳定年・40時間労働と変化し近未来には70歳定年・週36時間となる。要するに、年金受給開始年齢の高齢化。労働時間の短縮であります。奉仕と親睦の時間拡大である。医療充実で健康を保持出来るから寿命の延長が実現出来ている。長寿社会。肉体年齢は実年齢の80%。脳・奉仕活は120%へパワーアップ。と祈念します。

故事に『２兎追う者は１兎も得ず』とあるロータリアンは奉仕の理想に集いし友情と親睦を深める為に邁進中。常に『奉仕と親睦』にロックオン。２つの目標を同時並行に処理・対処。本年は良質の会員増強に追加ロックオン

頭の活性化体操に、質問1

2兎を追いかけて2兎の捕獲するには。

質問2

2兎を追いかけて6兎を捕獲して下さい。

いろんな答が出ると思います。暇な時に考え連絡下さい。

090－3607－1771（中島）

「新年のご挨拶」

第５グループガバナー補佐
福田　金治

2011年の新年にあたり、一言ご挨拶申し上げます。
昨年は第５グループの各クラブの皆様方には、地区運営につきまして、御協力頂き御礼申し上げます。

今年度の地区行事も、３月の PETS、５月の地区協議会、11月の地区大会も無事終了。下期に、ライラの開催が予定されておりますが、あと半年気を引き締めてガバナー補佐の任務を遂行したいと思っております。

第５・６グループは、本年度はIMを開催せずに、IMに替るガバナー補佐主催の「ロータリー会員研修会」を７月に５・６グループ合同で実施いたしました。
研修会の内容につきましては、ロータリー行事はほとんどが土、日に行なわれますが、今回は木曜日の午後４時より実施しました。参加者が少ないのではないかと心配しましたが、134名（出席率３４％）の会員に参加して頂きました。初めての企画でしたので、実施内容に多少の不備はありましたが、当初の目的は達成できたようでした。

今年度は３年に一度の規定審議会開催により、クラブ定款の改正がありましたので、定款改正の周知と、会員歴が短い会員の為に、ロータリーの基礎を研修しました。

ガバナー補佐の任務は、ガバナーを補佐し、担当クラブの運営をスムーズに行く様に尽力することとなっております。下期につきましては、担当クラブの皆様に、クラブ運営の問題点、疑問点をお聞きして、できるだけ適切なアドバイスが出来る様に努力したいと考えております。

現在の日本、及び世界を取り巻く状況は決して良くはありませんが、『ロータリーの綱領』『四つのテスト』にのっとって、各ロータリアンが日々努力すれば、必ず良い方向に向かうものと確信しております。
今年も第５グループの皆様、また第2740地区の皆様にとって良い年であることを祈念し、新年のご挨拶とさせて頂きます。

「新年のご挨拶」

第６グループガバナー補佐
志久　雄三

平成23年の新年を心よりお祝い申し上げます。
吾が佐世保東ロータリークラブに於きましては、長年減少しておりました会員数がこの新年を境として会員の増加に転じて参りました。佐世保の前教育長さんにもご入会いただき心強く思っております。

私はロータリアンの入会は、どこのクラブであろうと友達の増えることであり、生涯にとっての財産であると考えております。

扨、私、なりたかった第6グループの補佐となり半年が過ぎ、各クラブへも二回訪問させていただき思うことは、私が考えていることも皆様方が望んでおられることも似ている所が多いなということでございました。

一、人を磨くには人と会え
一、ロータリーは出会いなり
一、多種多様の人（女性も含む）と合え
一、先輩ロータリアンとも語り合え
一、異業種の人とも話し合え

30年ほど以前でしょうか、永六輔さんが嫌いな人に会ったことがないという文章を、雑誌にずっと掲載されておられました。その時は「あ、そんなものか」と気にも留めずにおりました。それがこの頃、永六輔さんは偉いな～と感じております。

ロータリーソングに「どこで会っても ヤァーと言おうよ　見つけた時には おいとよぼうよ　遠い時には 手を振り会おうよ」という一節がありますがなかなか出来ません。他所のクラブの知らない方なら仕方ない事ですが、知っているロータリアンの方にはヤァーと言える様に、手を振れる様に、女性ロータリアンにも恥ずかしがらずにオイ!!と呼べるように人間を磨いて行きたいと願っております。

第6グループのロータリアンの皆様、拙ないガバナー補佐ですが、後半年間のご辛抱の程、よろしくお願い申し上げます。

「年頭挨拶」

第7グループガバナー補佐
笠井和幸

2011年の新春を迎え、心よりお慶び申し上げます。還暦を迎え　年男という勢いだけでスタートしたガバナー補佐という大役もすでに半年が過ぎ少しほっとしています。担当の第7グループはご存知の通り大村地区と島原地区にそれぞれ3クラブずつあり、グループでありながら地域性をとっているのが現状です。地理的ハンディがありながら、それぞれのクラブが個性を大切にしながら和気藹々と運営をされ、各種の会合や研修会にも多くの参加をいただき感謝しています。

昨年7月当初から、クラブ協議会そしてガバナー公式訪問と続けて訪問させていただいた折には、それぞれのクラブの会員皆様が暖かい気持ちで接していただいたことやクラブの実情を語り合うことができたことをうれしく思っています。この半年間でたくさんのロータリアンの方々の心に触れ、私の胸の奥にあったロータリーの畑を耕すことができたような気がします。

これからいよいよ後半戦。グループ内では、大村北ロータリークラブの35周年が2月に開催され、続いて大村東ロータリークラブの15周年が4月に開催されます。

また、今年度のＩＭはいろんな議論がある中、第7、第8グループの合同ＩＭとして、大村ロータリークラブをホストクラブとして3月19日(土)に開催していただきます。今年度のテーマは、「知ることからはじめよう　ロータリー」とし、「なぜ　ロータリークラブが100年以上も続いているのか？これから先の100年は？」と問いかけ、それぞれのクラブの活性化の一助になればと思い、参加型のＩＭを目指し研修と交流を中心に開催されます。

ロータリーは人間性を磨くところであり、心を豊かにするところです。残された半年間が少しでもロータリアンの皆様のお役に立つよう努力したいと思います。

今年一年がロータリアンの皆様にとりまして、さらに良き年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

「年頭のご挨拶」

第８グループガバナー補佐
橋爪　毅

明けましておめでとうございます。ロータリアンの皆様にはご健勝のこととお慶び申しあげます。旧年中は大変お世話になりました。本年もよろしくお願い致します。

この半年を振り返ってみて、週一回のんびり例会を楽しんでいた私には、ガバナー補佐という任務は思ったより大変でしたが、いろんな地区の会合に出席しためになる話を聞く事ができ良い経験だったと思っています。高い理念のもとに多くのロータリアンが一堂に集まり熱心に討議される会合に、私は久しぶりに感動さえ覚えました。

諫早５ＲＣの奉仕活動にはそれぞれ工夫がみられます。あるクラブは小委員会を整理統合し、或いは兼務し、委員会の壁を越えて会員同志がより密に接触をもつようにしています。それは更に親睦を深めることになり互いに切磋琢磨して良い成果をあげています。或いは又、新しく小委員会を設立し新鮮な活動を展開しているクラブもあります。第８グループの皆さんはすでに組織を独自に改良しながらクラブの活性化、魅力あるクラブ作りに熱心に取り組んでいるといえるでしょう。最近、話題になっている「クラブ・リーダーシップ・プラン」のことを話し合ってみましたが、従来の四大奉仕に基づく委員会構成で何ら不都合はないのではないかと言うのが大方の意見のようでした。

本年も「ロータリーの心」を大事にし、地域が、そして日本がより良い社会になるよう、そしてロータリーアンの皆さんが一層幸せで豊かな人生を送られるよう願って年頭のご挨拶と致します。

「年頭のご挨拶」

第９グループガバナー補佐
渡邊　修志

新年明けましておめでとうございます。
会員の皆様並びに御家族の皆様には、お健やかに新春をお迎えの事と、心からお慶び申し上げます。

昨年は就任前の諸研修に始まり、クラブ訪問、クラブ協議会、ガバナー公式訪問と一連の流れの中で、高原ガバナー、酒井田地区幹事には温かい御指導を受けて、各クラブの訪問をさせて頂きました。そこでは各クラブの会長幹事を始めとして会員の皆様方には温かく迎えて頂き、和やかな懇親と協議もスムーズに終える事が出来ました。ロータリーの友情に感謝、感謝であります。

また、高原ガバナー年度の集大成と言える年次大会は見事に成功裡に終えられ、高原ガバナーを始め、地区大会関係の皆様方には大変御苦労様でした。少数精鋭の有田ロータリークラブが一丸となって大会準備に当られた事が、あの素晴らしい地区大会の成就に繋がったものと思います。改めて敬意を表する次第であります。

さて、現在私は身体障害者の境地にあります。実は右脚が上がり難い症状が出てきまして、右脚を引き摺るようにして歩いています。これは昨年一月に開催された野母崎水仙ウォーク(28㎞)に参加した時に、長時間アスファルトの路面を歩いた為の後遺症と思っていました。過去4回毎年参加して完歩しておりましたが、歩行後ちょっとした強張りはくるものの、すぐに回復しておりました。今回はなかなか緩解の兆しが見えません。5年前この脚で槍ヶ岳の頂上に立った事を思い出すにつれ、情けなく思うと同時に障害を持っておられる方の不自由を痛感させて頂いております。また、バリアフリーということは大切な事だと身をもって実感させられています。今年こそ元の脚を取り戻すことに頑張って挑戦するつもりであります。また、ガバナー補佐として残された6ヶ月間の任期を全うしたいと思う処であります。第9.10グループでは、2月6日にIM(ホスト・長崎南RC)が開催され、5月14日、15日は福江RCがホストでRYLAが五島の地で開催されます。第2740地区の皆様には、奮って御参加の程、宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員皆様の御健勝、御多幸を祈念申し上げ、年頭の挨拶と致します。

「年頭のご挨拶」

第10グループガバナー補佐
澤山　俊雄

皆様、明けましておめでとうございます、第10グループガバナー補佐の澤山俊雄です。大役を拝命して６ヶ月間過ぎましたがまだ、何も皆様のお役にたってないと思いますので、残りの任期の間で自分のできる範囲で尽力致します。そこで新年にあたり以下のことを新年の抱負として述べさせて頂きます。

①地区内で最も皆さんが悩んでいらっしゃる、会員数減少ですが私は無理矢理に数を伸ばすよりロータリーの本質を理解して頂く方が一人でも残って頂く方が大事ではないかと思います。

②ロータリーアンの使命は、それぞれが所属する地域での平和維持と社会奉仕だと考えます。この実現のためには各位が相手の立場になって物事を考え且つ礼節をもって接する古き日本の姿になれば実現できると確信します。ロータリーアンとしての誇りとは自分がその地域にどれだけ貢献できているかではないでしょうか。具体的には経営者であれば、雇用維持が一例として挙げられます。

③ロータリーはそれぞれの地域、分野で秀でている方の集まりですから、日々の奉仕活動を通じ諸機関にも改善を具申する事ができる団体でもあるので、地域活性化のためガバナーを中心として実行するべきだと思います。

④最後に、ロータリーを今後も更に発展させるためには明るく楽しいクラブ環境をどう作れるかでしょうが、永遠のテーマでもあるこの課題に対する答えは各クラブ内での絆を深めることだと愚考します。

あと半年間よろしくお願い致します。

ガバナー公式訪問

佐世保中央ロータリークラブ

会長：田雑　豪裕
幹事：南部　　建

9月9日(木)　高原武彦ガバナー，志久雄三ガバナー補佐、酒井田正宏地区幹事、西山典秀有田ロータリークラブ会長を、お迎えして公式訪問例会を開催致しました。

例会に先立ち、会長、幹事、会長エレクトを交えての懇談会で、当クラブの現況を報告しクラブ運営について，色々とご指導を頂きました。例会では、高原ガバナーよりRI会長のテーマやメッセージなどについて、詳しく説明して頂きました。また高原ガバナーは、地区の方針に[地域、家族と共に生き生きロータリー]を地区テーマとしロータリアンが持っている優れた資質と能力をさらに発展させて地域社会に貢献し、活力あるロータリー活動を続けて頂きたいと述べられました。当クラブは、今年度創立２０周年を迎えますので、目標達成に会員全員で頑張っていきたいと思います。

佐世保ロータリークラブ

新聞　2010年(平成22年)12月6日　月曜日　紙面編集・上川原正紀

警察犬実演、ファッションショー…

愛犬家ら満喫

ふれあいイベント　しつけ教室も

松浦公園

佐世保RC60周年事業

「犬のふれあいイベント」が5日、佐世保市松浦町の松浦公園であり、愛犬家らが警察犬のデモンストレーションや犬のファッションショーなどを楽しんだ。

佐世保ロータリークラブ創立60周年記念事業の一環で、下部組織で長崎国際大の学生や職員らでつくる同大ローターアクトクラブ(松永夕加会長)が主催。人と生き物との共生、飼い主のマナー向上などが狙い。

イベントでは警察犬がにおいの識別や、犯人にほえたり、かみついたりする実演を披露。ファッションショーではカラフルな衣装を身に着けた犬がステージに上り、市民らが写真撮影。しつけ教室もあった。

犬の健康相談や飲食のブース、チャリティーバザー、音楽ライブなどもあり、愛犬家らが満喫していた。(田賀農謙龍)

犬のファッションショーがあった「犬のふれあいイベント」＝佐世保市、松浦公園

地区大会も終え新しい2011年を迎えて

2010年～2011年 ガバナー 高 原 武 彦

明けましておめでとうございます。

お健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は2740地区各クラブの皆様方には大変お世話様になり、多くのことを勉強させていただきましたことに感謝申し上げます。ガバナー就任直後の三ヶ月猛暑にも負けず、酒井田地区幹事と一緒に無我夢中で走り廻ったクラブ公式訪問や各地区委員委員会又懇親会に出席しロータリーの心や地域の歴史・文化等一般社会学をも学び2740地区の状況が少し分かったように思います。

昨年11月5日～7日　3日間地区大会開催にあたりましては、秋晴れの好天気に恵まれ、中川可能作ＲＩ会長代理をお迎えし、2740地区の会員の1,336名の多数のご参加と地区外から2700地区　原田光久ガバナーご夫妻、井内2670地区パストガバナー、阿部2600地区財団委員長、東京国分寺ＲＣ清水玉江さんのご参加をいただき、盛大に開催出来ましたことを大変嬉しく感謝いたしております。ロータリアンの友情と寛容のすばらしさと有り難さをこんなに感じたことはありませんでした。ロータリアンのエネルギーとパワーの凄さの源には超我の奉仕が基礎にあるから何事も可能なものになって行くように思いました。コ・ホストの第３グループの会員の方々のご協力に感謝致します。

後半期もフットワークを出来るだけ使って地区の会員の皆さんと共に活力あるロータリークラブを目指し続けて行きたいと思っています。どうぞ宜しくご支援賜りますようお願い致します。

会員の皆様方が今年もご健康でロータリーライフを楽しみながら、善き市民として平和な暮らしと奉仕活動が続きますことをお祈り致します。

地区大会よ、ありがとう。もう一度有田においで!!

地区大会実行委員長 岡 部 景 光

2010～2011年度の地区大会は、2011年6月末に創立50周年を迎える第3グループ・有田RCが、町制地域としては初の実施クラブとなりました。有田は初の日本人ロータリアン・福島喜三次翁の生誕の地、日本磁器発祥の地など冠をなす地名でもあります。これらを念頭に置き、明治からの進取の気風が流れる有田魂で、会員数が少ない中で、役務を重複しながら取り組みました。ロータリーの友７月号に載った、高原ガバナー誕生の逸話「殿、お引き受けなさいませ」で始まった地区大会への道は、2010年11月5日～7日に全てが凝縮され、怒濤の様に押寄せて来る大波に例えるプログラムの3日間になりました。

RI会長代理には、第2610地区(石川県・富山県)の金沢香林坊RCから同地区直前ガバナーで第２ゾーンロータリーコーディネーター補佐でもあられる中川可能作氏が、9月半ばに決まりプログラム詳細の詰めを急ぎました。

大会テーマは、レイ・クリンギンスミスRI会長の「地域を育み、大陸をつなぐ」に高原ガバナーの「地域・家族とともにいきいきロータリー」を重ねて、町制地域でも出来る大会、お金を掛けないで会員の手作りする大会を心がけました。今後他の町制からでもガバナー誕生の参考にしてもらう為です。幸いにして有田には、人間国宝・酒井田柿右衛門氏、有田町出身で「佐賀・有田ふるさと大使」の江上栄子氏(東京在住)がおられ、“有田らしさの地区大会”に賛同をいただいて、講演会講師を引受けてもらいました。また九谷焼の地・石川県からRI会長代理が、有田焼の地元に来られた事も因縁じみていて不思議な事で、RI会長代理歓迎晩餐会では更に発展して韓国からの二人のユニット「HUE」によるコンサートを行い、焼き物三地区を結んでの「地域を育み、大陸をつなぐ」こととなりました。

11月5日(金)　朝からの若木ゴルフ倶楽部・記念ゴルフ大会と、夕刻の嬉野温泉
　　大正屋・RI会長代理歓迎晩餐会。
11月6日(土)　午前　会長幹事会での中川RI会長代理の講話と、大会四委員会。
　　ご夫人方のレディスエキスカーション（有田窯元めぐり）
　　午後　本会議、記念講演会・酒井田柿右衛門氏と渡邊あゆみ氏
　　有田工高吹奏楽演奏、記念懇親会
　　“大陸をつなぐ”青少年の集い
11月7日(日)　午前　「私の食べたい朝ごはん」コンテスト作品展示
　　午後　江上栄子氏講演会「食育と器」

３日間とも晩秋の暖かい晴天の日に恵まれましたし、記念講演会では渡邊あゆみ氏の巧みな聞き出し上手の話術と、柿右衛門氏の知られざるエピソードの話しにどんどん引き込まれました。その後の有田工高吹奏楽の素晴らしさ、懇親会での料理と民謡でのおもてなし、私達クラブ全力での大会遂行でありました。

しかしながら、細かい所での不行き届きや、手配落ち等がありました。どうぞご容赦いただきますよう、お願い致します。多くの会員様達が大会に参加していただきまして、ありがとうございました。特に第３グループの会員様には、コ・ホストクラブとしてのご協力をお願いし、助けていただきました。ありがとうございました。ただ振り返って思いますに、かなり困難な大会ではありましたが、私達が元気な在籍中に巡って来た事が、ラッキーだったと思えます。二度と出来る事はないでしょうが、「地区大会よ、ありがとう。もう一度有田においで！」と言いたいです。

2740地区米山記念奨学会・奨学生研修旅行報告

2740地区米山奨学委員長 曽 我 文 雄

１１月２７・２８日（土・日）に阿蘇・熊本への研修旅行を実施しました。阿蘇は世界有数のカルデラをもつ活火山です。熊本城は日本三名城のひとつです。佐賀・長崎県内はなにかと訪れる機会があります。そこでお隣の熊本県に、世界に誇れる名所旧跡があるのを奨学生に見せて、狭い日本にもスケールの大きなものがあることを実感してもらいました。俵山では子供連れの方に草スキーの道具を借りて滑り降りて喜んで、思わぬ国際親善ができました。

白川水源では湧き出た水を皆で飲んで、自然の恵みを堪能しました。ペットボトルに汲んだ水を二日間、皆で飲みました。

阿蘇の大火口を見たとき、一斉に“凄い”と叫びました。ガボン共和国から来たパーフェット君は“寒い”“寒い”の連発でした。熊本市内へ着くまで一眠りして、夕食に出かけました。

ライトアップされた繁華街を通り、ビルの上から熊本城の夜景を嘆賞したあとビアレストランで各種肉料理を楽しみました。ここは学生や若いサラリーマンが多く集まる店で、熊本北クラブのメンバーが経営しています。食事の後、街の中を散策して、皆の希望でカラオケに行きました。歌詞にふりがながしてあり、楽しみながら日本語の勉強をしている感じがしました。

翌朝、熊本ＲＣの山田君（２７２０地区米山副委員長）と松木君が５名の奨学生を連れて来てくれました。皆を紹介して、バスで熊本城へ行き、松木君の説明を聞きながら天守閣へ上ったり、華麗な御殿を見学しました。

皆は紅葉が大好きで、大銀杏の葉が降り積もったのを見て、感嘆の声をあげて座り込んだり、写真を撮ったりして大喜びしていました。４００年も昔の城を見て、日本の歴史に興味をもったようでした。熊本地区の奨学生ともすぐ打ち解けて、仲良く写真を撮ったりして、熊本城と旧細川刑部邸を散策して、熊本県伝統工芸館の前でお別れしました。

初めての地区外旅行でしたが、熊本のメンバーの協力も頂いて、お互いの理解も深まって良かったと考えています。

秋は各種の行事が多くて、参加をキャンセルせざるを得ないことになってしまった人が多かった。これ等を参考にして来年度の事業計画を検討していきます。

第1回報告書

ロータリー財団国際親善奨学金奨学生

池田　詩絵

派遣クラブ　佐賀南ロータリークラブ
受入クラブ　モスクワ - ヴァストークロータリークラブ

クラスメイトと（右端：本人）

私は現在、モスクワ大学国際教育センターでロシア語とロシア文化を学んでいます。ロシア文化では、特に絵画に興味があります。日本ではあまり知られていませんが、ロシアにはすばらしい画家がたくさんいます。昨年の夏には、東京で“大トレチャコフ展”というモスクワにあるトレチャコフ美術館の展示会が開かれました。その他、ロシア人なら絶対見たことがある映画や小学校で習う詩など、ロシア人をより知ることができるような授業内容もあります。授業は、月曜日から金曜日、10時から15時まであります。毎日新しくて新鮮な情報が得られて、とても充実しています。

留学前には、派遣地区での国際親善奨学生研修会に3度出席しました。そこでは、国際親善奨学生の親善大使としての使命、ロータリーの歴史、ロータリーが現在力を入れている活動などについて学びました。また、スピーチの予行練習も行いました。ロータリアンの方々に派遣地区のことを教えていただいたり、スピーチをする上でのアドバイス等をいただいたりしました。その他、派遣側ロータリークラブでもスピーチの練習をさせていただき、さらに、派遣側ロータリアンの方にはスピーチの資料作りにもご協力いただきました。その際、以前海外に留学した経験のあるかたを紹介していただいたことで、海外の人々が日本のどのようなことに興味を持っているのか、どういうことを話すと興味を持ってくれるのかなど、とても参考になる話を聞くことができました。スピーチをする際は、これらのことを考慮に入れて、わかりやすくておもしろいスピーチになるように心がけています。

留学先に到着してすぐ、ウクライナのロータラクトの方々がモスクワにいらっしゃるという連絡をいただきました。その際、モスクワロータリークラブのメンバーがモスクワを案内するということで、モスクワに到着して間もない私にもお誘い

ウクライナ、モスクワのロータラクトのメンバーと（左端：本人）

受入側ロータリアンの自宅で
（本人：右４人目、受入側ロータリアン：左２人目）

が来ました。あいにく、この時期は暑さとスモッグがいちばんひどいときでしたので、美術館など屋内を中心に案内してくれました。この日は、モスクワやロシア文化について知れただけでなく、ロータラクトとして活動している同年代の人たちと、どんな活動をやっているのか、何がきっかけでロータリーのことを知ったのかについて、情報を交換することができました。また、数人のウクライナの女の子が私の名刺の日本語に興味を示してくれたので、漢字について少し話をすることもできました。その他、受入側ロータリアンの方の自宅で日本料理を紹介したり、日本語を学んでいるモスクワ大学の学生たちとお互いの文化について教えあったりしました。また、これまでメールでやり取りをしていたアメリカからの国際親善奨学生のタチアナさんと会うことができました。彼女はもう何年もロータリーと関わっていてロータリーのことをよく知っているので、よくロータリーについて教えてもらっています。これまで行ったスピーチの内容としては、私のロシア、モスクワに対する現時点での印象、日本の祝日、漢字などの日本文化が挙げられます。これまでは、一般的な日本文化について紹介してきましたが、今後は私の出身地でもある派遣地区のことについて、話をしたいと考えています。

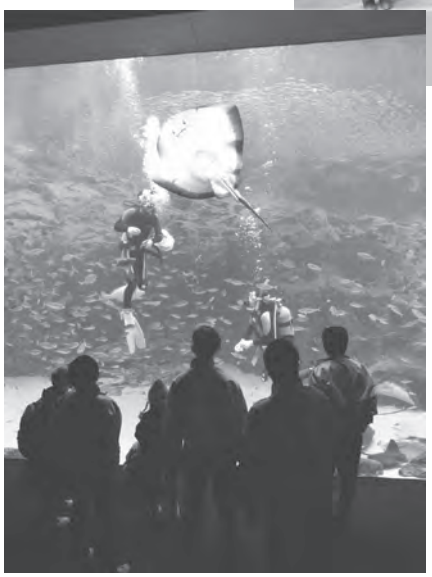
最後に、私がモスクワの人々から得た印象を書こうと思います。一般に、ロシアの人たちは冷たくて周りのことには無関心といったイメージがありますが、私がロシアに来て感じたのはロシア人の世話好きさです。例えば、ある人が道をたずねたとします。すると、たずねられた人だけでなく、周りにいる人たちも一斉に話始めます。しかし、行き方は人それぞれなので、ひとりがこの道を行ったらいいと言うと、他の人がいや、こっちの道の方がいいと言って、軽い言い争いが始まってしまうこともあります。他にも、バスや電車ではお年寄りにすぐ席をゆずりますし、おばあさんが重い荷物を持っていたら手伝います。私と同世代くらいの若い人たちがすすんでこういうことをやっているのを見て、少し恥ずかしく思ったのと同時に、心があたたかくなりました。このような場面を見るたびに、モスクワのことをますます好きになってしまいます。

アメリカからの国際親善奨学生タチアナさんと

松浦市特別支援学級体験旅行

松浦ロータリークラブ

去る１１月９日（火）当クラブ恒例行事を佐世保の西海パールシーリゾート「海きらら」へ行くことになりました。当日は強風のため、一部離島の生徒が同行できず残念でしたが、小学生２３名、中学生１５名、引率の教諭２１名、支援員６名、ロータリアン９名と総勢６５名の参加がありました。



はじめに子供たちと挨拶を交わした後、イルカショーの会場へ移動しました。子供たちは水しぶきを浴びながら楽しそうに鑑賞していました。
その後は、水族館やクラゲ館など海洋生物とのふれあいを学習しました。中には、サメが大好きな児童がいて、学校では海の図鑑ばかり見ていてほとんど話をしない子が、興奮して水槽の前から離れず、サメの名前を得意げに話して、引率の先生を驚かせている姿が印象的でした。

また、ロータリアンとは手をつないで甘えて離れない子、カメラを借りて写真を撮って遊んでいる子、昼食時はお弁当のおかずのやり取りをする子などもいて、子供たちとたくさんふれあうことができました。別れの場面ではバスに乗っているのに、また降りてきてお礼を言いに来てくれる生徒もいました。

今回３時間ほどの短い時間でしたが、子供たちとふれあい、来年もこの事業は続けて行けたらいいなと思いました。

新たな大地を踏みしめて
－諫早北ＲＣ創立４０周年記念事業－

平成２２年１２月５日の日曜日、その日は師走とは思えぬ暖かな日差しに恵まれていた。諫早湾干拓工事によって新たに造成された広大な農地の中で、諫早北ＲＣの創立４０周年記念事業としての一般市民参加のロードレース大会が開催されたのである。参加者はランナーが約１５００名、付添家族など入れると５０００名を超す人々で会場は溢れていた。

諫早湾干拓工事は長年、自然保護か開発かで世論を二分する問題を孕んできただけに、完成後も何かと悪い印象によって冷遇されてきたこの豊かな大地を、市民の皆さんにも現地に入ってもらい、身をもって体験してほしいとの願いが込められていたのである。すでにこの大地では農耕作業が本格化しており、多くの農産物が県内外の市場へ供給されている。その広報の意味もあって、今回の出場者への参加賞はこの地で取れた野菜類であった。

早朝６時３０分に集合して準備に掛かった。辺りはまだ暗く、真っ白に霜が降りていたが、夜明けとともに気温も上昇して、絶好の運動日和となった。

事前に予約申し込みをしていた小学生から大人まで、開会式までには勢ぞろいして式典に臨んだ。小学生による選手宣誓、審判長からの競技中の注意事項について説明があり、それが終るや早速競技に入った。

競技の種類は距離によって１ｋｍ、１．5km、２ｋｍ、３ｋｍという比較的短いコースもあり、これは主として小学生個人のレースであった。男女混

合の駅伝になると一挙に９ｋｍ、１５ｋｍと長くなり、追いつ追われつののレース展開が繰り広げられた。

今回、勝敗を決する競技ではなく、干拓地の周囲を囲む堤防の道路を干拓探検健康ジョギング＆ウオークという種目を設けて、大人も子供も一緒にこの新しい大地の環境を堪能してもらうことにした。距離にして１０ｋｍの長距離にも大勢の参加者があり、初冬の穏やかな日差しの中思い思いに出発していった。

競技が始まるや保護者や家族、各スポーツクラブの指導者、監督などから応援の声が掛けられて、会場は俄かに大声援に包まれていった。そして、競技が終わり次第、上位入賞者の表彰、金銀銅のメダルの贈呈が本部横の舞台の上で逐次行われた。ここでは鎮西学院高校のインターアクターが積極的な奉仕活動に参加してくれた。つまり、ゴールした入賞者を一位から三位まで舞台のそでまで引率し、舞台上では各人への賞状とメダルの贈呈が順調にゆくように手伝ってくれていた。今回のこの企画にはロータリアンの参加は勿論のこと、企業の従業員、ローターアクトの皆さんなど、随所に多くの方々の協力が実を結んでいた。今後この企画が定着し、地域の活力を引き出すことに貢献するよう大きな期待を寄せている。

第2回
我がクラブNo.1卓話

日本初のロータリアン 福島喜三次

有田ロータリークラブ　徳　永　一　雄

福島喜三次さんは、1881年有田町で、六男一女の末子として生まれ、父親を二歳の時に亡くし女手ひとつで育てられます。母親は、なかなかの賢母で常に父親の事や父親が目指した人物の事を語り聞かせていました。やがて、現一橋大学を常にトップの成績で卒業と同時に三井物産に入社します。翌年にはニューヨーク支店勤務となり1912年にダラス支店に転勤、ここに在勤中ダラスＲＣで「日本人として初のロータリアン」となられる訳です。中でも人種差別が酷い地区アメリカダラスで、まず東洋人である事、それとＲＣは一業種一人主義である事。綿花業や貿易業が盛んで同業者が数多い、このハンディーキャップを乗り越えてロータリアンになられた事は、日本人としても誇る所であります。丁度ダラスＲＣに入会した同じ年、米山梅吉さんが三井銀行の支店開設のためダラスに視察に訪れます。その時英語が堪能な福島さんと知り合いとなり同行するようになりました。そのあと３年後１月１日に米山さんと再会し酒を飲み交わし、その時福島さんはロータリーの意義を熱く語りました。やがて1920年東京支店に戻り日本で初のＲＣを創立のため米山さんと動き回りますが、ＲＩからの条件が厳し過ぎ中々事が運ばず難儀していましたが米山さんの創立への情熱は深く絶えませんでした。ここで福島さんも今迄の経験と知識を加えＲＩからの許可も得られ東京ＲＣが結成されされました。

福島さんはすぐに大阪支店に転勤を命じられ今度は大阪ＲＣ設立に向けて奔走されます。東京ＲＣ創立３年後に、大阪ＲＣが創立されます。この２つのＲＣ創立の時にはどちらも幹事を務められています。又、大阪ＲＣが創立された同じ年、関東大震災が発生し、東京がひどい被害を被り地震で陸路は絶たれていた時、ダラスでの綿花集散の海上輸送経験を生かして迅速な行動で救援船の総指揮をとり、大阪ＲＣも福島さんの陣頭指揮の元で救援活動がなされ東京も程なく復興される様になりました。以上の様に日本のロータリー史の隆盛の第一歩は「日本人初のロータリアン」「東京ＲＣ創立時の幹事」「大阪ＲＣ創立時の幹事」この３つに違いはありますが、ここにあると思います。

日本人として初のロータリアン
福島喜三次翁　顕彰碑

大募集!!
新企画「我がクラブNo.1卓話」

「ワクワク ドキドキ 楽しいロータリー!」にする為には、毎回の卓話の充実が不可欠です。新企画は各クラブより「これぞ卓話!」と思われるものを募集して掲載いたします。優秀卓話は「ロータリーの友」に提案し掲載を依頼する予定です。
（文字数800～900文字）

「月信」委員長　石川慶藏

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介いたします。 ※氏名の下部は、勤務先、趣味

佐世保RC
山田　眞弘 君
ジェイアール九州ハウステンボス㈱
映画鑑賞

大村RC
伊達　秀喜 君
㈲伊達保険事務所
ヨットクルーズ

佐賀南RC
日野　和仁 君
日野法律事務所

多久RC
兼行　　進 君
詩吟

福江RC
椎葉　久吉 君
㈱親和銀行福江支店
ウォーキング

佐賀RC
中村　良信 君

諫早南RC
荒木　謙爾 君
荒木商会・
保育所ちびっこらんどアエル通り園

長崎東RC
篠崎　良介 君
㈱日工
魚釣り、スノーボード、バトミントン

物故者

長崎北RC
安達健三郎 君
75歳
7月8日死亡

佐世保南RC
辻　洋三 君
78歳
11月14日死亡

ロータリーの偉人に学ぶ 元気の出る言葉

～松下幸之助氏の言葉より～

熱意が事を成し遂げる

成功する為には、知識も大事、才能も大事。だがそれ以上に大事なのは、なんとしても成功させたいという烈々たる熱意である。たとえ知識や才能が乏しくとも、強い熱意があれば、その懸命な姿が周囲を動かし、多くの援助が集まって、事もおのずと成し遂げられる。

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介いたします。

ご厚意に深く感謝申し上げます。

ロータリー財団

種類	氏名	クラブ名
ベネファアクター	津田　尚幸	長崎南ＲＣ
	本田　文昭	長崎中央ＲＣ
	石坂　和彦	大村ＲＣ
	宮原　明夫	佐世保北ＲＣ
ポールハリスフェロー	大田　義弘	長崎東ＲＣ
	内田　信康	長崎東ＲＣ
	井石八千代	長崎出島ＲＣ
	福田　　詮	平戸ＲＣ
	磯田　幸男	平戸ＲＣ
	柿添　圭嗣	平戸ＲＣ
	村　　節雄	平戸ＲＣ
	小田　計吾	平戸ＲＣ
	山崎　　弘	平戸ＲＣ
	谷川　正文	島原ＲＣ
	村山　清治	長崎南ＲＣ
	山辺　　滋	長崎南ＲＣ
マルチプル	笠井　和幸	大村ＲＣ
	木村　廣昭	諫早ＲＣ
	緒方　信行	佐世保北ＲＣ
	富田　耕司	佐世保北ＲＣ
	峯　　徳秀	佐世保北ＲＣ
年次寄付	石田　賢二	大村東ＲＣ
	前田　啓介	大村東ＲＣ
	俣野　正俊	大村東ＲＣ
	山田　佑子	長崎出島ＲＣ
	阿保　守邦	東長崎ＲＣ
	多良　正治	東長崎ＲＣ
	吉川　　茂	東長崎ＲＣ
	森永　　太	佐賀西ＲＣ
	堤　　貞善	佐賀西ＲＣ
	大塚　浩司	佐賀西ＲＣ
	塚崎　　寛	長崎中央ＲＣ
	安田　伸幸	長崎中央ＲＣ
	石井　計行	長崎中央ＲＣ
	本田　文昭	長崎中央ＲＣ
	大鳥居　宏	佐世保北ＲＣ
	緒方　信行	佐世保北ＲＣ
	蒲池　芳明	佐世保北ＲＣ
	熊井　雅人	佐世保北ＲＣ
	隈本　幹彦	佐世保北ＲＣ

種類	氏名	クラブ名
年次寄付	古賀　新二	佐世保北ＲＣ
	小西　宗十	佐世保北ＲＣ
	相良　一三	佐世保北ＲＣ
	須田　　昇	佐世保北ＲＣ
	田島　勝明	佐世保北ＲＣ
	田平　　孝	佐世保北ＲＣ
	富田　耕司	佐世保北ＲＣ
	豊島　揆一	佐世保北ＲＣ
	鳥越　敏博	佐世保北ＲＣ
	中井　康晴	佐世保北ＲＣ
	中尾　充宏	佐世保北ＲＣ
	中島　閏二	佐世保北ＲＣ
	永田　武義	佐世保北ＲＣ
	中野雄一郎	佐世保北ＲＣ
	西川　正美	佐世保北ＲＣ
	二ノ宮　健	佐世保北ＲＣ
	野畑　義博	佐世保北ＲＣ
	平石　晃一	佐世保北ＲＣ
	深堀昌二郎	佐世保北ＲＣ
	深町　　等	佐世保北ＲＣ
	福田　俊郎	佐世保北ＲＣ
	藤井　良介	佐世保北ＲＣ
	牧野　博一	佐世保北ＲＣ
	松尾辰二郎	佐世保北ＲＣ
	峯　　徳秀	佐世保北ＲＣ
	宮崎　有恒	佐世保北ＲＣ
	宮原　明夫	佐世保北ＲＣ
	村瀬　高広	佐世保北ＲＣ
	村上　寅雄	佐世保北ＲＣ
	森　　豊	佐世保北ＲＣ
	山北　恭行	佐世保北ＲＣ
	湯口　純二	佐世保北ＲＣ
	横尾　　寛	佐世保北ＲＣ
	吉澤　俊介	佐世保北ＲＣ
	渡会　祐二	佐世保北ＲＣ
	佐賀西ＲＣ	
	東長崎ＲＣ	
	長崎南ＲＣ	
	佐世保北ＲＣ	
ポリオプラス	松浦ロータリー	

米山記念奨学会寄付関係

種類	氏名	クラブ名
メジャードナー	田中純智男	佐世保東ＲＣ
	嵩　　則雄	福江ＲＣ
マルチプル	内田　信康	長崎東ＲＣ

種類	氏名	クラブ名
功労者	本田　文昭	長崎中央ＲＣ
準米山功労者	小松　重昭	唐津中央ＲＣ
特別寄付	小城ＲＣ	

2010 年 12 月 13 日発行［月刊］
（財）ロータリー米山記念奨学会

ハイライトよねやま 130

1 寄付金速報 ― 単月では過去 10 年で最低 ―

11 月までの寄付金は前年同期と比べて 4.3%増、約 2,600 万円の増加となりました。普通寄付金が 0.3%増、特別寄付金が 6.4%増と、普通・特別寄付金とも増加のまま推移しています。しかし単月で比較しますと、直近 10 年の間で一番低い数字となりました。

12 月は例年であれば特別寄付金が一番多く納入される月です。今年も残りわずかとなりましたが、多くの留学生を支援するために引き続きご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2 ガバナーエレクト・次期地区米山委員長の合同セミナー開催

今年で 7 回目となるガバナーエレクト・次期地区米山記念奨学委員長合同セミナーが 12 月 8 日・9 日、都内で開かれました。1 日目は、2011-12 年度のガバナーおよび地区米山委員長を対象とし、米山奨学事業の意義を実感していただき、理解を広げる成功事例が紹介されました。2 日目は地区米山委員長を対象に、寄付増進につなげるためのより実践的な情報交換がなされました。また、1 日目夕方は、田中作次ＲＩ会長ノミニーを迎えての懇親会が開かれました。

近藤ＲＩ理事による基調講演 米山奨学事業の創立から歴史を振り返るとともに、近年、巣立った学友が各国でロータリークラブを創立するなど、成果が次々と花開いており、日本のロータリーにとって最も誇るべき活動であると強調されました。

現地採用奨学生の卓話 現在、制度見直し中の「現地採用奨学金」三期生のチャン・ティ・フウン・トゥイさん（ベトナム／2009-12／横浜南RC）が登壇し、自身の生い立ちや現地採用で日本に留学することができた喜びを語り、感謝の気持ちを述べました。

トゥイさん

フォーラム

・どんな奨学生を採用したか、どう育ってくれたか（第 2750 地区元米山委員長　関博子氏）
・奨学生をお客様扱いしないことのすすめ　（第 2770 地区元米山委員長　恵川一成氏）
・個人平均寄付額 11%増の工夫　（第 2700 地区米山委員長・理事　安増惇夫氏）
・個人平均寄付額 3 万円超えの寄付文化を探る（第 2590 地区米山委員長　鈴木憲治氏）

1 日目その他のプログラム 長年日本語教師をつとめ、留学生事情に詳しい磯田郁子氏（第 2660 地区米山委員長）は、「留学生受け入れの実情とロータリアンが望む奨学生とのギャップ」と題し、“中国人はもう裕福だから採用する必要がない”、“奨学期間が終わったら連絡がない”といった声に対する持論を展開。また、坂下事務局長から、2012 年より試行予定の海外応募者対象奨学金、公益法人改革についての説明がなされました。懇親会では、事業理解を目的とした米山〇×クイズが行われ、好評を得ました。

2 日目地区委員長セミナー 仁田一也副理事長の「寄付増進の第一歩を考える」と題した講演のあと、参加者全員が 4 グループに分かれ、「地区の実情および寄付増進の第一歩を考える」をテーマにグループディスカッションが行われました。つづいて金子千侍副理事長が「知的国際貢献型奨学事業の意義」について述べたあと、最後に活発な質疑応答がなされました。

1 日目合同セミナーの様子

フォーラム講演者の方々

グループディスカッションの様子

3 留学生対象の就職相談会を開催 ―東京米山友愛RC―

米山学友を中心に設立された国内初のロータリークラブ、東京米山友愛ＲＣが11月27日、初の本格的な奉仕活動として、外国人留学生対象の就職相談会を開催しました。会場となった電気通信大学の学生や首都圏の大学・大学院に通う米山奨学生・学友など、就職を控えた37人の留学生が参加。日本で就職した米山学友らもボランティアで協力し、会員とともにグループディスカッションに加わって、学生たちからの相談や質問に応じました。参加した学生からは、「いろいろなアドバイスが聞けてとても良かった」「進学か就職か迷っていたが、解決できた」「就職活動において留学生ならではのアピールポイントが役に立った」と好評で、次回開催要望の声が多く聞かれました。

この企画の発起人で同クラブ会員のワンマニ・チャンニャケムさん（右写真 ラオス／2006-08／東京府中ＲＣ）は、「自分自身、学生の時に欲しかった企画でした。これからも学生と社会人の先輩との出会いの場をつくり、考えるきっかけを提供していきたい。留学生への支援は、いろいろな国籍、留学経験をもつメンバーが集まるこのクラブならではの奉仕活動。クラブ独自の強みを生かし、さらに発展することにもつなげていきたい」と語りました。

4 米山学友が韓国ソウルRCの会長に就任

1927年、韓国で最初に創立されたソウルＲＣは、ソウルで唯一、英語を公用語とする国際色豊かなクラブです。今年7月、このクラブの会長に、米山学友の白 哲鎬（ペクチョルホ）さん（1989-91／横浜鶴見西ＲＣ）が就任。白さんは、鶴見大学歯学部博士課程在学中に米山記念奨学生となり、91年に学位取得。現在は矯正歯科医院院長として活躍しています。 【『友』1月号よねやまだよりにも同記事を掲載します】

奨学金がなかったら、留学生活は大変苦しかったことでしょう。今も感謝の気持ちでいっぱいです。ロータリアンとして、恵まれない人々や貧しい国への奉仕プロジェクトに励むことで、その恩返しをしたい。日本のクラブとの活発な交流も目指しています。韓国出張の際は、ぜひソウルＲＣにお立ち寄りください！

税制上の優遇措置について

ロータリー米山記念奨学会へ寄付（特別寄付・普通寄付）をすると、所得税の**税制優遇**が受けられます（要確定申告）。年間2,000円以上の特別寄付をした方は、来年1月末までに申告用領収書をクラブ経由でお送りします。12月30日（木）入金分までが対象です。また、普通寄付分の申告用領収書は、申請のあったクラブへ順次発送しています。2つの領収書は合算してお使いいただけます。

年末年始の休業について

米山記念奨学会事務局は、12月28日（火）～1月5日（水）の間休業させていただきます。
来年は、1月6日（木）より通常業務となります。よろしくお願いいたします。

今年も1年間ありがとうございました。
皆さまにとって新しい年が輝く1年となりますように。
事務局スタッフ一同

(財)ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15
黒龍芝公園ビル3F
Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津（のづ）・峯（みね）

2010年　10月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数 7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減	新入	退会	累計
第1グループ	佐賀	4	79.9	61	0	64	0	0	0	0	3
	小城	4	71.6	27	2	26	2	0	0	0	-1
	牛津	4	74.2	30	1	30	1	1	1	0	0
	多久	4	91.4	41	4	40	4	0	0	0	-1
	佐賀大和	4	69.0	24	2	24	3	1	2	1	0
	小計		77.2	183	9	184	10	2	3	1	1
第2グループ	佐賀西	4	77.3	46	0	48	0	1	1	0	2
	佐賀北	4	88.2	31	3	32	3	0	0	0	1
	佐賀南	4	74.5	38	1	39	1	2	2	0	1
	神埼	4	70.8	32	0	33	1	0	0	0	1
	佐賀空港	3	73.0	12	1	14	1	0	0	0	2
	小計		76.8	159	5	166	6	3	3	0	7
第3グループ	有田	4	85.8	36	0	37	0	0	0	0	1
	武雄	3	91.2	53	4	53	4	0	0	0	0
	鹿島	4	90.4	39	3	41	3	1	1	0	2
	嬉野	3	90.0	23	1	24	1	0	0	0	1
	大町	4	75.0	20	0	20	0	0	0	0	0
	白石	4	60.4	12	0	12	0	0	0	0	0
	太良	4	75.0	8	0	8	0	0	0	0	0
	小計		81.1	191	7	195	8	1	1	0	4
第4グループ	唐津	4	88.7	53	0	53	0	0	0	0	0
	伊万里	4	98.4	30	0	31	0	0	0	0	1
	唐津東	4	90.1	52	0	53	0	0	0	0	1
	唐津西	4	95.5	33	0	33	0	0	0	0	0
	伊万里西	4	93.6	44	0	46	0	0	0	0	2
	唐津中央	5	95.6	32	4	33	4	1	1	0	1
	小計		93.6	244	4	249	4	1	1	0	5
第5グループ	佐世保	4	98.6	72	0	75	0	0	0	0	3
	平戸	4	100.0	35	3	38	3	0	0	0	3
	佐世保西	3	95.7	24	0	25	0	0	0	0	1
	北松浦	5	88.3	22	0	22	0	0	0	0	0
	松浦	5	87.1	25	1	28	1	0	0	0	3
	小計		93.9	178	1	188	4	0	0	0	10

※上記の表の新入・退会は**当月中**の数字で、累計は
7月1日から10月末までの増減です。

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数 7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減	新入	退会	累計
第6グループ	佐世保南	5	100.0	69	0	73	0	0	0	0	4
	佐世保東	4	96.4	21	0	21	0	0	0	0	0
	佐世保北	3	99.3	43	0	45	0	0	0	0	2
	佐世保中央	4	100.0	40	2	40	2	1	1	0	0
	佐世保東南	4	94.2	26	2	26	2	0	0	0	0
	HTB佐世保	4	70.7	24	4	23	4	0	0	0	-1
	小計		93.4	223	8	228	8	1	1	0	5
第7グループ	大村	4	72.6	48	3	49	3	1	1	0	1
	島原	4	79.8	34	2	34	2	0	0	0	0
	雲仙	5	93.6	26	0	28	0	0	0	0	2
	大村北	4	100.0	32	0	32	0	0	0	0	0
	島原南	4	71.0	21	1	21	1	0	0	0	0
	大村東	3	84.2	42	2	44	2	1	2	1	2
	小計		83.5	203	8	208	8	2	3	1	5
第8グループ	諫早	5	86.4	56	0	59	0	2	2	0	3
	諫早北	4	81.7	66	2	67	2	0	0	0	1
	諫早西	4	87.2	40	0	39	0	0	0	0	-1
	諫早多良見	4	84.0	36	0	36	0	0	0	0	0
	諫早南	3	63.9	27	6	24	5	0	0	0	-3
	小計		80.6	225	8	225	7	2	2	0	0
第9グループ	長崎	3	88.1	83	0	85	0	-1	0	1	2
	福江	5	87.9	33	0	33	0	0	0	0	0
	長崎北東	4	83.9	47	6	48	6	0	0	0	1
	福江中央	3	97.6	28	0	28	0	0	0	0	0
	長崎西	4	68.0	58	0	58	0	0	0	0	0
	長崎琴海	4	67.1	18	1	18	1	0	1	1	0
	小計		82.1	267	7	270	7	-1	1	2	3
第10グループ	長崎北	3	76.4	76	0	76	0	0	0	0	0
	長崎南	4	80.8	73	0	78	0	1	1	0	5
	長崎東	4	80.6	50	0	52	0	0	0	0	2
	東長崎	4	80.1	23	0	22	0	0	0	0	-1
	長崎中央	3	94.6	57	0	57	0	2	2	0	0
	長崎出島	4	79.8	51	12	52	12	0	0	0	1
	小計		82.1	330	12	337	12	3	3	0	7
合計			84.4	2203	69	2250	74	14	18	4	47

文 庫 通 信 〈279号〉

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、２万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでＰＤＦもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。　以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演より

◎「喜びや感動が可能性を引き出す～遺伝子ONの生き方」	村上和雄　2010　4p（D.2790）
◎「危機における決断～戦国武将に学ぶ」	津本　陽　2010　2p（D.2660）
◎「資本主義はなぜ自壊したのか『日本』再生への提言」	中谷　巌　2010　4p（D.2660）
◎「笑いの処方箋～笑いと長寿の科学」	昇　幹夫　2010　2p（D.2660）
◎「野球を通して人を育てる」	王　貞治　2010　4p（D.2650）
◎「あたり前の暮しを求めて」	倉本　聰　2010　15p（D.2510）
◎「世界の構造転換と日本の進路－2010年への視座」	寺島実郎　2010　2p（D.2580）
◎「この国の行方」	櫻井よしこ　2010　2p（D.2670）
◎「北海道の《食》の大いなる可能性、再発見!」	小泉武夫　2010　14p（D.2500）

［上記申込先：ロータリー文庫（コピー／ＰＤＦ）］

ロータリー文庫

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後5時　　休館＝土・日・祝祭日

国際ロータリー第2740地区

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2010－2011年度ガバナー　高 原 武 彦

ガバナー事務所

〒844-0027　佐賀県西松浦郡有田町南原丁175-5

TEL:0955-25-9110　FAX:0955-25-9120

背景の写真は日本磁器発祥の地「泉山磁石場」

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010−2011年度
国際ロータリー第2740地区　ガバナー　高　原　武　彦

地域を育み、大陸をつなぐ

CONTENTS

高原武彦ガバナー …… 1
ガバナー補佐・リレー随想 …… 2
国際親善奨学生候補者第２回研修会報告 …… 3
国際親善奨学生　学生募集 …… 4
ロータリー国際大会　参加募集 …… 5
社会奉仕部門後期セミナー開催 …… 6
我がクラブ No.1 卓話　第３回 …… 7
地区交換学生 Xmas Party と来日学生送別会開催 … 8
国際親善 奨学生報告書 …… 9・10
新入会員紹介 …… 11
寄付者紹介 …… 12
ハイライトよねやま …… 13・14
会員数・出席者報告 …… 15
米山記念奨学会寄付金明細表 …… 16
ロータリー財団クラブ別寄付額 …… 17
文庫通信 …… 18

有田の宝物⑦
陶都 有田の街並

有田で「内山」と呼ばれる地区には、窯元、商人等によって江戸時代より、明治、大正、昭和の初期に渡り、その時代を代表する九州で最も質の高い多用な漆喰塗の町家や洋風建築、洋館が建てられ、変化に富んだ街並を形成しております。これらの建物は、すぐれた歴史遺産であり、町民が誇りとする街並です。

vol.8
2011.2.1

2月は 世界理解月間です ロータリーの友を読もう

2010年～2011年
ガバナー 高 原 武 彦

1905年2月23日　ポール・ハリス（弁護士）、ガスターバス・ローア（鉱山技師）、シルベスター・シール（石炭商）、ハイラム・ショーレ（洋服仕立業）の4人がシカゴで初めて会合した日で、ロータリーの創立記念日であり、世界理解と平和の日と定められています。この国際理解と友情と平和へのロータリーの献身を特に認めて2月23日から一週間を「世界理解と平和週間」としてロータリーの奉仕活動を強調して行くことになっています。

青少年交換留学、財団国際親善奨学生、米山記念奨学生を通して相互理解を深め、より平和な世界をつくる担い手とリーダーを養成し、また水、保健、識字率向上 等のロータリー財団の奉仕を通して地域を育み、大陸をつないで親睦、理解、平和という大きな目標に向かって少しづつでも貢献し続けて行きたいものです。

2009年、2010年のロータリーの友2月号、世界理解月間特集に

○ ＵＮＨＣＲで活躍する元ロータリー財団奨学生、ロータリー世界平和フェロー
○ 世界理解と平和に貢献するロータリー世界平和フェロー

のテーマで記載があっていました。「ＵＮＨＣＲ」はUnited Nations High Commissioner for Refugeesの頭文字で日本語では「国際難民高等弁務官事務所」と呼ばれています。国連難民高等弁務官といえば、ロータリアンの皆様は　緒方貞子さんをすぐに思い浮かべますが、1991年から2000年まで10年間　世界の難民の帰還、再定住支援等　色々の問題解決に携わられておられたことはご承知の通りです。

緒方貞子さんの後に続いて 8人の日本女性がＵＮＨＣＲで活躍しておられ、又ロータリー世界平和フェローとして、どのようにして世界の平和を達成するのか、いかにして戦争をなくしていくのか勉強しながら 紛争被災地域、電気もトイレもない地方をも駆け巡って献身的に働いている日本女性の方々の記事であり、その中に「生涯を通して世界平和に貢献する仕事に従事していく覚悟で、困難な長い道のりですが、一生をかける価値がある。」という言葉があり大変感動させられました。

2011年2月号の特集も期待しています。世界理解のために!

ガバナー補佐・リレー随想

第６グループガバナー補佐　志　久　雄　三

新しい年となり、ガバナー補佐の期間もあと僅か５ヶ月となりました。

第6グループは、佐世保南クラブ、北クラブ、中央クラブ、東南クラブ、ハウステンボス佐世保クラブ、東クラブの６クラブであります。１２月までにどこのクラブも２回以上の訪問をさせていただきましたが、いずれのクラブに於かれましても、それはそれは暖かく歓迎していただき感謝致しております。

巷間「ガバナー補佐なんて受けるもんじゃなかよ…」と言われているそうですが、決してそんなことはございません。ガバナー補佐を指名される方であれば、誰でも自分を磨きながら楽しく体験をさせていただけるものと確信しております。

私、ロータリーは色んな人と又、色んな事柄との出会いだと考えております。素晴らしい人との出会いで自分が成長し、後日今度はあの人と出合ってよかったと思われるような人物になれたら
理想だと思っております。

国際ロータリー財団国際親善奨学生候補者第2回　研修会報告

財団奨学・学友委員長 有田 信一

前田博憲　地区国際奉仕統括委員長と石坂和彦　地区財団委員長の挨拶で、第２回研修会が開始されました。

３人の奨学生候補生（参照：奨学生候補者の留学地区と大学）と、顧問ロータリアンとして、長崎西ＲＣの榎本延光君、佐賀ＲＣの大坪恵介君、諫早多良見ＲＣの梅田裕一君（顧問ロータリアン）と学友の古井陽子さん（2008～09　国立ガーナ大学）と戸上真由子さん（2003～04　ウエールズ大学）に出席していただきました。

研修会次第は以下の通りです。
1．奨学生／奨学生候補者の現状報告　有田　信一　委員長
2．奨学生の出発までの準備　　有田　信一
3．過去のトラブル事例紹介　　笠　　慶宣　委員
4．ロータリー用語について　　野口　道生　委員
隅　康二委員の司会で、研修会は楽しく、進行されました。

１．奨学生／奨学生候補者の現状報告の報告では、現在、活躍中の国際親善奨学生の現状と下記の３名の奨学生候補者の現状の報告が行われました。

今年の候補者は、例年よりも早く、留学先の大学も下記のように決定しました。

推薦ＲＣ	留　学　先	希望専攻科	候補者名
長崎西ＲＣ	ライデン大学（オランダ）(1699地区)	Dutch Studies	池田　加奈
佐賀　ＲＣ	リーズ大学（イギリス）(1040地区)	英語教授法	熊本加奈子
諫早多良見ＲＣ	リーズ大学（イギリス）(1040地区)	通訳・翻訳	澤部　涼子

２．奨学生の出発までの準備では、RIのコーディネーターとの連絡をしっかり取る事、スポンサーRC（長崎西、佐賀、諫早多良見RC）との交流を更に深める事、体調管理には十分努めるなどを伝えました。
３．顧問ロータリアンの方々には、奨学生候補者をクラブの全員に紹介しほしいこと、留学に際して、名刺やバナーの手配をお願いしました。
４．最後の研修会となる第３回研修会で行われる予演会（留学先で行うプレゼンテーションの練習）の内容についての意見交換も行いました。

３人の顧問ロータリアン、学友の皆さん、委員の皆さんそして前田博憲統括委員長と石坂和彦財団委員長からも適切なアドバイスをもらい、有意義な研修会となりました。

ロータリー財団国際親善奨学生

学生募集

2012～2013年度派遣

地域を育み、大陸をつなぐ

1学年度国際親善奨学金は、海外への1年間の留学のために一律27,000米ドルの奨学金を授与されます。この奨学金は、往復交通費、授業料と学費、下宿費、教材費の関連費用に充てることができます。

～資格条件～

- 第2740地区[長崎県・佐賀県内（鳥栖を除く）]に本籍、居住地、通学先、勤務先のいずれかがあること。
- 2012年6月末までに大学課程2ヶ年修了しているか、高校卒業後2ヶ年間その専門の職業に従事していること。
- 留学志望国の言語に堪能であること。

～申請方法～

www.d2740.org（国際ロータリー第2740地区）より申請書をダウンロード、もれなく記入し、地区内各ロータリークラブへ提出してください。

地区内各ロータリークラブの情報は）国際ロータリー第2740地区HP www.d2740.org のクラブ情報を参照してください。

（申請期間：平成23年1月21日～4月21日）

面接試験：平成23年6月5日㈰

～問い合わせ先～

国際ロータリー第2740地区ガバナー事務所

E-mail: ri2740takahara@triton.ocn.ne.jp

Tel: 0955-25-9110

ぜひご参加ください

楽しい分かち合いのときを、再び

ロータリー国際大会は、ユニークかつ特別な行事です。このたび、私の大好きな都市、ニューオーリンズで開催される2011年RI国際大会にロータリアンとゲストの皆さまをお誘いすることができ、とても光栄に感じております。

ニューオーリンズは、米国の歴史的都市であるだけでなく、立派なコンベンションセンターを誇る現代的な都市でもあります。ハリケーン災害からの劇的な復興を遂げ、以前にも増して多くのレストランやバーが立ち並ぶニューオーリンズが、皆さまをお待ちしております。

世界的に有名なフレンチ・クオーター地区は、年間を通してマルディグラの雰囲気につつまれ、通りは、ビートを刻み、リズムに乗った音楽であふれかえっています。きっとニューオーリンズの醍醐味をご体験いただけることでしょう。ジャズの発祥地でもあるニューオーリンズは、どなたにでもお楽しみいただける魅力的な都市です。

私にとって、ニューオーリンズは特別な場所です。1961年私は、ロータリーの奨学生として、ケープタウン大学に留学するために、この地の港から貨物船に乗り込み、南アフリカへと向かいました。貨物船がミシシッピ川に架かるビック・ブリッジの下をくぐり抜けたとき、新大陸、新しい文化、新しい国々に向けて、私の旅が始まったのです。そしてこの旅は、一生涯続くものとなりました。

RI会長となった今、驚くべき偶然にも、私がロータリー奨学生として船出したこの橋のたもとにあるコンベンションセンターでニューオーリンズ国際大会が開催されます。私は、ロータリーでの50年間の活動を、世界各地からやって来たロータリアンの皆さまと祝福できることを楽しみにしております。

ロータリアンは、世界をよりよい場所に変えています。世界でどの団体よりも秀でた活動を行っているロータリーの功績を、ニューオーリンズで共に祝いましょう。

レイ・クリンギンスミス（2010-11年度RI会長）
ジュディー・クリンギンスミス

地域を育み、大陸をつなぐ

RI2740地区2010～2011年度

社会奉仕部門後期セミナー開催

2010年12月4日(土)　有田ポーセリンパーク シアター館にて

社会奉仕地区委員　ハウステンボス佐世保RC　松　田　裕　三

師走に入った多忙の中、地区５７RCの会長、委員長の参加による後期セミナーが開催されました。堤光昌委員（佐賀）の司会、高原ガバナーの点鐘、田島英夫地区委員（長崎北東）による出席者の紹介で開始。

高原ガバナーよりセミナーへの参加、各クラブへの訪問、及び盛況だった地区大会に関しての御礼の後、社会奉仕の活動については、マンネリ化しないよう、また順序良く進めていくようとのアドバイスの上、実りある委員会の討議を期待する挨拶がありました。

増崎幸一郎委員長（伊万里）からは年度後半の委員会活動の援助として５７全クラブからの社会奉仕委員会のアンケートをまとめたこと、今後の有効な活用を期待し、今委員会で２０ほどのクラブより発表をお願いしている旨の説明がありました。

次に、岩永信昭ガバナーエレクトによる基調講演がありました。RIの今後の体制やビル　ゲイツ財団のポリオ撲滅への3億5,500米ドルの寄贈などの話題のあと、CLP（クラブリーダーシッププラン）と社会奉仕の理念について以下の講話がありました。

●CLP（クラブリーダーシッププラン）・・・手続要覧２００７より

RIが近年推奨し、国内でも多数のクラブで採用されている。①クラブ管理　②会員増強　③広報　④奉仕プロジェクト　⑤ロータリー財団　以上の５大委員会の構成となっている。会員増強や財団寄付などRIの指向や目的がはっきりしていることや、会員数の少ないクラブには適しているなどのメリットはみられるものの、従来からの四大奉仕の概念が薄れていることや、委員数の偏重などデメリットもみられる。

●決議２３－３４（１９２３年決議３４号）

ロータリーに置ける社会奉仕活動の方針を表すもので、①ロータリーは人生哲学であること　②奉仕の理論を団体で学び、実際例を団体で示し、各人が個人として実践し、社会に示すこと　③奉仕することは行動すること　④クラブは自主性を持つこと　⑤個人の活動を基本に団体としての結果をしめすこととしてある。

また、岩永ガバナーエレクトから次年度の主なスケジュールと地区大会を２０１２年４月に予定しているとの連絡がありました。

この後、２０１０～２０１１年度の地区内５７クラブの社会奉仕活動のアンケート集計に基づいて、指名のあった２０クラブの会長または社会奉仕委員長から、活動の理念、実施状況の具体的な発表がありました。年数を重ねた活動を継続しているクラブには大きな評価と敬意を感じるとともに、それぞれの地域社会の状況や各クラブの人的、財的体力により、活動内容は特性があります。環境美化（清掃）、地球環境問題、音楽界・スポーツ大会の支援、募金、老人・障害者などの施設訪問、薬物乱用防止、高校生就職支援など活動の範囲は環境保全、地域文化・歴史、福祉、教育と広く展開されています。このアンケートはクラブ毎の特性をもった活動状況をよく示しており、今後の水平展開による各クラブの社会奉仕活動の活性化が期待されます。

第3回
我がクラブNo.1卓話

工場経営の知識

佐賀西ロータリークラブ　**山　口　俊　之**
㈱戦略情報センター　代表取締役
（工場情報活用コンサルティング）

製造業の経営にはその他の業種の経営より多くの知識が必要です。それは工場経営の知識です。

工場というのは、“モノづくりの場”だけではなく、納期（D）と品質（Q）と原価（C）をコントロールする“管理の場”でもあります。したがって、工場の経営に当たっては、納期をコントロールする生産管理の知識と、品質をコントロールする品質管理の知識と、そして原価をコントロールする実績原価管理の知識が不可欠です。

また、製造業の利益は３つあるとされています。第１の利益は「営業利益」です。これは売価と製造原価との差の利益のことです。売価は市場で決まるか取引先との力関係で決まりますのでメーカー側の自由にならないばかりか、長い目でみると、売価は競争によって月日を経るごとに安くなっていきます。その結果、製造原価が一定だとすればたちまち営業利益は得られなくなります。

第２の利益は「直接費圧縮利益」です。製造原価は直接費と製造間接費から成り立っていますが、この内の直接費(直接原材料費、直接工数)を圧縮して製造原価を引き下げて利益を出すもので、具体的な手法としてはVA(価値解析)、IE（産業技術）、自動化・省力化があり、これら手法の知識を持って取り組まなければなりません。

第３の利益は「管理利益」です。これは、コントロール管理がうまくいったら得られる利益で、製造現場に潜むムリ・ムラ・ムダを解消できれば利益になるものです。ムリとは飛び込み、割り込み、特急といった仕事を生産現場に強いるもので、これをやれば生産現場の生産性は極端に悪くなります。ムラとはモノづくりの作るたびごとの品質のバラツキ、原価のバラツキ、工数のバラツキのことで、このバラツキを低く抑えることができれば、大きな利益になります。そしてムダとはロスのことで、製造現場においては時間のロス、材料のロス、不良のロスなどがあり、これらのロスを抑えてモノづくりできれば、利益が得られます。

昨今の日本の製造業をみれば、第１の利益が潤沢に得られている企業はほとんど皆無で、第２の利益についてもVAもやった、IEもやった、自動化もやれるところはやり尽くしたといった企業が大半ですが、第３の利益の追求に取り組んでいる企業はまだわずかしかありません。

このような工場経営の知識と利益の知識のもとで、自社の工場経営にとってどの利益のために何をなすべきかが明らかになることでしょう。

（佐賀西RC　10月4日例会で・同RC会員）

大募集!!
新企画「我がクラブNo.1卓話」

「ワクワク ドキドキ 楽しいロータリー!」にする為には、毎回の卓話の充実が不可欠です。新企画は各クラブより「これぞ卓話!」と思われるものを募集して掲載いたします。優秀卓話は「ロータリーの友」に提案し掲載を依頼する予定です。
（文字数800～900文字）

「月信」委員長　石川慶藏

地区交換学生Xmas Partyと来日学生タミカの送別会開催

YEC委員長 瀬戸口 智彦

日時　2010.12.18
場所　ＨＴＢ　日航ホテル

1）　12月地区委員会
出席　高原Ｇ　福田地区副幹事
地区委員　瀬戸口委員長　若杉　川渕
戸村　相内（専任事務）
議題　①　インド派遣学生の現況報告
現在事態は改善し学生も落ち着きつつあり日本の家族も安心しています。
②　当地区委員会：インド派遣　目的　竹馬裕美さんの状況確認１月予定

2）　タミカの送別会・Xmas party
出席　高原Ｇ　福田地区副幹事　岩永ＧＥ　中野地区幹事Ｅ
地区委員会：瀬戸口委員長、戸村、川渕、若杉、事務専任　相内
クラブ関係者：柳田、大浦（佐世保南）関（雲仙）大石（諫早北）樋口（諫早南）
ホストファミリー：山本、川渕、松田　徳田、浜田、山口、竹馬夫妻
ＲＯＴＥＸ：松永

来日学生：　タミカ　プージャ　ケビン　キヤ
派遣学生候補：　大浦貴史　大浦志穂　樋口香奈　大石里香
司会・進行：　若杉
1　高原ガバナー挨拶
2　岩永ＧＥ　乾杯
2　瀬戸口地区委員長挨拶
3　タミカ　別れの言葉（日本語）
4　プージャインド舞踊・タミカ日本舞踊
5　ホストロータリークラブ代表
6　食事 とプレゼント交換
（ビンゴゲーム）
7　集合写真　相内啓子
8　閉会の言葉　　福田地区副幹事

報告書

ロータリー財団国際親善奨学生

赤羽　桂子

派遣クラブ　長崎中央ロータリークラブ
受入クラブ　パディントンロータリークラブ

皆様、新年明けましておめでとうございます。
報告が遅くなりまして申し訳ありません。
今回は私のロンドン生活が始まってから一学期が終わるまでの12月の報告をさせていただきます。

学生生活について

私の大学はUniversity College London(UCL)といって、ロンドンの本当に中心街に位置しています。この大学は、オックスフォードやケンブリッジ大学が英国人、特に上流階級の人々のみにしか開かれていないことに異議を唱え、様々な国からの優秀な若者を集めて世界で活躍できる人材を育てよう、という考えの元に作られました。有名なところではダーウィンの「進化論」はUCLで発表され、日本人では夏目漱石や小泉元総理がこの大学で勉強しています。

私はこのUCLのInstitute of Child Healthという医学部の中でも小児医療、小児保健に特化した施設の中で勉強しています。この施設の横にはGreat Ormond Street Hospitalというイギリス一大きな小児専門病院が併設していて、ここでイギリスの小児医療の臨床と研究が同時に行われている非常にアカデミックな環境です。勉強はとても大変です！毎日朝から夕方まで授業があり、毎授業の前に予習として医学論文を5，6本読まないといけないのです！そして授業では自分の考えをプレゼンテーションし、それについてディスカッションをしないといけません。私は唯一の日本人で、ほとんどの学生が英語はペラペラなので語学の面でついていくのがとても大変です。ただ本当によい仲間に囲まれて毎日楽しく過ごしています。

ロータリーについて

私はロンドン1130地区のパディントンロータリークラブの皆様がホストカウンセラーとして私の面倒を見てくれています。こちらでのカウンセラーは、なんと先ほどお話したGreat Ormond Street Hospitalで働いている小児科の女性の先生（写真9ページ下）でした。すごく優秀な先生なのですが、とても気さくで私が同じ小児科医ということもあり、「あなたは学生だけど私のColleague（同僚）だから」と言ってくれます。クラブのプレジデントも本当に私の両親かのようにいつも連絡をしてくださり、クラブのクリスマス会にも招待してくださいました。11月に初のプレゼンテーションを行いました。英語でのプレゼンテーションに苦労しましたが大変好評でした。

ロータリーでは様々なイベントが開催されました。

9月にはオックスフォードで今年度のイギリスとアイルランドに留学している国際親善小学生が100人ほど集まる、年に一回の大きな会が開催されました。学生はアメリカ、カナダが7割くらいで、日本人は10人くらいでした。2泊3日のオックスフォード滞在でしたが、100人の学生全員がなんとOxfordのロータリアンの自宅にお世話になりました。イギリスの人たちは家に招待するのが本当に好きなようで、私もとても素敵なご夫妻（写真右上）のホスピタリティーにとても感動しました。お二人はちょうど私の両親の年齢と近く、子供のようにかわいがってくださいました。

今後の予定

1月10日から2学期が始まりました。これから4月まで休みなしの勉強漬けの毎日が待っています。勉強している内容はとても興味深く、また世界の第一線で活躍しているスペシャリストが講義をしてくれるので授業中に寝ることはもったいなくてできません。4月からは論文を作成し、9月に卒業の予定になっています。論文の内容は私がマラウィで経験した栄養失調の子供に焦点を当てる予定です。その間にロータリーで10回のプレゼンテーションが待っています。それではまたロンドンから報告をさせていただきます。

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介いたします。　※氏名の下部は、勤務先、趣味

佐賀南RC
石川　　寛 君
NTT西日本　九州佐賀事業部

佐世保南RC
宇野　隆徳 君
㈱エフピー

長崎南RC
梶村　龍太 君
長崎清和法律事務所　弁護士
ラグビー、読書

佐賀北RC
中尾　勇人 君
株式会社　スイソサム
ゴルフ

佐世保東RC
鶴﨑　耕一 君
長崎国際大学
読書

長崎北RC
山本　清和 君
本間建設㈱

長崎RC
松本　容治 君
長崎電気軌道㈱
ゴルフ

長崎北東RC
前田　秀樹 君
(有)共栄
ゴルフ

佐賀RC
嬉野　勝利 君
九州分教サービス㈱
沖釣り、アウトドア

ロータリーの偉人に学ぶ 元気の出る言葉

～松下幸之助氏の言葉より～

頭は低く　志は高く

感謝の心を失うと、人は他人への配慮や思いやりに欠けた尊大な振る舞いをするようになる。しかし、それでは、周りの支持、支援は得られず、ついには成功への道も閉ざされてしまう。卑屈になれというのではない。大切なのは、志は高く掲げつつ謙虚に歩むことである。

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介いたします。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

ロータリー財団寄付関係

種　類	氏　名	クラブ名
ベネファクター	村山　史男	佐世保南RC
マルチプル	濱崎　一男	長崎中央RC
	上田　惠三	長崎北RC
	谷村　博志	長崎北RC
	阿部　芳男	長崎北RC
	松山　要	長崎北RC
	常多　勝己	長崎北RC
	山本　昭夫	長崎東RC
	中野　哲生	長崎北東RC
ポールハリスフェロー	富永　博美	佐世保中央RC
	後田　明子	佐世保中央RC
	川島　千鶴	佐世保中央RC
	吉原　國康	雲仙RC

種　類	氏　名	クラブ名
ポールハリスフェロー	石田　直生	雲仙RC
	榎本　延光	長崎西RC
	帯屋　徹	大村RC
	森本　英敏	大村RC
	中根　允文	長崎RC
ポリオプラス	岡部　景光	有田RC
	野村　和義	佐世保中央RC
	佐賀大和ＲＣ	
メモリアルコントリビューター	森　宏明	松浦RC
	朝永　春郎	松浦RC
	清水　祐一	大村北RC
	安達美枝子	長崎北RC

米山記念奨学会寄付関係

種　類	氏　名	クラブ名
メジャードナー	江頭　泰幸	佐賀北RC
マルチプル	岩崎　修一	諫早北RC
	安達　一郎	長崎北RC
功労者	崎元　英伸	佐世保中央RC
	平岩　義明	佐世保中央RC
	山田　和弘	諫早RC

種　類	氏　名	クラブ名
功労者	平田　利之	諫早北RC
	北口　功幸	長崎西RC
	飯田　満治	佐世保RC
	古賀　巖	佐世保RC
準功労者	迫　龍二	長崎東RC

7号(1月号)の寄付の種類が間違っておりました。訂正してお詫び致します。

種　類	氏　名	クラブ名
年次寄付　→　ベネファクター	山田　佑子	長崎出島RC
年次寄付　→　マルチプル	阿保　守邦	東長崎RC
年次寄付　→　マルチプル	森永　太	佐賀西RC
年次寄付　→ポールハリスフェロー	吉川　茂	東長崎RC
年次寄付　→ポールハリスフェロー	堤　貞善	佐賀西RC
年次寄付　→ポールハリスフェロー	大塚　浩司	佐賀西RC

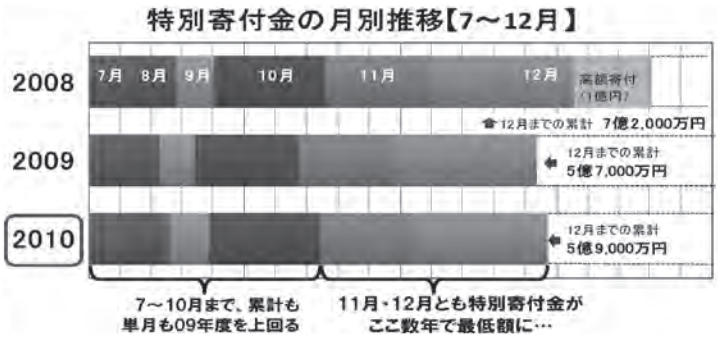
訂正とお詫び　7号（1月号）年頭のご挨拶　ガバナーエレクト 岩永信昭様の肩書き国際ロータリー第2740地区とすべきを、国際ロータリークラブ2740地区と印刷表記しておりました。訂正してお詫びします。

2011 年 1 月 13 日発行［月刊］
（財）ロータリー米山記念奨学会

ハイライトよねやま 131

1 寄付金速報 ― 2011 年もよろしくお願いします！ ―

12 月までの寄付金は前年同期と比べて 1.7%増、約 1,370 万円の増加となりました。普通寄付金が 0.3%減、特別寄付金が 2.5%増と、特別寄付金は増加のまま推移していますが、12 月単月で比較すると、特別寄付金は直近 5 年の間で一番低い数字となりました。



なお、昨年末、「2010 年度 普通寄付金のお願い」を全クラブ宛にお送りしています。普通寄付金は当会事業の安定財源となる大切なご寄付です。毎年金額が変動する特別寄付金だけでは、公益事業の安定的・継続的な財源とはなりません。ぜひ当会の事業内容をご理解の上、普通寄付金のご送金もよろしくお願い申し上げます。

2 台湾学友会総会報告 ― 広がる日本人支援の輪 ―

台湾米山学友会（（社）中華民国扶輪米山会）の年次大会が 12 月 11 日、台北市内で開かれました。台湾学友会は 1983 年結成と最も古い米山学友会であり、2002 年には台湾で社団法人の資格を取得。現在、第 5 代理事長を務める許國文さん（2005-06 年度第 3490 地区ガバナー）のリーダーシップのもと、日本との交流や奉仕活動を活発に行っています。

今回の総会では、ポリオによる肢体不自由のハンディキャップを背負いながら、発明家として成功を収めた劉大潭氏による感動的な講演が行われました。また、恒例の新入会員紹介のほか、台湾学友会が実施する日本人若手研究者支援奨学金の第 1 期生、山下世莉さんと、第 2 期生の笹川優子さんが登壇して、支援に対する感謝を述べました。学友会では、今年募集する第 3 期生から 2 名に増やす予定とのことです。

同日には、昨年発足した台湾のＳＹ－Ａ奨学金学友会の総会も開かれました。海外学友会推薦奨学金（旧ＳＹ－Ａ奨学金）を受けて台湾に帰国した元奨学生によって構成される同学友会からは、「ワーキングホリデーで来台する日本の若者を支援する独自の奉仕活動を始めた」との嬉しいニュースが報告されました。1 年間、学友が支援対象の若者のカウンセラーとなってホームステイで住居を提供するほか、仕事を探す手伝いや、文化体験や交流の機会を設けて、日台親善交流の促進を図る制度で、すでに 1 名の日本人青年が支援を受けて、台湾での生活をスタートさせました。

台湾の学友たちの深い感謝の気持ちを反映して、日本人支援のプログラムは広がりを見せつつあります。

3 韓国学友会のホームページができました

韓国学友会（会長：柳京子氏）の公式ホームページが開設されました。

昨年5月の総会から実質的な再スタートを切った韓国学友会では、8つの支部を設置したほか、職務ごとに理事をおくなど、堅固な組織づくりに努めています。今回開設したホームページでは、理事会やイベントの告知や報告、会員同士が交流を図る掲示板などが用意されています。ほとんどが韓国語で書かれていますが、「ABOUT US」の会長挨拶や役員名簿、「COMMUNITY > NEWSLETTER」にある写真など、ぜひ一度ご覧ください。

韓国学友会ホームページはこちら → http://rotary-yoneyama.kr/

4 第2650地区米山学友会が財団学友会と合同交流会

第2650地区（滋賀・京都・奈良・福井）米山学友会では初の試みとして、同地区財団学友会との合同交流会を企画。12月26日、京都大学・百周年時計台記念館を会場に、同地区の栗田幸雄ガバナーのほか、行政や大学の要職者らを来賓に迎えて、学友やロータリアン、一般留学生など約120名が集まり盛大に開催されました。

学友による歌や演奏、ダンスの披露で和やかに会が進む中、書道家として活躍する米山学友の張莉さん（中国／2003-05／京都洛北ＲＣ）がロータリーへの感謝の言葉を筆でしたためるパフォーマンスを披露。『恩澤永念』(“恩に報いる気持ちを生涯忘れない”の意味）の書は栗田ガバナーに、『飲水思源』(“物事の基本を忘れず、世話になった人の恩を忘れてはならない”の意味）の書は当会の坂下事務局長にそれぞれ贈呈されました。

最後は、両学友会メンバーが「We are the World」を歌い、会を締めくくりました。第2650地区米山学友会会長の周瑋生さん（中国／1993-95／京都洛中ＲＣ）は、「“感謝”と“交流”をキーワードに初めて開催した米山・財団両学友会の合同交流会ですが、第2650地区の全面的なご協力のおかげで成功裏に終わらせることができ、感無量です。来年以降もより大きく交流の輪を広げられるよう続けていきたい」と、語りました。

確定申告用領収証　～1月末日までにクラブへお届けします～

昨年1年間（1～12月）で2,000円以上の特別寄付をされた方には、1月末日までに（確定申告に間に合うように）、認定証の写しが付いた申告用領収証をロータリークラブ宛に送付します。

※平成22年度税制改正により、5,000円→2,000円となりました

(財)ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15
黒龍芝公園ビル3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津・鞏

2010年　11月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数 7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減	新入	退会	累計
第1グループ	佐賀	4	80.3	61	0	65	0	1	1	0	4
	小城	4	65.0	27	2	26	2	0	0	0	-1
	牛津	4	84.2	30	1	30	1	0	0	0	0
	多久	3	90.6	41	4	41	4	1	1	0	0
	佐賀大和	4	72.9	24	2	24	3	0	0	0	0
	小計		78.6	183	9	186	10	2	2	0	3
第2グループ	佐賀西	4	81.0	46	0	48	0	0	0	0	2
	佐賀北	3	87.9	31	3	32	3	0	0	0	1
	佐賀南	4	75.6	38	1	39	1	0	0	0	1
	神埼	4	81.4	32	0	34	2	1	1	0	2
	佐賀空港	3	56.0	12	1	14	1	0	0	0	2
	小計		76.4	159	5	167	7	1	1	0	8
第3グループ	有田	4	87.8	36	0	37	0	0	0	0	1
	武雄	5	89.8	53	4	53	4	0	0	0	0
	鹿島	4	89.8	39	3	41	3	0	0	0	2
	嬉野	4	90.2	23	1	23	1	-1	0	1	0
	大町	4	70.0	20	0	20	0	0	0	0	0
	白石	3	66.7	12	0	12	0	0	0	0	0
	太良	4	75.0	8	0	8	0	0	0	0	0
	小計		81.3	191	7	194	8	-1	0	1	3
第4グループ	唐津	3	90.4	53	0	53	0	0	0	0	0
	伊万里	3	93.6	30	0	31	0	0	0	0	1
	唐津東	3	91.3	52	0	53	0	0	0	0	1
	唐津西	3	84.5	33	0	33	0	0	0	0	0
	伊万里西	1	94.2	44	0	46	0	0	0	0	2
	唐津中央	3	89.4	32	4	33	4	0	0	0	1
	小計		90.6	244	4	249	4	0	0	0	5
第5グループ	佐世保	3	98.5	72	0	75	0	0	0	0	3
	平戸	4	92.3	35	3	38	3	0	0	0	3
	佐世保西	4	96.6	24	0	25	0	0	0	0	1
	北松浦	3	94.1	22	0	21	0	-1	0	1	-1
	松浦	4	86.6	25	1	28	1	0	0	0	3
	小計		93.6	178	1	187	4	-1	0	1	9

※上記の表の新入・退会は**当月中**の数字で、累計は
7月1日から11月末までの増減です。

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数 7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減	新入	退会	累計
第6グループ	佐世保南	4	100.0	69	0	72	0	-1	0	1	3
	佐世保東	4	95.2	21	0	21	0	0	0	0	0
	佐世保北	4	98.3	43	0	45	0	0	0	0	2
	佐世保中央	4	100.0	40	2	40	2	0	0	0	0
	佐世保東南	3	62.8	26	2	26	2	0	0	0	0
	HTB佐世保	4	75.6	24	4	23	4	0	0	0	-1
	小計		88.6	223	8	227	8	-1	0	1	4
第7グループ	大村	4	82.4	48	3	49	3	0	0	0	1
	島原	4	81.9	34	2	34	2	0	0	0	0
	雲仙	3	88.1	26	0	28	0	0	0	0	2
	大村北	3	100.0	32	0	32	0	0	0	0	0
	島原南	3	70.0	21	1	21	1	0	0	0	0
	大村東	5	86.4	42	2	44	2	0	0	0	2
	小計		84.8	203	8	208	8	0	0	0	5
第8グループ	諫早	4	84.7	56	0	59	0	0	0	0	3
	諫早北	4	79.8	66	2	67	2	0	0	0	1
	諫早西	3	88.9	40	0	39	0	0	0	0	-1
	諫早多良見	4	79.9	36	0	36	0	0	0	0	0
	諫早南	5	68.8	27	6	25	5	1	1	0	-2
	小計		80.4	225	8	226	7	1	1	0	1
第9グループ	長崎	4	84.3	83	0	85	0	0	0	0	2
	福江	4	85.0	33	0	34	0	1	1	0	1
	長崎北東	3	83.7	47	6	48	6	0	0	0	1
	福江中央	4	99.1	28	0	28	0	0	0	0	0
	長崎西	4	76.7	58	0	58	0	0	0	0	0
	長崎琴海	4	72.9	18	1	18	1	0	0	0	0
	小計		83.6	267	7	271	7	1	1	0	4
第10グループ	長崎北	4	74.1	76	0	75	0	-1	0	1	-1
	長崎南	3	80.0	73	0	78	0	0	0	0	5
	長崎東	4	82.5	50	0	53	0	1	1	0	3
	東長崎	4	86.1	23	0	22	0	0	0	0	-1
	長崎中央	3	93.3	57	0	57	0	0	0	0	0
	長崎出島	4	73.6	51	12	52	12	0	0	0	1
	小計		81.6	330	12	337	12	0	1	1	7
合計			84.0	2203	69	2252	75	2	6	4	49

Vol.13 総集編追加資料

米山記念奨学会寄付金明細表(2009年7月1日～2010年6月30日)

(単位:円)

クラブ名	普通寄付金単価(年額)	2009/07月 - 2010/06月			会員数(1月1日)	一人当り平均寄付額	過去累計額		
		普通寄付金	特別寄付金	合計			普通寄付金	特別寄付金	合計
佐賀	6,000	387,000	200,000	587,000	66	8,893	10,800,000	15,610,000	26,410,000
小城	3,000	84,000	165,000	249,000	27	9,222	3,174,250	3,942,000	7,116,250
牛津	3,000	90,000	300,000	390,000	31	12,580	2,722,750	8,200,000	10,922,750
多久	3,000	126,000	0	126,000	42	3,000	2,317,500	3,900,000	6,217,500
佐賀大和	2,500	57,500	0	57,500	23	2,500	1,069,750	5,300,000	6,369,750
佐賀西	6,000	264,000	200,000	464,000	47	9,872	7,794,650	12,150,000	19,944,650
佐賀北	3,000	93,000	100,000	193,000	31	6,225	5,066,750	6,300,000	11,366,750
佐賀南	4,000	168,000	200,000	368,000	42	8,761	2,352,500	3,823,000	6,175,500
神埼	4,500	132,750	100,000	232,750	32	7,273	1,911,750	2,400,000	4,311,750
佐賀空港	4,000	48,000	0	48,000	15	3,200	582,900	0	582,900
有田	3,000	114,000	0	114,000	39	2,923	4,101,000	1,960,000	6,061,000
武雄	4,000	202,000	286,000	488,000	52	9,384	6,778,650	5,637,950	12,416,600
鹿島	3,000	123,000	100,000	223,000	40	5,575	4,931,450	5,080,000	10,011,450
嬉野	2,000	48,000	0	48,000	24	2,000	2,500,500	1,580,000	4,080,500
大町	2,000	40,000	0	40,000	20	2,000	3,227,000	2,860,000	6,087,000
白石	2,000	26,000	0	26,000	13	2,000	2,270,000	1,360,000	3,630,000
太良	2,000	16,000	0	16,000	8	2,000	510,000	2,000,000	2,510,000
唐津	2,500	127,500	200,000	327,500	52	6,298	5,800,070	8,300,000	14,100,070
伊万里	4,000	124,000	400,000	524,000	31	16,903	5,498,700	8,620,000	14,118,700
唐津東	2,000	104,000	100,000	204,000	53	3,849	4,479,750	6,735,000	11,214,750
唐津西	4,000	134,000	0	134,000	34	3,941	4,412,500	6,700,000	11,112,500
伊万里西	4,500	196,000	240,000	436,000	43	10,139	5,328,500	7,544,000	12,872,500
唐津中央	2,000	65,000	150,000	215,000	32	6,718	1,534,000	6,410,000	7,944,000
佐世保	3,000	225,000	600,000	825,000	77	10,714	8,393,800	71,986,000	80,379,800
平戸	4,000	136,000	100,000	236,000	35	6,742	4,320,450	10,352,435	14,672,885
佐世保西	2,000	50,000	132,000	182,000	25	7,280	4,485,450	17,140,000	21,625,450
北松浦	4,000	88,000	350,000	438,000	21	20,857	4,147,500	10,546,370	14,693,870
松浦	3,000	90,000	200,000	290,000	30	9,666	2,975,200	5,336,221	8,311,421
佐世保南	2,000	137,000	700,000	837,000	69	12,130	7,522,300	33,648,846	41,171,146
佐世保東	2,000	41,000	285,000	326,000	21	15,523	5,667,500	16,370,679	22,038,179
佐世保北	2,000	91,000	800,000	891,000	45	19,800	2,707,250	26,400,000	29,107,250
佐世保中央	2,000	78,000	200,000	278,000	38	7,315	2,459,000	5,300,000	7,759,000
佐世保東南	1,000	52,000	0	52,000	26	2,000	742,500	1,300,000	2,042,500
HTB佐世保	4,000	104,000	0	104,000	25	4,160	1,618,000	4,200,000	5,818,000
大村	4,000	204,000	300,000	504,000	51	9,882	5,089,350	4,284,000	9,373,350
島原	3,000	96,000	370,000	466,000	31	15,032	4,091,550	2,100,000	6,191,550
雲仙	4,000	104,000	110,000	214,000	26	8,230	3,908,250	4,669,500	8,577,750
大村北	3,000	96,000	100,000	196,000	32	6,125	3,040,000	5,790,000	8,830,000
島原南	3,000	66,000	100,000	166,000	22	7,545	1,560,500	800,000	2,360,500
大村東	3,000	126,000	200,000	326,000	42	7,761	1,921,500	3,880,000	5,801,500
諫早	1,500	82,500	600,000	682,500	58	11,767	5,617,250	11,300,000	16,917,250
諫早北	4,000	258,000	400,000	658,000	64	10,281	6,359,000	16,960,000	23,319,000
諫早西	3,000	118,500	200,000	318,500	39	8,166	2,571,750	4,700,000	7,271,750
諫早多良見	3,000	108,000	359,521	467,521	37	12,635	1,950,500	4,262,751	6,213,251
諫早南	3,000	79,000	100,000	179,000	26	6,884	1,339,500	1,300,000	2,639,500
長崎	5,000	416,000	480,000	896,000	86	10,418	14,151,850	27,698,658	41,850,508
福江	3,000	102,000	50,000	152,000	35	4,342	5,049,750	12,013,949	17,063,699
長崎北東	3,000	138,000	830,000	968,000	47	20,595	6,045,000	23,537,500	29,582,500
福江中央	3,000	88,500	550,000	638,500	30	21,283	4,403,500	15,288,647	19,692,147
長崎西	3,000	183,000	543,000	726,000	59	12,305	4,616,160	13,834,840	18,451,000
長崎琴海	2,000	41,000	100,000	141,000	20	7,050	1,022,500	4,333,830	5,356,330
長崎北	4,240	331,000	400,000	731,000	79	9,253	9,617,500	20,572,000	30,189,500
長崎南	4,000	308,000	1,040,000	1,348,000	76	17,736	10,845,050	24,985,000	35,830,050
長崎東	5,000	255,000	100,000	355,000	51	6,960	9,821,100	19,755,000	29,576,100
東長崎	3,000	75,000	100,000	175,000	25	7,000	3,037,250	7,530,000	10,567,250
長崎中央	3,000	169,500	470,000	639,500	58	11,025	3,176,000	8,669,000	11,845,000
長崎出島	2,000	100,000	625,000	725,000	50	14,500	1,267,000	6,655,000	7,922,000
その他	0	0	0	0	0		2,251,000	6,360,500	8,611,500
合計		7,406,750	14,235,521	21,642,271	2,253	9,605	246,956,680	580,272,676	827,229,356

Vol.13 総集編追加資料

ロータリー財団クラブ別寄付額(2009年7月～2010年6月30日)

(単価:ドル)

クラブ名	会員数	年次寄付目標	達成率	一人当り	年次寄付	使途指定寄付	恒久基金寄付	合　計
佐賀	66	6,900.00	61%	63.64	4,200.00	1,018.37	0.00	5,218.37
小城	28	1,000.00	56%	20.00	560.00	0.00	0.00	560.00
牛津	29	2,900.00	148%	148.48	4,305.91	1,000.00	0.00	5,305.91
多久	42	4,300.00	23%	23.81	1,000.00	0.00	0.00	1,000.00
佐賀大和	23	220.00	0%	0.00	0.00	230.00	0.00	230.00
佐賀西	44	4,800.00	113%	123.64	5,440.00	3,500.00	0.00	8,940.00
佐賀北	31	3,300.00	46%	48.85	1,514.26	2,222.22	0.00	3,736.48
佐賀南	42	4,500.00	44%	47.62	2,000.00	800.00	0.00	2,800.00
神埼	27	3,000.00	67%	74.07	2,000.00	0.00	0.00	2,000.00
佐賀空港	17	1,400.00	0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
有田	37	4,000.00	25%	27.03	1,000.00	2,000.00	0.00	3,000.00
武雄	49	5,200.00	119%	125.77	6,162.59	0.00	0.00	6,162.59
鹿島	42	4,200.00	128%	127.59	5,358.70	2,018.37	0.00	7,377.07
嬉野	24	2,400.00	10%	10.00	240.00	801.00	0.00	1,041.00
大町	21	2,500.00	8%	9.52	200.00	217.00	0.00	417.00
白石	13	1,400.00	0%	0.00	0.00	108.00	0.00	108.00
太良	8	800.00	0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
唐津	50	5,300.00	40%	42.08	2,104.00	0.00	0.00	2,104.00
伊万里	32	1,600.00	0%	0.00	0.00	1,000.00	0.00	1,000.00
唐津東	51	5,000.00	42%	41.25	2,104.00	18.37	0.00	2,122.37
唐津西	32	3,400.00	10%	10.47	335.00	0.00	0.00	335.00
伊万里西	44	1,020.00	0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
唐津中央	33	3,200.00	10%	9.85	325.00	0.00	0.00	325.00
佐世保	73	3,000.00	173%	71.23	5,200.00	18.37	0.00	5,218.37
平戸	32	3,500.00	96%	105.37	3,371.98	0.00	1,000.00	4,371.98
佐世保西	25	3,000.00	43%	52.00	1,300.00	0.00	0.00	1,300.00
北松浦	21	2,200.00	91%	95.24	2,000.00	2,000.00	1,000.00	5,000.00
松浦	30	3,000.00	67%	66.67	2,000.00	0.00	0.00	2,000.00
佐世保南	67	7,600.00	66%	74.63	5,000.00	0.00	1,000.00	6,000.00
佐世保東	20	2,100.00	159%	167.20	3,344.00	1,063.37	0.00	4,407.37
佐世保北	43	5,000.00	212%	246.65	10,606.00	0.00	1,000.00	11,606.00
佐世保中央	40	4,000.00	150%	150.00	6,000.00	1,000.00	0.00	7,000.00
佐世保東南	26	2,600.00	0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
HTB佐世保	26	2,900.00	0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
大村	51	5,200.00	160%	163.18	8,322.22	2,305.22	0.00	10,627.44
島原	32	3,300.00	110%	113.13	3,620.00	1,018.37	0.00	4,638.37
雲仙	26	0.00	0%	110.88	2,883.00	0.00	0.00	2,883.00
大村北	31	3,300.00	70%	74.84	2,320.00	0.00	0.00	2,320.00
島原南	19	2,000.00	0%	0.00	0.00	333.33	0.00	333.33
大村東	42	1,000.00	300%	71.43	3,000.00	1,000.00	0.00	4,000.00
諫早	55	6,000.00	59%	64.55	3,550.00	1,018.37	0.00	4,568.37
諫早北	65	6,600.00	70%	71.46	4,645.00	2,000.00	0.00	6,645.00
諫早西	40	4,200.00	65%	68.00	2,720.00	1,000.00	0.00	3,720.00
諫早多良見	35	2,035.00	145%	84.22	2,947.83	1,000.00	0.00	3,947.83
諫早南	27	612.50	176%	40.00	1,080.00	3,400.00	0.00	4,480.00
長崎	79	8,600.00	106%	115.00	9,085.00	2,219.70	1,000.00	12,304.70
福江	33	3,400.00	92%	94.89	3,131.52	1,000.00	0.00	4,131.52
長崎北東	46	4,800.00	52%	54.35	2,500.00	1,400.00	0.00	3,900.00
福江中央	29	3,000.00	114%	118.31	3,431.09	0.00	1,000.00	4,431.09
長崎西	60	6,100.00	72%	73.17	4,390.00	1,000.00	0.00	5,390.00
長崎琴海	21	2,300.00	65%	71.43	1,500.00	1,000.00	0.00	2,500.00
長崎北	78	8,000.00	67%	68.46	5,340.00	2,018.37	0.00	7,358.37
長崎南	78	8,000.00	116%	119.23	9,300.00	1,000.00	2,000.00	12,300.00
長崎東	50	5,500.00	93%	102.43	5,121.74	18.37	0.00	5,140.11
東長崎	25	2,700.00	8%	8.11	202.78	0.00	0.00	202.78
長崎中央	55	5,700.00	67%	69.00	3,795.00	2,000.00	1,000.00	6,795.00
長崎出島	50	3,060.00	114%	70.00	3,500.00	2,000.00	1,000.00	6,500.00
その他	0			0.00	16.67	2,427.18	0.00	2,443.85
合　計	2,215	206,647.50		74.07	164,073.29	48,173.98	10,000.00	222,247.27

文 庫 通 信 〈280号〉

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、２万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでＰＤＦもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。　以下資料のご紹介を致します。

ガバナー月信より

◎「例会の充実はクラブ会員による卓話から」	上野　操　2010　1p（D.2580）
◎「ロータリーは、新世代を育む場」	辰野克彦　2010　1p（D.2750）
◎「2010年から活動を開始する ロータリー・コーディネーター」	村上勘一　2010　1p（D.2540）
◎「職業奉仕はロータリーの根幹」	瀬下龍夫　2010　1p（D.2550）
◎「『論語と算盤』と職業奉仕」	飯村愼一　2010　1p（D.2550）
◎「職業奉仕月間にあたり」	玉屋亮平　2010　1p（D.2790）
◎「職業奉仕月間によせて」	関原亨司　2010　1p（D.2800）
◎「出席義務を考えるー ロータリー簡単図解その9」	鈴木章夫　2010　1p（D.2520）
◎「国際インナーホイールへの入会の勧め」	鈴木俊幸　2010　1p（D.2510）
◎「愈々次年度から GSEと青少年交換が始まる」	山﨑　勝　2010　1p（D.2720）

［上記申込先：ロータリー文庫（コピー／ＰＤＦ）］

ロータリー文庫

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後5時　　休館＝土・日・祝祭日

国際ロータリー第2740地区

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2010－2011年度ガバナー　高 原 武 彦

ガバナー事務所

〒844-0027　佐賀県西松浦郡有田町南原丁175-5

TEL:0955-25-9110　FAX:0955-25-9120

背景の写真は日本磁器発祥の地「泉山磁石場」

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010ー2011年度
国際ロータリー第2740地区　ガバナー　高　原　武　彦

地域を育み、大陸をつなぐ

CONTENTS

高原武彦ガバナー …… 1
ガバナー補佐・リレー随想 …… 2
国際協議会報告 …… 3
ロータリー雑誌月間 …… 4
新入会員紹介 …… 5
物故者・寄付者紹介・活動紹介 …… 6
我がクラブ No.1 卓話　第４回 …… 7
ハイライトよねやま …… 8・9
会員数・出席者報告 12 月 …… 10
文庫通信 …… 表紙裏

大町の宝物⑧
B級グルメ『たろめん』

「たろめん」は見た目ちゃんぽん。牛骨と豚頭肉のスープにうどん麺、生姜風味に海老が入り、野菜もたくさん入って、栄養バランスのとれた大町町にしかない麺料理です。

炭鉱時代から大町町の名物として親しまれてきた、この「たろめん」は、昭和39年先代の店を受け継いだ山本さんが「たろめん食堂」を開店。以来営業を続けてきたが、平成12年に閉店。たろめんは作られなくなっていたが、平成22年に大町町の活性化に寄与したいと山本さんの協力の下、復活された。現在、大町町内の飲食店８事業所が取り扱い店となり、平成22年12月から一斉に提供している。

vol.9
2011.3.1

3月は識字率向上月間
3月7～13日
世界ローターアクト週間

2010年～2011年
ガバナー 高 原 武 彦

もう一度ＲＩ会長強調事項を見てみよう。

1）平和と紛争予防、解決　　2）疾病予防と治療
3）水と衛生設備　　4）母子の健康
5）基本的教育と識字率向上　　6）経済と地域社会の発展

識字の問題は、日本では身近かでないため関心も薄いようだ。識字率向上が他のすべての強調事項と密接に繋がっていることがわかる。

非識字は貧困と女性が学校に行く機会を与えられていないことが主な原因と言われている。ポリオ常在国とも関連していて健康的生活、社会経済や政治的発展も反映している。

読み書き出来ない人は、子供を含めて世界人口の15% 約10億人いる【ユニセフ推定】
全世界のロータリークラブと協同で識字プロジェクトを実施している【国際読書協会】によると発展途上国だけでも1億1,300万の子供が学校に行けず読み書きを学んでいない。非識字の3分の2　約5億人が女性と言われている。

ロータリーでは学校建設や教師の研修、女性や囚人を対称に読み書きの基本を教えること等、さまざまなマッチング・グランド・プロジェクトが実施されている。
又、ロータリアンが開発した画期的方法「ＣＬＥ」で読み書きを授けて効果を上げているところもある。識字力を高めることに力を入れることにより世界平和への推進力となると思われる。
ＣＬＥ＝Concentrated Languages Encounter（集中言語能力助長）

3月13日は、世界ローターアクトの日です。
1968年3月13日ノースカロライナ州ノースシャーロットＲＡＣが認証されました。その2ヶ月半後日本第1号ＲＡＣが川越ロータリークラブの提唱で川越市にある国際商科大学（現東京国際大学）に出来ました。

今年2011年3月13日は、長崎ＲＡＣの40周年式典が行われます。
現在2740地区　佐賀ＲＡＣ　長崎北ＲＡＣ　諫早ＲＡＣ　長崎ＲＡＣ　唐津東ＲＡＣ　佐世保東ＲＡＣ　島原ＲＡＣ　鹿島ＲＡＣ　長崎東ＲＡＣ　長崎国際大学ＲＡＣ　計10ＲＡＣが「奉仕を通しての親睦」の理念のもと研鑽に励んでおられます。
【2740地区のロータリーの皆さんとＲＡＣの活躍にエールを贈りましょう！】

ガバナー補佐・リレー随想

第７グループガバナー補佐　笠　井　和　幸

「趣味は何ですか？」と尋ねられると、最近は「家庭菜園です。」と答えることが多くなりました。花作りや家庭菜園をしていた私の父が脳梗塞で倒れ、荒れ放題になってしまった空き地の草を刈るのが面倒臭くなり、野菜を作ったのがきっかけでした。今では、畑で泥まみれになり野菜作りをしている時が、心安らぐひと時であると実感しています。やはり、私にも、農耕民族の血が流れているのでしょう。

野菜作りの楽しみは、収穫のときだけではなく、種を蒔くときには「早く芽が出てくれ」と願い、芽が出ると次は「大きな実がなってくれ」と望みます。野菜作りの中で、教えられることはたくさんあります。毎年、サツマイモを作っていますがなかなかうまくできません。昨秋、四国にある父の実家から大変形もよく、甘みもあるおいしい「鳴門イモ」が送られてきました。「どうしてこんなに美味しいのか」と尋ねてみると、さすがに作り方が違っていました。肥料が少ない砂の中で育てることで、甘みを貯えさせるということでした。養分が少ない場所では、太陽の光をいっぱいに吸収して、新しい芽を育てるために栄養分をしっかりと根に貯えておくのだそうです。もともと栄養分のある土地では、芋自身が甘みを貯える必要がなく、形だけがスマートに育つということを学びました。なんとなく私たちの子育てにも似ているような気がします。菜園作りの中で大地の恵み、太陽の恵みなど自然の恵みを強く感じるようになりました。

私が時々行くスーパーには、いつでもおいしい野菜がたくさん並び感心させられますが、「この野菜の旬は今頃だったかな？」と考えさせられる時があります。

私たち人間にとっては、大変便利になった世の中ですが、それにすっかり慣らされた私たちは、便利さが当たり前であって生活の最も大切で基本的なことを忘れてしまっている時があるようです。僅か５０年いや３０年前までは大地の恵み、海の恵み、太陽の恵み、そのようなものがよく見えていた時代だったように思います。

人間以外の動植物は、自然環境に合わせようと進化してきました。ところが、人間だけは科学を発達させ、自然を自分たちに合わせようとしてきました。その結果、科学の発達に比例して環境問題がクローズアップしてきたのが現在です。

今、社会でも、ロータリーでも環境問題に取り組んでいる姿に人類の英知と勇気を感じずにはいられません。私たちのロータリー運動も１９０５年に始まり、それぞれの時代の中でロータリアンにロータリー活動を合わせ、その活動が１００年以上も続いたことに誇りを感じます。しかし、最近になってロータリー運動の方向性に変化が起きてきているような気がするのは私だけでしょうか。ロータリアンにロータリーを合わせるのではなく、もう一度、ロータリアンが“ロータリーの原点”に合わせてみるのも、これから１００年を考えた場合に必要になってくるのではないかと、ふと思うことがあります。

国際協議会報告

ガバナー・エレクト 岩永信昭

2011年1月16日から22日まで米国カリフォルニア州サンディエゴで開催された2011年国際協議会に出席して参りました。

レイ・クリンギンスミスRI会長、カルヤン・バネルジーRI会長エレクトを始めとする指導者の方々と全世界 200を超える国と地域から 532地区のガバナー・エレクトと配偶者が「入りて学び、出でて奉仕せよ」の標語のもと参集しました。

来たる2011～12年度のRIテーマは既に皆様ご周知の通り『こころの中を見つめよう　博愛を広げるために』と発表されました。宗教色があり哲学的で難解ですが、我々東洋人の心に響くテーマです。バネルジー会長エレクトは、深く自己を省みることによって、人類が皆、同じ夢、同じ希望、同じ願望、同じ問題を分かち合っていることを、理解していただきたいのですと述べられ、強調事項として「家族」「継続」「変化」を掲げられました。「地域・家族と共に生き生きロータリー」を唱えられる高原武彦ガバナーのお考えともぴたりと一致する内容でした。『地域を育み、大陸をつなぐ』の今年度RIテーマとの連続性を意識して博愛を広げるために大陸をつなぐと述べられたクリンギンスミス会長の言葉が印象的でした（写真１）。

8回の本会議と10回のグループ討論（写真2）という濃い内容で中でも強調されていたのがRI長期計画の事でした。これをクラブレベルで実践するためにどのようなプランを立てるべきか、悩ましい所です。研修リーダーの方々の献身的なご指導には頭が下がりました。

並行して行われた配偶者プログラムも円卓討論あり、「子どもたちに本を読んで聞かせよう」識字キットと図書寄贈の奉仕活動もありといった充実したものでした。

早速2月6日の第9・10グループIMで発表の機会を与えて頂きました。まだ十分に咀嚼できていませんが、今後学んできた事を皆様にどうお伝えすべきか考慮中です。

「世界のロータリアンと対話する至宝の“ひととき”」
～4月は、ロータリー友の雑誌月間です～

２７４０地区「友」委員
「月信」編集委員長
有田ＲＣ会員増強委員長
石 川 慶 藏

私は、地区の「ロータリーの友」委員をしております。毎月、友誌の感想文をまとめ、紙面への提案をしています。そして全国の熱心な友委員との素晴らしい語らいの場があります。

１、ゾーン会議や全国会議で学んだこと

（1）友誌の理念と方針、スタッフの強い願いに触れられたこと。

（2）全国「友」委員とのすばらしい出会と学びの場があること。
奉仕活動を通してよりよい社会を築く。
ロータリーの原点を学び、志や誇りをもった仲間との語らい。

２、感想文の提出と紙面への提案活動を通して学んだこと。
当初、忙しいのに、いやだなあと思いながら取り組んでいた。
ある熱心な友委員との出会いにより、
「どうせやるなら、喜んで進んでやろう」
「素直な心で、再度ロータリーの原点を学び直そう」との意識や考え方に変わることができた。それから、「何かを得よう」と友誌の全ページを何回も熟読するようになった。

いつも私が、「わくわくドキドキする」内容は、下記の事を常に考え行動している人の投稿である。

（1）ロータリーが好きでたまらない。寝ても醒めても考えている人。

（2）ロ―タリーの原点・使命を常に考え、誇りを持って行動している人。

（3）４つのテスト等常に意識して行動している人。

（4）「経営とは感謝と奉仕の心だよ」と常に人の幸せを考え行動している人

毎月の「ロータリーの友」には、世界中のロータリアンの素晴らしい考え方や活動から生まれた貴重な体験が詰まっています。

たくさんの感動と志と誇りを貰い、しかも授業料は、毎月たったの２００円。至宝のひとときです。

ロータリーの先人は、体験の中から我々に今後進むべき志の軌跡を伝えてくれています。

●１９０５年の米国シカゴ、世界恐慌の真只中、たった４人の「よりよい社会建設」の発意から生まれたロータリーの奉仕活動。

●１９３３年の世界的不況時の米国、高い地位と年収を捨て、倒産寸前の会社を引き受け、「４つのテストの理念」で見事会社再建。今もロータリー活動の中に生きています。

●１９２０年の東京、２人の鉄をも溶かす熱意から生まれた日本ロータリークラブ。

ここ数年、会員が減少し友誌（現在、９１３２３部）も減少の一途をたどっています。これを、我々は、不況のせいにして良いのでしょうか？「会員の減少は、我々ロータリアンの活動の中に原因がある」と考え、先人の志や熱意、毎月の友誌の会員増強の成功事例等からも衆知を集め、その解決に、真剣に取り組んで参りたいものです。

最後に、ロータリーを愛した偉人・松下幸之助氏の言葉を贈りたいと思います。

「不況こそ発展のチャンス！道は無限にある。」

「正しい方針を掲げ、全員が心を合わせれば、事業は、必ず成功する。」

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介いたします。 ※氏名の下部は、勤務先、趣味

佐世保東RC
川中　裕二 君
㈲保険ステーションサセボ
ゴルフ

長崎出島RC
山口　孝司 君
㈱長崎ガードシステム
読書

長崎出島RC
綾部　卓也 君
㈱アヤベ
スポーツ

長崎南RC
諸熊　正文 君
諸熊医院

佐賀北RC
江口　太資 君
㈱STSエンタープライズ
ゴルフ

佐賀北RC
古川　清文 君
㈱副島金物
スポーツ

佐賀北RC
岸川　博見 君
ホテルグランデはがくれ
ゴルフ

長崎中央RC
森　拓二郎 君
㈱十八銀行
ゴルフ、音楽鑑賞、温泉めぐり

有田RC
小林　成郎 君
㈱小林産業
ゴルフ

松浦RC
大内　理史 君
圓成寺
読書　バイク

松浦RC
坂口　　佳 君
三気堂薬局
ゴルフ、スノーボード、ジェットスキー

佐賀大和RC
岸川　廣見 君
佐賀ダイハツ販売㈱

佐賀RC
市川　明 君
大和証券佐賀支店
ゴルフ、釣り

東長崎RC
松尾　龍彦 君
㈲平成運輸
ゴルフ

長崎北RC
竹内　一 君
社会福祉法人ゆうわ会
ながさきワークビレッジ

物故者

長崎北RC
安達　一郎 君
54歳
1月3日死亡

佐世保RC
中川内眞三 君
56歳
1月8日死亡

佐賀北RC
江頭　泰幸 君
70歳
1月27日死亡

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介いたします。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

ロータリー財団寄付関係

種　類	氏　名	クラブ名
ベネファクター	**米倉　保治**	鹿島RC
マルチプル	**本田　文昭**	長崎中央RC
マルチプル	**古川　和子**	長崎出島RC
PHF	**安田　伸幸**	長崎中央RC
ポリオプラス	**島原南ＲＣ**	

米山記念奨学会寄付関係

種　類	氏　名	クラブ名
メジャードナー	**南野　健**	大村北RC
メジャードナー	**前田　一彦**	佐世保南RC
マルチプル	**迫　龍二**	長崎東RC
マルチプル	**朝永万左男**	長崎RC
功労者	**松尾　京子**	HTB佐世保RC
準功労者	**高倉　恭子**	HTB佐世保RC

「伊万里観光いろはかるた」大会

１月２９日（土）伊万里玉屋文化ホールにおいて、「伊万里観光いろはかるた」第４回市内小学校交流大会を開催しました。
伊万里市内小学校１６校の内１３校、１９チームが参加され、１チーム３人の編成で４８枚のかるたを取り合う熱戦が繰り広げられました。
参加児童、学校関係者、父兄など合わせて２５０名ほどが集まっていただき、盛会裏に終了する事が出来ました。
児童数が少ない学校でも、頑張れば成果が出ることがよくわかる大会です。
地元のケーブルTV局や、新聞社に取材していただき、地域に貢献するいいPRになりました。

伊万里ロータリークラブ

第４回
我がクラブNo.1卓話

私の趣味の遍歴とお茶

佐世保北ロータリークラブ　村　上　寅　雄

趣味とは何か？辞書を見ますと、暮らしの中の楽しみを行うもの、好味、道楽、好き事、味わい、面白み、風情、美を鑑賞する能力、稽古事、などと書いています。先日なくなった初代若ノ花は、自分の趣味は相撲といっています。趣味は大きく、インドアとアウトドアに分けられます。インドアは音楽、読書、碁、将棋、映画、カラオケ、ダンス、謡曲、短歌などなど。アウトドアは各種運動、旅行、釣り、射撃、水上スポーツなど、きりがありません。

私の趣味はまず音楽。旧制中学1年からブラスバンド部に入り、トロンボーン、トランペット、クラリネット、を吹奏し、最上級生になると指揮を取っていました。家では、バイオリン、ギター、ピアノを自己流に楽しみ、レコードでクラシック音楽はかなり聴きました。大学時代は音楽部に入っていましたが、活動はほとんど事務的なものでしたが、幸い音楽会は無料で聴けました。佐世保に来てからは昔労音、今アルカスでクラシックを楽しんでいます。オペラ観賞は東京、博多まで足を伸ばし、ＣＤや原作本でしっかり予習して観に行きます。その後ジャンルも広がって、ビートルズ、カーペンター、ボブ・ディランも好きですし、サルサ、ルンバ、シャンソン、タンゴ、マンボも楽しんでいます。私の音楽での最終の望みはオーケストラの指揮でしたが、残念ながらツテもなく、体力的にも無理で、今はあきらめました。

邦楽では謡曲15年、舞踊12年、三味線10年、小唄15年のキャリアです。

茶道は、鳥取大学病院に勤務していたとき、往診に行っても必ず抹茶が振舞われて、喜びを味わいました。佐世保に来て病院を建設するに当たって、茶室、すなわち広間と小間を造って表千家の道に入り、表千家同門会長崎支部の活動に参加しています。茶道具は広間、小間によって違うことがあり、また季節によっても異なります。それこそピンからキリまでありますが、値段が高いものがよいとは限らず、自分が好きなもの、何かエピソードがあるものに愛着がわきます。茶会には、大茶会、中茶会、小茶会がありますが、少人数で酒を酌み交わし、食事し、話をして興ずる茶事は最高のもてなしであり、喜びです。

酒のあとの一服のお抹茶は本当にいいものです。皆さんもどうぞお楽しみください。

大募集!!
新企画「我がクラブNo.1卓話」

「ワクワク ドキドキ 楽しいロータリー!」にする為には、毎回の卓話の充実が不可欠です。新企画は各クラブより「これぞ卓話!」と思われるものを募集して掲載いたします。優秀卓話は「ロータリーの友」に提案し掲載を依頼する予定です。
（文字数800～900文字）

「月信」委員長　石川慶藏

2011 年 2 月 10 日発行［月刊］
（財）ロータリー米山記念奨学会

ハイライトよねやま 132

1 寄付金速報 ― 下半期もやや厳しいスタート ―

1 月までの寄付金は前年同期に比べて 0.06%増と、ほぼ前年並みとなりました。普通寄付金は 2.6%減、特別寄付金が 1.7%増です。昨年 11 月以降、次第にプラス幅が減少しており、1 月も単月でみると直近 10 年間で一番低い数字となっています。

1 月は普通寄付金の納入が主となる月です。全クラブの 79%にあたる 1,822 クラブからご納入いただきましたが、納入率が 60%台にとどまっているところも 5 地区あります。各地区の理事・ガバナー・米山奨学委員長・寄付金増進担当の米山委員の皆さまへ送付している**「寄付金傾向」**に地区別納入割合を掲載しています。ご確認いただきまして、お早めにご送金くださいますようよろしくお願い申し上げます。

2 4月からの新奨学生が決定！

4 月からの新規米山奨学生の面接選考が各地区の選考委員会によって行われ、1,516 人の応募者から 616 人の合格が決定しました。

合格者は、博士課程 147 人・修士課程 292 人・学部課程 154 人、クラブ支援奨学金が 9 人、地区奨励奨学金が 14 人です。このほか、海外学友会（台湾・韓国）推薦による 2 人の候補者が決定しています。国籍・地域別では、中国が 49.8%（前年度 52.3%）、韓国 17.0%（15.3%）、台湾 6.2%（5.5%）、その他 26.9%（26.9%）です。各地区選考委員会が国籍バランスをより重視した結果、昨年に比べて中国籍の合格者がやや減少しました。

今後、辞退者が出るなど多少の変動が見込まれますが、今回の合格者、そして昨年度からの継続奨学生 210 人を合わせた 828 人が、2011 学年度の奨学生として新たなスタートを切ります。

3 学友から 10 万円の寄付 ―20 年ぶりに世話クラブ訪問―

日本に住み、夫と共に家具の企画販売会社を営む米山学友、何玉翠（かぎょくすい）さん（台湾／1987-89）が、世話クラブの奈良ＲＣの例会に出席した際、米山奨学会へ 10 万円を寄付してくださいました。

何さん（中央）と夫の北山氏（右）

今年 1 月末、何さんは東大阪みどりＲＣ会員である夫の北山治信氏に伴って、奈良ＲＣの例会にビジターとして参加。20 年以上も前の奨学生とあって、何さんだと気付く会員はいませんでしたが、自己紹介のなかで「私はこちらでお世話になった元米山奨学生です」と名乗ると、当時から在籍している会員は「思い出した！」と、膝を打って喜びました。何さんは、「米山学友である私は、恩返しだけではなく、常に社会の役に立てるよう頑張ることが使命だと思っています」と話し、その場で 10 万円をクラブ会長に手渡しました。

何玉翠さんより 最近、ロータリアンの妻としてロータリーの行事に参加するたびに、お世話になった奈良RCのことが気になっていました。カウンセラーが他界してクラブとの連絡も途切れてしまっていましたが、今年結婚 20 周年、会社創立 10 周年の節目を迎え、この機会に報告を兼ねて感謝の意を伝えたく、主人の同行で出席させて頂きました。温かく迎えてくださって嬉しかったです。これからも米山学友の一員として頑張っていきます。

4 学友が地区米山奨学委員に ― 第 2760 地区 ―

昨年、ロータリアンになった米山学友の鮑尔吉德（ボルジド）さん（中国／2001-02／新井ＲＣ／名古屋栄ＲＣ会員）が、第 2760 地区（愛知県）の次期米山奨学委員会の委員に加わることになりました。正式な就任を前に、この１月から選考試験や委員会活動にオブザーバーとして参加しています。

このニュースを知らせてくれた同地区米山奨学委員長の竹内一郎氏は、「元米山奨学生がロータリアンとなって奨学生の選考に携わることは、いざ現実となると大変意義深いものがあります。本奨学会の歴史の長さと懐の深さを改めて感じます」と、感慨を込めて語ってくれました。

鮑尔吉德さんより 奨学生の時は新潟県の新井RCにお世話になりました。2006 年に大地旅行社を立ち上げ、昨年、名古屋栄RCに入会させていただきました。今まで多くのロータリアンから頂いた友情に感謝し、一人のロータリアンとして奉仕活動に努めてまいりたいと思います。また、元奨学生としての経験を生かして、今後、地区委員として外国人留学生との交流を深めながら、ロータリー精神を多くの国の人々に広め、世界平和を願う「心」を育てていこうと決意しています。

5 中国青年歌手大賞の最優秀賞受賞 ―謝雪梅さん―

中国民族楽器の一つ、古箏の奏者で歌手の謝雪梅（しゃせつばい）さん（中国／2001-03／松江しんじ湖ＲＣ）が「中国東方時尚杯青年歌手大賞」で、民族唱法部門の第一位および最優秀才芸賞に輝きました。表彰式は１月 18 日、北京市内で１万人の観客を集めて盛大に開かれ、謝さんをはじめ、14 人の受賞者にトロフィーと副賞が授与されました。

謝さんは現在、横浜中華芸術団を主宰し、首都圏を中心に幅広くコンサート活動を行っています。今回の受賞にあたり、「米山奨学金を頂いたおかげで、勉強一筋に打ち込むことができ、卒業後はプロの音楽家として、様々な成績を収めることができました。今回の受賞も含め、これらの成績は、ロータリアンの皆さまのおかげです。皆さまが私を育ててくださいました。これからも、アジアの人々に貢献できる音楽家を目指して頑張ります」と、喜びを語っています。

表彰を受ける謝雪梅さん（中央）

6 PETS・地区協議会での紹介をお願いします

各地区で会長エレクト研修セミナー（ＰＥＴＳ）が開催される季節となりました。米山奨学会では毎年、ＰＥＴＳで米山奨学事業の説明時間を設けていただくようお願いしています。

今年は、**①豆辞典　②一般用リーフレット　③米山関連資料案内チラシ**の 3 点を次年度クラブ会長・幹事、クラブ米山記念奨学委員長への配布用として、また、**ＤＶＤ「心つないで、世界へ」**を上映用として 1 枚、各地区ガバナーエレクト事務所宛てに発送しています。

3～5 月に開催される地区協議会用には、**①豆辞典　②米山学友の群像 Vol.3　③クラブ米山委員長の手引き**を２月下旬に発送します。

(財) ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津・鋒

2010年　12月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	4	81.6	61	0	66	0	1	0	1	5
	小城	4	83.0	27	2	26	2	0	0	0	-1
	牛津	4	85.0	30	1	30	1	0	0	0	0
	多久	3	88.8	41	4	41	4	0	0	0	0
	佐賀大和	3	70.8	24	2	24	3	0	0	0	0
	小計		81.8	183	9	187	10	1	0	1	4
第2グループ	佐賀西	4	83.7	46	0	48	0	0	0	0	2
	佐賀北	4	90.3	31	3	31	3	1	2	-1	0
	佐賀南	3	73.5	38	1	39	1	0	0	0	1
	神埼	3	79.2	32	0	34	2	0	0	0	2
	佐賀空港	4	69.0	12	1	14	1	0	0	0	2
	小計		79.1	159	5	166	7	1	2	-1	7
第3グループ	有田	4	81.8	36	0	37	0	0	0	0	1
	武雄	3	84.9	53	4	53	4	0	0	0	0
	鹿島	3	91.7	39	3	41	3	0	0	0	2
	嬉野	4	93.2	23	1	23	1	0	0	0	0
	大町	3	75.0	20	0	20	0	0	0	0	0
	白石	4	66.7	12	0	12	0	0	0	0	0
	太良	4	78.1	8	0	8	0	0	0	0	0
	小計		81.6	191	7	194	8	0	0	0	3
第4グループ	唐津	3	91.0	53	0	53	0	0	0	0	0
	伊万里	4	91.9	30	0	31	0	0	0	0	1
	唐津東	3	88.8	52	0	53	0	0	0	0	1
	唐津西	4	89.0	33	0	32	0	0	1	-1	-1
	伊万里西	3	91.4	44	0	45	0	0	1	-1	1
	唐津中央	4	95.3	32	4	32	4	0	1	-1	0
	小計		91.2	244	4	246	4	0	3	-3	2
第5グループ	佐世保	4	98.7	72	0	74	0	0	1	-1	2
	平戸	3	90.2	35	3	38	3	0	0	0	3
	佐世保西	4	91.1	24	0	25	0	0	0	0	1
	北松浦	3	93.9	22	0	22	0	1	0	1	0
	松浦	4	89.3	25	1	28	1	0	0	0	3
	小計		92.7	178	1	187	4	1	1	0	9
第6グループ	佐世保南	4	99.4	69	0	73	0	1	0	1	4
	佐世保東	3	90.9	21	0	22	0	1	0	1	1
	佐世保北	4	99.4	43	0	44	0	0	1	-1	1
	佐世保中央	3	100.0	40	2	40	2	0	0	0	0
	佐世保東南	4	64.4	26	2	25	1	0	1	-1	-1
	HTB佐世保	3	84.0	24	4	23	4	0	0	0	-1
	小計		89.7	223	8	227	7	2	2	0	4
第7グループ	大村	3	85.0	48	3	49	3	0	0	0	1
	島原	4	85.8	34	2	34	2	0	0	0	0
	雲仙	3	88.1	26	0	28	0	0	0	0	2
	大村北	4	100.0	32	0	32	0	0	0	0	0
	島原南	4	68.4	21	1	21	1	0	0	0	0
	大村東	4	84.9	42	2	44	2	0	0	0	2
	小計		85.4	203	8	208	8	0	0	0	5
第8グループ	諫早	4	88.3	56	0	59	0	0	0	0	3
	諫早北	3	90.5	66	2	67	2	0	0	0	1
	諫早西	4	92.3	40	0	39	0	0	0	0	-1
	諫早多良見	3	80.6	36	0	36	0	0	0	0	0
	諫早南	4	59.6	27	6	23	4	0	2	-2	-4
	小計		82.2	225	8	224	6	0	2	-2	-1
第9グループ	長崎	3	91.6	83	0	85	0	1	1	0	2
	福江	4	91.5	33	0	34	0	0	0	0	1
	長崎北東	4	83.8	47	6	49	6	1	0	1	2
	福江中央	3	96.4	28	0	28	0	0	0	0	0
	長崎西	3	73.2	58	0	56	0	0	2	-2	-2
	長崎琴海	4	68.6	18	1	18	1	0	0	0	0
	小計		84.2	267	7	270	7	2	3	-1	3
第10グループ	長崎北	4	74.6	76	0	74	0	1	2	-1	-2
	長崎南	4	74.5	73	0	79	0	1	0	1	6
	長崎東	4	81.6	50	0	51	0	0	2	-2	1
	東長崎	3	87.7	23	0	22	0	0	0	0	-1
	長崎中央	4	92.8	57	0	57	0	0	0	0	0
	長崎出島	4	77.9	51	12	52	12	0	0	0	1
	小計		81.5	330	12	335	12	2	4	-2	5
合計			84.9	2203	69	2244	73	9	17	-8	41

※上記の表の新入・退会は**当月中**の数字で、累計は
7月1日から12月末までの増減です。

文　庫　通　信　〈281号〉

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。
ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、２万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでＰＤＦもご利用いただけます。
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。　以下資料のご紹介を致します。

ガバナー月信より

◎「RI会長代理挨拶・RI現況報告」	ビチャイ･ラタクル	2010	7p	(D.2660)
◎「“THE　POWER OF ONE”のいわれ」	渡辺　好政	2010	3p	(D.2500)
◎「クラブを活性化し、未来への夢を持とう！（RI長期計画とクラブ活性化）」	南園　義一	2010	22p	(D.2780)
◎「水･保健と飢餓･識字率向上の青森県版を作ろう」	黒田　正宏	2010	6p	(D.2830)
◎「ロータリーの目指すもの」	藤川　享胤	〔2010〕	9p	(D.2550)
◎「地区リーダーの皆様へ」	山本　茂生	2010	5p	(D.2690)
◎「中国の教育現場でロータリーの精神を」	金　美林	2010	5p	(D.2640)
◎「日韓によせるロータリーの希(ねが)い」	崔　相龍	2010	5p	(D.2780)

［上記申込先：ロータリー文庫（コピー／ＰＤＦ）］

ロータリー文庫

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後5時　　休館＝土・日・祝祭日

ロータリーの偉人に学ぶ　元気の出る言葉
～松下幸之助氏の言葉より～

平凡な一日も貴重な体験

自然はもちろん、人の動き、社会の動き、何一つとして昨日と同じではない。全てが刻々と動いて日に新たである。一瞬の油断無く細心の注意を払って日々に臨もう。どのように平凡な毎日でも、必ず新しい発見、貴重な体験が得られるのだから…。

国際ロータリー第2740地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740
2010－2011 年度ガバナー　高 原 武 彦
ガバナー事務所
〒844-0027　佐賀県西松浦郡有田町南原丁175-5 TEL:0955-25-9110　FAX:0955-25-9120

背景の写真は日本磁器発祥の地「泉山磁石場」

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010−2011年度
国際ロータリー第2740地区　ガバナー　高　原　武　彦

地域を育み、大陸をつなぐ

CONTENTS

高原武彦ガバナー …… 1
ガバナー補佐・リレー随想 …… 2
第５回 YEC＆YEP オリエンテーションの報告… 3・4
ＩＭ 開催報告 …… 5
地区チーム研修セミナー報告 …… 6
ガバナーノミニー推薦の件・寄付者紹介 …… 7
新入会員紹介 …… 8
我がクラブ No.1 卓話第４回 …… 9
会員数・出席者報告１月 …… 10
文庫通信 …… 表紙裏

有田の宝物⑨
『有田陶器市』

町内約4キロにわたって有田焼の店など約600軒が並び、期間中約100万人が訪れる有田の一大イベントです。ふだんは静かでゆっくりとしたやきものの里が、全国各地から訪れたやきものファンで賑わいます。

陶器市の歴史をたどると、明治29年（1896年）に開かれた陶磁器品評会にさかのぼります。この品評会の協賛行事として開催されていた「蔵ざらえ大売出し」が陶器市の始まりです。最初、お遍路さん相手に窯元や商人が有田焼の半端物を売っていたものを、大正4年（1915年）に町の青年会のリーダーだった深川六助が陶器店にいっせいに呼びかけ、等外品の蔵ざらえ大売出しを試みました。そして、大正11年ごろに名称が陶器市となり、現在の有田陶器市に発展しました。

vol.10
2011.4.1

4月は雑誌月間
「ロータリーの友」を読もう!

2010年～2011年
ガバナー 高 原 武 彦

ロータリーがクラブ会員たちに情報を提供するために雑誌が1911年に発行されました。その名は「The National Rotarian」後に「The Rotarian」となっています。

1915年イギリスとアイルランドの会員のために初めて地域雑誌が生まれました。現在、ロータリー・ワールド・マガジン・プレスには32雑誌があります。

「The Rotarian」は、ロータリーの旗艦雑誌ですが31の地域雑誌があり130以上の国々において25の言語で発刊されています。

「The Rotarian」と地域雑誌は各国のロータリー活動に関する情報交換・編集印刷等協力し合っています。

日本では、1952年7月、地区が1地区から2地区に分割されたのを機に両地区で情報を共有することが出来る雑誌を作ろうと1953年1月「ロータリーの友」が創刊されました。

「ロータリーの友」は、日本のロータリアンにとってロータリーを知り、ロータリーを考えるテキストとしての使命を持った雑誌となっています。

ポールハリスは、1911年1月創刊されました「The National Rotarian」の創刊号の巻頭の論文に「私がどこかの広大なコロシウムの演壇に立ち、皆さんに向き合ったら、そして一言、言ってもよいと告げられたら、一瞬のためらいもなく“寛容”と叫ぶでしょう」と書いてあるそうです。

その頃は、ＲＩ会長のテーマは無かったそうですから「寛容」と云う言葉がポールハリスのモットーと云えるようです。

お互いの欠点を我慢し合う大切さ、理想的な寛容そして他人への思いやりの心を大切にしたいものです。

ガバナー補佐・リレー随想

第８グループガバナー補佐　橋　爪　　毅

年をとりましたせいか、人との出会い、ご縁があって今があるのだなあとしみじみ思います。

私は１５年程前からクラブ週報の表紙絵を描かせてもらっています。これは中学３年の頃、美術の佐々木先生に出会ったお陰だと思っています。授業中みんなの前で私の絵を褒めてもらいました。褒められるとその教科が好きになります。その後、私の趣味となっています。

チャーチル会という絵のクラブに入会したことも絵を続ける大きな力となっています。長崎北ロータリークラブの会員でもありました岡部弘様に出会い入会させて頂きました。スケッチしていると思いがけない有り難い出会いがあるものだと云っておられましたが、私も同じような経験をすることが出来ました。長崎の浦上で描いていた時のことです。腰掛け無しで立って描いておりました。ふと足元をみると椅子が置いてあったのでびっくりしました。私が疲れるだろうというご好意である事にすぐ気付きました。目の前のお店の奥さんが盆にのせて熱いお茶を私にすすめて下さいました。そのお心の優しさに私は感動し、云い様のない幸せを感じました。

ロータリーとの出会いもそうです。私は昭和４２年諫早に開業しましたが、翌年、当時の鮫島会長のお誘いで入会しました。ロータリーの事は何もわかりませんし、知り合いもいませんので初めの頃は出席が苦痛でした。しかし先輩諸兄の友情とご指導をいただき、いろいろと学ぶ内に少しづつロータリーは私の中に入ってきました。例会出席も生活の一部となり、現在３６年間無欠席を続けています。もし、ロータリーに入会していなければ今の私はありません。出会いに感謝しています。

ロータリークラブの生命とするところは、精神的には「奉仕の心」、具体的には「出席」と云われています。これからも友情を大事にし、精進して参りたいと思っております。

第5回 YEC＆YEP オリエンテーションの報告

日 時　2月20日
会 場　HTB 日航ホテル

Ⅰ　第７回　ＹＥＣ地区委員会　11:00～12:00

議題

① 派遣学生　現況報告（戸村　瀬戸口　相内）
② 全国ＹＥＣ委員長会議　松山会議の準備（瀬戸口　戸村　若杉）
③ スキーツアー【第2600地区/第2760地区合同第25回スキーの集い】
　参加　白川地区委員　キア
④ ＹＥＣ九州ブロック研修会（福岡ｻﾝﾊﾟﾚｽ）（瀬戸口・戸村・若杉・相内）
⑤ 3/13　錬成会（Rotex・来日学生・派遣予定学生）　L&Lホテルセンリュウ
⑥ 5/8　YEC（11:00～）・オリエンテーション(12:00～)
　ホテルグランドパレス諫早
⑦ 6/26　YEC（11:00～）・オリエンテーション(12:00～)
　長崎全日空ホテルグラバーヒル
⑦ 2011～2012年度の地区交換学生事業予定
　●選考試験：H．23.９.11　　グランドパレス諫早
　●2011年度第１回　オリエンテーション
　　日時：　H．23.8.20-21
　　会場：　長崎温泉やすらぎ伊王島
　●D2700と合同オリエンテーション長崎平和学習とおくんちの旅
　　日時　H．23.10.7～8
　●関東　関西　旅行予定
　●クリスマス：　HTB全日空ホテル

Ⅱ　オリエンテーション　12:00～15:00

参加者
Ｇ事務所：酒井田地区幹事　福田地区副幹事
ＧＥ事務所：岩永ガバナーエレクト
　中野次期地区幹事
委員会：瀬戸口委員長　川渕　若杉
　戸村　三山　白川　相内（事務局）
関係Ｒｎ：柳田（佐世保南）　大浦和夫（佐世保南）
ホストファミリー：　益田、山本淳一、山本明美　堀川二雄
派遣学生保護者：大浦浩（佐世保南）、大石竜基（諫早北）、樋口征司（諫早南）、
　増崎進一（長崎西）
派遣予定学生：大浦貴史（佐世保南）、大浦志帆（ＨＴＢ佐世保）、
　樋口香奈（諫早南）、大石里香（諫早北）、増崎春佳（長崎西）

来日学生：ウェズリー（オーストラリア）、プージャ（インド）、
ケビン（フランス）、キア（台湾）
ＲＯＴＥＸ：松永夕加（台湾派遣）

プログラム

１.委員長挨拶　　酒井田地区幹事　挨拶
２.来日学生　日本での体験：
ケビン（フランス）、キア（台湾）、プージャ（インド）、
ウェズリー（オーストラリア）
３.派遣候補学生　抱負：
大石里果（カナダ）、増崎春佳（フランス）、大浦誌帆（台湾）、
樋口香奈（カナダ）、大浦貴史（オーストラリア）

来日学生ケビン（フランス）、キア（台湾）、プージャ（インド）はとても流暢な日本語で日本滞在印象記を語ってくれました。1月にオーストラリアから来日したウエズリーはパワーポイントを使い故郷の紹介、日本の印象を発表しました。
派遣予定学生はたどたどしい英語　フランス語　中国語も交え抱負をプレゼンしましたが、まだまだ勉強の余地が残っていました。これから派遣日まで、一層の努力をお願いしました。

大浦貴史君(佐世保南RC)は3月12日オーストラリアへ出発予定です。実り多い一年を期待しております。

http://www.d2740.org/yep/　「青少年交換プログラムのページ」
各種資料・マンスリーレポートなど　随時更新しております。

ＩM 開催報告

2010－2011年度　国際ロータリー第2740地区
第9、第10グループIM実行委員長 **山　田　　晃**

2010－2011年度　国際ロータリー第2740地区　第9、第10グループインターシティー・ミーティング（以降ＩMとする）は、長崎南RC会員の結束の強さ、いざという時の行動力、そして友情を再度確認することができたＩMでした。

濵元顧問のご指導のもと6人の実行委員会で企画立案に取り組み、**大会テーマを「原点回帰」**とし、**「刺激的な」ＩM**にせよとの顧問（濱本前ガバナー補佐）の厳命により6人で知恵を絞り、企画を練り上げ、参加されたロータリアンにとって何かに気づいていただく研修とともに、愉しんでいただく親睦を両立させるＩM、そして長崎南RCらしく一味違うＩMと新しいことにチャレンジをしました。その一環として、分科会の参考資料として、地区内各クラブの会長・幹事の皆さんと、第１分科会登録の会員の皆さんにご協力いただき、現状のロータリーに対する意識調査のアンケートを行いました。調査結果を分析すると、様々な現状認識の実態と、ロータリーに対しての意識に温度差がみられ、特に、会長・幹事の皆さんと一般会員の皆さんの問題意識についてはその意識の違いが顕著でした。この結果は、後日各クラブに送らせていただく報告書に記載予定ですのでお楽しみに。

当日は朝早くから運営スタッフの皆さんにお集まりいただき、設営、運営準備などにあたっていただき、準備万端「おもてなしの心」をもって参加者をお迎えし、ＩMは始まりました。西野SAAの名司会のもと、式典は滞りなく終了し、安部PGの**基調講演　「原点回帰」～ロータリーへの警鐘～**　の後、**第1分科会**（パネルディスカッション、パネリスト澤山俊雄ガバナー補佐 、嵩下　明伸[長崎RC] 、江上　徹也[長崎西RC]コーディネーター鉄川　進[長崎出島RC]）　**切磋琢磨　～ともに考えるロータリー～**　、**第2分科会**（岩永ガバナーエレクト）　**不易流行　～ロータリーはどう在るべきか～「ガバナーエレクト熱き思いを語る」**　、**第3分科会**（山田　晃[長崎南ＲＣ　ＩM実行委員長]）　**温故知新**　～いまさらきけないロータリー～　に分かれ、IMは進行していきました。安部PGの基調講演は大変素晴らしく、ロータリーとはなんたるか、について改めて考えることができました。また、各分科会もそれぞれ違った点からロータリーについて学びまた考えることができたのではないでしょうか。とくに、パネルディスカッションは質問が続出し時間をオーバーしてしまうほどの盛況ぶりでした。

今回のＩMの討議内容を、**地区に対する「提言」**とし、澤山AGから高原ガバナーへ提言書が渡された後、親睦を深める場「懇親会」に入り、会場は笑顔にあふれていました。今回は着座方式をとったこともあり、途中で帰られる方もほとんどなく懇親会は進んで行きました。もちろん藤善さん率いる「ハミングバーズ」の美声や、イム・ソヨンさん（米山記念奨学生）の韓国舞踏が場を盛り上げたことは言うまでもありません。

いくつかの手違い、ミスはありましたが第９-10グループ内会員の皆さんの温かい友情に支えられ無事IMを終えることができました。渡邊第９グループガバナー補佐、澤山第10グループガバナー補佐、コホストをお引き受けいただいた長崎東RCの皆さん、長崎南RC津田会長をはじめとし、役員、濵元顧問、会員の皆さん、頼りない実行委員長を叱咤激励し助けてくださった実行委員会の皆さんどうもありがとうございました。　ようやく美味い酒が飲めます。（もう飲んでます）（笑）

2011～2012年度
地区チーム研修セミナー報告

2011～2012年度2740地区　副幹事　古　川　信　利

穏やかな日和に恵まれた2011年2月26日(土)午後3時30分から、地区チーム研修セミナーが、長崎市の「寳来軒別館」で開催されました。

同セミナーには高原武彦ガバナー、高城昭紀パスト・ガバナー(次年度地区研修リーダー)、岩永信昭ガバナー・エレクト、福元裕二ガバナー・ノミニー、渡邊修志第9グループガバナー補佐、澤山俊雄第10グループガバナー補佐をはじめ、次年度ガバナー補佐、地区幹事、次年度地区幹事、次々年度地区幹事、次年度地区委員長・地区委員、次年度地区副幹事の77人が出席しました。

殿村周三次年度副幹事が司会を務め、岩永ガバナー・エレクトの点鐘の後、高原ガバナーが「皆さんは次年度の2740地区を支えるチームリーダーとして力を発揮してください」と激励しました。続いて岩永ガバナー・エレクトが出席者全員を紹介、次年度の国際ロータリーのテーマは「こころの中を見つめよう　博愛を広げるために」で、地区テーマは「家族　継続　変化」と発表しました。また「このセミナーの目的は①次期ガバナー補佐および次期地区委員と委員長が就任に備える②地区ガバナー・エレクトに地区指導者チームを築き、クラブを支援するようチームの意欲を高める機会を提供することです。ガバナー補佐はＰＥＴＳ・クラブ協議会が、地区委員会は地区協議会が晴れ舞台です」と述べました。さらに「次年度のガバナー公式訪問予定をもとに、クラブ協議会の日程を決めて連絡してほしい。本日の地区委員会部門分科会で、地区協議会でのリーダー、サブリーダー、ＳＡＡを決め、具体的な内容を検討してください」と要請しました。

休憩の後、①ガバナー補佐部門と②地区委員会部門に分かれて部門別セミナーを開きました。ガバナー補佐部門では、まず渡邊第9グループガバナー補佐が、自らの経験をもとに「各クラブを訪問する前に週報を読み、それぞれのクラブの雰囲気をつかんでから訪問してきた。訪問するごとに理解が深まっていった。」。また澤山第10グループガバナー補佐は「ガバナー補佐は楽しい役柄で、自分にとって大いに役立った。隔月開く会長・幹事会に出席して、いろんなことを吸収しています。2月6日に第9・10グループが開いたインターシティミーティング(ＩＭ)は私たちガバナー補佐が主幹でやりました。このＩＭはのちほど記念誌を発行します。参考にしてください」と次年度ガバナー補佐にアドバイスしました。ＩＭについては、地区内の実施状況などの質問があり、酒井田正宏地区幹事、岩永ガバナー・エレクトから「ＩＭは前歴にこだわらず、自由な発想で取り組んでいい」などの助言が出されました。地区委員会部門では、和室の大広間に地区委員会ごとに丸テーブルを囲み、協議しました。背中合わせの会議のため、思わず声が大きくならざるをえず、賑やかな話し合いでした。

再び休憩の後、駒井英基次年度クラブ奉仕統括委員長から順に、それぞれの地区委員長が地区委員会の協議内容や今後の委員会活動方針を表明しました。

中野哲生次年度幹事は「地区委員会活動は、添付している書類様式に記入して、漏れなく提出願います。地区の活動予算は大幅に減額されており、厳しい状況もあります。しかし、私には花のように見える次年度ＲＩテーマ図柄を、見事咲かせて頂く1年にしましょう」と強調しました。

最後に高城地区研修リーダーが、「ガバナー補佐の制度は2000年にできました。当時の諫早の会長・幹事とガバナー補佐の私でソウルに旅行し、当地の例会に出席しました。このときの韓国ロータリアンとは今でも交流が続いています。昨年、ガバナーを務めました。この任期中、いつもそばにはガバナー補佐がいてくれました。そして心の援助をしていただきました。ガバナーとガバナー補佐はそのようなものではないでしょうか」と本日のセミナーをまとめられました。

午後6時、岩永ガバナー・エレクトの点鐘で終了しました。

この後、梶原亮謙次年度地区副幹事の司会で懇親会に移りました。福元ガバナー・ノミニーの乾杯で会食が始まりました。円卓を囲み中華料理と紹興酒をいただきました。最後に、全員で手をつないで輪を作り、ロータリーソング「手に手つないで」を歌い、渡邊第9グループガバナー補佐の万歳三唱でお開きになりました。ご参加いただいた皆さん、大変お疲れ様でした。

国際ロータリー第2740地区クラブ会長　各位

ガバナー　高　原　武　彦

2013-2014年度ガバナー・ノミニー推薦の件

国際ロータリー細則第13.020.4項により、2013-2014年度ガバナーに就任するガバナー・ノミニー候補者の推薦を希望するロータリークラブは、2011年5月31日までに地区ガバナー指名委員会宛（国際ロータリー第2740地区ガバナー事務所気付）に文書を以ってご推薦下さい。推薦する場合には、候補者を推薦することをクラブ例会で決議した後に、クラブ幹事がその決議を証明する形で推薦書を提出して下さい。

尚、ガバナー指名委員会がその選択をするにあたっては、その選択の範囲は地区内クラブによって提案された指名に限定されるものではありません。（国際ロータリー細則第13.020.5項）

ガバナー・ノミニーの資格条件は、国際ロータリー細則第15.070項を参照。

ご推薦のない場合は、指名委員会で決定された方がガバナー・ノミニーになります。

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介いたします。

ご厚意に深く感謝申し上げます。

ロータリー財団寄付関係

種　類	氏　名	クラブ名
ベネファクター	髙木　義和	島原RC
マルチプル	高原　武彦	有田RC
	明石　寿彦	牛津RC
	中島登志雄	唐津西RC
	濵口　吉治	唐津中央RC
PHF	岸川　武資	多久RC
	石橋　紀生	牛津RC
	小柳袈裟治	牛津RC
	中村　一之	鹿島RC
	外尾　健	唐津西RC
	中村　陽二	福江RC
ポリオプラス	佐賀西RC	

米山記念奨学会寄付関係

種　類	氏　名	クラブ名
マルチプル	中嶋　泰生	唐津西RC
功労者	吉岡　数俊	諫早多良見
	竹尾　啓助	唐津西RC
準功労者	華頂　孝俊	唐津西RC
準功労法人	㈱馬場薬局	唐津西RC
	㈲よしい	唐津西RC

訂正とお詫び

10号（3月号）で寄付者のクラブ名が間違っておりました。
訂正してお詫び致します。
ロータリー財団寄付関係
マルチプル　古川　和子　　大村RC

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介いたします。　※氏名の下部は、勤務先、趣味

佐世保中央RC
宮崎　正典 君
ビジネス旅館　西海荘

佐賀大和RC
鶴丸　雅啓 君
佐賀共栄銀行　大和支店

長崎出島RC
永井　譲二 君
㈱テレビ長崎

伊万里RC
黒川　正光 君
税理士法人 いまり税理会計事務所

伊万里RC
松本　壽雄 君
㈱IAG
読書　ソフトボール

伊万里RC
水田　智康 君
㈲伊万里自動車教習所
ドライブ

島原RC
岩切　正教 君
天理教島原教会

島原RC
沖野　義則 君
㈲サン・スポーツ

諫早RC
竹下　伸吾 君
竹下数塾
パソコン・インターネット

諫早RC
立川　幸治 君
(資)立川酸素プロパン
ドライブ・映画鑑賞

諫早北RC
榎並　三家 君
㈱エナミ道路標識

ロータリーの偉人に学ぶ　元気の出る言葉

～松下幸之助氏の言葉より～

天分は与え合うためにある

どんな人にもその人だけに与えられた尊い天分がある。その天分を発揮し、お互いに与え合うことで社会は豊かになっていく。出し惜しみをしてはいけない。智恵のある人は知恵を、力のある人は力を、優しい人は優しさを、まずは自分から与えよう。

第５回
我がクラブNo.1卓話

『軍隊、成長の源』

米山記念奨学生　金　ゴ ン ウ

皆さん、こんにちは。長崎ロータリークラブ米山記念奨学会奨学生のキム・ゴンウと申します。

本日は、韓国の軍隊についてお話をします。皆さんもご存じの通り、韓国では数十年前に休戦したにもかかわらず、いまだに北朝鮮と銃口を向けあったままです。そうした状況ですから、韓国の健康な男性は兵役が義務付けられています。軍隊には、大学１年生くらいの年になって入隊するのが一般的で、陸、海、空軍それぞれで兵役期間は違いますが、おおよそ２年間くらい軍隊に入ります。最初はなぜこんなところで２年間も過ごさなければならないのかと苦しむこともありましたが、殆どの韓国男性は除隊してはじめて、国を守ってくれる軍人がいるから、自分たちが幸せな生活を送れるのだということを知るようになります。しかし、一方では運動選手や、芸能人、政治家の息子の中に、兵役を回避する人がいます。２年間も社会を離れ、復帰したときには自分の居場所がないのではないかという不安を持つのも理解できますが、彼らにも私が感じたその愛国心や、物事についての感謝の気持ちを感じてほしいと思います。また、軍隊だからといって全員が厳しい訓練を受けるわけではありません。殆どの芸能人は「芸能兵士」という役目を勤めることになります。軍隊を回りながら優れた話術とか歌を歌ったりすることで軍の士気を盛り上げる役割を担います。だから、国家に献身しながらも自分の才能を劣らせることなく兵役を終えることが出来るのです。また、兵役の義務にもいくつかの例外があります。その一つとして国家の威信を立てた選手、つまりオリンピックかアジアゲームのような国際大会で優秀な成績をとった場合免除してくれます。この場合は、国民も殆どが納得し、賛成するわけです。皆さんは２００８年中国北京で行われたオリンピックで野球のゲームをご覧になりましたか。準決勝進出が確定したとき、選手たちはまるで優勝でもしたかのように抱き合い、涙を流す姿が見られました。あれは、兵役免除というプレゼントが与えられたからです。もし軍隊服務期間が２年ではなく、５年くらいに延びたとしたら、兵役免除のために頑張る選手が増え、どれほどの成績が残せるか楽しみですね。私が海外に来てこのように健康で元気に生活できるのは、軍隊の経験があるからこそで、あの時の経験がなければ、私は留学する勇気もなく、皆さんのようにすばらしい方々との出会いもなく、また、人を支える事業家になろうという自分の夢もなかったはずだと思います。私は、軍隊の経験に本当に感謝しております。

大募集!!
新企画「我がクラブNo.1卓話」

「ワクワク ドキドキ 楽しいロータリー!」にする為には、毎回の卓話の充実が不可欠です。新企画は各クラブより「これぞ卓話!」と思われるものを募集して掲載いたします。優秀卓話は「ロータリーの友」に提案し掲載を依頼する予定です。
（文字数800～900文字）

「月信」委員長　石 川 慶 藏

2011年　1月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	4	79.9	61	0	66	0	1	1	0	5
	小城	3	73.0	27	2	26	2	0	0	0	-1
	牛津	4	78.6	30	1	29	0	0	1	-1	-1
	多久	4	91.3	41	4	41	4	0	0	0	0
	佐賀大和	3	66.2	24	2	24	3	1	1	0	0
	小計		77.8	183	9	186	9	2	3	-1	3
第2グループ	佐賀西	3	84.2	46	0	48	0	0	0	0	2
	佐賀北	4	82.8	31	3	33	3	3	1	2	2
	佐賀南	3	83.7	38	1	39	1	0	0	0	1
	神埼	3	83.1	32	0	34	2	0	0	0	2
	佐賀空港	3	78.0	12	1	14	1	0	0	0	2
	小計		82.4	159	5	168	7	3	1	2	9
第3グループ	有田	3	79.0	36	0	38	0	1	0	1	2
	武雄	3	87.4	53	4	53	4	0	0	0	0
	鹿島	3	95.0	39	3	41	3	0	0	0	2
	嬉野	4	86.4	23	1	23	1	0	0	0	0
	大町	4	81.3	20	0	20	0	0	0	0	0
	白石	3	62.5	12	0	12	0	0	0	0	0
	太良	3	79.2	8	0	8	0	0	0	0	0
	小計		81.5	191	8	195	8	1	0	1	4
第4グループ	唐津	3	82.4	53	0	53	0	0	0	0	0
	伊万里	4	91.1	30	0	31	0	0	0	0	1
	唐津東	4	91.4	52	0	53	0	0	0	0	1
	唐津西	4	95.9	33	0	32	0	0	0	0	-1
	伊万里西	3	100.0	44	0	45	0	0	0	0	1
	唐津中央	4	90.2	32	4	32	4	0	0	0	0
	小計		91.8	244	4	246	4	0	0	0	2
第5グループ	佐世保	4	99.6	72	0	73	0	0	1	-1	1
	平戸	4	87.9	35	3	38	3	0	0	0	3
	佐世保西	3	92.8	24	0	25	0	0	0	0	1
	北松浦	3	95.2	22	0	22	0	0	0	0	0
	松浦	4	83.1	25	1	30	1	2	0	2	5
	小計		91.7	178	4	188	4	2	1	1	10

※上記の表の新入・退会は**当月中**の数字で、累計は
7月1日から2011年1月末までの増減です。

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第6グループ	佐世保南	4	100.0	69	0	73	0	0	0	0	4
	佐世保東	3	92.4	21	0	23	0	1	0	1	2
	佐世保北	3	100.0	43	0	44	0	0	0	0	1
	佐世保中央	4	100.0	40	2	40	2	0	0	0	0
	佐世保東南	3	72.0	26	2	25	1	0	0	0	-1
	HTB佐世保	4	83.1	24	4	23	4	0	0	0	-1
	小計		91.2	223	8	228	7	1	0	1	5
第7グループ	大村	3	82.0	48	3	49	3	0	0	0	1
	島原	3	85.5	34	2	34	2	0	0	0	0
	雲仙	4	88.1	26	0	28	0	0	0	0	2
	大村北	4	100.0	32	0	32	0	0	0	0	0
	島原南	3	70.1	21	1	21	1	0	0	0	0
	大村東	3	78.8	42	2	44	2	0	0	0	2
	小計		84.1	203	8	208	8	0	0	0	5
第8グループ	諫早	4	85.2	56	0	61	0	2	0	2	5
	諫早北	4	87.7	66	2	67	2	1	1	0	1
	諫早西	3	95.7	40	0	39	0	0	0	0	-1
	諫早多良見	3	83.3	36	0	36	0	0	0	0	0
	諫早南	3	72.5	27	6	23	4	0	0	0	-4
	小計		84.9	225	8	226	6	3	1	2	1
第9グループ	長崎	4	89.1	83	0	85	0	0	0	0	2
	福江	4	87.7	33	0	34	0	0	0	0	1
	長崎北東	3	85.1	47	6	49	6	0	0	0	2
	福江中央	4	92.9	28	0	28	0	0	0	0	0
	長崎西	3	73.6	58	0	56	0	0	0	0	-2
	長崎琴海	3	62.0	18	1	18	1	0	0	0	0
	小計		83.5	267	7	270	7	0	0	0	3
第10グループ	長崎北	4	82.1	76	0	74	0	1	1	0	-2
	長崎南	3	80.1	73	0	80	0	1	0	1	7
	長崎東	4	84.8	50	0	51	0	0	0	0	1
	東長崎	3	80.6	23	0	23	0	1	0	1	0
	長崎中央	3	95.8	57	0	58	0	1	0	1	1
	長崎出島	4	79.6	51	12	54	12	2	0	2	3
	小計		85.1	330	12	340	12	6	1	5	10
合計			85.4	2203	69	2255	72	18	7	11	52

文　庫　通　信　〈282号〉

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、２万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでＰＤＦもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。　以下資料のご紹介を致します。

ガバナー月信より

◎「洒落たいなかの食風景」	小泉　武夫	2010	10p（D.2830）
◎「フラガール誕生からスパリゾートへの道のり」	斎藤　一彦〔2010〕		9p（D.2550）
◎「試練が人を磨く」	桑田　真澄	2010	11p（D.2520）
◎「スポーツの世界、勝負の掟」	山本　浩	2010	2p（D.2690）
◎「人と自然との共生」	C.W.ニコル	2010	4p（D.2690）
◎「未踏の地球内部を掘る－地球深部探査船「ちきゅう」の挑戦」	平　朝彦	2010	4p（D.2640）
◎「足元の宝物で地域再生を」	月尾　嘉男	2010	10p（D.2640）

［上記申込先：ロータリー文庫（コピー／ＰＤＦ）］

ロータリー文庫

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後5時　　休館＝土・日・祝祭日

国際ロータリー第2740地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740
2010－2011 年度ガバナー　高 原 武 彦
ガバナー事務所
〒844-0027　佐賀県西松浦郡有田町南原丁175-5 TEL:0955-25-9110　FAX:0955-25-9120

背景の写真は日本磁器発祥の地「泉山磁石場」

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010−2011年度
国際ロータリー第2740地区　ガバナー　高　原　武　彦

地域を育み、大陸をつなぐ

CONTENTS

高原武彦ガバナー …… 1
ガバナー補佐・リレー随想 …… 2
米山記念奨学生・修了式及び歓送会 …… 3
ＩＭ 開催報告 …… 4
PETS 兼幹事研修セミナー　報告 …… 5
震災義援金 …… 6
合同勉強会紹介・寄付者紹介 …… 7
交換学生キア送別会・ケイト歓迎会開催 …… 8
茨城県より緊急避難青少年交換学生ケイト紹介 …… 9
我がクラブ No.1 卓話第６回 …… 10
新入会員紹介 …… 11
会員数・出席者報告２月 …… 12
ハイライトよねやま …… 13・14
文庫通信 …… 表紙裏

白石の宝物⑩
『歌垣公園』

日本三大歌垣の一つに数えられ、奈良時代の肥前風土記にも出てきます。一帯は公園として整備され、240本の桜と７万本のツツジが咲き誇りシーズンにはたくさんの花見客で賑わいます。また、展望所からは広大な白石平野や有明海が一望できます。

vol.11
2011.5.1

東日本大震災 被災地区に対する 義援金拠出への御礼

2010年～2011年
ガバナー 高 原 武 彦

３月11日の東日本大震災は一瞬のうちに家も肉親も失い住み慣れた町ごと破壊された悲しい恐ろしい出来事でした。被災されました方々に心からお見舞い申し上げます。

復興への兆しも伝わって参るようになりましたが、一刻も早く通常の暮らしに戻れますことを願って私達も応援して行きたいと思っています。

原発事故におきましては関係者の方々が懸命に努力しておられますので早く収束に向かって行くことを祈っておりますが、頻繁に起こる余震と共に未だ予断を許さない状況だと思われます。

この状況に対し、上野操ガバナー会議長をはじめとするガバナー会がロータリーの義援金受付を行い、各地区で取り纏めを依頼され、地区ガバナーから各クラブにお願いいたしました。今回は義援金 最終期限が３月30日と極めて時間がないにもかかわらず、各クラブに懇志を賜り心から感謝申し上げます。義援金は３月31日東京ガバナー会事務局においてガバナー会議長上野操氏と２名の副議長が相談の上、４月１日取り敢えず現段階での被災地区の見舞金として下記の当該ガバナー宛に送金いたしております。

RI 2520地区（岩手・宮城）に 5,000万円
RI 2530地区（福島）に 3,000万円
RI 2820地区（茨城）に 1,000万円
RI 2550地区（栃木）に 500万円
RI 2790地区（千葉）に 500万円

４月11日緊急ガバナー会が開催され
①その後の義援金募金額の報告　②被災地区の特定　③義援金配分方法
④義援金使途の内容・方法　⑤次年度の継続は、　その他について
検討　色々な意見が出されました。青森県を被災地区に加え、千葉県の被害状況もかなり深刻な状況にあることを認識いたしまして、お見舞金の見直しを行いました。２回目の募金締め切りは４月20日となっており、その後も続けて行くことになりました。ガバナー会の中から被災地区のガバナーを含めた検討委員会のメンバーを選出。今までに大震災経験地区のご意見やロータリーの英知を集め、復興期に向かってロータリーらしい支援活動、行政の支援制度の網ですくうことが出来ない様々な困窮事業等の活動を中・長期に渡って行っていくことになると思います。

RI 2740地区ガバナー事務所に送金いただきました現況については別頁にて掲載いたします。又、外国の姉妹クラブ等から地区のクラブ宛に送金されたものを地区ガバナー事務所を通していただいたものもございます。

御協力 誠に有難うございました。各クラブにおかれましては今後も宜しくお心遣いいただきますようお願い申し上げます。

ガバナー補佐・リレー随想

第９グループガバナー補佐　渡　邊　修　志

三陸沖を震源地として、日本観測史上最大規模のマグニチュード(M)9.0を記録した東日本大震災が3月11日(金)午後2時46分頃に発生しました。この地震とそれに伴う津波によって壊滅的な被害がもたらされ、この災害によって特に東北地方の岩手、宮城、福島の各県が未曽有な被害を蒙りました。この度の災害に合われ犠牲になられた方々に対し、哀悼の意を表すと共に、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。この中に多くのロータリアンがおられると思うと、さらに心痛む思いであります。

ガバナーマンスリーの執筆依頼があったのは3月19日で、東日本大震災の災害模様と福島第1原発事故が大々的な報道をされている最中でありました。この震災発生3日後に長崎ローターアクトクラブ創立40周年記念式典が開催され、その式典に出席した折、ローターアクト会長の挨拶の中で、この時期に記念式典をすることに思い悩み、協議の結果粛々と開催する事になった旨が述べられ、さらに災害支援のための募金活動を行うと宣言されました。

早速記念式典終了後、用意された募金箱が会場内を巡回されて、出席者に募金協力を呼び掛けていました。また、レセプション終了後、長崎駅かもめ広場で街頭募金を行う旨の報告がなされ、さすがに奉仕を志すローターアクトの若い行動力だと感心すると共に、エールを送る事にしました。次週3月15日火曜日は福江中央RC、木曜日は長崎琴海RC、金曜日は福江RCの訪問でしたが、どのロータリークラブでも東日本大震災の話で持ち切りで、義援金協力の要請を呼び掛けていました。またこの時期での観桜例会の中止を決定したロータリークラブもあり、やるとしても自粛して行う事が報告されていました。この様な時こそロータリーの超我の奉仕の信念を発起して、災害復興支援の一層の応援をする必要があるのではないでしょうか。

ロータリー年度は残り3カ月となりましたが、第9グループの福江RCをホストクラブとして、5月14日、15日にライラが開催されます。自然を見直し見つめ直す良い機会であると思いますので、青少年の皆様の多数の参加を期待する処であります。

「日本がんばれ」を合言葉で開催された春の選抜高校野球も無事終了し、被災者の皆さんを元気付けたものと思います。いよいよこれから復興東北、再生日本に向けて、槌音高く邁進すべきではないでしょうか。

２０１０年度
米山記念奨学生･修了式及び歓送会

日　時：2011年3月13日
場　所：ハウステンボスJR全日空ホテル　１２Ｆアストラル

10：00より委員会打ち合わせ
10：30より受付（西岡委員・事務局２名）
11：15　司会　本多委員
初めに今回の東北地方太平洋沖地震の被災者に対しての黙祷
開会挨拶　曽我委員長
出席者紹介　中島委員
11：30 ガバナー挨拶　岩永ガバナーエレクト
・理事挨拶　栗林理事
・修了証の贈呈　岩永ガバナーエレクト
米山奨学生
・カウンセラーへの感謝状贈呈　栗林理事
・全員にて記念写真撮影
12：30 歓送会
・ホームカミング制度の説明
学友会の案内　　曽我委員長・北郷委員
・カウンセラー11名　奨学生13名　　スピーチ
15：00 閉会挨拶　西岡委員

以上で修了式及び歓送会の全日程を終了

今回の修了式は東北地方太平洋沖地震から2日後の開催ということで明るく楽しめるムードではありませんでしたが、タン・ジン・ウェン(ミャンマー)君の昨年、自分の事故の時、多くの方々に助けていただき、その時の感謝、そして今回の被災者の方々の事を考えスピーチの中で涙を流しながら、日本・日本人に対しての話をしてくれました。聞いていた全員が涙しながら、聞いていて、この米山の事業を通して国際親善と世界平和に寄与している事を再確認した。

ＩＭ 開催報告
「第7・8グループ合同ＩＭ」報告

第７グループ　ガバナー補佐 笠 井 和 幸

今年度の合同ＩＭのテーマは、会員減少の大きな理由のひとつに「ロータリーを勉強する機会が減った」という報告を受け「ロータリーを知ること、つまり研修会」、「人を知ること、つまり親睦会」この2つに集約し「知ることから始めようロータリー」とし開催しました。

全クラブの参加型のＩＭをめざし、第1部は「ロータリーの魅力は」、第2部は「ロータリーの奉仕は」と題して１１クラブからの発表を受け、第１部を高城昭紀パストガバナーに、第2部を栗林英雄パストガバナーにコメントをいただきました。

質問の時間には、多くのロータリアンから熱心な質問が相次ぎ大変有意義な時間を持てたことに感謝しています。さらに、閉会式の中では佐古亮尊パストガバナーに30分の卓話をいただきました。途中退席者もほとんどなく、3時間にも及ぶ発表と、質疑、コメントを通してロータリアンの熱意を強く感じました。

今回の開催については、つい1週間前に起こった「東日本大震災」への対応を協議した結果、「ＩＭはロータリーの奉仕の理想を追求する研修会であることを確認し、こういう時だからこそ、奉仕の理想を勉強する機会にしよう」と、開催を決定させていただきました。親睦会は自粛をすることを含めて、アルコールをウーロン茶にかえて開催し、会場での義援金と合わせて捻出した325,170円の浄財をガバナー事務所に届けることができたことにも合同ＩＭ開催の意義があったのではないかと思います。

【合同ＩＭ概要】

開催日時：2011年3月11日
会場：長崎インターナショナルホテル
ホストクラブ：大村ロータリークラブ
コ・ホストクラブ：大村北ロータリークラブ、
大村東ロータリークラブ
参加クラブ：第7グループ内　6クラブ、
第8グループ内　5クラブ
参加人数：約240名

PETS兼幹事研修セミナー　報告

長崎琴海ロータリー・クラブ　会長　田　中　一　広

2011年3月12日(土)、ガーデンテラス長崎にて「国際ロータリー第2740地区2011～2012年度会長エレクト兼幹事研修セミナー」を総勢134名のロータリアンの出席で開催致しました。

セレモニーの後、岩永ガバナーエレクトによる参加者紹介、高原ガバナーのご挨拶に続き、岩永ガバナーエレクトより「次年度地区方針」の発表がありました。まず、今年１月、米国サンディアゴにて開催された国際協議会についての報告をされ、次年度カルヤン・バネルジーRI会長が掲げられた「こころの中を見つめよう　博愛を広げるために」という新しいRIテーマについて説明されました。そのロゴマークについては、岩永ガバナーエレクトならではの思慮深い解釈も述べられ、大変印象的でした。バネルジーRI会長が強調事項として挙げられた「家族」「継続」「変化」については、そのまま当地区のスローガンとすることと述べられ、各項目の具体的な取り組み方についても説明されました。

休憩後、会長部会と幹事部会に分かれ、分科会が開催されました。会長部会は、講師として長崎東RCの松尾豊明さんが務められ、自らの会長経験を踏まえた内容となりました。誰もが気になる会長挨拶や例会の細かい時間調整など、次年度のクラブ運営に生かされる内容だったことに加え、松尾さんの巧みな話術で、次期会長の皆さんも吸い込まれるように聞き込んでいらっしゃる様子でした。

幹事部会では、当長崎琴海ＲＣの佐藤豊会員が講演を行い、年間を通してクラブの各方面に気を配らなければならない幹事には、まず健康な体が必要であるという話から始まり、ぜひクラブ会長と二人三脚で笑顔の一年にしてほしいと締めくくられました。

休憩後、次年度ロータリーの友地区代表委員の田中克憲さんによるロータリーの友についてのお話、10名のガバナー補佐のユニークな所信表明、中野次年度地区幹事の地区運営についてお話があり、最後に高城パストガバナーから講評を頂き、無事終了致しました。

懇親会は、乾杯と共に名刺交換が至るところで見られ、親睦を深め、「手に手つないで」を全員で歌い、閉会となりました。

当日は、前日の東日本大震災の影響により、ＪＲがストップする中、大勢のロータリアンの皆様にご参加頂き、誠にありがとうございました。

震 災 義 援 金

グループ	クラブ名	東日本大震災	ニュージーランド
第1グループ	佐賀	200,000	66,000
	小城	200,000	0
	牛津	280,000	28,000
	多久	400,000	40,000
	佐賀大和	240,000	25,000
第2グループ	佐賀西	100,000	42,000
	佐賀北	300,000	33,000
	佐賀南	100,000	37,000
	神埼	別寄付	0
	佐賀空港	50,000	14,000
第3グループ	有田	380,000	38,000
	武雄	265,000	26,500
	鹿島	235,000	19,000
	嬉野	140,000	8,356
	大町	20,000	0
	白石	12,000	0
	太良	8,000	4,000
第4グループ	唐津	341,100	40,000
	伊万里	170,000	34,000
	唐津東	100,000	0
	唐津西	100,000	31,000
	伊万里西	290,000	20,550
	唐津中央	100,000	32,000
第5グループ	佐世保	別寄付	50,000
	平戸	35,000	36,000
	佐世保西	30,000	20,000
	北松浦	30,000	20,000
	松浦	100,000	30,000

グループ	クラブ名	東日本大震災	ニュージーランド
第6グループ	佐世保南	別寄付	36,000
	佐世保東	54,000	25,000
	佐世保北	211,200	33,000
	佐世保中央	127,000	29,059
	佐世保東南	50,000	25,000
	ＨＴＢ佐世保	20,000	16,000
第7グループ	大村	500,000	24,500
	島原	100,000	36,000
	雲仙	100,000	28,000
	大村北	300,000	0
	島原南	300,000	20,000
	大村東	1,071,940	10,000
第8グループ	諫早	203,000	31,000
	諫早北	68,000	34,000
	諫早西	39,000	19,500
	諫早多良見	38,000	19,000
	諫早南	50,000	11,500
第9グループ	長崎	128,325	61,673
	福江	256,167	17,014
	長崎北東	470,000	90,000
	福江中央	38,000	27,000
	長崎西	112,000	56,000
	長崎琴海	28,000	8,500
第10グループ	長崎北	1,261,500	46,010
	長崎南	800,000	39,000
	長崎東	500,000	51,000
	東長崎	35,000	9,000
	長崎中央	1,000,000	57,000
	長崎出島	300,000	36,000

第７・8ＧＩＭ実行委員会（東日本大震災へ）　325,173　　第２Ｇ　ガバナー補佐　小林（東日本大震災へ）　50,000

長崎東ＲＣ（台湾　高雄西區扶輪社より東日本大震災へ）　1,000,000

長崎ＲＣ（台湾　中壢東南ＲＣ（青少年交換学生キア・チャンの父親が会長）より東日本大震災へ）　426,332

東日本大震災義援金ガバナー会へ　総合計　14,188,737　　ニュージーランドへ　総合計　1,590,162

佐世保ＲＣ（創立 60 周年記念事業で東日本大震災義援金として佐世保市へ）　3,000,000

佐世保南ＲＣ（東日本大震災義援金として佐世保市へ）　2,000,000

伊万里ロータリークラブ
伊万里西ロータリークラブとの合同勉強会

３月２３日（水）、グループ内で未開催だったＩ.Ｍ. に代わり、伊万里ロータリー・伊万里西ロータリークラブとの合同勉強会を伊万里迎賓館にて開催しました。

夜に変更した例会後、第４グループガバナー補佐中島登志雄君をお迎えして、隅田達男パストガバナーの講演による合同勉強会です。

パワーポイントを交えながら、ロータリーの歴史、ロータリーとは…について講演して頂きました。約 60 名の参加者は、熱心に聞き入っていました。

その後の懇親会では、両クラブ会員が和気藹々と話が弾み、より一層の親睦を深め合い盛会裏に終了しました。

寄付者紹介

ロータリー財団･米山記念奨学会への寄付者をご紹介いたします。

ご厚意に深く感謝申し上げます。

ロータリー財団寄付関係

種　　類	氏　　名	クラブ名
マルチプル	**鬼木　和夫**	佐世保RC

米山記念奨学会寄付関係

種　　類	氏　　名	クラブ名
メジャードナー	**朝永　春郎**	松浦RC
マルチプル	**大川内克俊**	佐世保南RC
	岡崎　公一	佐世保南RC
	小川　春弥	長崎南RC
功労者	**太田　善郎**	佐賀北RC
	溝口　尚則	佐世保RC

交換学生キア送別会・ケイト歓迎会が開催されました。

D2740　YEC地区委員長　瀬戸口　智　彦

日　時　2011.3.27　12：00～15：00
会　場　長崎　桃華園
出席者　G事務所　地区委員会　関係Rn　ホストファミリー　来日学生
　　派遣予定学生

ご存じのとおり去る３月11日にM・9というとてつもない東日本大震災が起こり、観測史上最大の20Mにも及ぶ大津波が東北方面を襲い、続いて福島原発の放射能漏れ事故が発生しました。

来日している交換学生に本国からの帰国命令や緊急避難など大きな波紋が生じて、全国的には帰国している来日学生も多数います。

当2740地区の状況：

① 台湾から長崎へやってきたＫＩＡさんが政府の方針により台湾へ帰国
② オーストラリアから茨城へ交換学生として来日してきたKateMcmahonさんが急遽佐世保のロータリークラブでお世話になることになりました。
③ 来日学生　ケヴィン（フランス）プージャ（インド）
　ウェズリー（オーストラリア）は日本に滞在

会を始めるにあたりまず全員で「東日本大震災」の多数の犠牲者に黙祷をささげ併せて被災地域の一日も早い復興を祈念しました。

11：00　地区委員会　12：00　出席者紹介（若杉）12：05地区委員長挨拶
12：20　キアさんケイトさん日本語での挨拶
12：30　キア・ケイトさんのホストファミリーの挨拶
12：40　二人を囲み　会食
14：00　キア　ケイトさんへプレゼント贈呈
15：00　終了

茨城県より緊急避難青少年交換学生
Kate Mcmahon

みんなさんこんにちは。私の名前はケイトです。私は十六歳です。オーストラリアから茨城県にりゅがくしています。でもじしんで　奈菜のすんでいる長崎県に来ました。

はじめ　すこしのあいだ　長崎にいて、4月になったら茨城にかえるつもりでしたが、
原発がしんぱいでかえることができなくなりました。
佐世保ロータリークラブのおせわになり、とうぶんのあいだ　九州文化学園にかようことになりました。

日本にくる前　去年　オーストラリアに佐世保南RCの奈菜が私の学校にきました。
今佐世保にきているウェスリーも　今年1月に帰ったタミカも同じ学校にかよっています。茨城での私の学校は太田一高校です。今私は高校一年生です。

私は　ほうかご　弓道をしています。私は弓道が好きです。楽しいです。

オーストラリアでは体育と英語と日本語と地理と経済学とドイツ語とスペイン語と観光をべんきょうしていました。
オーストラリアで　ほうかご　ホッケーとダンスをしていました。

私はオーストラリアでうみのちかくに住んでいます。
夏は毎週サーフィンに行きます。

私の誕生日は九月二十八日です。
私は日本の食べ物大好きです。私の好きな食べ物はお好み焼きです。

私は四人家族です。お母さんとお父さんと妹とじぶんです。
妹は十二歳です。スーポツが好きです。
ありがとうございました。

第６回
我がクラブNo.1卓話

ロータリー綱領について炉辺会合

島原ロータリークラブ　髙　木　義　和

3年未満の新入会員に向けて家族会議がよく開かれますが、中でも「ロータリーとは…」の概念が取り上げられている様です。第2740地区で発行された「ロータリークラブへ入りませんか」のパンフレットの中にも、最初説明されていますが□枠部分は、徐々にロータリー活動した中で新入会員皆さん自身で書き込んで下さい。

それは、2番目のロータリーの理念を理解する上で、概念だけでなく、道徳・哲学を踏まえて更に厚味を増し、ロータリーの精神を養い備えて、未来へと向かう事が出来ます。

さて「ロータリーの綱領」はロータリーが何を基本として成すべきかを４綱にしております。ロータリーの友3月号に「綱領」の和訳についてアンケートの統計が発表されておりますが、私自身は「基本方針」であり不易で本物でなければならないもの、また根本原理原則、中孚、それによって人間性合理性を高め信頼と利益を生みだす事が出来ると考えます。

特に第1綱の親睦関係を発展させる事は大切で、奉仕の機会を多くもたらすのです。こうして炉辺会合へ参加する機会（チャンス）もその一つです。こう云うチャンスを見過ごさないで頂きたい。「CHANCE」の中にこそ未来へ進む鍵が有ります。そうです「CHANGE」変革・進化・新化は私達が活動する上で原動力となります。

第4綱の奉仕（酌損）の理念を考える上で、奉仕とは、一銭にもならない、嫌がられる、笑われる、そんな違和感に包まれてはなりません。そこでロータリーの精神「寛容」が発揮されなければなりません。損して得取れ、先客後利です。

和訳翻訳の正確さも大事なことですが、実践すべき中身大義を忘れてなりません。綱領（用罔）を実践する第一歩は、自然の性・道・教を学び智によって善性を成し、礼によって善徳を全うする事であります。

ロータリーとは「易簡而天下之理得矣」の道です。

クラブ炉辺会合より

大募集!!
新企画「我がクラブNo.1卓話」

「ワクワク ドキドキ 楽しいロータリー!」にする為には、毎回の卓話の充実が不可欠です。新企画は各クラブより「これぞ卓話!」と思われるものを募集して掲載いたします。優秀卓話は「ロータリーの友」に提案し掲載を依頼する予定です。
（文字数800～900文字）

「月信」委員長　石川慶藏

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介いたします。 ※氏名の下部は、勤務先、趣味

佐世保南RC
宮地　学 君
宮地学税理士事務所
旅行、ドライブ

佐世保中央RC
糸瀬　新 君
AIGスター生命保険㈱
佐世保エージェンシーオフィス

諫早RC
本間　隆志 君
本間建設㈱県央営業所
映画鑑賞

佐世保北RC
三谷　秀和 君
株式会社　日本エコネット
一人旅

唐津RC
加藤　博彦 君
加藤眼科医院

大村北RC
竹内　公邦 君
㈲竹内モータース

長崎北RC
川島　邦元 君
㈱親和土建

諫早多良見RC
杉村　嘉経平 君
Sky-High宇都

諫早多良見RC
南条　博 君
NPO法人ふれあいフレンド
ボウリング

長崎RC
小川　洋 君
㈱十八銀行
ウォーキング、ゴルフ、読書

小城RC
村岡　安廣 君
株式会社　村岡総本舗

ロータリーの偉人に学ぶ 元気の出る言葉
～松下幸之助氏の言葉より～
感謝報恩の心は人間ならでは

他人に助けられ、多くを与えられているにも拘わらず、それに報いようとはしない人ばかりでは、この世は殺伐としたものになる。社会に潤いをもたらすのは、感謝の心、報恩の心。いわば感謝報恩の心は、人間だけが持つ尊い宝なのである。

2011年　2月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	4	78.6	61	0	66	0	0	0	0	5
	小城	4	83.0	27	2	24	2	0	2	-2	-3
	牛津	3	83.9	30	1	29	0	0	0	0	-1
	多久	4	88.4	41	4	41	4	0	0	0	0
	佐賀大和	4	70.7	24	2	25	3	1	0	1	1
	小計		80.9	183	9	185	9	1	2	-1	2
第2グループ	佐賀西	4	81.0	46	0	49	0	1	0	1	3
	佐賀北	4	92.0	31	3	33	3	0	0	0	2
	佐賀南	4	78.2	38	1	39	1	0	0	0	1
	神埼	4	85.5	32	0	34	2	0	0	0	2
	佐賀空港	3	57.0	12	1	14	1	0	0	0	2
	小計		78.7	159	5	169	7	1	0	1	10
第3グループ	有田	4	75.0	36	0	38	0	0	0	0	2
	武雄	4	90.6	53	4	53	4	0	0	0	0
	鹿島	4	93.0	39	3	40	3	0	1	-1	1
	嬉野	3	87.9	23	1	22	1	0	1	-1	-1
	大町	4	77.8	20	0	20	0	0	0	0	0
	白石	4	62.5	12	0	12	0	0	0	0	0
	太良	4	81.3	8	0	8	0	0	0	0	0
	小計		81.1	191	8	193	8	0	2	-2	2
第4グループ	唐津	4	88.8	53	0	53	0	0	0	0	0
	伊万里	4	93.2	30	0	34	0	3	0	3	4
	唐津東	4	91.3	52	0	53	0	0	0	0	1
	唐津西	4	95.8	33	0	32	0	0	0	0	-1
	伊万里西	4	93.7	44	0	45	0	0	0	0	1
	唐津中央	3	94.6	32	4	32	4	0	0	0	0
	小計		92.9	244	4	249	4	3	0	3	5
第5グループ	佐世保	4	100.0	72	0	73	0	0	0	0	1
	平戸	4	98.5	35	3	37	3	0	1	-1	2
	佐世保西	4	95.7	24	0	25	0	0	0	0	1
	北松浦	4	95.3	22	0	22	0	0	0	0	0
	松浦	3	82.2	25	1	30	1	0	0	0	5
	小計		94.4	178	4	187	4	0	1	-1	9
第6グループ	佐世保南	3	100.0	69	0	73	0	0	0	0	4
	佐世保東	3	95.7	21	0	23	0	0	0	0	2
	佐世保北	4	98.2	43	0	44	0	0	0	0	1
	佐世保中央	4	100.0	40	2	42	2	2	0	2	2
	佐世保東南	4	72.0	26	2	25	1	0	0	0	-1
	HTB佐世保	3	77.3	24	4	23	4	0	0	0	-1
	小計		90.5	223	8	230	7	2	0	2	7
第7グループ	大村	4	84.2	48	3	49	3	0	0	0	1
	島原	4	80.1	34	2	36	2	2	0	2	2
	雲仙	4	89.3	26	0	28	0	0	0	0	2
	大村北	4	100.0	32	0	32	0	0	0	0	0
	島原南	4	72.3	21	1	21	1	0	0	0	0
	大村東	4	81.1	42	2	44	2	0	0	0	2
	小計		84.5	203	8	210	8	2	0	2	7
第8グループ	諫早	3	85.3	56	0	61	0	0	0	0	5
	諫早北	4	87.7	66	2	68	2	1	0	1	2
	諫早西	3	88.4	40	0	39	0	0	0	0	-1
	諫早多良見	4	83.3	36	0	36	0	0	0	0	0
	諫早南	4	73.9	27	6	23	4	0	0	0	-4
	小計		83.7	225	8	227	6	1	0	1	2
第9グループ	長崎	4	90.8	83	0	85	0	0	0	0	2
	福江	3	87.4	33	0	33	0	0	1	-1	0
	長崎北東	4	89.6	47	6	49	6	0	0	0	2
	福江中央	4	99.1	28	0	28	0	0	0	0	0
	長崎西	4	84.1	58	0	56	0	0	0	0	-2
	長崎琴海	4	80.9	18	1	18	1	0	0	0	0
	小計		88.7	267	7	269	7	0	1	-1	2
第10グループ	長崎北	4	86.3	76	0	74	0	0	0	0	-2
	長崎南	4	78.2	73	0	80	0	0	0	0	7
	長崎東	3	78.1	50	0	51	0	0	0	0	1
	東長崎	4	85.9	23	0	23	0	0	0	0	0
	長崎中央	4	94.1	57	0	58	0	0	0	0	1
	長崎出島	3	86.6	51	12	55	12	1	0	1	4
	小計		84.8	330	12	341	12	1	0	1	11
合計			86.0	2203	73	2260	72	11	6	5	57

※上記の表の新入・退会は**当月中**の数字で、累計は
7月1日から2011年2月末までの増減です。

2011 年 4 月 12 日発行［月刊］
（財）ロータリー米山記念奨学会

ハイライトよねやま 133

このたびの大震災で被害を受けられました皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

1 寄付金速報 ― 予算達成に向けてご協力お願いします ―

3月末までの寄付金は累計で11億284万円となりました。前年同期と比べて2.1%減、約2,400万円の減少です。2010-11年度の予算額13億円に対し、あと1億9,700万円が必要です。

東日本大震災発生後、当会への寄付は非常に厳しい状況です。こうしたなか、和歌山南ＲＣと名古屋ＲＣの会員から「米山奨学事業のために」と、それぞれ100万円の大口寄付がありました。また、米山学友の陳思乾さん（台湾／1973-75／大阪淀川ＲＣ）、姫軍さん（中国／1995-97／東京臨海ＲＣ）からもそれぞれ50万円の寄付をいただきました。未曽有の大災害に、世界中の米山学友から祈りのメッセージや義援金が寄せられています。これこそ、50年間にわたる米山記念奨学事業のたまものにほかなりません。どうぞ今後とも継続的なご支援をお願いいたします。

2 震災から１カ月……東日本大震災関連の続報

●奨学生の安否　第2520地区、第2530地区、第2820地区について、現役奨学生（3月終了者含む）および合格者、計116名の安否確認をすすめておりましたが、全員の無事が確認されました。

●国内外から支援の輪

4月11日現在までに、台湾学友会から2,576,000円、韓国学友会から1,630,000円、中国学友会から1,358,500円、第2670地区学友会から37万円を受領しました。また、匿名奨学生から「日本で生活するわれわれ外国人も今回の震災に日本人と同じく心を痛め、同じく力を出したい」と、アルバイトで貯めたお金を含め10万円を寄付してくれたほか、台湾学友会理事長の許國文さん（1975-77／徳島ＲＣ）が、自身の所属するロータリークラブを通じてマスクを6,000枚送ってくれました。これらの義援金と物資は、近日中に被災地区へ送ります。

台湾セブン-イレブンを展開する統一超商社長の徐重仁さん（1976-77／平塚ＲＣ）は、「第2の故郷である日本が大きな困難に臨み、いてもたってもいられぬ日々が続いています」とコメントを寄せ、セブン-イレブンの店頭募金などで2億円以上の義援金が集まっていると報告してくれました。

中国で日本語書店を経営する宋東さん（2005-06／鹿児島西南ＲＣ）は、これまで3回にわたって店頭募金を日本領事館へ寄付したほか、大連で開かれたチャリティーイベントに出展し、書籍の売り上げを全額寄付したということです。

3 現地採用の第１号奨学生が博士号を取得して帰国

2006年から3年間、ベトナムを対象に試行した現地採用米山奨学金制度。日本への留学を希望するベトナム在住の若者に門戸を開いたこの制度の第1号奨学生として、2007年7月に来日したタイ・ヴァン・ナムさん（2007－11／千里ＲＣ）は、大阪大学大学院博士課程で「ベトナムのエコラベル（環境基準）」をテーマに研究に励み、この3月に晴れて博士号を取得。学位授与式を終えて、27日に帰国の途につきました。

今後は、ホーチミン市工科大学の教員として迎えられるナムさん。「米山奨学生の名誉を汚さないように最善を尽くします」と、これからの奮闘を誓っています。

4 奨学生のスピーチコンテスト ― 第 2660 地区 ―

第 2660 地区（大阪府北部）主催の米山記念奨学生スピーチコンテストが 2 月 19 日（土）、大阪国際交流センターで開かれました。当日は、同地区米山奨学生 12 名が発表に立ち、松本新太郎ガバナー、近藤雅臣ＲＩ理事（米山奨学会常務理事）とロータリアン 7 名が審査。奨学生の家族や、世話クラブ会員・事務局の皆さんも応援に駆けつけ、総勢 100 名規模の盛況でした。

最優秀賞に輝いたのは、大阪大学博士課程 3 年の劉璐さん（大阪御堂筋ＲＣ）による「心開いて、勇気を出して、真の異文化理解へ」。冷え込む日中関係について、「こんな時こそ、マスメディアや他人の意見に振り回されることなく、自分の考えで中国人は日本人と、日本人は中国人と接し、分かり合おうとする努力をしてほしい」と、率直に語りました。そのほか 4 人が入賞を果たし、参加者全員に記念品が贈られました。

最優秀賞の劉さん（右から 2 番目）と入賞者の皆さん

それぞれのスピーチの前には、世話クラブ会員による応援パフォーマンスが行われ、コンテストを大いに盛り上げました。

今回のスピーチコンテストは、同地区米山奨学委員長をつとめる磯田郁子氏が「米山奨学生が日本の生活の中で感じたことを地区のロータリアンに伝える機会になれば」と、長年温めていた企画だそうです。参加したロータリアンからは、「米山奨学生のレベルの高さを感じた」、「もっと多くの会員に聞いてほしい」、「夢をもらった」といった感想が寄せられ、多くのロータリアンに奨学生の魅力を伝える方法として、「スピーチコンテスト」が今後大きな役割を果たしてくれそうです。

5 NHKハングル講座に米山学友がレギュラー出演中！

2009 年に日本の音楽界にデビューし、クラシカルポップス歌手として日本で活躍する米山学友、Jisong（ジソン）さん（2007-08／昭和音楽大学大学院／大和ＲＣ）が、ＮＨＫ教育テレビ「テレビでハングル講座」（毎週火曜 23：00～23：25、再放送：土曜 6：00～6：25）にレギュラー出演しています。Jisong さんはネイティブゲストとして、生徒役のタレント・大沢あかねさんのサポート役を担当します。

「正確で美しい発音を心がけたい。ロータリアンや家族の皆さまに見ていただけたらうれしいです。一人でも多くの方にハングルを知ってもらい、楽しく勉強できるように頑張りたい」と、意気込みを語っています。ぜひご覧ください！

『ロータリーの友』5月号に姫軍さんのスピーチが掲載されます！

昨年 11 月、第 2590 地区の地区大会で姫軍さん（中国学友会華北分会会長）が行った講演が『ロータリーの友』5 月号の巻頭に掲載されます。すばらしい内容ですのでぜひご覧ください

(財) ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津（のづ）・望（のぞみ）

文　庫　通　信　〈283号〉

「ロータリー文庫」は日本ロータリー５０周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約２万３千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近の資料より

◎「ロータリーへの道〔三訂版〕」　ポール・ハリス著；柴田實訳　成田RC
2011　372p［申込先：成田RC　FAX(0476)33-8786］

◎「ロータリーの日常の知識」　三木　明訳　2010　83p
（A Talking Knowledge of Rotary）［申込先：三木 明　FAX(079)223-2477］

◎「決議２３－３４について」　山崎　勝　2010　32p
（D.2720ガバナー月信総集編）［申込先：ロータリー文庫(コピー/ PDF)］

◎「職業奉仕の目ざす所」　勝野　露観　2010　12p
（職業奉仕その心と今日的役割/D.2640）［申込先：ロータリー文庫(コピー/ PDF)］

◎「ロータリアンの職業宣言について考えること－『職業奉仕の現在的意義』」　北岡　満　2010　4p
（職業奉仕その心と今日的役割/D.2640）［申込先：ロータリー文庫(コピー/ PDF)］

◎「『四つのテスト』の解釈について」　辻林　俊彦　2010　2p
（職業奉仕その心と今日的役割/D.2640）［申込先：ロータリー文庫(コピー/ PDF)］

◎「ロータリー入門書2010～2011年度版」　前原勝樹・重田政信　2010　197p
［申込先：北斗事業出版　TEL(03)5207-6681］

◎「ロータリークラブ　簡単図解」　鈴木章夫　D.2520〔2011〕12p［申込先：ロータリー文庫］

◎「カンボジア・ベトナム海外研修」　柏木　希予　2010　1p
（D.2650インターアクト海外研修報告）

［上記申込先：ロータリー文庫（コピー／ＰＤＦ）］

ロータリー文庫

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後5時　　休館＝土・日・祝祭日

国際ロータリー第2740地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740
2010－2011 年度ガバナー　高 原 武 彦
ガバナー事務所
〒844-0027　佐賀県西松浦郡有田町南原丁175-5 TEL:0955-25-9110　FAX:0955-25-9120

背景の写真は日本磁器発祥の地「泉山磁石場」

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010ー2011年度
国際ロータリー第2740地区　ガバナー　高　原　武　彦

地域を育み、大陸をつなぐ

CONTENTS

高原武彦ガバナー …… 1
ガバナー補佐・リレー随想 …… 2
第３回財団国際親善奨学生候補者研修会及び壮行会 3
ＩＭ 開催報告・伊万里ロータリークラブ親睦ゴルフ大会 4
米山カウンセラー説明会・奨学生オリエンテーションの報告 5
米山記念奨学生一覧 …… 6
地区協議会報告 …… 7・8
寄付者紹介・物故者 …… 9
我がクラブ No.1 卓話第７回 …… 10
新入会員紹介 …… 11
会員数・出席者報告３月 …… 12
会員数・出席者報告４月 …… 13
ハイライトよねやま …… 14・15
文庫通信 …… 16

太良の宝物⑪

『岳の新太郎』（平成22年12月道の駅太良に建立）

民謡「岳の新太郎さん」に登場する人物で、多良岳の山頂近くの金泉寺の寺侍であり、文化ー文政時代の人と伝えられています。この唄は、その当時、女人禁制の霊場（金泉寺）にいた美男子の寺侍ー岳の新太郎に想いを寄せる村娘の慕情を歌ったもので、多良岳東南の山麓一帯に広く伝えられている民謡です。「道の駅太良」には農林水産品販売のたらふく館、漁師の館が併設されています。国道２０７号線沿いですので、ぜひお寄りください。

vol.12
2011.6.1

楽しもう親睦月間

2010年～2011年
ガバナー 高 原 武 彦

6月は、親睦月間です。2010～2011年度最後の月です。各クラブでは家族会や旅行、ゴルフ大会 等色々な親睦活動が催されることと思います。

会長や幹事さんと共に1年間のお互いの労をねぎらい、思い出を語り、又 健康でロータリアンとして続行出来ることを喜び、大いに楽しみ、そしてエネルギーを充電し新しい年度へ繋げて行きたいと願っています。

ロータリーでの親睦は真に知り合いを広め深めることで信頼関係と友情を築き、奉仕活動に携わる心を育んでロータリー活動を活性化する目的があります。親睦会は、クラブの多くの会員がくまなく参加することが理想であり、出席者が少ないことや特定の会員ばかりの出席や、常時欠席者等あれば原因を調べ工夫と心配りが必要であるように思われます。

楽しい親睦の中に相い和するうちに自己改善がなされ、利己と利他との調和が生まれ、育つよう努力したいものです。

RYLA in GOTOに参加して

5月14日(土)・15日(日) 1泊2日で福江文化館と さんさん富江キャンプ村で RYLA in GOTO が開催された。

心配されたお天気も台風一過の素晴らしい五月晴れに恵まれRYLAが五島で開催されることを祝福しているようだった。海は潮風と共に生き生きと踊り、島々は新緑に輝いていた。

13時からの五島市長ご出席のもとの開講式を終え、３台のバスに分乗して五島市内の自然、歴史、文化の話を聞きながら、島一周へ視察。自然の素晴らしさを学んだ。

夕食はキャンプ村海岸の桟敷でのバーベキュー。五島牛と特大のサザエの壷焼き、新鮮な海の幸をアルコール抜きで堪能した。夕食後・メインテーマ「自然と関わりの中で語り合いましょう!!」サブテーマ「五島の魅力について」「自然との共生について」「生物多様性について」基調講演とグループディスカッションが熱心に3時間行われた。入浴後、バンガローに帰宅したロータリアン達は寝酒を友に深夜までグループディスカッションをして有意義な1日目が終わった。

二日目は早朝から予定のスケジュールを終了し、午後、福江RC・福江中央RCのお世話に感謝しながら五島を後にした。

ガバナー補佐・リレー随想

第10グループガバナー補佐　澤　山　俊　雄

皆様へ、第１０グループを担当させて頂いている長崎出島ロータリークラブ所属の澤山俊雄です。　この月信が皆様のお手元に届く頃には　ガバナー補佐としての最後の月になると思います。　大役を拝命してから準備、勉強期間入れ約１年半過ぎましたがほっとして居るというよりも少しロータリーのことが分かって、これから皆様のお役に立てるのではと言うのが正直な感想です。

任期中最大の思い出は９・１０グループ合同開催の２月６日のＩＭでした。ホストクラブ長崎南クラブの素晴らしい運営とチームワークで成功裡に終わることができました。今回は初の試みとして後述するガバナーへの提言、着座方式による懇親会など実行しました。特にパネラー方式による第一分科会では、活発な質疑応答があり、時間が足りないほどでした。その底辺となったのは、事前に５７クラブにお伺いしたアンケート分析結果で、この結果に現在各クラブ・ロータリアンが抱えている問題点等が反映されており、地区および各クラブの運営に参考となりますので、各クラブ会長・幹事さんはガバナー事務所に保管されている分析表に是非目を通して頂きたいと存じます。　さて、上述のＩＭ各分科会の纏めとして全出席者の前で発表し、ガバナーにその場で提言書としてお渡しした内容の一つである“年に１度の地区大会に拡大ＩＭ（勉強会），ライラ、ＲＡＣ年次大会など地区各種大会を集約し、２日間に亘る効率的な運営を目指す”については、各ロータリアンの経費・時間の節減の観点からも地区として引き続きの検討をお願いしたいと思います。

最後に、ガバナー補佐の仕事は申すまでもなくガバナーの補佐と、そして担当する各クラブからの生の声をガバナーにお伝えすることで、地区としての進化、改善の役割をなすことだと一年を通じて感じました。この間に高原ガバナー・酒井田地区幹事の都度のご指導　そして２ヶ月に1回の９・１０グループの会長・幹事会を通じ１２クラブ全員の皆様にご協力、ご支援頂いた事に対し心より御礼申し上げます。　一年間　本当に有り難うございました。

第３回 財団国際親善奨学生候補者研修会及び壮行会

ロータリー財団奨学・学友委員長 有田信一

４月10日（日曜日）に長崎市内のベストウェスタンプレミア ホテルで第３回財団国際親善奨学生候補者研修会及び壮行会を行いました。

研修会は司会を務めた野口道生委員（長崎出島RC）の「委員の野口です」という元気な一声で始まりました。

今回の研修会のハイライトは３人の奨学生、池田加奈さん（長崎西ＲＣ）、熊本加奈子さん（佐賀ＲＣ）、澤部涼子さん（諫早多良見ＲＣ）が留学先で行うプレゼンテーションの予演会でした。

オランダに留学予定の池田加奈さんは日本の四季、日本の食べ物、エンターテインメント、スポーツを紹介するとともに、長崎とオランダのつながりを説明しました。オルゴール，リュックサック、おてんばなどのオランダ語が日本語となった言葉、オランダの国旗の色がそのまま表現されている長崎バスの色，はた（たこ）の色、そしてオランダの町そのものがまちとなったハウステンボスを紹介しました。

イギリスに留学予定の熊本加奈子さんは「The Japanese House」と題して，佐賀の古民家の茅葺きの屋根，畳，しょうじ、襖、床の間、縁側を題材として，日本の住まいを紹介しました。

同じくイギリスに留学予定の澤部涼子さんはThe Politest Country Japan（親切な日本）を紹介しました。電車の切符の自動販売機の前でその操作法が判らない外人に対して機械から顔を出し，対応するシーン。ガードマンが歩道の段差に注意を与え続けるシーンなどから、徹底した日本の丁寧さを通じて日本の文化を伝えました。

それらのプレゼンテーションに対して，学友アドバイザーの石井祐子さんと戸上真由子さんから自らの経験からの有意義なアドバイスをもらいました。

同時に、高原武彦ガバナー、岩永信昭ガバナーエレクト、前田博憲国際奉仕統括委員長、石坂和彦ロータリー財団委員長、笠委員（佐賀南RC）、隅委員（佐賀西RC）からも適切なアドバイスをもらいました。

研修会の最後には、かつて財団奨学学友委員長も務めていた沢山俊雄ガバナー補佐から講評をもらい、楽しくかつ有意義な研修会を終了することができました。

その後に開催された壮行会も非常に楽しいものになりました。

特に石坂ロータリー財団委員長と野口委員の出し物は圧巻でした。この紙面で紹介できないのが残念です。

IM 開催報告
「第1・2グループ合同IM」報告

神埼ロータリークラブ　会長 生 島 忠 嗣

平成23年２月５日に第2740地区第１・第２グループインターシティ・ミーティング（以下IM）を佐賀市のマリントピアにて開催いたしました。式典では高原武彦ガバナー、野口パストガバナー、高城パストガバナーをお迎えして、「ロータリーの原点」をテーマに佐古亮尊パストガバナーに「ロータリーてなんだろう」の基調講演をいただきました。

今回IMを神埼ロータリーで、担当することが急に決まりましたので、急遽IM実行委員会を立ち上げ、小林ガバナー補佐のもと山崎実行委員長以下、当クラブ全会員の力で行うことができました。

佐古亮尊パストガバナーは、急な私どものお願いにも快く引き受けていただきました。ロータリーの歴史、ポールハリスの考え、三愛物語等大変興味深い講演をいただきました。
懇親会では佐賀南ロータリークラブの岡崎信一郎君率いるバンドによるウエルカム演奏から始まり、和やかに懇親会を進めることが出来ました。

最後にIM開催にあたり、来賓の皆様、地区ロータリーアンの方々の多数の出席により、無事終えることが出来ましたことに感謝申し上げます。

伊万里ロータリークラブ
親睦ゴルフ大会

４月２日（土）、第４回近隣３ＲＣ（有田ＲＣ・伊万里西ＲＣ・伊万里ＲＣ）親睦ゴルフ大会を、佐世保国際Ｃ．Ｃ．三川内ゴルフコースで開催しました。

ホスト：伊万里ＲＣ。有田ＲＣからは高原武彦ガバナーをはじめ５名、伊万里西ＲＣ５名、伊万里ＲＣ９名、合計１９名の精鋭の参加となり、熱戦が繰り広げられました。

プレイ後の表彰式では、３クラブ会員の活躍を讃え合い、より一層の親睦を深め合い盛会裏に終了しました。
優勝…有田ＲＣ　優勝者…田中丸善信君（伊万里ＲＣ）

米山カウンセラー説明会・米山奨学生オリエンテーションの報告

２７４０地区米山奨学委員会委員長 曽 我 文 雄

２０１１年４月１７日（日）長崎駅前　交通会館３Ｆ

第一部　カウンセラー説明会

午後２時、小野地区委員の司会・進行により地区役員及び出席者紹介のあと栗林理事からご挨拶を頂きました。高原ガバナーから“ロータリーと米山奨学事業”というテーマでお話を頂きました。栗林理事と高原ガバナーのお話でカウンセラーの皆さんも米山奨学事業に対する理解を深めて頂いたと感じられました。

その後、米山奨学会からカウンセラーへのお願いが伝達されました。宗教上のタブーや日本人の何気ない行動が誤解を生んでハラスメントにつながる事などが説明されました。又、奨学生をお客扱いしないで、会員と同じように使って、全会員と交流できるようにしていただくことを願っています。

米山奨学事業には他の奨学事業にはない、カウンセラー制度があります。奨学生にカウンセラーが付くことで、奨学生が早くクラブのメンバーと親しくなり、相互の理解も深まり、誤解をなくすことも出来ると考えられます。

最後に経験者の本村地区委員から“カウンセラー経験から学んだこと”が大変貴重な、得がたい経験であったという話で第一部を終了しました。

第二部　米山奨学生オリエンテーション

奨学生を一人づつカウンセラーに引き合わせたあと、役員の紹介がありました。栗林理事から“米山奨学事業の意義”と言うテーマでお話を頂いた後、オリエンテーションをおこないました。

ＤＶＤ「素晴らしい贈り物」を見た後、パワーポイントを使って奨学生ハンドブックの説明をしました。奨学生は地区や、米山奨学委員会の事業に参加する義務がある事。レポートを提出しない、例会や事業に参加しないなど、ルールに違反した場合、処分を受ける場合があるなど大事なことです。次に、今後のスケジュールの説明をし、最初の事業である研修旅行の説明と参加者の確認をおこないました。確約書と個人情報開示に関する同意書の作成でオリエンテーションが終りました。

最後に高原ガバナーから奨学生バッジと４月分奨学金が学生の一人ひとりに授与されて、当日の全スケジュールを終了しました。

2011年度　米山記念奨学生一覧

区分	氏名(漢字)	氏名(カナ)	性別	国籍	種類	期間From	期間To	大学名称	課程	学年	専攻	世話クラブ	カウンセラー
新規	夏　京　合	シャジン ホ	男	中国	YD	2011年4月	2012年3月	佐賀大学	医博	4	医科学	伊万里西	山元章生
新規	王　　実	オウ ジツ	男	中国	YM	2011年4月	2012年3月	佐賀大学	修士	2	先端融合	有田	福田雅信
新規	グエン･チャン･フエン		女	ベトナム	YM	2011年4月	2013年3月	佐賀大学	修士	1	学校教育	佐賀	牟田清敬
新規	グエン･アイン･ティラン		女	ベトナム	YM	2011年4月	2013年3月	佐賀大学	修士	1	教科教育	佐賀南	笠　慶宣
新規	林　妙　玲	リン ミョウ リン	女	台湾	YM	2011年4月	2012年9月	佐賀大学	修士	1	生物資源科学	佐賀大和	吉田政亮
新規	孙　元　元	ソン ゲン ゲン	女	中国	YM	2011年4月	2012年3月	長崎大学	修士	2	経済経営政策	長崎北	濱崎宏明
新規	金　湘　殷	キム サン ウン	男	韓国	YD	2011年4月	2013年3月	長崎大学	医博	3	医療科学	雲仙	宮崎高幸
新規	劉　　格	リュウ カク	女	中国	YD	2011年4月	2012年3月	長崎大学	医博	4	新興感染症病態制御学系	長崎出島	山田佑子
新規	ローマン,モハメド･ジョフィクル		男	バングラデシュ	YD	2011年4月	2013年3月	長崎大学	博士	2	生命薬科学	長崎北東	草野一夫
新規	徐　富　錦	ジョ フ キン	男	中国	YD	2011年4月	2012年3月	長崎大学	博士	3	システム科学	長崎西	島田靖彦
新規	姜　澤　東	ジャン ズォドン	男	中国	YD	2011年4月	2012年3月	長崎大学	博士	3	海洋生産科学	長崎中央	本田文昭
新規	全　恵　受	ジョン ヘ ス	女	韓国	YU	2011年4月	2012年3月	長崎国際大学	学部	4	国際観光	佐世保北	緒方信行
継続	グエン･ティー･ニュン		女	ベトナム	YU	2010年4月	2012年3月	長崎県立大学	学部	4	経済学	佐世保南	田添孝佳
継続	タン･ジン,ウエン		男	ミャンマー	YU	2010年4月	2012年3月	長崎総合科学大学	学部	4	経営情報学	東長崎	八木浩二

第2740地区2011～2012年度 地区協議会 報告

長崎北東ＲＣ・2011～2012年度 地区副幹事 古 川 信 利

今年の地区協議会は、桜も満開になった4月9日(土)、長崎市の長崎全日空ホテルグラバーヒルで490人が出席して開き、山田昇ＳＡＡ(長崎北東ＲＣ)が司会を担当、午後2時、岩永信昭ガバナー・エレクト(同)の点鐘で始まりました。会議に先立ち東日本大震災による犠牲者のご冥福を祈り、全員で黙祷を捧げました。

黒川典男実行委員長(同)が開会を宣言し、ソングリーダー・古賀明長崎北東ＲＣ会長エレクトの指揮で国歌「君が代」とロータリーソング「奉仕の理想」を斉唱しました。ホストクラブ・長崎北東ＲＣ森義彦会長が歓迎の言葉を述べ、岩永ガバナー・エレクトが、高原武彦ガバナー、歴代パスト・ガバナー、福元裕二ガバナー・ノミニー、古賀久志次々年度地区幹事、次年度各グループガバナー補佐、田中克憲次年度ロータリーの友地区代表委員、次年度各地区委員長と委員、各出席クラブなどを紹介しました。

高原ガバナーは「3月11日の東日本大震災で、一瞬のうちに肉親や家を失った方々に、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。原発事故は、懸命な努力がなされていますが、一日も早く収束することを祈るばかりです。3月31日現在で、当地区の義援金は1,250万円になりました。茨城県の高校に、オーストラリアから交換留学で来ていたケイト・マクマホンさんが、地震災害のため留学継続が困難になり、家族から帰国を促されました。彼女が残留を強く希望し、派遣元ＲＣから当地区に引き受け要請があり、佐世保ＲＣがホストクラブとして受け入れることになりました。今年の地区目標である各クラブ会員純増2人、年次恒久寄付1人100ドルを最後まで頑張りましょう。本日参加している方は、勉強と親睦で自分を高めてリーダーシップを発揮して下さい。次年度の健闘を願います」と報告と要請を行いました。

基調講演で、田口厚パスト・ガバナーは「東日本大震災には、当面の支援は大事ですが、過去の経験から、本当の支援が7月ごろから必要になってくると考えています。29年前、長崎大水害、20年前には雲仙・普賢岳噴火災害があり、全国から支援をいただきました。我々は恩返しをしなければなりません。私も16年前の阪神・淡路大震災では、医療支援で駆け付けました。今回は、後輩の医療チームが活躍してくれています。ところで“善きロータリアン”とは、『四つのテスト』をよく理解し、守り、実践することです。その上で、よく学び、よく遊び、絆を強くするロータリアンとなって、地区躍進に貢献していただきたい」と激励しました。

岩永ガバナー・エレクトは、パワーポイントを使いながら「1923年の関東大震災に際して、ＲＩや海外クラブから東京ＲＣに75,000ドルもの義援金が送られてきました。このことをきっかけに同ＲＣは、既得権を廃し、定款・細則を採択しました。今年度のガバナー会での、東日本大震災の義援金目標を9億円と伺っています。佐世保ＲＣが引き受けたオーストラリア留学生マクマホンさんが、昨日、九州文化学園高の始業式に出席しました。

この様子は本日の長崎新聞に掲載されています」と述べ、次年度の地区方針について「地区スローガンは、カルヤン・バネルジーＲＩ会長エレクトが、国際協議会で述べた新年度の三つの強調事項(〈ロータリーの友3月号〉に収録)と同じ『家族』『継続』『変化』としました。ロータリー活動について理解を深めるために《ロータリーの森を歩く》(佐古亮尊著)、《ロータリーの心と原点》(廣畑富雄著)、《双鯉雁信帖》(佐藤千寿・深川純一著)の著書を参考にしていただければ、役に立つのではないかと思います。地区計数目標は今年度と同様に、各クラブ会員純増2人、ロータリー財団年次プログラム基金23万ドルです」と提示しました。

休憩の後、部会ごとに7分科会を開きました。分科会では高原ガバナー、宮島傳兵衛・野﨑元治・武井洋一・栗林英雄・野口清パスト・ガバナー、福元ガバナー・ノミニーがアドバイザーやリーダーとして助言しました。その一つ会長・幹事部会では、野口パスト・ガバナーがリーダー、山下雄司ＳＡＡ(次年度地区副幹事・佐賀ＲＣ) が司会を務めました。野口パスト・ガバナーは「ロータリーの神髄は、“親睦”“奉仕”“寛容”です。自分を高めるために“親睦”を通じて信頼しうる人を探し、人のために“奉仕”する人を作り“寛容”は耐えたり、許したりすることです。幹事はクラブの大黒柱で、ＲＩとクラブの窓口として、すべてに精通していなければなりません。このため任期は1年とは限らないのです。会長は幹事がやりやすいように、すべてを幹事に任せましょう。決定権は理事会にあり、会長にはありません。会長は議長で、例えればクラブの帽子、マークです。理事会の決定を執行するのは、幹事なのです」とロータリーを再認識してほしいと力説しました。

再び、総会場に集合し、中野哲生次年度地区幹事が次年度地区運営について「地区の組織は従来と変わりません。7月から11月にかけてガバナー訪問を行います。クラブ協議会はガバナー補佐にお任せします。ＩＭにこだわらず、研究会、研修会など、合同でもいいですから、各補佐のもとで開いて下さい。地区予算案は別紙資料の通りです」と説明、提案しました。地区予算案を拍手で承認しました。

地区研修リーダー高城昭紀パスト・ガバナーは「全体会議、分科会を通じて岩永ガバナー・エレクトの思い入れが伝わってきました。各分科会ともアドバイザー、リーダーから経験を活かした助言をいただきました。時間不足の分科会もありましたが、充実した協議ができました」と講評しました。続いて、桑原佳見実行副委員長(長崎北東ＲＣ)が、すべての議題が終了したことを宣言し、岩永ガバナー・エレクトの点鐘で閉会しました。

意見交換会は、浜本義文長崎北東ＲＣ親睦活動副委員長が司会を務め、宮島パスト・ガバナーが「親睦を一層深めましょう」と乾杯の音頭をとりました。東日本大震災を考慮して、控え目な形で開いた同会は、最後まで和やかなうちに進行し、手をつなぎ、輪になってロータリーソング「手に手つないで」を斉唱しました。野﨑パスト・ガバナーが「互いの絆が強くなった地区協議会でした」と閉会の言葉を述べ、一本締めで終了しました。

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介いたします。

ご厚意に深く感謝申し上げます。

ロータリー財団寄付関係

種　類	氏　名	クラブ名
ベネファクター	中村　重敏	長崎RC
	宮本　峻光	諫早西RC
マルチプルPHF	浦　信夫	長崎琴海RC
	辻　登志美	諫早北RC
	小溝　忠徳	諫早北RC
	橋爪　毅	諫早RC
PHF	菰田　秀三	佐賀南RC
	池田　正喜	佐世保東南RC
	川野　弘茂	諫早西RC
ポリオ・プラス	本田　清秀	諫早北RC
	大石　竜基	諫早北RC
ロータリー日本・太平洋諸島地震災害復興基金	津田　尚幸	長崎南RC
	諫早北RC	

米山記念奨学会寄付関係

種　類	氏　名	クラブ名
メジャードナー	川添　忠彦	佐世保南RC
マルチプル	明石　寿彦	牛津RC
	福元　裕二	佐賀北RC
功労者	田中　一広	長崎琴海RC
	池田　正喜	佐世保東南RC

訂正とお詫び

東日本大震災義援金

佐世保北RC分　　153,000円

姉妹クラブ　仁川松島RCより

58,200円（100万ウォン）

計 211,200円

物故者

福江RC　片山　修男 君

62歳　3月17日死亡

伊万里西RC　前田　健三 君

71歳　4月27日死亡

ロータリーの偉人に学ぶ　元気の出る言葉

～松下幸之助氏の言葉より～

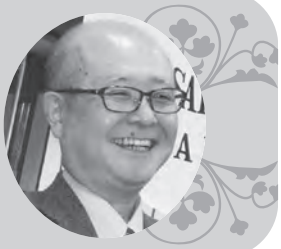
謙虚な努力は必ず実る

驕り高ぶった心で物事を行っていけば、いずれ周囲の反感をかい、立ち行かなくなってくる。人に教えを乞い、導きを得る謙虚な気持ちを大切にしよう。そうした思いで努力を重ねてこそ、多くの人の共感を得て協力も集まり、事が成就するのである。

第7回
我がクラブNo.1卓話

歯とアンチエイジング

長崎北ロータリークラブ　坪口髙明（歯科医）



皆さんこんにちは。今年もいよいよ年の瀬となりました。齢を重ねる時期ですが、少しでも若さと健康を保ち、また素晴らしい新年を迎えるために、アンチエイジングと歯の健康についてお話しいたします。

よく巷では老化の例えで、目、耳、歯と下のなんとやらの機能低下を嘆きます。そこで、その「歯」を大事にして老化防止に役立てられたらいかがでしょう。

アンチエイジング医学の権威、慶応大学眼科坪田教授によると、近年は健康に関する考え方が変わったそうです。今までは健康長寿だからご機嫌になる。これからはご機嫌だから健康長寿になる、というのです。つまり自分の心の持ちようで、健康も長寿も変わります。昔から病は気からと言われています。

また、口角を上げて笑うと脳の免疫力を上げる部分が刺激されるそうです。形から入って中身が出来る例ですね。よく噛む事も長寿者の健康法にあります。103歳の舛地三郎先生は一口30回咀嚼と健康体操と仕事。100歳になられてからも毎年海外へ講演旅行をされています。

ＬＤＬコレステロールと動脈硬化にしても、高い人が皆病気になるわけではなく、喫煙などの酸化変性因子などの影響があって進行するといわれており、アンチエイジングには抗酸化ストレスやカロリーオーバーやＧＩ値の高い食事に注意しなければなりません。

歯は食事には欠かせないものですが、噛み合わせの異常が体の不調、歯周病が糖尿病や心臓病などの全身の病気に関連していることが明らかになってきました。インフルエンザの予防にも口腔の衛生が影響していますので、うがいはもちろん、歯磨きも欠かせません。歯面の細菌の除菌は呼吸器の病気の予防にも有益です。

8020運動では80歳で20本の歯を残すのが目標です。生きがいのある人生を送るには良く噛める自分の歯がないと出来ません。そうでないときは入れ歯や、人工の歯が必要となります。まとめますと、歯の健康とアンチエイジングのポイントは一口30回良く噛む事、歯口を清潔にして口の乾燥に注意しましょう。楽しく会話して大きな口で笑いましょう。笑う門には福来りです。

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介いたします。　※氏名の下部は、勤務先、趣味

唐津RC
徳川　清隆 君
㈱ジャパン保険コンサルタント
バスケットボール

雲仙RC
金子　壽重子 君
社会福祉法人雲仙会 雲仙保育園

雲仙RC
後田　陽子 君
スナック　カサブランカ

長崎RC
松本　亘史 君
宗教法人　諏訪神社
山登り

大村RC
北川　隆幸 君
親和銀行　大村支店
温泉めぐり・珈琲カフェ飲み歩き

平戸RC
大坪　弘成 君
大坪建設㈱
ゴルフ、スキューバーダイビング

平戸RC
瀬上　桂一 君
日本生命保険(相) 長崎支社 平戸営業部
オートバイ ツーリング

小城RC
平松　正一 君
佐賀共栄銀行　小城支店
読書

福江RC
松本　正一 君
㈱十八銀行　福江支店
ゴルフ、魚釣り

福江RC
田中　雄介 君
五島自動車㈱
旅行

佐世保RC
浦里　和弘 君
㈱テレビ長崎佐世保支社
蝶採取

佐世保RC
中川　知之 君
(医)双飛会 なかがわ歯科医院
車・海釣・映画鑑賞

佐世保RC
土井　弘志 君
長崎文化放送㈱佐世保支社
海釣・ゴルフ・ヨット

佐世保RC
坂本　敏 君
(有)坂本美容室
ゴルフ・映画鑑賞・スノボー

佐世保西RC
加藤　秀俊 君
第一生命保険㈱佐世保営業支社
ゴルフ

2011年　3月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	4	82.4	61	0	64	0	0	2	-2	3
	小城	5	81.0	27	2	24	2	1	1	0	-3
	牛津	4	74.1	30	1	29	0	0	0	0	-1
	多久	5	90.7	41	4	41	4	0	0	0	0
	佐賀大和	4	88.3	24	2	25	3	0	0	0	1
	小計		83.3	183	9	183	9	1	3	-2	0
第2グループ	佐賀西	3	76.7	46	0	49	0	0	0	0	3
	佐賀北	4	91.1	31	3	33	3	0	0	0	2
	佐賀南	4	77.9	38	1	37	1	0	2	-2	-1
	神埼	4	80.7	32	0	33	2	0	1	-1	1
	佐賀空港	4	85.0	12	1	13	1	0	1	-1	1
	小計		82.3	159	5	165	7	0	4	-4	6
第3グループ	有田	5	63.2	36	0	38	0	0	0	0	2
	武雄	3	86.2	53	4	53	4	0	0	0	0
	鹿島	4	90.8	39	3	40	3	0	0	0	1
	嬉野	4	95.2	23	1	22	1	0	0	0	-1
	大町	4	83.8	20	0	20	0	0	0	0	0
	白石	5	62.5	12	0	11	0	0	1	-1	-1
	太良	5	77.5	8	0	8	0	0	0	0	0
	小計		79.9	191	8	192	8	0	1	-1	1
第4グループ	唐津	4	87.5	53	0	54	0	1	0	1	1
	伊万里	4	96.3	30	0	34	0	0	0	0	4
	唐津東	3	90.9	52	0	53	0	0	0	0	1
	唐津西	4	96.5	33	0	31	0	0	1	-1	-2
	伊万里西	5	94.0	44	0	44	0	0	1	-1	0
	唐津中央	4	85.9	32	4	30	4	0	2	-2	-2
	小計		91.9	244	4	246	4	1	4	-3	2
第5グループ	佐世保	5	99.4	72	0	72	0	0	1	-1	0
	平戸	4	100.0	35	3	36	3	0	1	-1	1
	佐世保西	4	92.1	24	0	23	0	0	2	-2	-1
	北松浦	4	98.7	22	0	23	0	1	0	1	1
	松浦	4	85.0	25	1	30	1	0	0	0	5
	小計		95.0	178	4	184	4	1	4	-3	6
第6グループ	佐世保南	4	100.0	69	0	72	0	1	2	-1	3
	佐世保東	5	92.9	21	0	23	0	0	0	0	2
	佐世保北	3	96.3	43	0	45	0	1	0	1	2
	佐世保中央	4	100.0	40	2	42	2	0	0	0	2
	佐世保東南	5	72.2	26	2	25	1	0	0	0	-1
	HTB佐世保	5	80.2	24	4	23	4	0	0	0	-1
	小計		90.3	223	8	230	7	2	2	0	7
第7グループ	大村	5	89.3	48	3	48	3	0	1	-1	0
	島原	5	78.8	34	2	36	2	0	0	0	2
	雲仙	4	96.4	26	0	28	0	0	0	0	2
	大村北	5	100.0	32	0	33	0	1	0	1	1
	島原南	4	65.8	21	1	21	1	0	0	0	0
	大村東	3	88.1	42	2	44	2	0	0	0	2
	小計		86.4	203	8	210	8	1	1	0	7
第8グループ	諫早	4	87.2	56	0	62	0	1	0	1	6
	諫早北	4	86.6	66	2	68	2	0	0	0	2
	諫早西	4	89.7	40	0	39	0	0	0	0	-1
	諫早多良見	4	84.2	36	0	38	0	2	0	2	2
	諫早南	3	76.8	27	6	23	4	0	0	0	-4
	小計		84.9	225	8	230	6	3	0	3	5
第9グループ	長崎	4	87.9	83	0	84	0	1	2	-1	1
	福江	4	85.5	33	0	30	0	0	3	-3	-3
	長崎北東	4	87.0	47	6	49	6	0	0	0	2
	福江中央	4	96.3	28	0	27	0	0	1	-1	-1
	長崎西	4	70.2	58	0	55	0	0	1	-1	-3
	長崎琴海	4	72.7	18	1	18	1	0	0	0	0
	小計		83.3	267	7	263	7	1	7	-6	-4
第10グループ	長崎北	3	71.4	76	0	71	0	1	4	-3	-5
	長崎南	4	74.6	73	0	77	0	0	3	-3	4
	長崎東	4	81.5	50	0	51	0	0	0	0	1
	東長崎	4	82.4	23	0	23	0	0	0	0	0
	長崎中央	3	92.3	57	0	57	0	0	1	-1	0
	長崎出島	4	80.0	51	12	55	12	0	0	0	4
	小計		80.4	330	12	334	12	1	8	-7	4
合計			85.8	2203	73	2237	72	11	34	-23	34

※上記の表の新入・退会は**当月中**の数字で、累計は
7月1日から2011年3月末までの増減です。

2011年　4月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	4	78.7	61	0	64	0	0	0	0	3
	小城	4	74.0	27	2	24	2	1	1	0	-3
	牛津	4	77.6	30	1	29	0	0	0	0	-1
	多久	3	87.1	41	4	41	4	0	0	0	0
	佐賀大和	4	80.9	24	2	25	3	0	0	0	1
	小計		79.6	183	9	183	9	1	1	0	0
第2グループ	佐賀西	3	84.2	46	0	47	0	0	2	-2	1
	佐賀北	4	81.6	31	3	33	3	0	0	0	2
	佐賀南	4	81.0	38	1	36	1	0	1	-1	-2
	神埼	4	87.0	32	0	33	2	0	0	0	1
	佐賀空港	4	73.0	12	1	13	1	0	0	0	1
	小計		81.4	159	5	162	7	0	3	-3	3
第3グループ	有田	4	77.7	36	0	37	0	0	1	-1	1
	武雄	4	84.0	53	4	53	4	0	0	0	0
	鹿島	4	96.1	39	3	39	3	0	1	-1	0
	嬉野	4	90.5	23	1	22	1	0	0	0	-1
	大町	4	81.3	20	0	20	0	0	0	0	0
	白石	4	62.1	12	0	11	0	0	0	0	-1
	太良	4	78.1	8	0	8	0	0	0	0	0
	小計		81.4	191	8	190	8	0	2	-2	-1
第4グループ	唐津	4	88.6	53	0	55	0	1	0	1	2
	伊万里	4	96.3	30	0	34	0	0	0	0	4
	唐津東	4	88.7	52	0	53	0	0	0	0	1
	唐津西	4	90.7	33	0	31	0	0	0	0	-2
	伊万里西	5	94.0	44	0	43	0	0	1	-1	-1
	唐津中央	4	86.9	32	4	30	4	0	0	0	-2
	小計		90.9	244	4	246	4	1	1	0	2
第5グループ	佐世保	4	99.6	72	0	76	0	4	0	4	4
	平戸	4	88.4	35	3	38	3	2	0	2	3
	佐世保西	4	95.2	24	0	24	0	1	0	1	0
	北松浦	4	88.6	22	0	23	0	0	0	0	1
	松浦	4	84.2	25	1	30	1	0	0	0	5
	小計		91.2	178	4	191	4	7	0	7	13
第6グループ	佐世保南	4	100.0	69	0	72	0	0	0	0	3
	佐世保東	4	88.0	21	0	23	0	0	0	0	2
	佐世保北	4	97.2	43	0	45	0	0	0	0	2
	佐世保中央	3	100.0	40	2	42	2	0	0	0	2
	佐世保東南	4	77.5	26	2	25	1	0	0	0	-1
	HTB佐世保	3	76.2	24	4	23	4	0	0	0	-1
	小計		89.8	223	8	230	7	0	0	0	7
第7グループ	大村	4	86.7	48	3	49	3	1	0	1	1
	島原	4	76.3	34	2	36	2	0	0	0	2
	雲仙	4	96.4	26	0	30	2	2	0	2	4
	大村北	4	100.0	32	0	32	0	0	1	-1	0
	島原南	4	70.0	21	1	21	1	0	0	0	0
	大村東	4	84.2	42	2	44	2	0	0	0	2
	小計		85.6	203	8	212	10	3	1	2	9
第8グループ	諫早	4	86.6	56	0	63	0	1	0	1	7
	諫早北	3	81.6	66	2	68	2	0	0	0	2
	諫早西	4	91.0	40	0	39	0	0	0	0	-1
	諫早多良見	4	81.6	36	0	38	0	0	0	0	2
	諫早南	4	70.7	27	6	23	4	0	0	0	-4
	小計		82.3	225	8	231	6	1	0	1	6
第9グループ	長崎	4	86.6	83	0	83	0	1	2	-1	0
	福江	4	84.7	33	0	32	0	2	0	2	-1
	長崎北東	3	81.3	47	6	49	6	0	0	0	2
	福江中央	4	95.4	28	0	27	0	0	0	0	-1
	長崎西	4	72.4	58	0	55	0	0	0	0	-3
	長崎琴海	4	75.4	18	1	18	1	0	0	0	0
	小計		82.6	267	7	264	7	3	2	1	-3
第10グループ	長崎北	4	77.7	76	0	71	0	0	0	0	-5
	長崎南	4	79.1	73	0	76	0	0	1	-1	3
	長崎東	4	84.3	50	0	51	0	0	0	0	1
	東長崎	4	80.2	23	0	23	0	0	0	0	0
	長崎中央	4	94.6	57	0	57	0	0	0	0	0
	長崎出島	4	78.1	51	12	55	12	0	0	0	4
	小計		82.3	330	12	333	12	0	1	-1	3
合計			84.7	2203	73	2242	74	16	11	5	39

※上記の表の新入・退会は**当月中**の数字で、累計は
7月1日から2011年4月末までの増減です。

2011 年 5 月 12 日発行［月刊］
（財）ロータリー米山記念奨学会

ハイライトよねやま 134

1 寄付金速報 ― 年度末まであと1ヵ月半 ―

4 月までの寄付金は累計で 11 億 5,400 万円となりました。前年同期と比べて 1.9%減（普通寄付金 3.0%減、特別寄付金 1.3%減）、約 2,200 万円の減少です。厳しい状態ではありますが、4 月単月だけをみると昨年よりも約 145 万円増加しました。4 月末現在、普通寄付金の下期分を**未納のクラブが 134 クラブ**（昨年同月 67 クラブ）あります。震災後の大変な状況下とは思いますが、奨学生を支援するために、ぜひご協力をお願い申し上げます。

2 震災から 2 カ月、米山学友の支援活動

炊き出しボランティア

①在日ネパール人によるカレー炊き出し：在日ネパール人協会では、ギリ・ラムさん（1998-2000/室蘭ＲＣ）やジギャン・クマル・タパさん（2008-09/横浜たまＲＣ）など米山学友を中心とする有志が 2 度にわたって被災地を訪れ、本場のカレーを振る舞いました。1 回目の支援先は、「原発事故の風評被害で支援の手が届いていない」と聞いた福島県いわき市。4 月 1 日、いわき明星大学内で 1,000 食以上のチキンカレーを提供、近隣避難所にも配ったほか、飲料水、子どものおむつやおもちゃを持参しました。4 月 16 日には 47 人の在日ネパール人の協力のもと、宮城県南三陸町からの被災者が避難している登米市内の避難所で計 1,000 食のカレーを提供したほか、ヨガ教室を開いたりマッサージを施すなど、被災者の日々の疲れを癒しました。

②第 2780 地区・第 2520 地区学友会による水餃子炊き出し：4 月 23 日には、第 2780 地区（神奈川）と第 2520 地区（岩手・宮城）の米山学友会有志が、宮城県名取市避難所 2 カ所を訪れ、水餃子 4,300 個を振る舞ったほか、1,000 足分の靴下や野菜、台車などの物資を届けました。

この企画は、第 2780 地区学友会【会長：王剛（オウゴウ）さん（2005-06/海老名ＲＣ）】を中心に立案され、同地区で 17 日に開催された地区協議会での募金活動を資金として食材や物資を購入。さらに、被災地にある第 2520 地区学友会に協力を仰いだところ、副会長の叢莉蔓（ソウリマン）さん（2007-09/古川ＲＣ）、高俊弘（コウジュンホン）さん（2005-07/仙台北ＲＣ）が駆けつけてくれました。温かい水餃子は避難者からも好評で、「世界の国からありがとう。美味しくいただきました。世界の国に災害や戦争がないことを祈るだけです」との感想が寄せられました。

中国学友会から 2 度目の義援金

5 月 9 日、中国学友会から 2 回目の義援金約 24 万円を受領しました。中国学友会からはすでに 136 万円を送金いただいており、義援金は合計約 160 万円にのぼっています。

チャリティーコンサート

クラシカルポップス歌手 として活躍中のJisong（ジソン）さん（2007-08/大和ＲＣ）が 5 月 7 日、「川崎・しんゆり芸術祭 2011」でチャリティー公演を行い、終演後は共演者とともに募金箱を持ち、集まった約 11 万円を義援金として寄付しました。

また、中国古箏奏者として活躍する謝雪梅（シャセツバイ）さん（2001-03/松江しんじ湖ＲＣ）も、6 月 5 日（於：東京都渋谷区）と 6 月 11 日（於：埼玉県東松山市）、東日本大震災復興支援チャリティーコンサートを開催するとのことです。

3 タイで初めての「学友の集い」開催

タイ・バンコク市内のホテルで4月30日、16人の学友が参加して、初の「米山学友の集い」が開かれました。2012年5月6日～9日にバンコクで開催される国際ロータリー年次大会には、米山奨学会もブース出展する予定で、現地の学友に協力を呼びかけたのを機に、今回の集いが実現しました。

ほとんどが初対面同士ながら、和気あいあいと会は進み、「留学中にお世話になった恩返しの気持ちで、来年の国際大会にはできる限り協力したい」と思いは一つに。今後も現地の学友間で連絡を取り、準備のために集まることを決めました。世話役を務めてくれているウィチット・クラワッタナクルさん（写真：前列右端　1987-88／東京浅草ＲＣ）はじめ、タイの学友の皆さんは、来年、バンコクで多くのロータリアンの皆さんと会えるのを楽しみにしています。

4 東京米山友愛RCが創立1周年を迎えました

国内の米山学友を中心に設立された東京米山友愛ＲＣの創立1周年記念例会が4月24日、都内で開催され、第2750地区の辰野克彦ガバナーはじめ多くの来賓を含む110名が出席しました。同クラブの現在の会員数は、創立時を10名上回る33名、うち17名が米山学友です。

次期会長の林芳さん（中国/2008-10/東京麻布ＲＣ）の点鍾で始まった式典では、冒頭、東日本大震災の犠牲者への黙祷が捧げられました。また同地区の学友で、視覚障害を持つ母国スーダンの人々の教育を支援するモハメド・オマル・アブディンさん（2005-08/東京国立白うめＲＣ）に対し、ブラインドサッカーボールの贈呈が行われました。中に鈴が入っている専用ボールは日本では手に入りにくいため、同クラブと東京世田谷中央ＲＣ（太田恒久会長）が合同で、アブディンさんが理事長を務めるＮＰＯ法人に韓国製ボールを贈りました。

なお、会場内には震災被災地の特産品販売コーナーが設けられ、同クラブでは、その売り上げと記念例会の登録料の一部を合わせてＴシャツ等の支援物資を購入。記念例会の出席者全員で折った折り鶴とともに、被災地に届けました。

5 台湾に新しい日本語クラブが誕生ー学友が初代幹事にー

台湾の第3520地区に日本語を公用語とする新クラブ、台北（タイペイ）南山（ナンシャン）ロータリークラブが誕生し、国際ロータリー加盟認証状伝達式が4月19日に台北市内で開かれました。日本語クラブは、第3520地区としては初めて。台湾には他に、1995年に米山学友を中心に設立された台北東海ＲＣ（第3480地区）などがあります。

初代会長には萩谷博氏、そして幹事には米山学友の歐元韻（オウゲンイン）さん（写真右：1988-89/広島中央ＲＣ）が就任。また、台湾学友会常務理事の林維宏（リンウェーホン）さん（同左：1987-88/岡山南ＲＣ/台北民生ＲＣ会員）も創立補佐委員として尽力しました。例会日は火曜日19:00～（食事は18:30～）美麗信花園酒店にて（クラブアドレス：nanshan3520@gmail.com）。台北にお出かけの際は、メークアップしてみてはいかがでしょうか？

(財)ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15
黒龍芝公園ビル3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津（のづ）・肇（はじめ）

文 庫 通 信 〈284号〉

「ロータリー文庫」は日本ロータリー５０周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約２万３千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ガバナー月信を中心に新着の資料から

◎「ロータリーから、あなたへ。〈2000年国際協議会講演より〉」
リチャード・キング　2011　2p　（D.2500月信）

◎「魅力的なロータリークラブ」　北　清治　〔2010〕4p　（D.2530地区協議会記録）

◎「ロータリーの源流」　田中　毅　2011　21p　（D.2640月信）

◎「ベンジャミン･フランク･コリンズのスピーチ原稿について」　成川守彦　2011　4p（D.2640月信）

◎「ロータリーの基本精神－寛容と奉仕の心」　上野　操　2011　1p（D.2580月信）

◎「出会いの不思議と面白さ」　渡辺好政　2011　2p（D.2500月信）

◎「『ノーブレス･オブリージュ(高貴なる者の義務)』について」　織田吉郎　2011　1p（D.2790月信）

◎「青少年はロータリーの継承者」　若林洋一　〔2011〕9p　（D.2710地区大会特集号）

◎「CLP導入しました」　天神正人　2011　2p　（D.2500月信）
［上記申込先：ロータリー文庫（コピー/ PDF)］

震災に関して

◎「その時ロータリーは…　阪神・淡路大震災第2680地区の記録」　D.2680　1995　107p
［申込先：ロータリー文庫（コピー)］

◎「震度７それでもわが大地を愛す(新潟県中越大震災復興支援活動の記録)」D.2560　2005　48p
［申込先：ロータリー文庫（コピー/ PDF)］

ロータリー文庫

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後5時　　休館＝土・日・祝祭日

国際ロータリー第2740地区

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2010 ー 2011 年度ガバナー　高 原 武 彦

ガバナー事務所

〒844-0027　佐賀県西松浦郡有田町南原丁175-5 TEL:0955-25-9110　FAX:0955-25-9120

背景の写真は日本磁器発祥の地「泉山磁石場」